

「食肉に関する意識調査」 報告書

令和7年度

公益財団法人 日本食肉消費総合センター

食肉に関する意識調査

目次

1. 調査の目的と分析の基本方針	1
1.1 調査の目的.....	2
1.2 分析の基本方針.....	2
1.3 調査対象期間.....	2
1.4 調査手法.....	2
1.5 調査手順.....	2
1.6 対象者条件.....	2
1.7 集計対象.....	3
1.8 回答者属性.....	3
1.9 過年度の調査対象と継続設問.....	5
2. 考察	8
2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察	8
1)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）による全頭（羽）殺処分の認知度（Q22）：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析.....	9
2)家畜伝染病（豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q20）：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析.....	11
3)家畜伝染病（豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安（Q21）：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析.....	14
4)家畜伝染病（豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解（Q23～Q25）：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析.....	17
2.2 「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識の考察	26
1)画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義（Q29）：エリア・性・年代別分析.....	27
2)画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」（Q29）：エリア・性・年代別分析.....	30
3)「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向（Q30）：エリア・性・年代別分析.....	36
4)「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度（Q31）：エリア・性・年代別分析.....	37
5)「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度（Q32）：エリア・性・年代別分析.....	38
6)「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴（Q33）：エリア・性・年代別分析.....	39
7)「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー（Q34）：エリア・性・年代別分析.....	43
8)5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向（Q35）：エリア・性・年代別分析.....	46
9)5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化（Q36）：エリア・性・年代別分析.....	47

2.3 「国産牛肉の格付」に関する消費者意識の考察	48
1) 「国産牛肉の格付」の認知度 (Q37) : エリア・性・年代別分析	49
2) 「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ (Q38) : エリア・性・年代別分析	50
3) 「国産牛肉の格付」の関心度 (Q39) : エリア・性・年代別分析	53
2.4 「交雑種」「乳用種」に関する消費者意識の考察	54
1) 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度 (Q40) : エリア・性・年代別分析	55
2) 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ (Q41) : エリア・性・年代別分析	56
3) 「交雑種」「乳用種」の表示の認識度 (Q42) : エリア・性・年代別分析	63
2.5 食品購入にあたっての「アニマルウェルフェア (AW)」に対する 消費者意識の考察	64
1) 「アニマルウェルフェア (AW)」の認知度 (Q43) : エリア・性・年代別分析	65
2) 「アニマルウェルフェア (AW)」の関心度 (Q44) : エリア・性・年代別分析	66
3) 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q45) : エリア・性・年代別分析	67
4) 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思 (Q46) : エリア・性・年代別分析	68
2.6 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」に対する 消費者意識の考察	70
1) 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」マークの認知度 (Q47) : エリア・性・年代別分析	71
2) 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」マークの関心度 (Q48) : エリア・性・年代別分析	72
3) 「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q49) : エリア・性・年代別分析	73
4) 「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の追加支払意思 (Q50) : エリア・性・年代別分析	74
3. 食肉の購買実態に関する調査	76
1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)	76
2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5)	81
3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)	86
4) 食肉の種類別の主な購入先 (Q7)	88
5) 食肉購入時に重視する点 (Q8)	93
6) 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化 (Q9)	98
7) 昨年同期と比べた最近1か月間の食品の購入回数の変化 (Q10)	101
8) 各種牛肉の購入頻度 (Q11)	105

9)各種牛肉のイメージ (Q12)	109
10)国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q13)	116
11)和牛肉以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)	118
12)国産牛肉 (和牛肉を含む) の普段の購入価格帯 (100g あたりの税込み価格) (Q15)	120
13)産地別牛肉の購入意向 (Q16)	121
14)産地別豚肉の購入意向 (Q17)	123
15)産地別鶏肉の購入意向 (Q18)	125
4. 食肉の安全性に関する意識調査	126
4.1 食品の安全性に関する意識	126
1)食品の安全性の不安感 (Q19)	126
2)食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q20)	133
4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識	140
1)食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源	
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q26・Q27)	140
2)各機関の取組に対する信頼性 (Q28)	146
5. 集計表	149

調査の目的と分析の基本方針

1. 調査の目的と分析の基本方針

1.1 調査の目的

消費者の食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の「購買状況、食肉に対する意識等」を調べ、国産食肉の安全・安心につながる要因を明らかにし、食肉に対する正しい理解・風評被害の防止等に資することを目的とする。

1.2 分析の基本方針

分析を行う上では、過年度調査との比較を試みることによって示唆を得るよう心掛けた。

1.3 調査対象期間

令和7年10月下旬に実施

1.4 調査手法

インターネット調査を実施した。対象者はモニター群から抽出した。

1.5 調査手順

調査の参加意向者募集
実調査の実施

1.6 対象者条件

アンケートの対象者は「20歳以上、かつ本調査時点までの間に食肉(牛肉／豚肉／鶏肉)を自身で購入し食した方」とした。また、「1.2 分析の基本方針」でも示した通り、過年度調査との比較を分析の基本方針としていることに鑑み、エリア・世代・性別の分布については昨年度調査の構成比と近づけるよう調整を行った。

1.7 集計対象

1,800人からアンケートの回答を得た。そのうち、以下の2エリア、6世代を掛け合わせた12セルについて1セル150人、計1,800人を抽出し、集計対象とした。

1.7.1 エリア・世代分布

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
首都圏	150	150	150	150	150	150	900
京阪神圏	150	150	150	150	150	150	900
合計	300	300	300	300	300	300	1,800

図表 1 集計対象のエリア・世代分布

1.7.2 エリア区分

エリア名	都府県名
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神圏	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県

図表 2 エリア区分（回答者所在都道府県）

1.8 回答者属性

1.8.1 性別

合計	男性	女性
1,800	900	900

図表 3 回答者属性（性別）

1.8.2 世帯年収構成

合計	300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない/わからない
1,800	330	389	274	273	146	43	345

図表 4 回答者属性（世帯年収構成）

1.8.3 世帯構成人数

合計	単身	2人	3人	4人	5人	6人以上
1,800	404	580	485	254	51	26

図表 5 回答者属性（世帯構成人数）

1.8.4 回答者の学歴

合計	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院
1,800	49	469	188	174	842	78

図表 6 回答者属性（学歴）

1.8.5 回答者の所在都府県

合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1,800	168	167	350	215	56	119	401	228	63	33

図表 7 回答者属性（所在都府県）

1.8.6 家族構成員の状況（複数回答）

合計	うち				
	妊娠されている方	小学校入学前の子ども(乳児・幼児を含む)	小学生の子ども	中高生の子ども	65歳以上の方(ご自身を含める)
1,800	40	163	148	128	668

図表 8 回答者属性（家族構成員）

1.9 過年度の調査対象と継続設問

1.9.1 調査対象

平成 26 年度～30 年度、令和元年度～6 年度調査の調査対象は以下の通りである。今年度調査では、平成 26 年度～30 年度、令和元年度～6 年度と同様、年代を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上の 6 区分とし、首都圏、京阪神圏と合わせて、12 セルで 1 セル 150 名とし、1,800 名を調査対象とした。

年度	対象者数	エリア・世代分布
令和 6 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、 60 代、70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
令和 5 年度		
令和 4 年度		
令和 3 年度		
令和 2 年度		
令和元年度		
平成 30 年度		
平成 29 年度		
平成 28 年度		
平成 27 年度		
平成 26 年度		

図表 9 過年度調査の対象

1.9.2 過年度からの継続設問・新規設問

平成26年度～30年度、令和元年度～6年度調査からの継続設問は以下に示す通りである。*印は令和7年度からの新規設問である。

令和7年度設問		令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
Q4	食肉の種類別機会別の喫食頻度	Q4	Q4	Q4	Q3	Q1						
Q5	食肉に対する種類別イメージ	Q5	Q5	Q5	Q4	Q2						
Q6	食肉の種類別購入頻度	Q6	Q6	Q6	Q5	Q3						
Q7	食肉の種類別の主な購入先	Q7	Q7	Q7	Q6	Q4						
Q8	食肉購入時に重視する項目	Q8	Q8	Q8	Q7	Q5						
Q9	昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化	Q9	Q9	Q9	Q9	Q11	Q9	Q9	Q9	Q9	Q8	Q6
Q10	昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化	Q10	Q10	Q10	Q10	Q12	Q10	—	—	—	—	—
Q11	各種牛肉の購入頻度	Q12	Q12	Q12	Q12	Q14	Q12	—	—	—	—	—
Q12	各種牛肉のイメージ	Q13	Q13	Q13	Q13	Q15	Q16	Q11	Q11	Q11	Q11	—
Q13	国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q14	Q14	Q14	Q14	Q16	Q20	Q14	Q14	Q14	Q16	—
Q14	和牛肉以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q15	Q15	Q15	Q15	Q17	Q21	Q15	Q15	Q15	Q17	—
Q15	国産牛肉の普段の購入価格	Q16	Q16	Q16	—	—	—	—	—	—	—	—
Q16	産地別牛肉の購入意向	Q17	Q17	Q17	Q16	Q18	Q22	Q16	Q16	Q16	Q18	Q7
Q17	産地別豚肉の購入意向	Q18	Q18	Q18	Q17	Q19	Q23	Q17	Q17	Q17	Q19	Q8
Q18	産地別鶏肉の購入意向	Q19	Q19	Q19	Q18	Q20	Q24	Q18	Q18	Q18	Q20	Q9
Q19	食品の安全性の不安感	Q20	Q20	Q20	Q19	Q21	Q25	Q22	Q19	Q19	Q21	Q10
Q20	食肉の安全性に関する項目別関心度	Q21	Q21	Q21	Q20	Q23	Q27	Q26	Q23	Q23	Q25	Q14
Q21	食肉の安全性の問題への不安度	Q22	Q22	Q22	Q21	Q24	—	—	—	—	—	—
Q22	感染家畜の全頭(羽)殺処分の認知度	Q23	Q23	Q23	Q22	—	—	—	—	—	—	—
Q23	豚熱について知っている知識	Q25	Q25	Q25	Q24	Q26	Q29	Q28	—	—	—	—
Q24	アフリカ豚熱について知っている知識	Q26	Q26	Q26	Q25	Q27	Q30	—	—	—	—	—
Q25	鳥インフルエンザについて知っている知識	Q27	Q27	Q27	Q26	Q25	Q28	Q27	Q24	Q24	Q26	Q15
Q26	食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q29	Q29	Q29	Q28	Q31	Q34	Q35	Q36	Q45	Q44	Q42
Q27	食肉の情報について信頼できる情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q30	Q30	Q30	Q29	Q32	Q35	Q36	Q37	Q46	Q45	Q43
Q28	各機関の取組に対する信頼性	Q31	Q31	Q31	Q30	Q33	Q36	Q37	Q38	Q47	Q46	Q44

令和7年度設問		令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
Q29	画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」、「好きな・好んで食べたい国産牛肉」	Q33	Q33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q30	「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向	Q34	Q34	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q31	「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度	Q35	Q35	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q32	「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度	Q36	Q36	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q33	「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴	Q37	Q37	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q34	「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー	Q38	Q38	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q35	5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向	Q39	Q39	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q36	5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化	Q40	Q40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q37	「国産牛肉の格付」の認知度	Q41	Q41	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q38	「国産牛肉の格付」別のイメージ	Q42	Q42	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q39	「国産牛肉の格付」の関心度	Q43	Q43	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q40	「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度	Q44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q41	「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ	Q45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q42	「交雑種」「乳用種」の表示の認識度	Q46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q43	「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度	Q53	-	Q37	-	-	-	-	-	-	-	-
Q44	「アニマルウェルフェア（AW）」の関心度	Q54	-	Q38	-	-	-	-	-	-	-	-
Q45	「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向	Q55	-	Q39	-	-	-	-	-	-	-	-
Q46	「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思	Q56	-	Q40	-	-	-	-	-	-	-	-
Q47 *	農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」マークの認知度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q48 *	農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」マークの関心度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q49 *	「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の購入意向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q50 *	「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の追加支払意思	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 10 過年度からの継続設問・本年度からの新規設問

2. 考察

2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察

- ・ 調査対象とした家畜伝染病による全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）について、「詳しく知っている」が4.3%、「ある程度知っている」が21.5%、「何となく知っている」が27.7%で、認知率は全体の53.5%。「あまりよく知らない」が22.3%、「知らない」が10.3%、「全く知らない」が13.9%で、非認知率は46.5%。
- ・ 家畜伝染病の関心（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「鳥インフルエンザ」が53.3%、「豚熱」が42.4%、「アフリカ豚熱」が41.5%の順。いずれの家畜伝染病についても、食肉の安全性に不安を感じる層ほど関心が高い。
- ・ 食肉の安全性の問題についての不安は、「鳥インフルエンザ」が24.6%で最も高く、「牛のBSE（牛海綿状脳症）」が19.9%、「食肉中の残留抗生物質」及び「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」がいずれも18.2%の順。「豚熱」は3.7%、「アフリカ豚熱」は3.9%と不安度は高くない。
- ・ 豚熱への認知・理解は、「知っているものはない」が62.2%で最も多く、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が15.6%、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が14.2%、「日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が10.6%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が9.9%の順。
- ・ アフリカ豚熱への認知・理解は、「知っているものはない」が71.3%で最も多く、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」が11.2%、「アフリカ豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が10.6%、「日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が7.9%、「仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が7.5%の順。
- ・ 鳥インフルエンザへの認知・理解は、「知っているものはない」が46.9%で最も多く、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」が19.6%、「日本では、昨年から今年にかけて約50件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった」が18.1%、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」が17.7%、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」が17.5%、「日本では鳥インフルエンザの侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの家きん（鶏、あひるなど）及びその製品の持込みが規制されている」が14.7%の順。

2.1では、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に関する知識と食肉の喫食による感染への不安状況の把握と要因の分析を目的とした。

1) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）による
 全頭（羽）殺処分 の認知度（Q22）
 : エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析

家畜伝染病について、説明文を提示して、全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）について聞いた認知度（Q22）は、「詳しく知っている」が4.3%、「ある程度知っている」が21.5%、「何となく知っている」が27.7%で、認知率は全体の53.5%である。

一方、非認知は、「あまりよく知らない」が22.3%、「知らない」が10.3%、「全く知らない」が13.9%で、非認知率は全体の46.5%である。

エリア別に認知率を見ると、首都圏が51.9%、京阪神圏が55.1%と大きな違いは見られない。

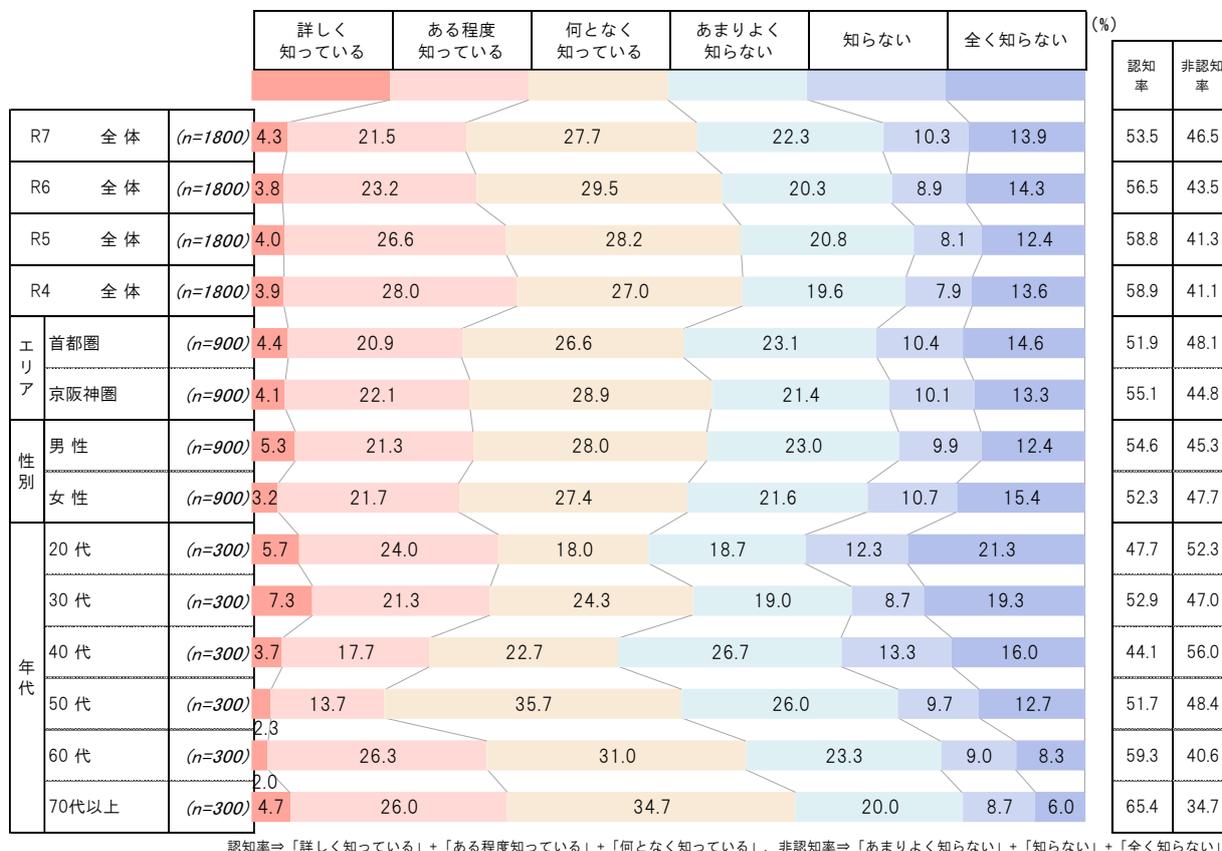
性別に認知率を見ても、男性が54.6%、女性が52.3%と大きな違いは見られない。

年代別に認知率を見ると20代～50代では5割前後の認知率だが、60代では59.3%、70代以上では65.4%と認知率が高くなっている。

過年度調査で見ると、全頭（羽）殺処分の認知率はやや減少傾向が見られる。

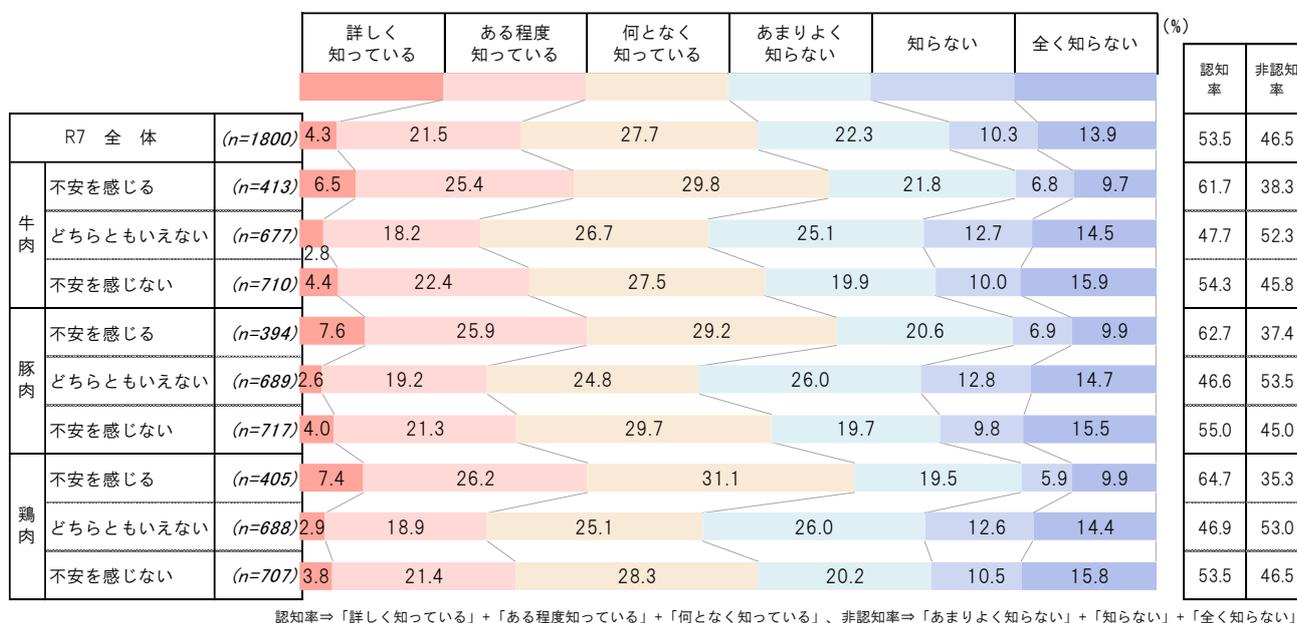
悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

図表 11 提示説明文



図表 12 エリア・性・年代別 家畜伝染病による全頭（羽）殺処分の認知度

食肉に感じる不安度(Q19)別に、全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）の認知度（Q22）を見ると、牛肉・豚肉・鶏肉のいずれにおいても、「不安を感じる層」では6割以上と認知率が高いが、不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で5割弱と認知率が低くなっている。



図表 13 牛肉・豚肉・鶏肉への不安度別 家畜伝染病による全頭（羽）殺処分の認知度

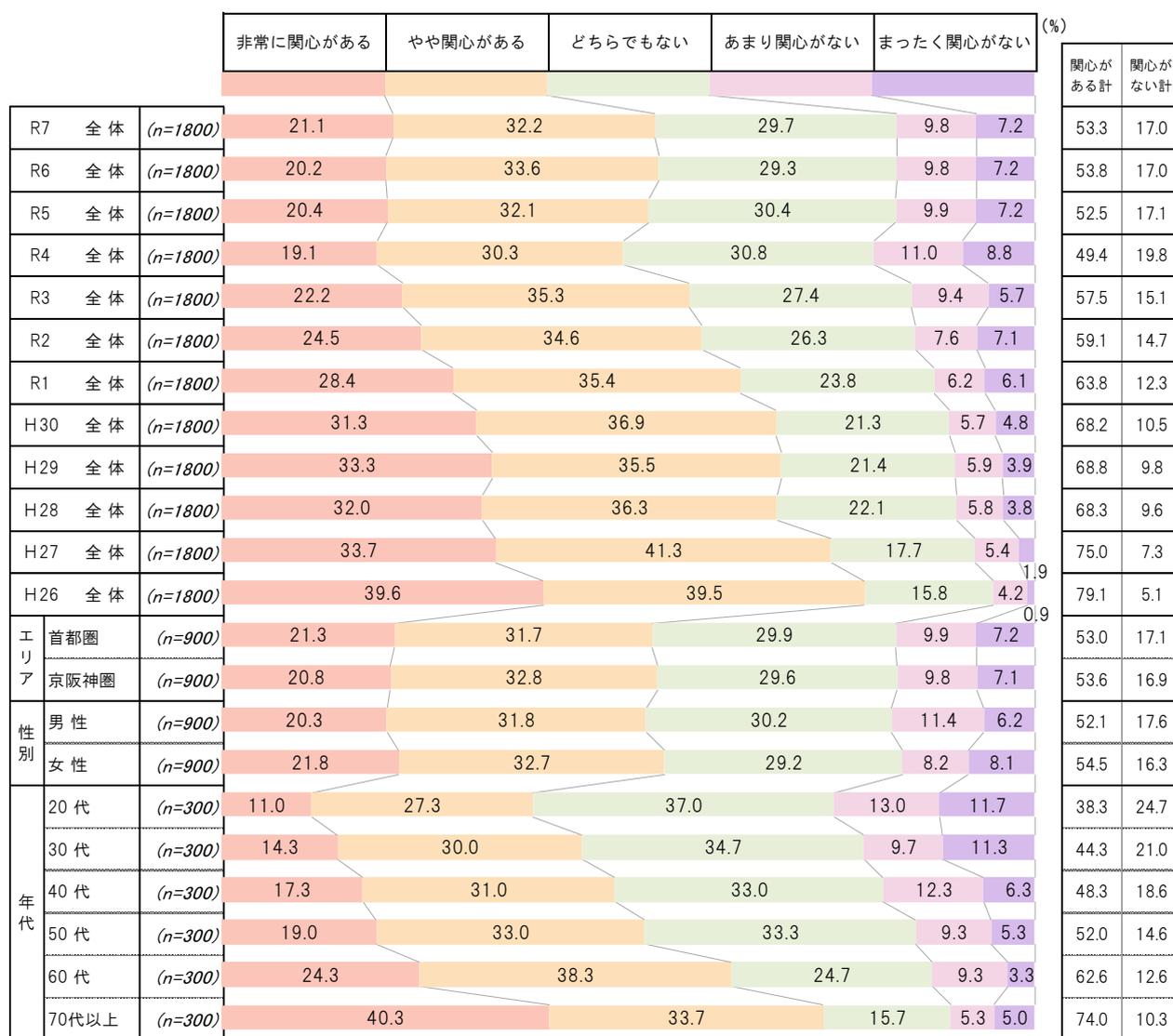
2) 家畜伝染病（豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q20）
 : エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析

調査対象とした家畜伝染病の関心度（Q20）は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」が53.3%、「豚熱」が42.4%、「アフリカ豚熱」が41.5%の順で高い。

過年度調査で見ると、調査対象とした家畜伝染病の関心度について昨年度調査と大きな違いは見られない。

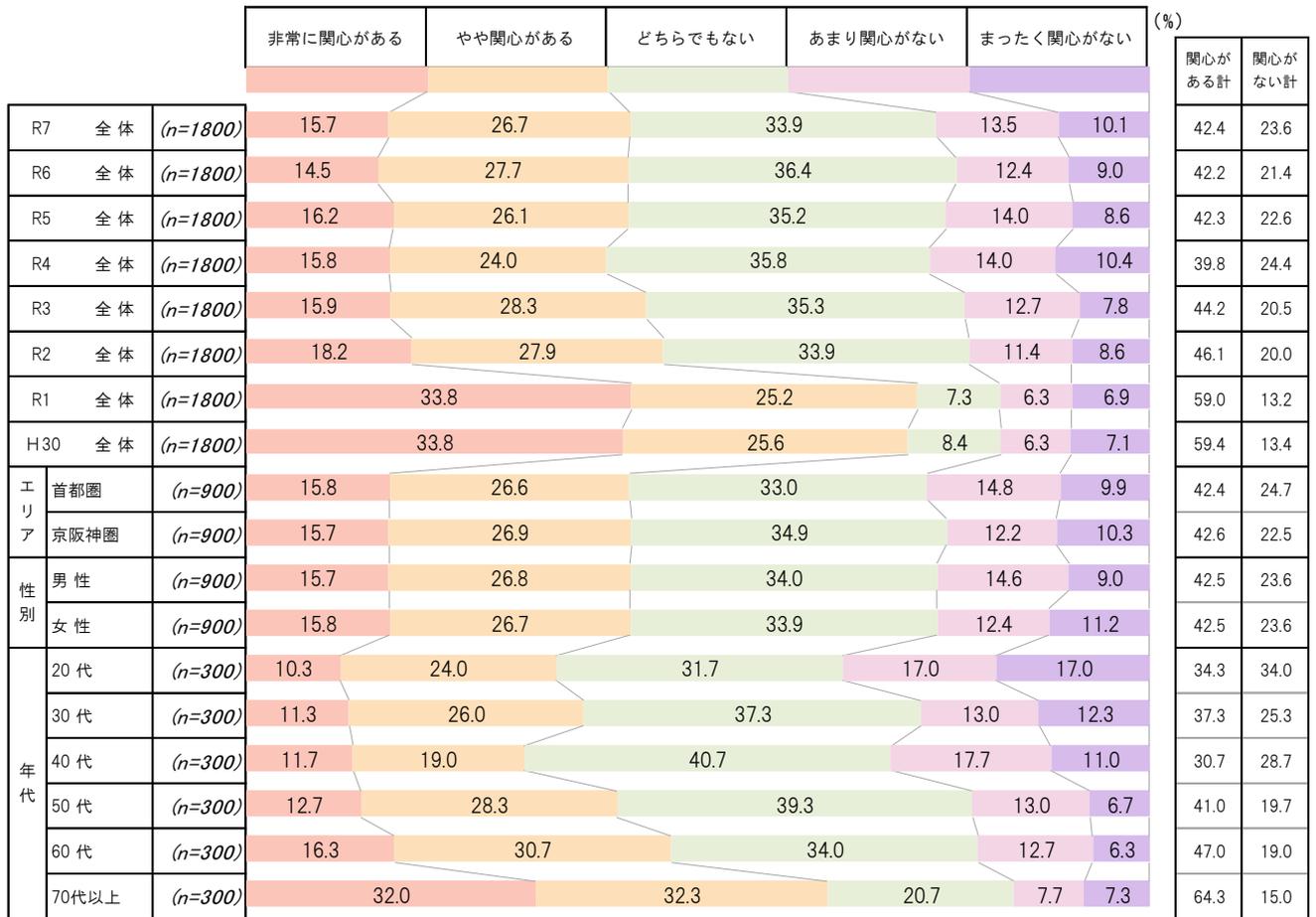
※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。

※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。



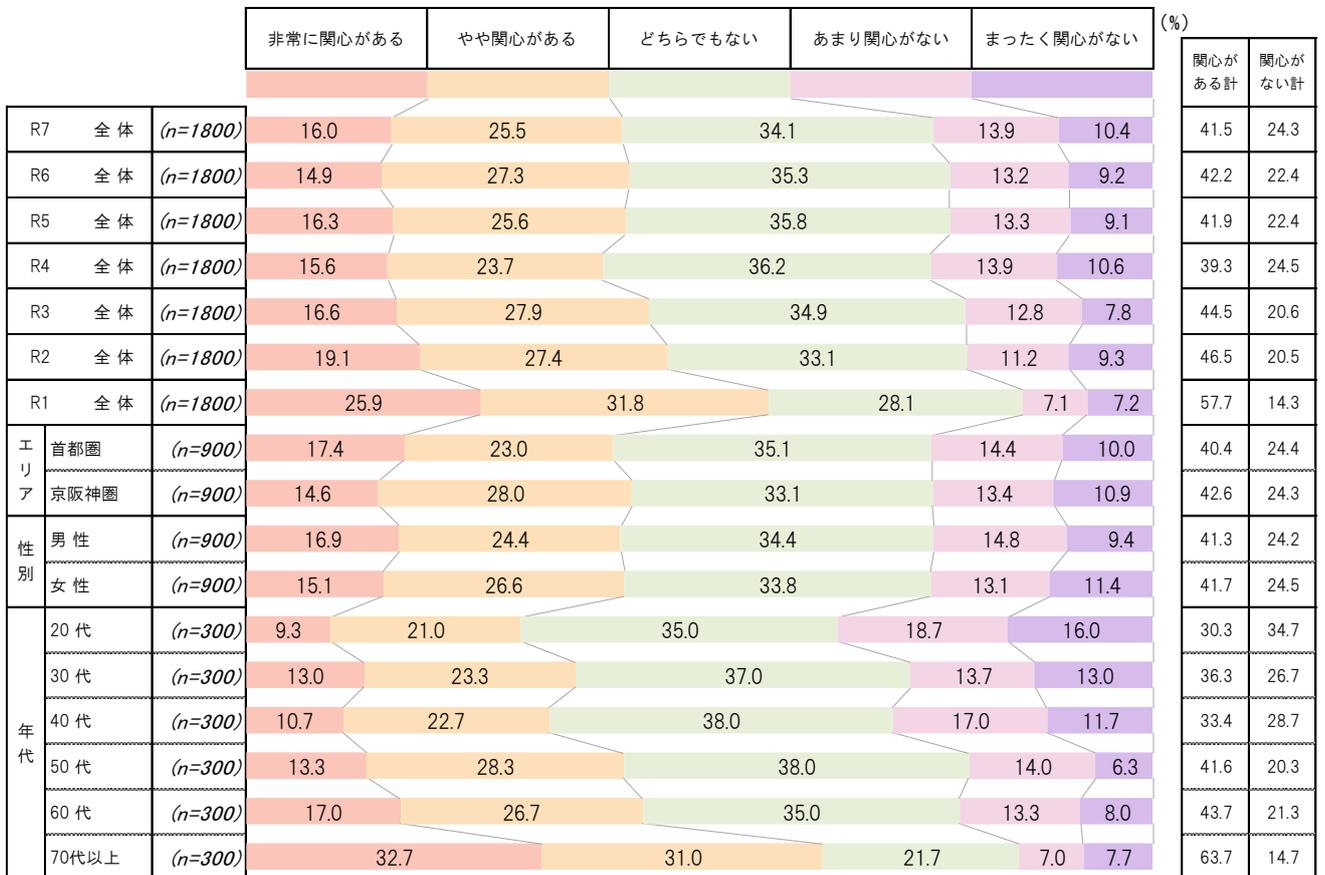
関心がある計⇒「非常に関心がある」＋「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」

図表 14 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの関心度



関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

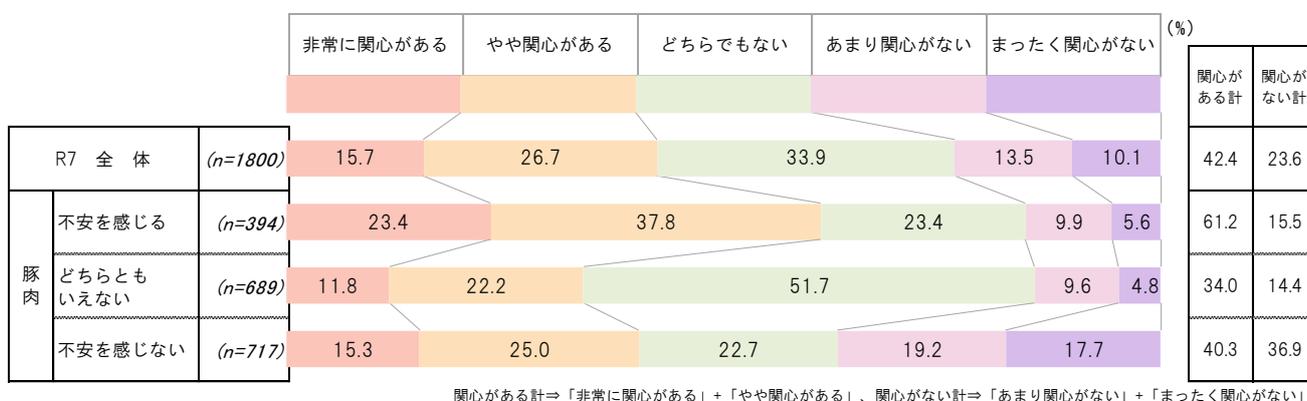
図表 15 エリア・性・年代別 豚熱への関心度



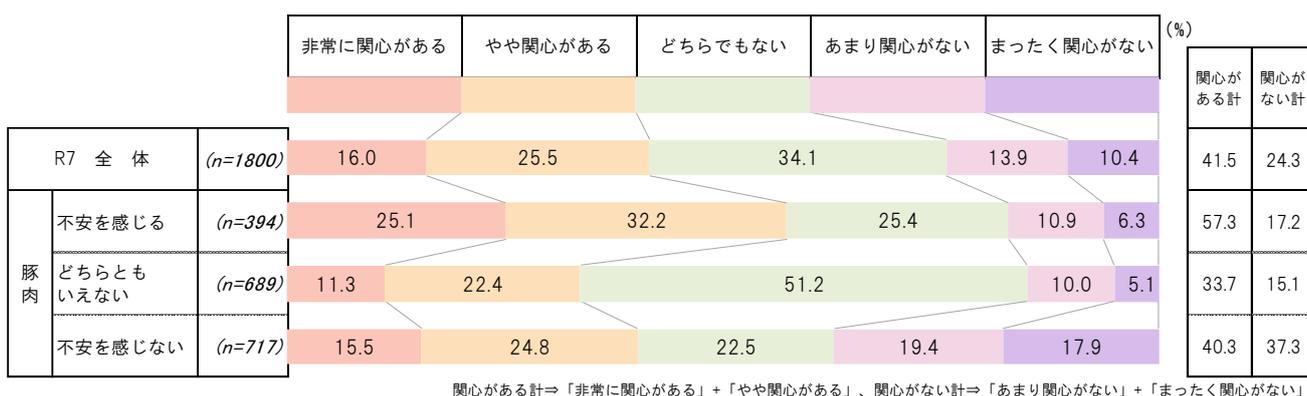
関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 16 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への関心度

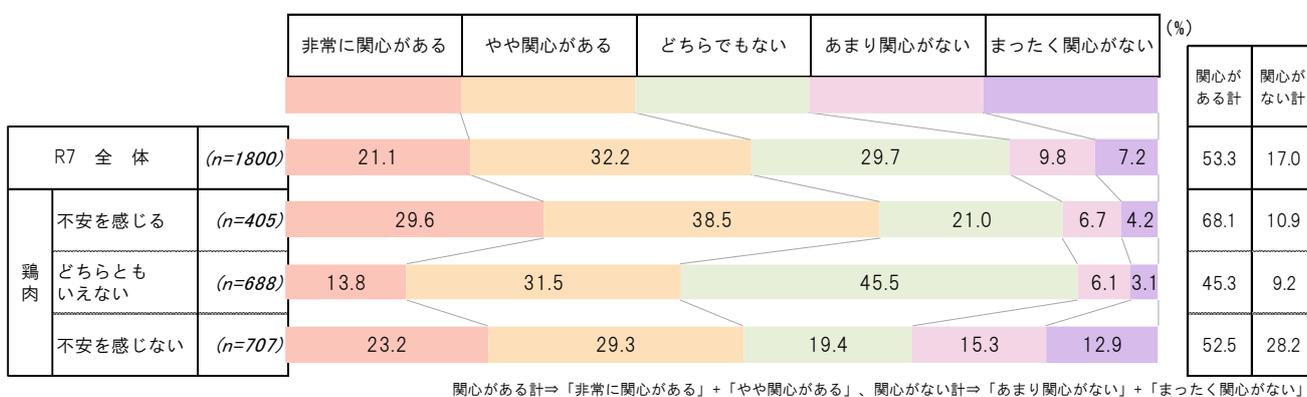
食肉に感じる不安度(Q19)別に、家畜伝染病（豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q20）を見ると、いずれの家畜伝染病に関しても「不安を感じる層」ほど関心が高く、「どちらともいえない層」で関心が低い。



図表 17 豚肉への不安度別 豚熱への関心度



図表 18 豚肉への不安度別 アフリカ豚熱への関心度



図表 19 鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの関心度

3) 家畜伝染病（豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安

（Q21／3 つまでの複数回答）

：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析

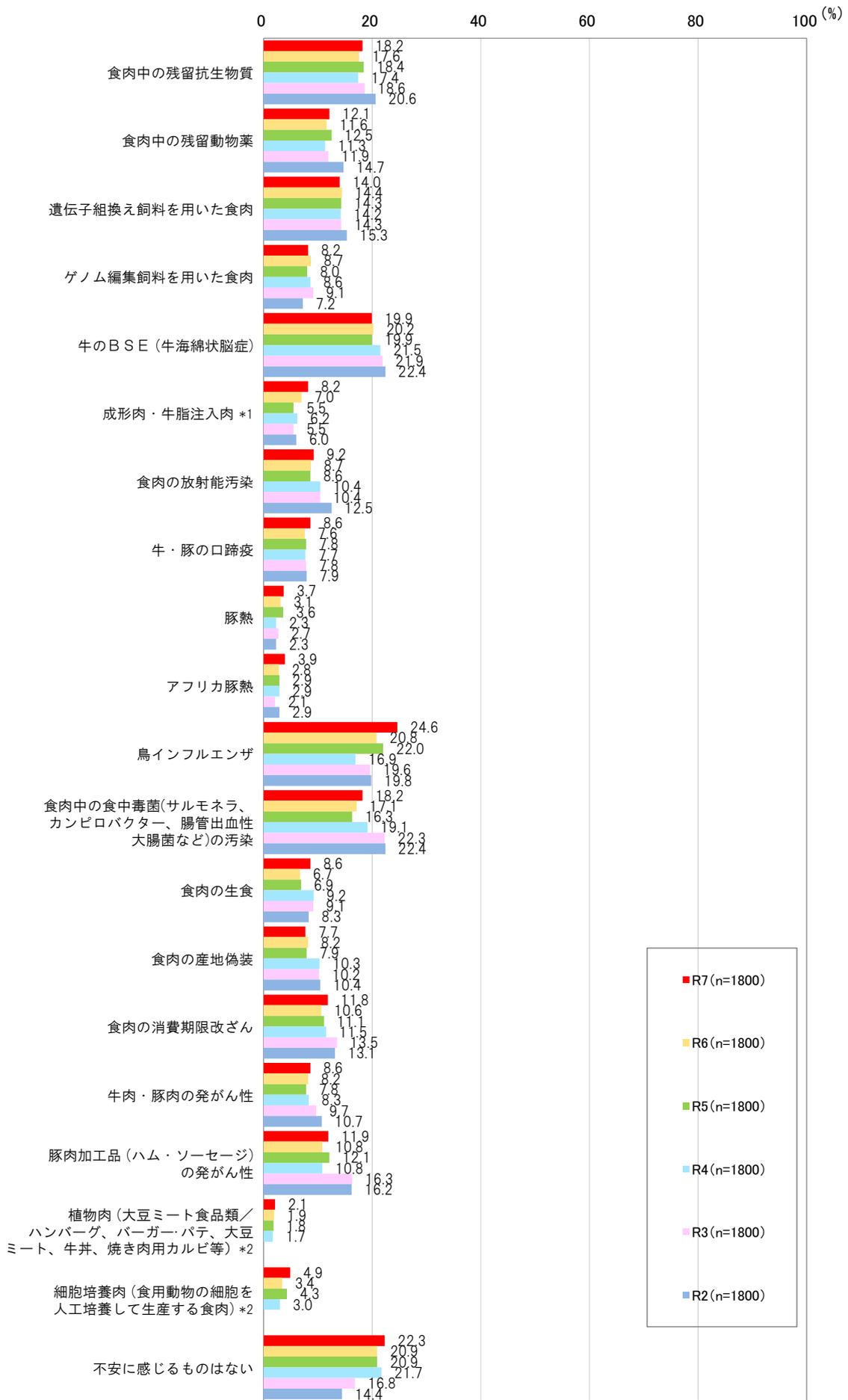
食肉の安全性の問題について不安を感じるものを3つまでの複数回答で聞いたところ（Q21）、「鳥インフルエンザ」が24.6%で最も高く、次いで「牛のBSE（牛海綿状脳症）」が19.9%、「食肉中の残留抗生物質」及び「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」がいずれも18.2%の順で高い。

「豚熱」は3.7%、「アフリカ豚熱」は3.9%と不安度は高くない。

「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は2.1%、「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は4.9%といずれも不安度は高くないが、「植物肉」よりも「細胞培養肉」の方が不安度はやや高い。

「不安に感じるものはない」は22.3%と多い。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。



*1 令和5年度選択肢「成形肉(インジェクション)」より変更

*2 令和4年度より新規項目

図表 20 食肉の安全性について不安を感じる項目

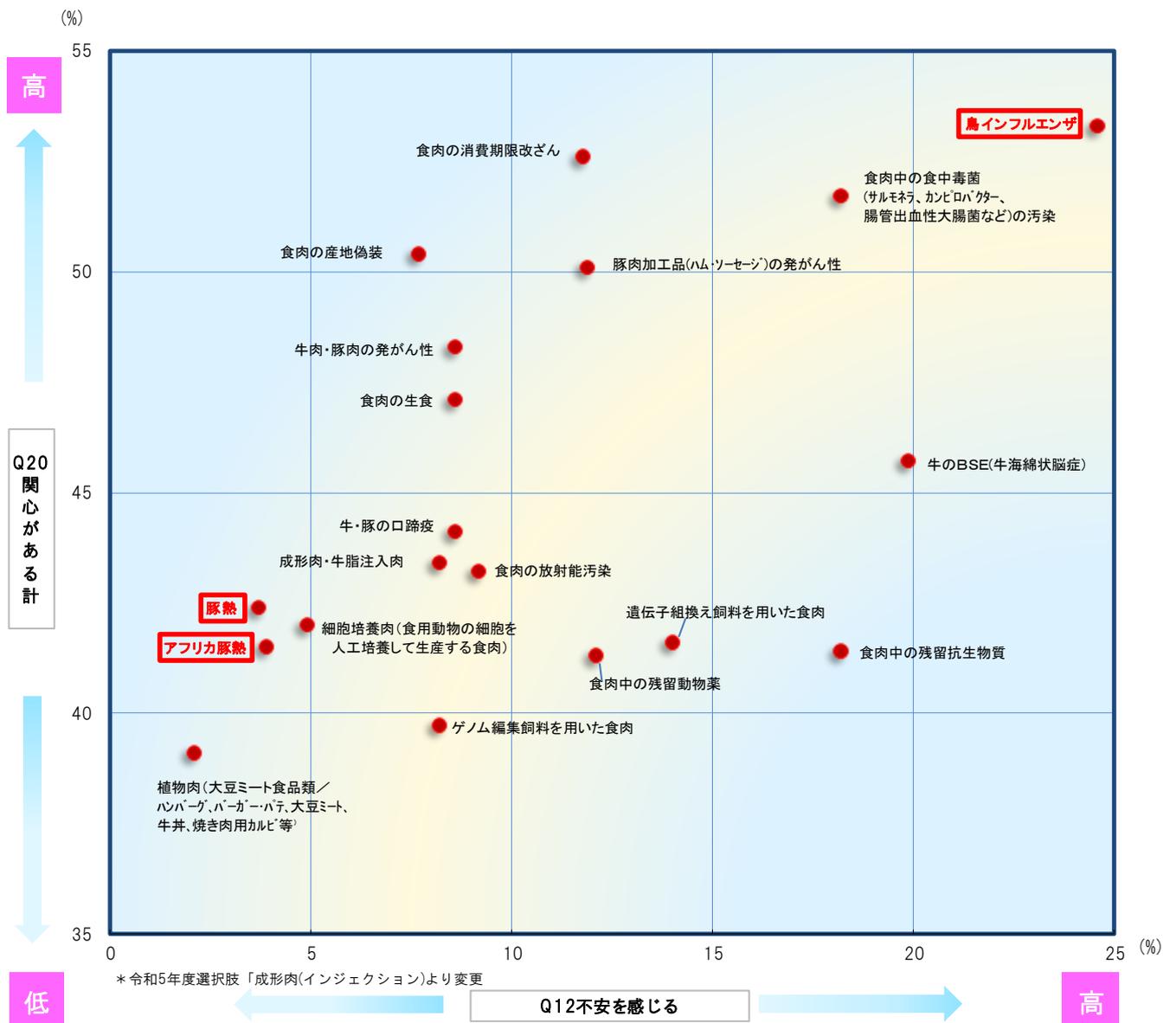
食肉の安全性の問題についての関心度（非常に関心がある＋やや関心があるの比率）を縦軸、不安度（3つまでの複数回答）を横軸に、プロット図にまとめ、食肉の安全性の問題における家畜伝染病（豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）のポジションを見た。

「鳥インフルエンザ」は、関心度・不安度ともに最も高い位置にある。

次いで、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が関心度・不安度ともに高い位置にある。

「豚熱」「アフリカ豚熱」は、関心度・不安度ともに、低い位置にある。

「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、牛丼、焼き肉用カルビ等）」「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」も、関心度・不安度ともに低い位置にある。



※Q20 関心がある計は、Q20 で「非常に関心がある」、「やや関心がある」のいずれかに回答した者の割合（%）の合計である。

図表 21 食肉の安全性の問題に関する 21 項目に「不安を感じる」回答者割合と「関心がある」回答者割合の散布図

4) 家畜伝染病（豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解 （Q23～Q25／複数回答）

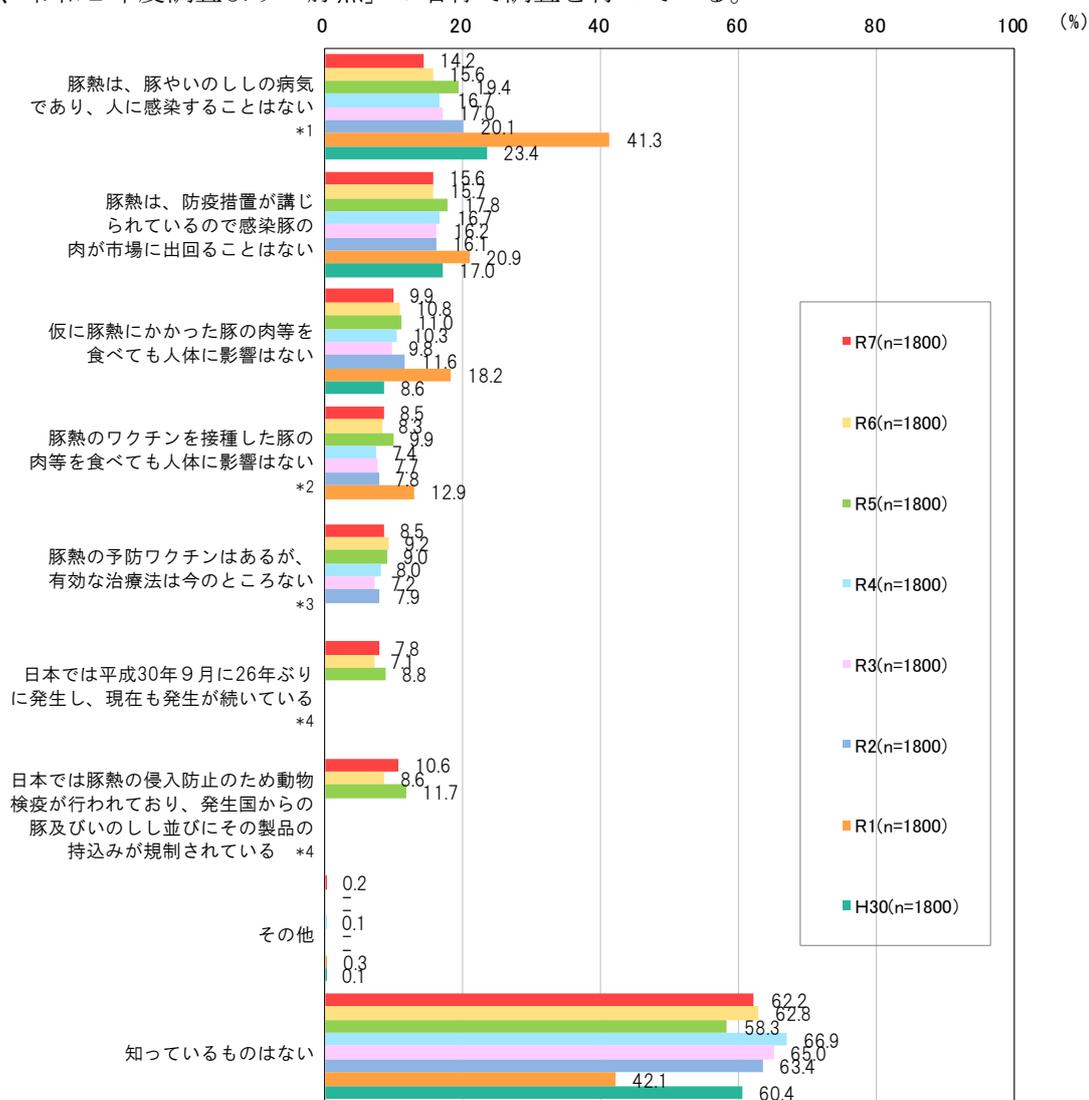
：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析

豚熱への認知・理解

豚熱への認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q23）、「知っているものはない」が62.2%で最も多く、次いで「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることにはない」が15.6%、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することにはない」が14.2%、「日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が10.6%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が9.9%の順となっている。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。

※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。



*1 令和4年度選択肢「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することにはない」より変更

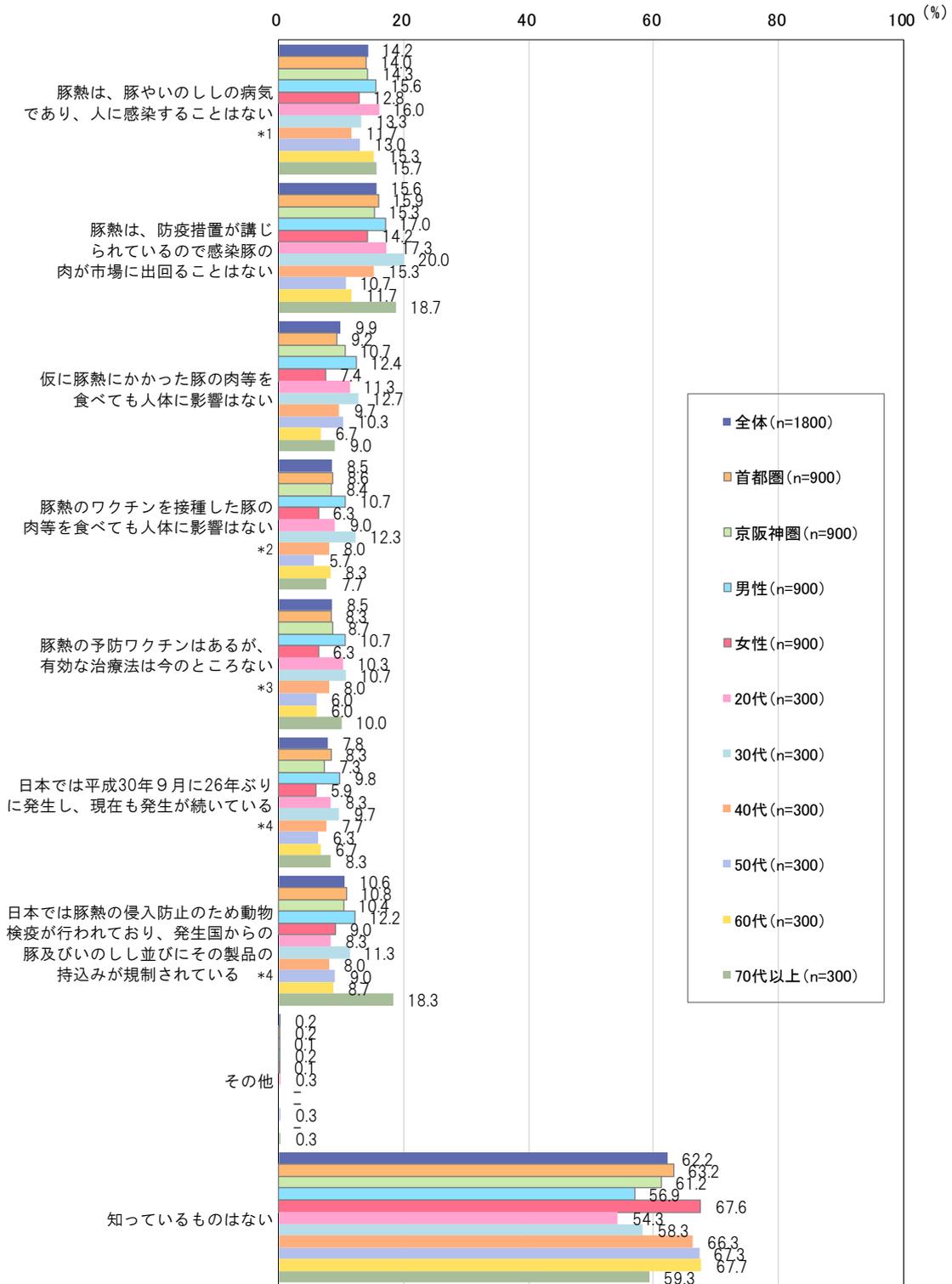
*2 令和元年度より新規項目 *3 令和2年度より新規項目 *4 令和5年度より新規項目

*それぞれ選択肢の「豚熱」は「CSF」より変更

図表 22 豚熱への認知・理解（経年変化）

豚熱への認知・理解（Q23）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が67.6%と多い。

年代別に見ると、70代以上では、「日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が18.3%と多くなっている。



*1 令和4年度選択肢「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更

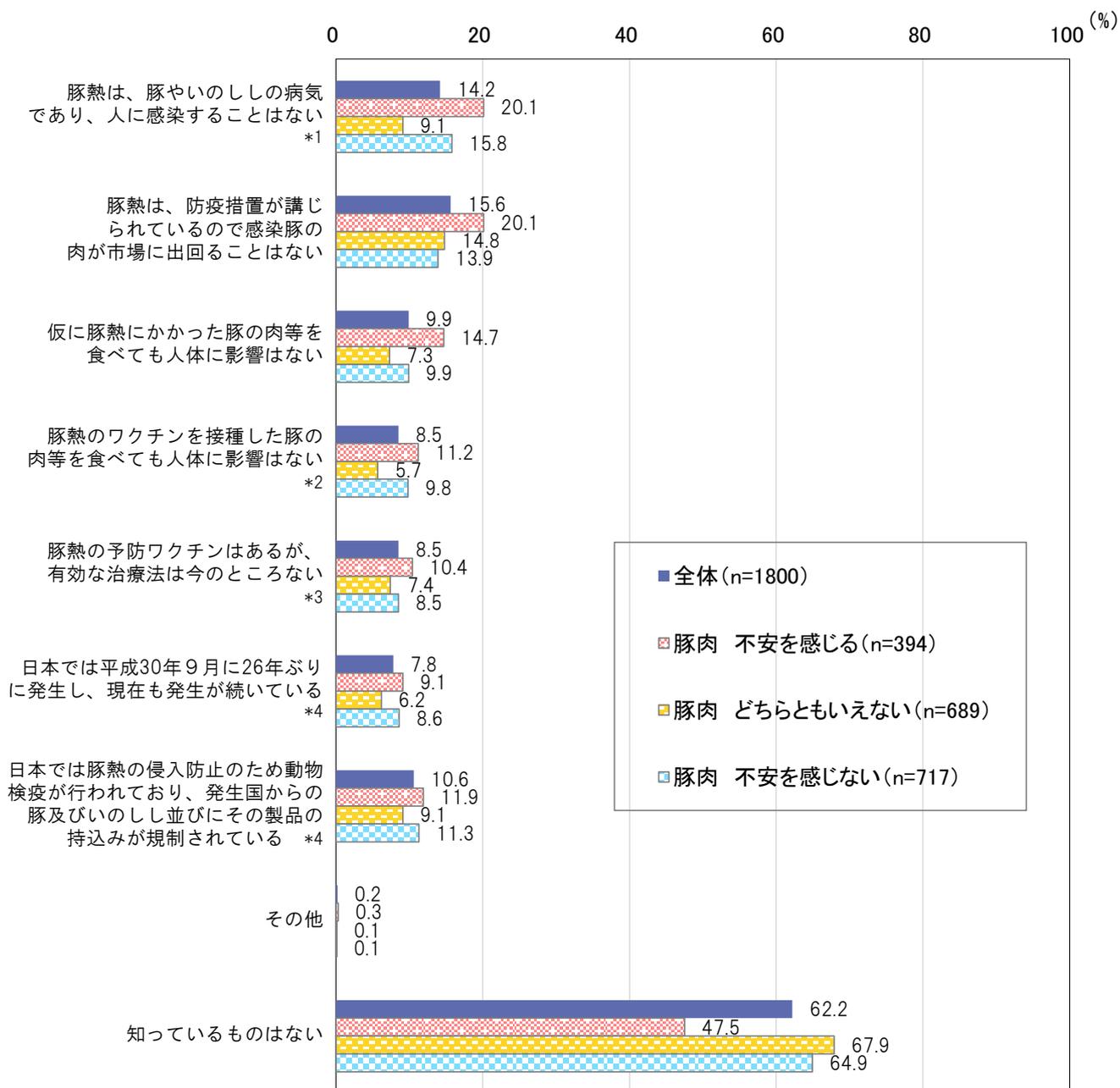
*2 令和元年度より新規項目 *3 令和2年度より新規項目 *4 令和5年度より新規項目

*それぞれ選択肢の「豚熱」は「CSF」より変更

図表 23 エリア・性・年代別 豚熱への認知・理解

豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」は、「不安を感じない層」より「不安を感じる層」の方が多くなっている。また、「豚肉に不安を感じる層」は、「知っているものはない」が47.5%と少なく、豚熱についてある程度の理解をした上で不安を感じている消費者であると考えられる。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で67.9%と多い。



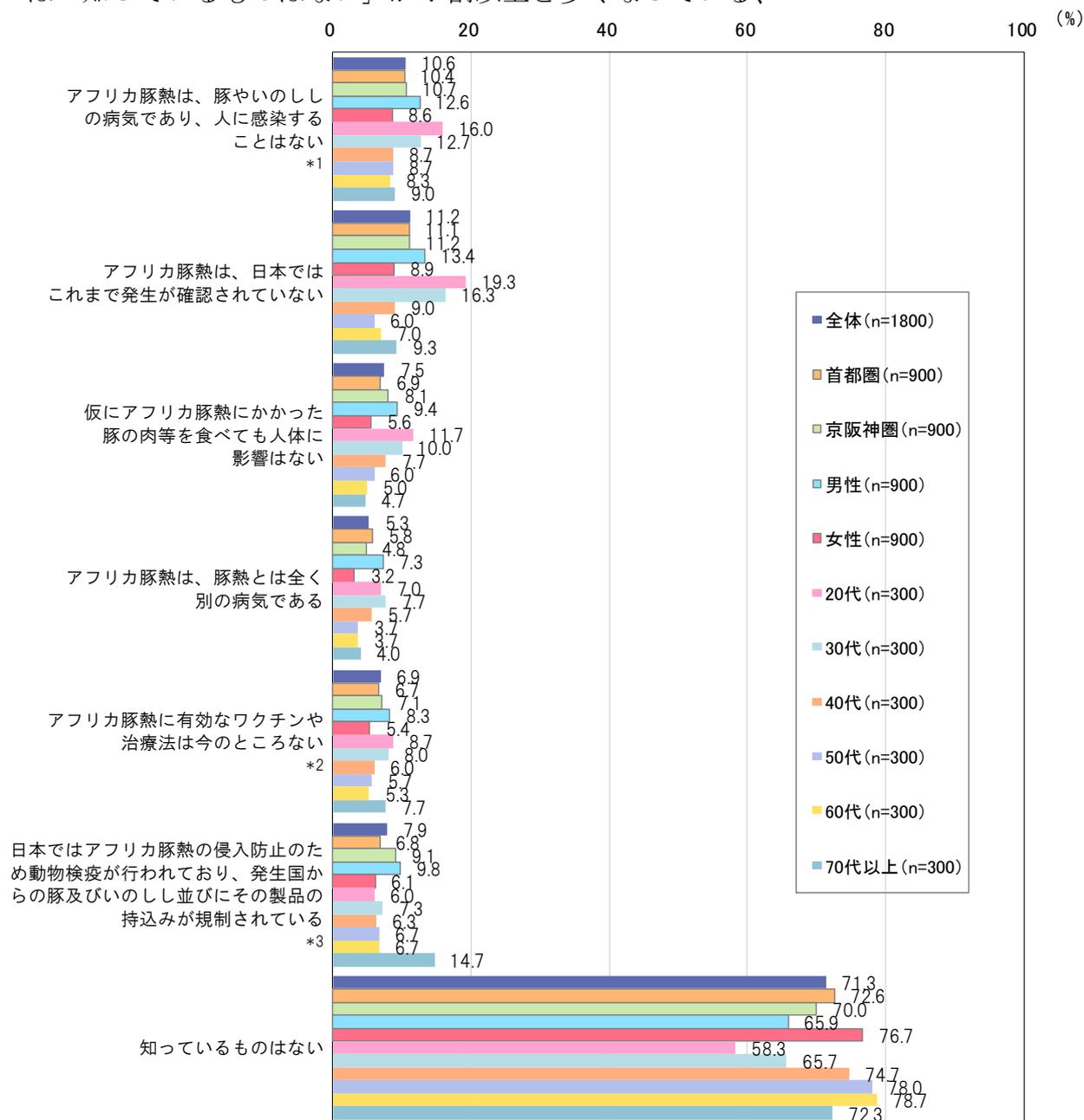
*1 令和4年度選択肢「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更
 *2 令和元年度より新規項目 *3 令和2年度より新規項目 *4 令和5年度より新規項目
 *それぞれ選択肢の「豚熱」は「CSF」より変更

図表 24 食肉・豚肉への不安度別 豚熱への認知・理解

アフリカ豚熱への認知・理解（Q24）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が76.7%と多い。

年代別に見ると、「日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」は70代で14.7%と多い。一方、20代・30代では、「アフリカ豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」、
「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」が1割以上と多くなっている。40代以上では「知っているものはない」が7割以上と多くなっている、



*1 令和4年度選択肢「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更

*2 令和2年度より新規項目

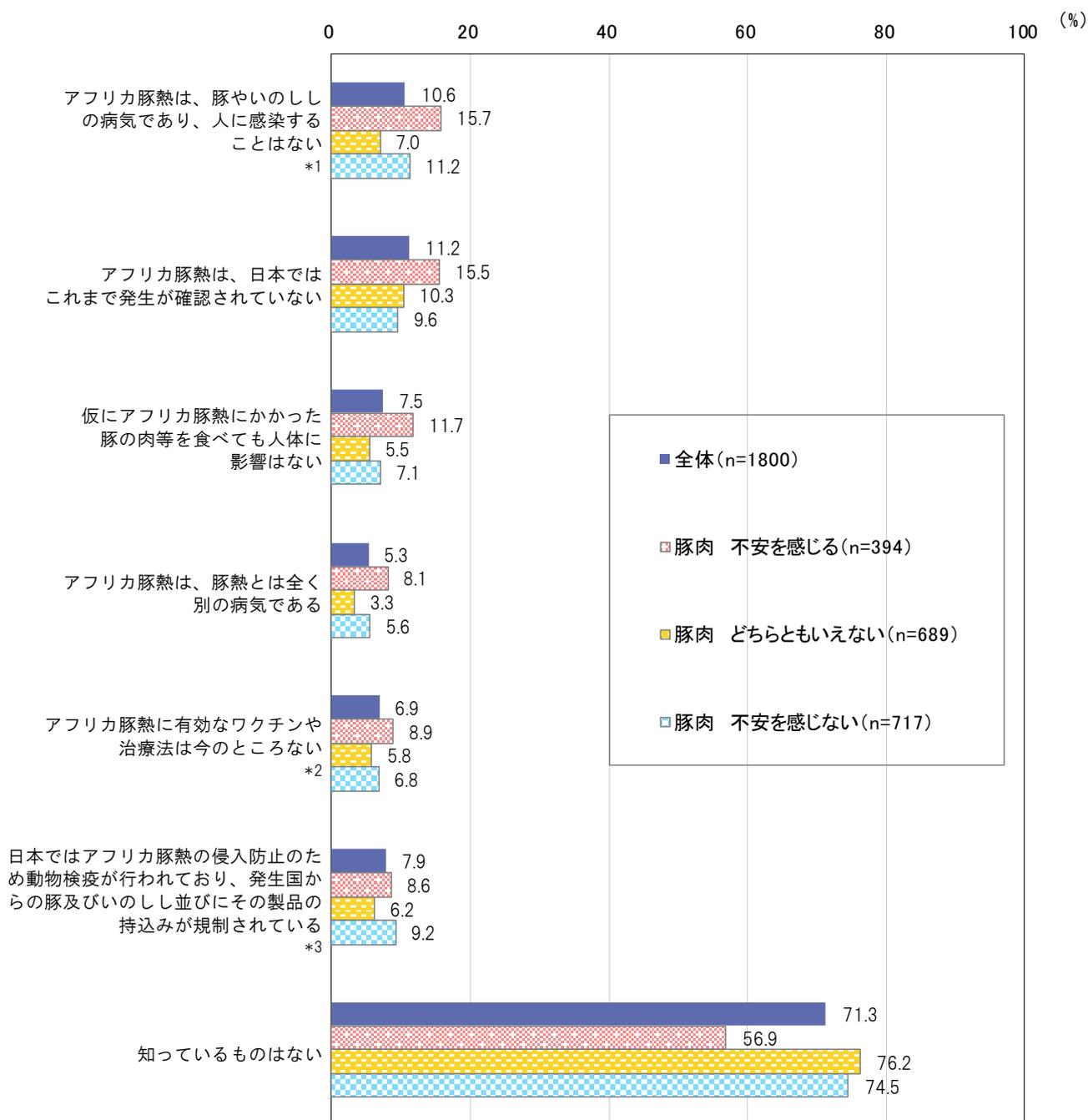
*3 令和5年度より新規項目

*それぞれ選択肢の「アフリカ豚熱」は「ASF」より変更

図表 26 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への認知・理解

アフリカ豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」、「仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」は、「不安を感じない層」より「不安を感じる層」の方が多くなっている。また、「豚肉に不安を感じる層」は「知っているものはない」が56.9%と少なく、アフリカ豚熱についてある程度理解をした上で不安を感じている消費者であると考えられる。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で76.2%と多い。



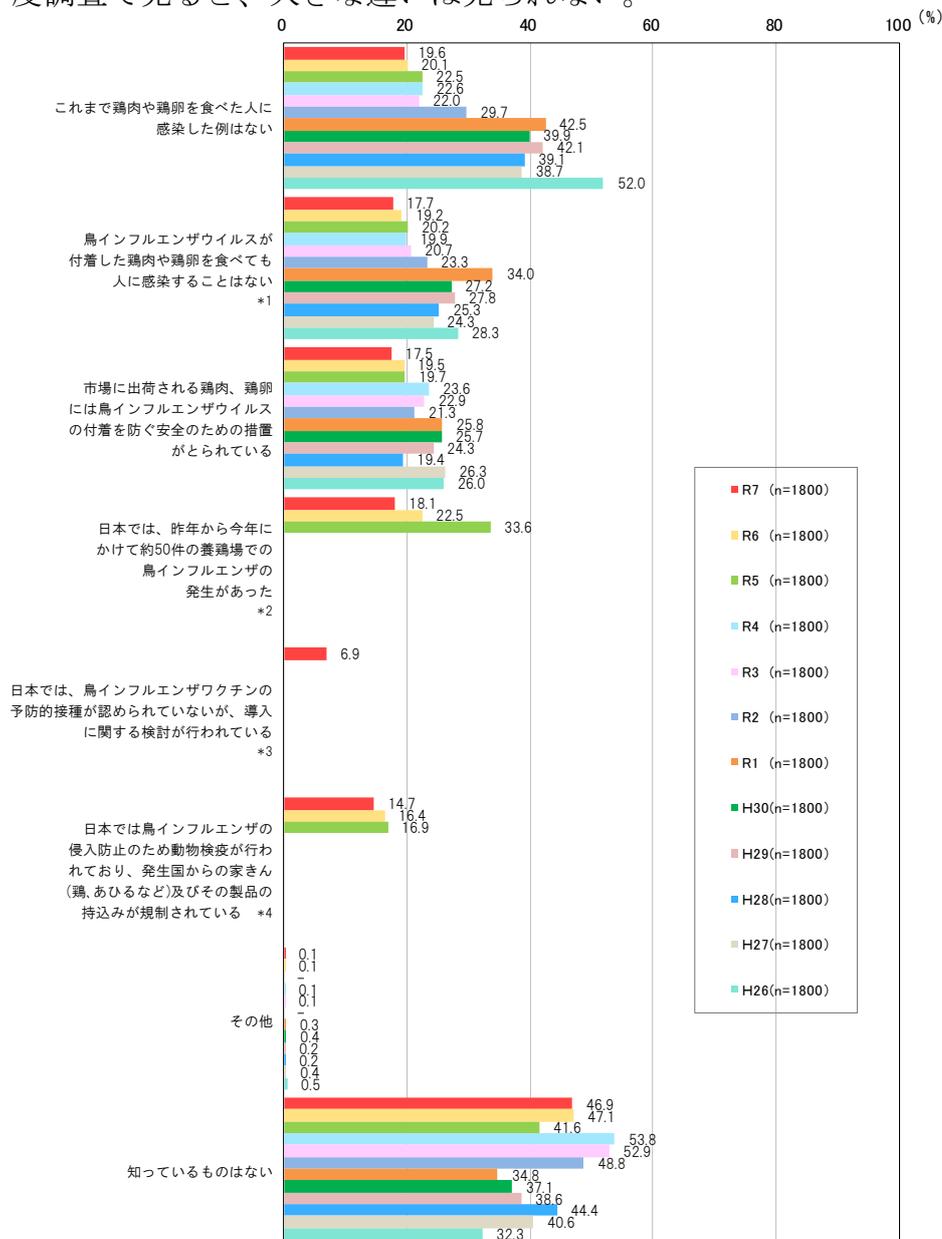
*1 令和4年度選択肢「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更
 *2 令和2年度より新規項目
 *3 令和5年度より新規項目
 それぞれ選択肢の「アフリカ豚熱」は「ASF」より変更

図表 27 食肉・豚肉への不安度 アフリカ豚熱への認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q25）、「知っているものはない」が46.9%で最も多く、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」が19.6%、「日本では、昨年から今年にかけて約50件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった」が18.1%、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」が17.7%、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」が17.5%、「日本では鳥インフルエンザの侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの家きん（鶏、あひるなど）及びその製品の持込みが規制されている」が14.7%の順となっている。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。



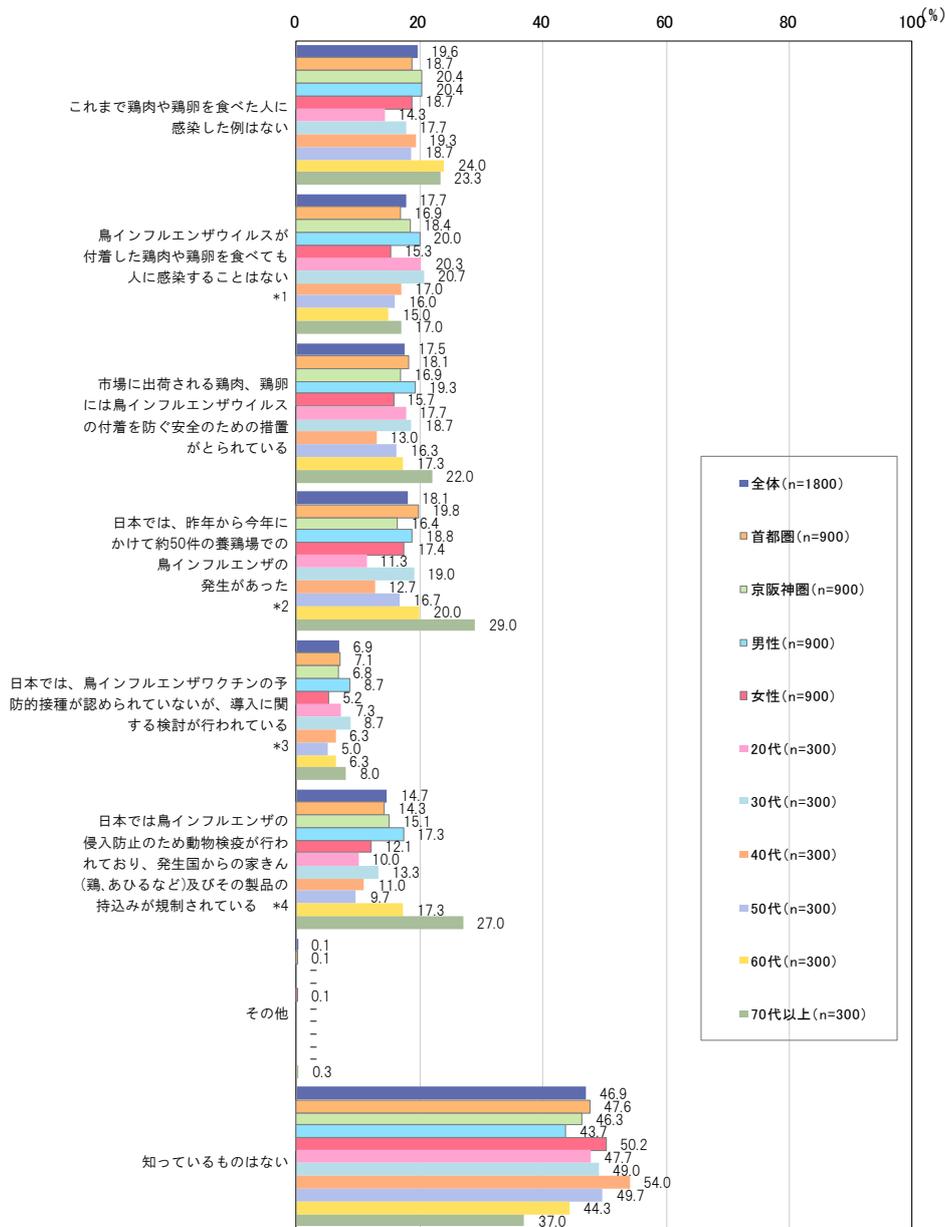
*1 令和4年度選択肢「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」より変更 *2 令和5年度よりの新規項目、令和6年度選択肢「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」より変更、令和7年度より「日本では、昨年から今年にかけて約10件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった」より変更 *3 令和7年度よりの新規項目 *4 令和5年度よりの新規項目

図表 28 鳥インフルエンザへの認知・理解（経年変化）

鳥インフルエンザへの認知・理解（Q25）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」は男性が20.0%、女性が15.3%と女性より男性の方が多く、それ以外の項目も女性より男性の方が多くなっている。女性は「知っているものはない」が50.2%と半数以上を占める。

年代別に見ると、70代以上では「日本では、昨年から今年にかけて約50件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった」、「日本では鳥インフルエンザの侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの家きん（鶏、あひるなど）及びその製品の持込みが規制されている」が多く、他の年代に比べ認知・理解度が高い。40代では、「知っているものはない」が54.0%と多くなっている。

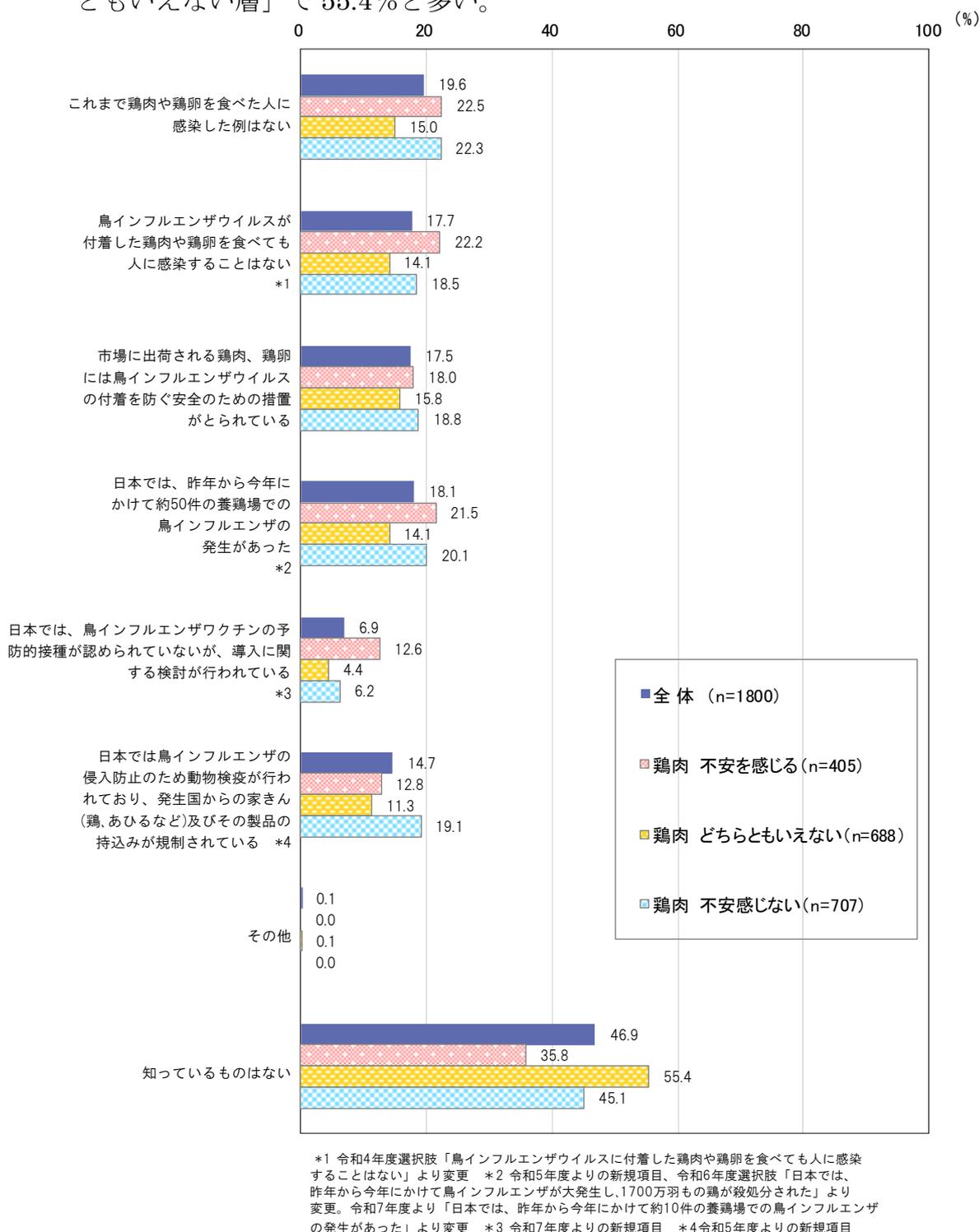


*1 令和4年度選択肢「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」より変更 *2 令和5年度よりの新規項目、令和6年度選択肢「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が致処分された」より変更。令和7年度より「日本では、昨年から今年にかけて約10件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった」より変更 *3 令和7年度よりの新規項目 *4 令和5年度よりの新規項目

図表 29 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの認知・理解

鶏肉への不安度別に見ると、「日本では、鳥インフルエンザワクチンの予防的接種が認められていないが、導入に関する検討が行われている」は、「不安を感じない層」6.2%より「不安を感じる層」12.6%の方が多い。一方、「日本では鳥インフルエンザの侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの家きん（鶏、あひるなど）及びその製品の持込みが規制されている」は、「不安を感じる層」12.8%より「不安を感じない層」19.1%の方が多い。

「知っているものはない」は、鶏肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で55.4%と多い。



図表 30 食肉・鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの認知・理解

2.2 「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識の考察

- 脂肪交雑基準（B.M.S.）No.1～No.10の各画像を提示して、「赤身肉」、「霜降り肉」と考える国産牛肉を尋ねた結果、「赤身肉」と回答した割合は、B.M.S.No.1は100.0%、B.M.S.No.2までが69.1%、B.M.S.No.3までが46.7%、B.M.S.No.4までが29.2%。一方、「霜降り肉」と回答した割合は、B.M.S.No.10は100.0%、B.M.S.No.9までが81.5%、B.M.S.No.8までが75.8%、B.M.S.No.7までが66.7%、B.M.S.No.6までが58.3%、B.M.S.No.5までが48.1%、B.M.S.No.4までが36.3%。
- 「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」は、B.M.S.No.1～B.M.S.No.4の合計が45.4%となる。脂肪交雑が標準以下の国産牛肉を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としている人が約4割程度いる。一方、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」では、脂肪交雑がかなり多いB.M.S.No.10から、脂肪交雑がほとんどないB.M.S.No.1まで、好み分散している。
- 国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合に購入したい牛肉は、「霜降り肉」が57.2%、「赤身肉」が42.8%で、「霜降り肉」の方が14.4ポイント高い。
- 国産牛肉の「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度は、「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が40.7%で最も多い。一方、「赤身肉」より、安価でも、「霜降り肉」を購入しない（値段に関係なく、「赤身肉」を購入する）」が30.3%。
- 国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」と「霜降り肉」を選択する頻度は、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」が30.6%と最も高く、「毎回、「赤身肉」を購入する」が20.4%で続き、「毎回+普段は「赤身肉」を購入する計」が51.0%と半数以上を占める。
- 「赤身肉」に期待する特徴は、「満足感」が37.6%で最も多く、「安価」が35.3%、「ヘルシーさ」が28.2%、「歯ごたえ」が27.2%、「弾力」が19.1%の順。一方、「霜降り肉」に期待する特徴は、「やわらかさ」が37.2%で最も多く、「ジューシー」が33.4%、「とろける食感」が32.2%、「満足感」が31.1%、「高級感」が28.1%の順。
- 「赤身肉」の調理メニューは、「焼き肉」が51.8%で最も多く、「ステーキ」33.8%、「ビーフカレー」31.6%、「ビーフシチュー」28.3%、「牛丼」26.1%、「ローストビーフ」25.6%、「ハヤシライス・ハッシュドビーフ」25.0%、「すき焼き」22.3%、「ビーフカツ」20.1%の順で、調理メニューが多岐に渡っている。一方、「霜降り肉」の調理メニューは、「ステーキ」が44.6%で最も多く、「すき焼き」41.8%、「焼き肉」38.8%、「しゃぶしゃぶ」30.2%の順で、それ以外の調理メニューは11%以下と少なくなっており、ハレの日のご馳走メニューに集中。
- 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向は、「もともと「霜降り肉」も「赤身肉」も同じ程度好き（好みは変わらない）」が39.1%で最も多く、「赤身肉」派が36.1%。一方、「霜降り肉」派が24.9%。
- 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化は、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」が48.3%と最も多く半数。

2.2では、「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識を探ることを目的とした。

1) 画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義 (Q29/複数回答) :
 エリア・性・年代別分析

画像(*)を提示して、「赤身肉」と考える国産牛肉を複数回答で全て選択してもらったところ(Q29(1))、「画像1(B.M.S.No.1)写真提示なし」は100.0%と全員が選択した。「画像2(B.M.S.No.2)写真提示なし」までが69.1%、「画像3(B.M.S.No.3)」までが46.7%、「画像4(B.M.S.No.4)」までが29.2%である。

次に、画像(*)を提示して、「霜降り肉」と考える国産牛肉を複数回答で全て選択してもらったところ(Q29(2))、「画像10(B.M.S.No.10)」は100.0%と全員が選択した。「画像9(B.M.S.No.9)」までが81.5%、「画像8(B.M.S.No.8)」までが75.8%、「画像7(B.M.S.No.7)」までが66.7%、「画像6(B.M.S.No.6)」までが58.3%、「画像5(B.M.S.No.5)」までが48.1%、「画像4(B.M.S.No.4)」までが36.3%である。

「画像4(B.M.S.No.4)」については、「赤身肉」と考える人が29.2%で、「霜降り肉」と考える人が36.3%おり、判断が拮抗している。

【赤身肉】

エリア別、性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、70代以上では「画像5(B.M.S.No.5)」～「画像6(B.M.S.No.6)」を「赤身肉」と考える割合が他の年代より少ない。

【霜降り肉】

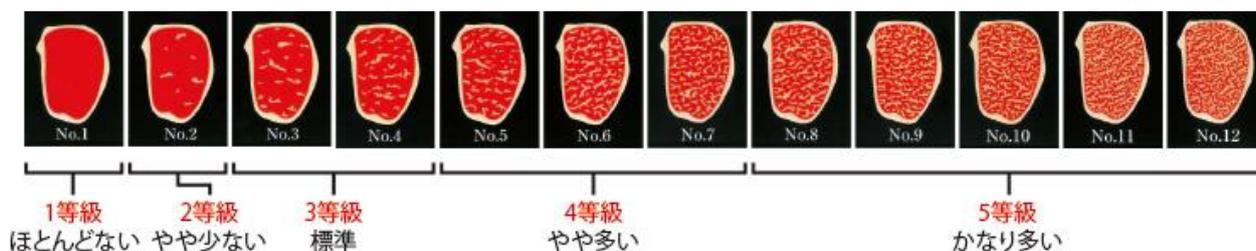
エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、男性の方が「画像9(B.M.S.No.9)」～「画像2(B.M.S.No.2)」のいずれでも「霜降り肉」と考える割合が女性より多い。

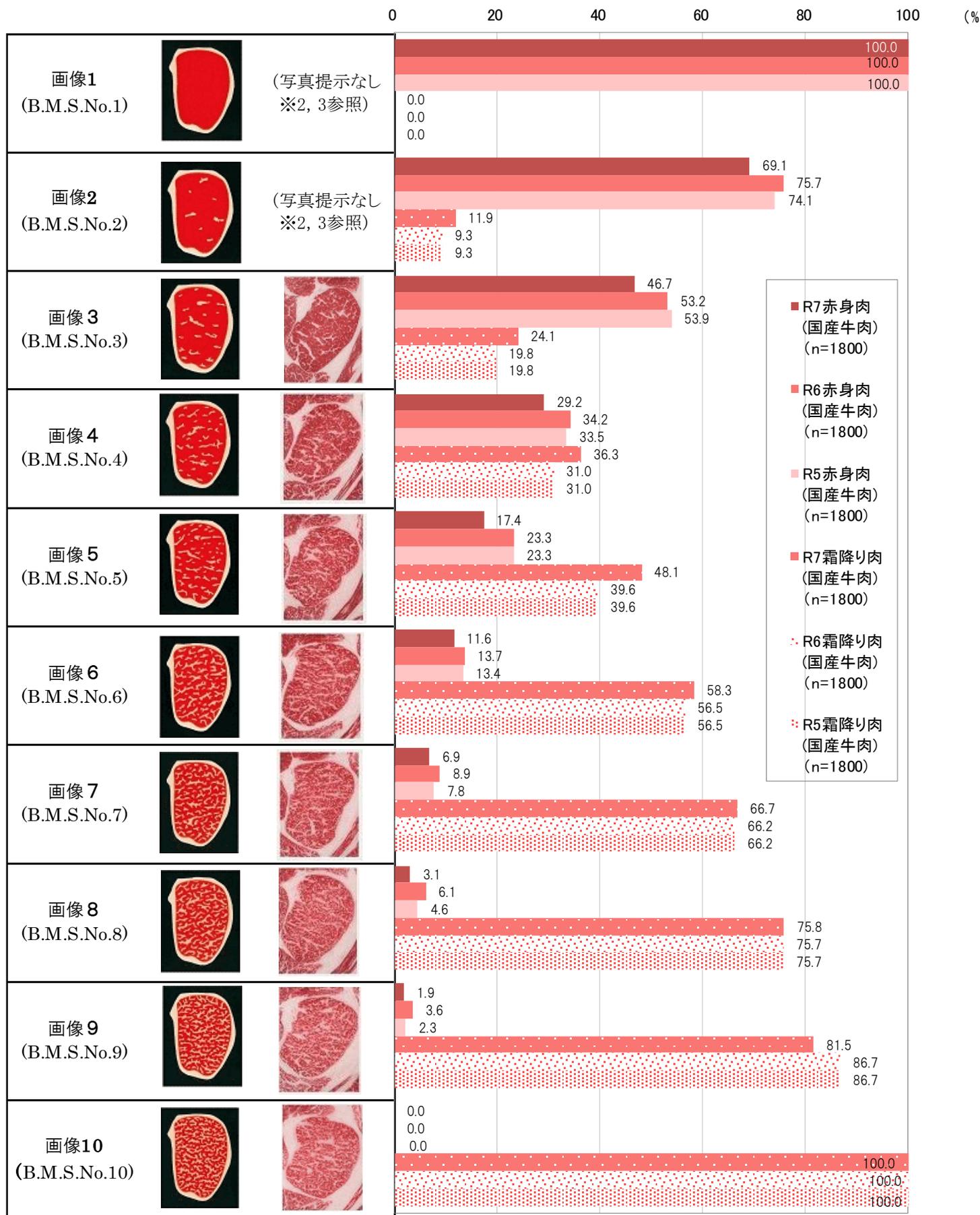
年代別に見ると、20代では「画像5(B.M.S.No.5)」～「画像2(B.M.S.No.2)」を「霜降り肉」として選択する割合が多くなっている。

*【画像について】は以下の説明を提示した。
 ※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。
 ※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。
 ※3：画像1(B.M.S.No.1)は脂肪交雑の認められないもの、画像2(B.M.S.No.2)は画像3(B.M.S.No.3)に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。
 ※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準(B.M.S.)によって評価し、等級を決定します。

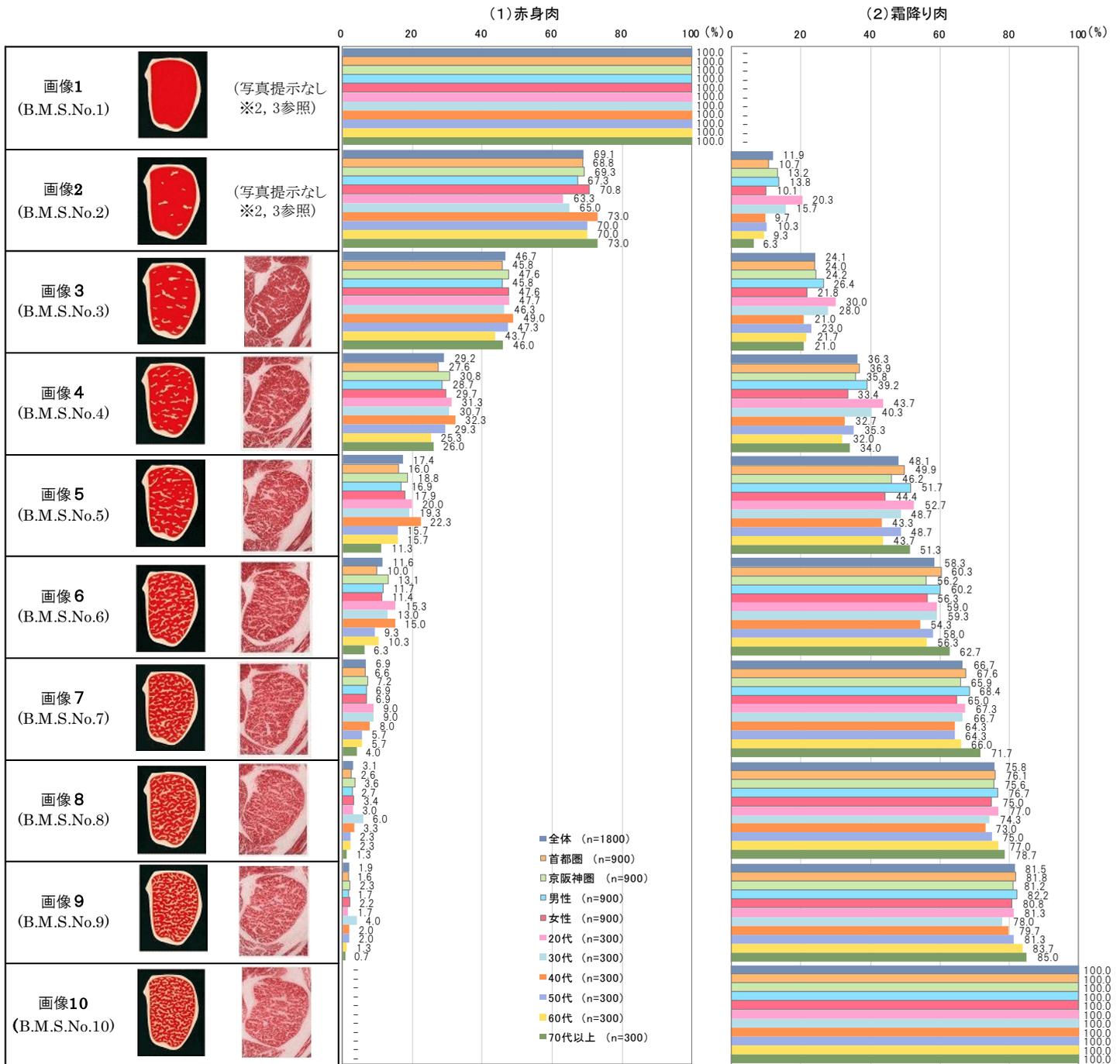
(参考) 肉質等級について (出展 農林水産省HP https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1608/spe2_01.html)
 脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準(B.M.S.)によって12段階で評価し、等級を決定します。



図表 31 参考資料 脂肪交雑について



図表 32 画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義
 (「赤身肉」または「霜降り肉」と考える人の割合)



図表 33 エリア・性・年代別 画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義

2) 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」(Q29)：エリア・性・年代別分析

画像(*)を提示して、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」に近い画像を1つだけ選択してもらったところ(Q29(3))、「画像3(B.M.S.No.3)」が16.3%で最も多く、次いで、「画像1(B.M.S.No.1)写真提示なし」が11.0%、「画像4(B.M.S.No.4)」が9.7%、「画像2(B.M.S.No.2)写真提示なし」が8.4%、「画像5(B.M.S.No.5)」が8.1%、「画像6(B.M.S.No.6)」が5.9%の順が多い。「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」についてのみ、「国産牛肉は購入していない・わからない」の選択肢を設けたが、23.7%であった。

次に、画像(*)を提示して、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」に近い画像を1つだけ選択してもらったところ(Q29(4))、「画像3(B.M.S.No.3)」が15.6%で最も多く、「画像10(B.M.S.No.10)」が14.3%、「画像1(B.M.S.No.1)写真提示なし」が13.8%、「画像4(B.M.S.No.4)」が11.2%、「画像6(B.M.S.No.6)」が10.3%の順が多い。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」は、「画像1(B.M.S.No.1)～画像4(B.M.S.No.4)※画像1・2(B.M.S.No.1・2)は写真提示なし」の合計が45.4%となる。脂肪交雑が標準以下の国産牛肉を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としている人が約4割程度いると考えられる。

一方、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」では、脂肪交雑がかなり多い「画像10(B.M.S.No.10)」から、脂肪交雑がほとんどない「画像1(B.M.S.No.1)写真提示なし」まで、好み分散していると考えられる。

【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「画像1(B.M.S.No.1)写真提示なし」は、20代・30代で多くなっている。

【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、70代以上は「画像1(B.M.S.No.1)写真提示なし」が他の年代より少なくなっている。

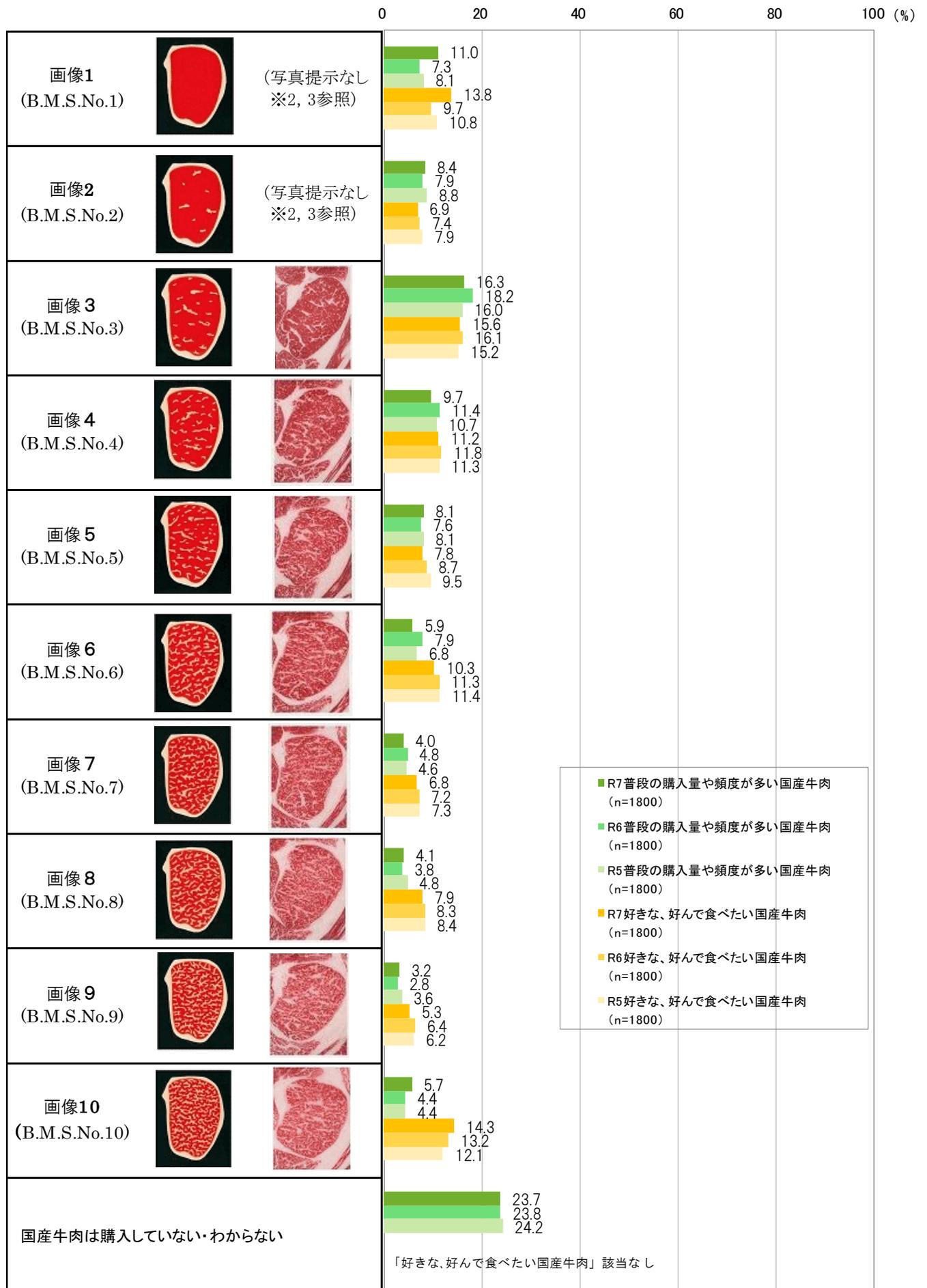
*【画像について】は以下の説明を提示した。

※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準(ビーフ・マーブリング・スタンダード)」です。

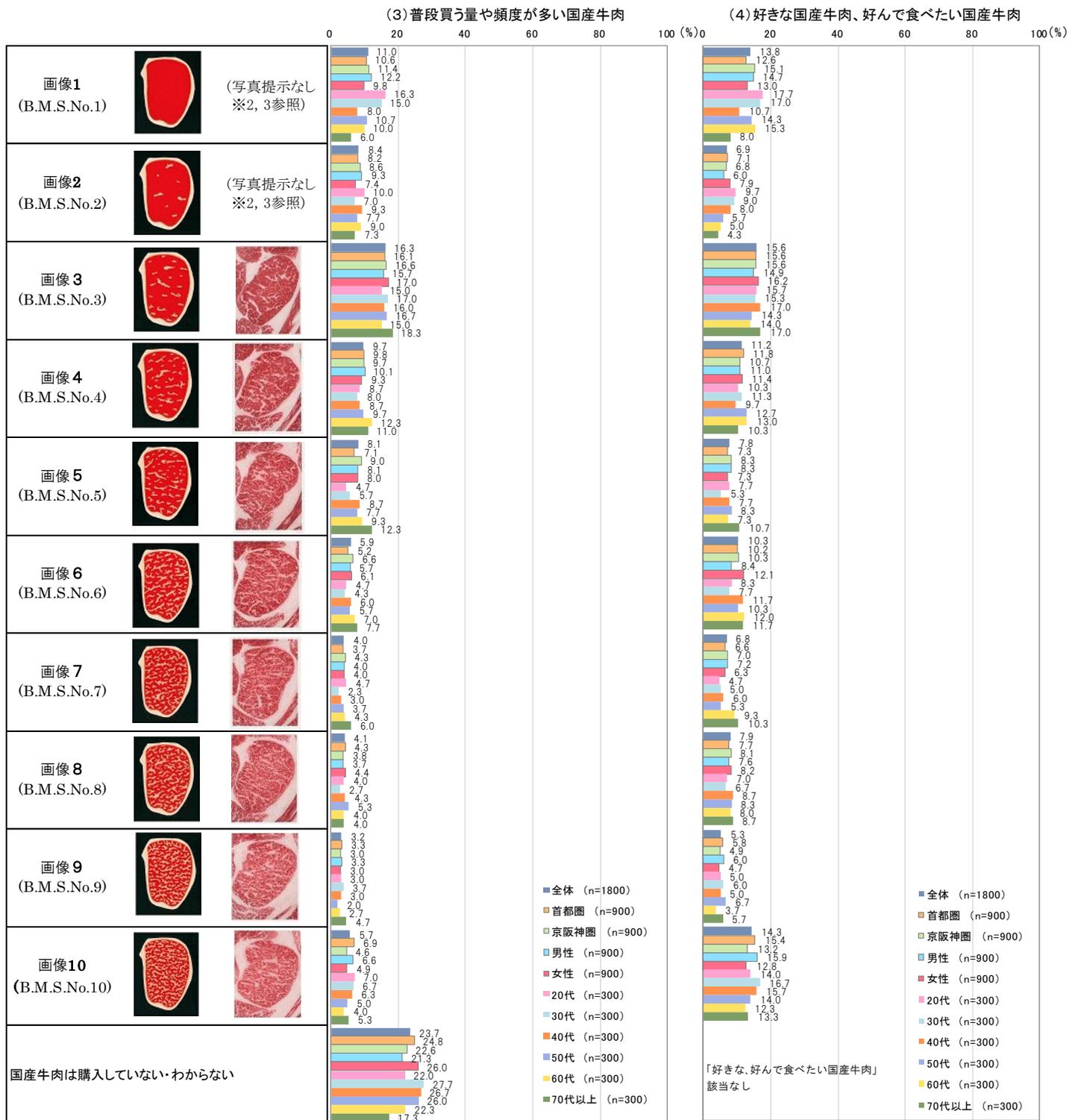
※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

※3：画像1(B.M.S.No.1)は脂肪交雑の認められないもの、画像2(B.M.S.No.2)は画像3(B.M.S.No.3)に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準(B.M.S.)によって評価し、等級を決定します。



図表 34 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」



図表 35 エリア・性・年代別 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

次頁の図表は、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」(Q29(3)1つ選択)について、Q29(1)で「赤身肉」と選択した画像を選択した場合は「赤身肉」、Q29(2)で「霜降り肉」と選択した画像を選択した場合を「霜降り肉」、「赤身肉」と「霜降り肉」のいずれにも選択しなかった画像を選択した場合を便宜上、「標準肉」として集計した結果である。

「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」についても、同様に集計した。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」については、「赤身肉」が37.4%、「霜降り肉」が26.4%、「標準肉」が12.6%の順であった。

※「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」についてのみ、「国産牛肉は購入していない・わからない」の選択肢を設けたが、23.7%であった。

一方、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」(Q29(4)1つ選択)については、「霜降り肉」が45.3%、「赤身肉」が40.8%、「標準肉」が13.8%の順であった。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としては、「霜降り肉」より「赤身肉」を選択している人がやや多いが、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」になると「霜降り肉」を選好する人の方が多くなる。

過年度調査で見ると、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」のいずれも、「赤身肉」の割合が増加している。

【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「霜降り肉」は男性が29.4%、女性が23.3%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「赤身肉」は20代で47.7%と多くなっている。

【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】

エリア別に見ると、「霜降り肉」は、首都圏が47.6%、京阪神圏が43.1%と、京阪神圏より首都圏の方が多い。

性別に見ると、「霜降り肉」は男性が48.7%、女性が42.0%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「赤身肉」は20代で50.3%、30代で46.7%と多くなっており、「霜降り肉」は70代以上で56.0%と多くなっている。

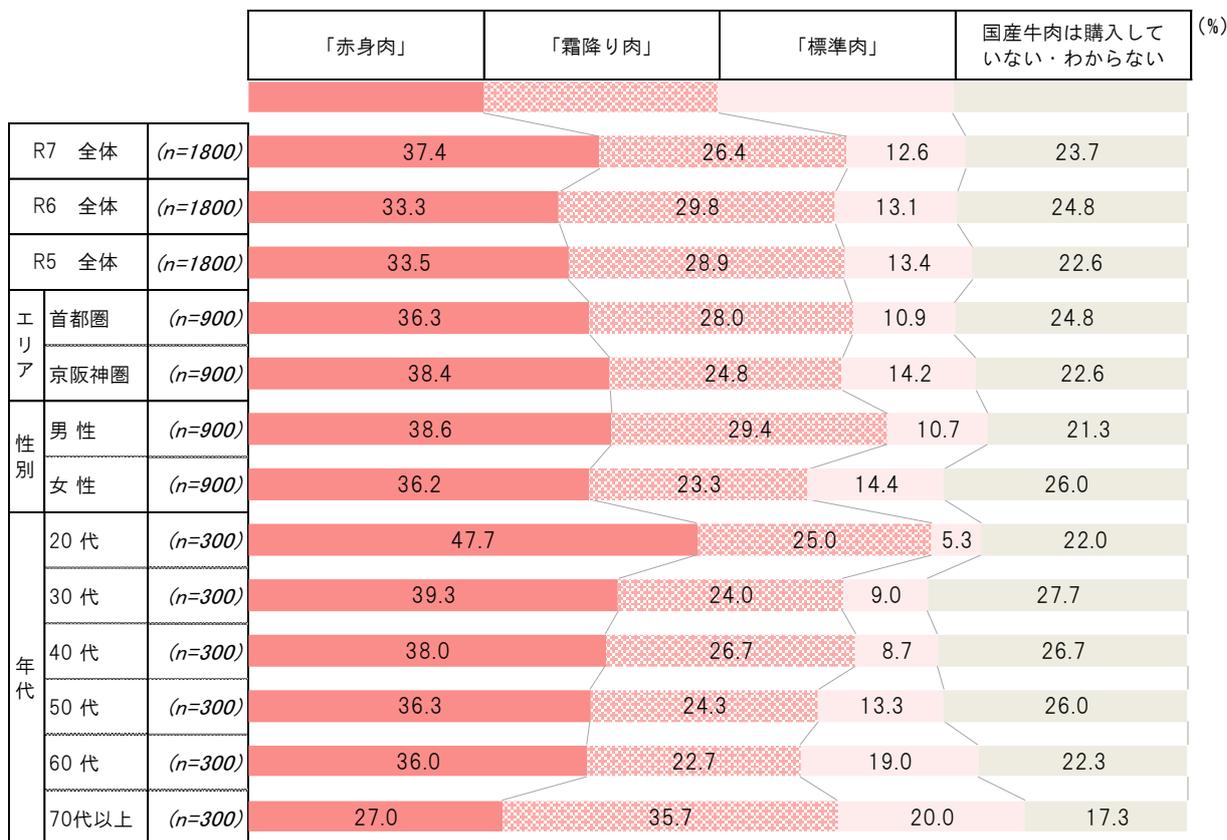
*【画像について】は以下の説明を提示した。

※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。

※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

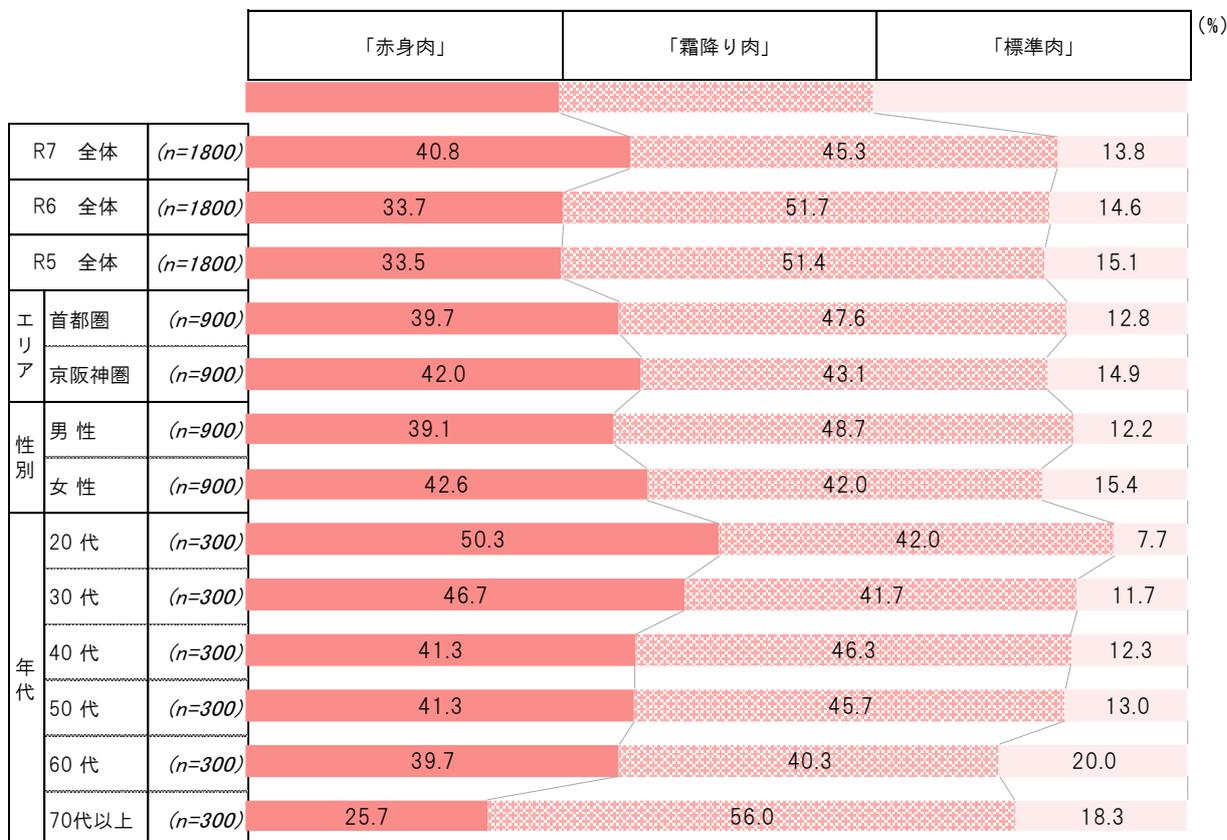
※3：画像1 (B.M.S. No.1) は脂肪交雑の認められないもの、画像2 (B.M.S. No.2) は画像3 (B.M.S. No.3) に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準 (B.M.S.) によって評価し、等級を決定します。



「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 36 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」



「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 37 画像から見た「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」別に、画像から見た「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」を見た。

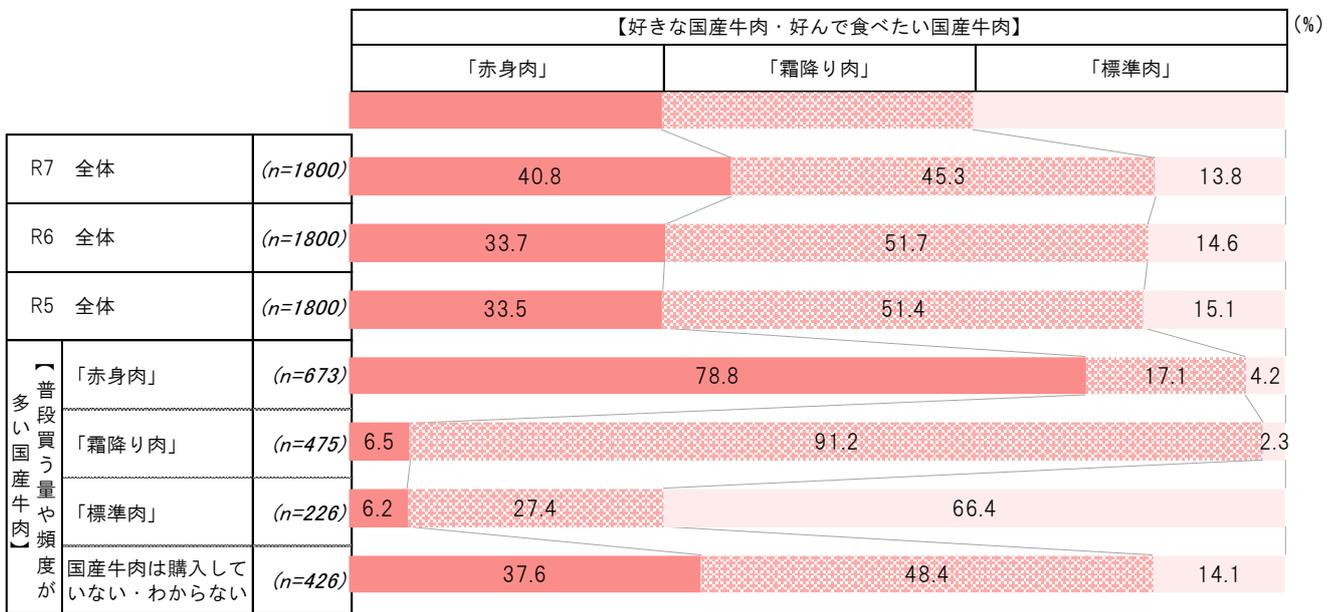
「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「赤身肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「赤身肉」が78.8%と最も多く、「霜降り肉」が17.1%、「標準肉」は4.2%である。

一方、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「霜降り肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「霜降り肉」が91.2%と最も多く、「赤身肉」は6.5%、「標準肉」が2.3%と少ない。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「標準肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「標準肉」が66.4%と最も多いが、「霜降り肉」も27.4%と4分の1以上を占めており、「赤身肉」は6.2%と少ない。

「国産牛肉は購入していない・わからない」人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「霜降り肉」が48.4%と約半数を占め、「赤身肉」が37.6%、「標準肉」が14.1%の順である。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「霜降り肉」を選択している人や「国産牛肉は購入していない・わからない」人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として「霜降り肉」を選好する人が多くなっている。



【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】
 「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択
 「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択
 「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択
 【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】
 「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
 「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
 「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 38 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」別
 画像から見た「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

3) 「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向 (Q30) :
エリア・性・年代別分析

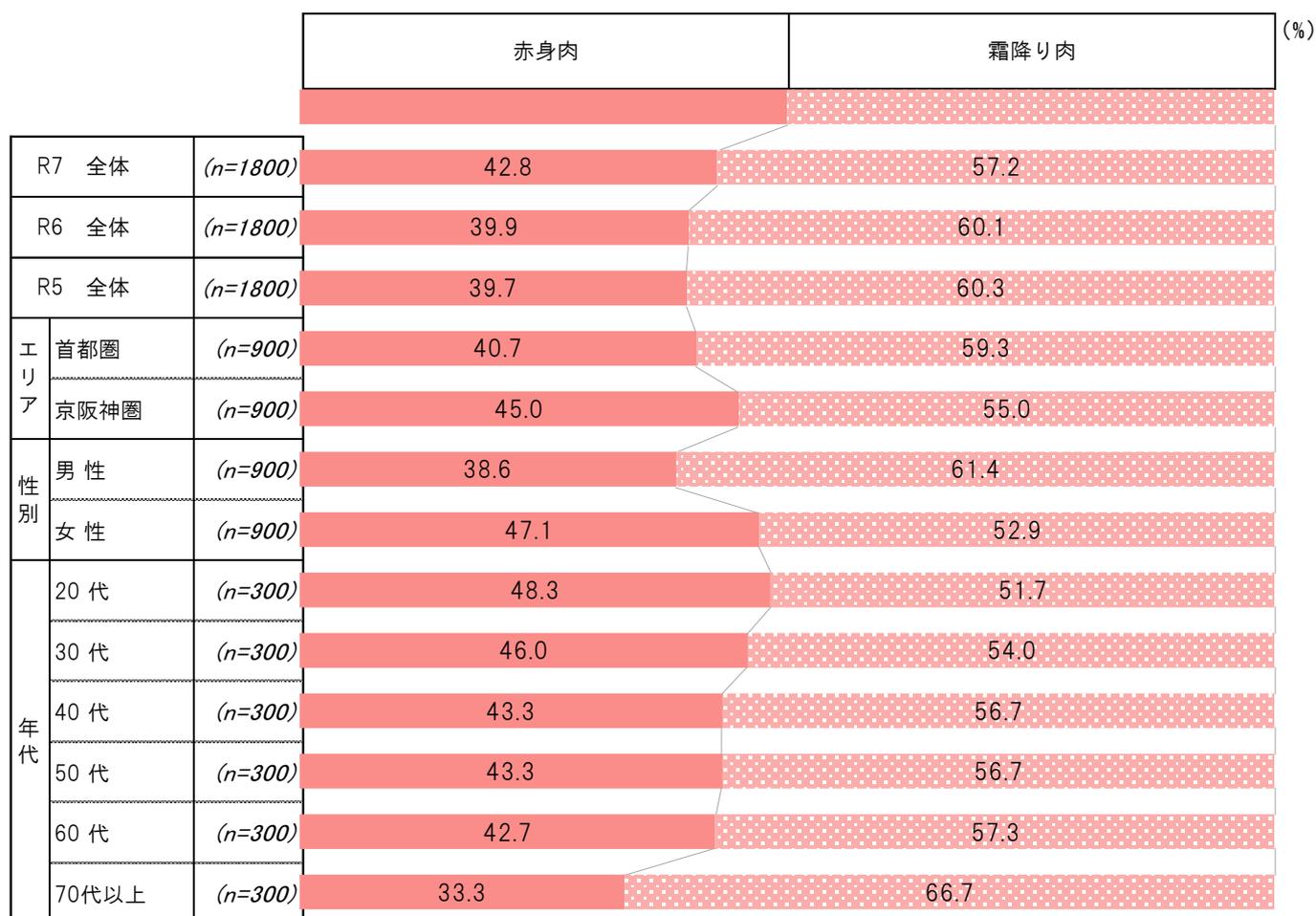
国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向 (Q30) は、「霜降り肉」が 57.2%、「赤身肉」が 42.8%で、「霜降り肉」の方が 14.4 ポイント高い。

エリア別に見ると、「霜降り肉」は、首都圏が 59.3%、京阪神圏が 55.0%と、京阪神圏より首都圏の方が多い。

性別に見ると、「霜降り肉」は男性が 61.4%、女性が 52.9%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「霜降り肉」は、20代は 51.7%と最も少なく、70代以上では 66.7%と最も多くなっており、年代が高い方が多くなっている。「赤身肉」は、20代は 48.3%と最も多く、60代以下では 4 割以上だが、70代以上では 33.3%と少なくなっている。

過年度調査で見ると、「赤身肉」が増加している。



図表 39 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向

4) 「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度 (Q31) : エリア・性・年代別分析

国産牛肉の「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度 (Q31) を聞いたところ、「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が40.7%で最も多く、「赤身肉」より、3割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が10.3%、「赤身肉」より、5割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が5.6%、「赤身肉」より、2倍高くても、「霜降り肉」を購入する」が3.0%、「値段に関係なく、「霜降り肉」を購入する」が10.1%である。

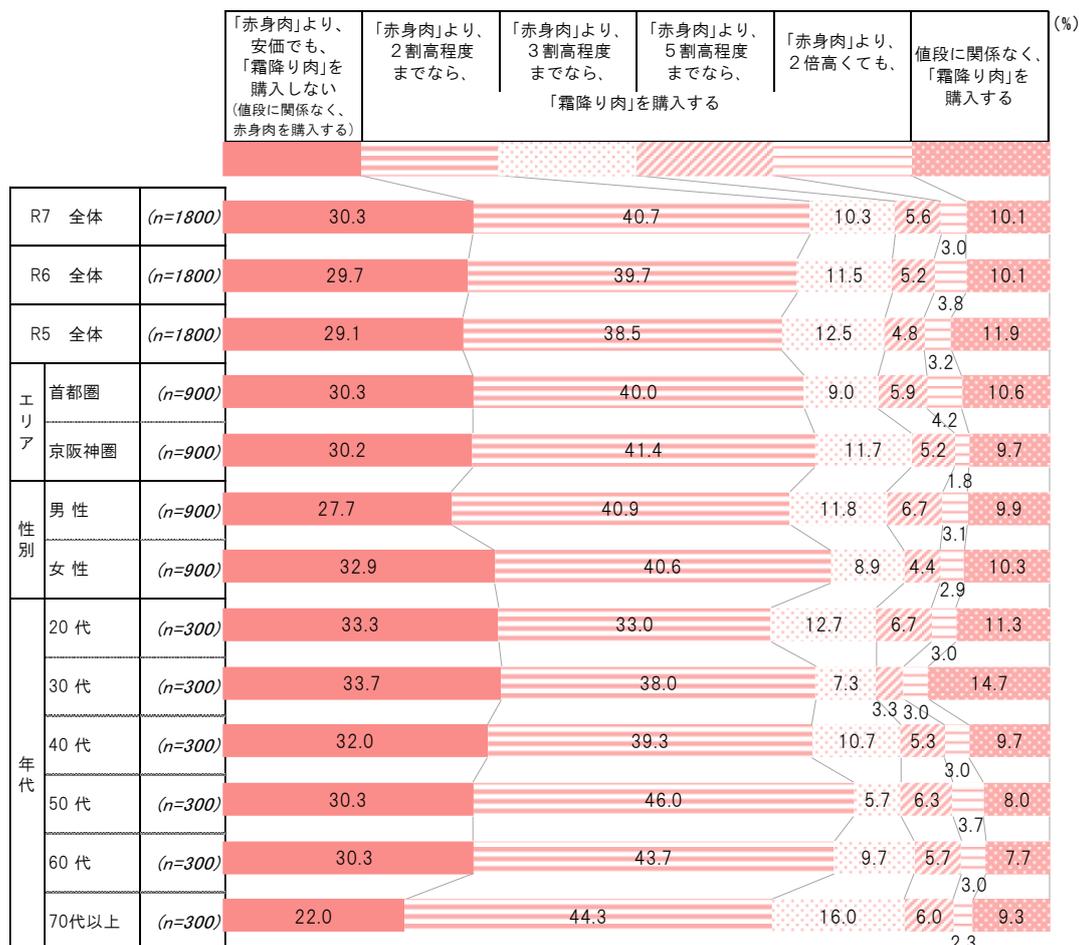
一方、「赤身肉」より、安価でも、「霜降り肉」を購入しない (値段に関係なく、「赤身肉」を購入する)」が30.3%である。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「赤身肉」より、安価でも、「霜降り肉」を購入しない (値段に関係なく、「赤身肉」を購入する)」は、男性が27.7%、女性が32.9%と、男性より女性の方が多い。

年代別に見ると、70代では「赤身肉」より、安価でも、「霜降り肉」を購入しない (値段に関係なく、「赤身肉」を購入する)」が22.0%と他の年代に比べ少ない。「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」は、50代以上で4割以上と多くなっている。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



図表 40 エリア・性・年代別 「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度

5) 「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度 (Q32) : エリア・性・年代別分析

国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」と「霜降り肉」を選択する頻度 (Q32) を聞いたところ、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」が 30.6%と最も高く、「毎回、「赤身肉」を購入する」が 20.4%で続き、「毎回+普段は「赤身肉」を購入する計」が 51.0%と半数以上を占める。

次いで、「赤身肉」と「霜降り肉」を半々の頻度で購入する」が 15.5%、「普段は「霜降り肉」を購入するが、たまに「赤身肉」も購入する」が 10.5%、「毎回、「霜降り肉」を購入する」が 5.1%の順である。「毎回、「霜降り肉」を購入する+普段は「霜降り肉」を購入する計」は 15.6%である。

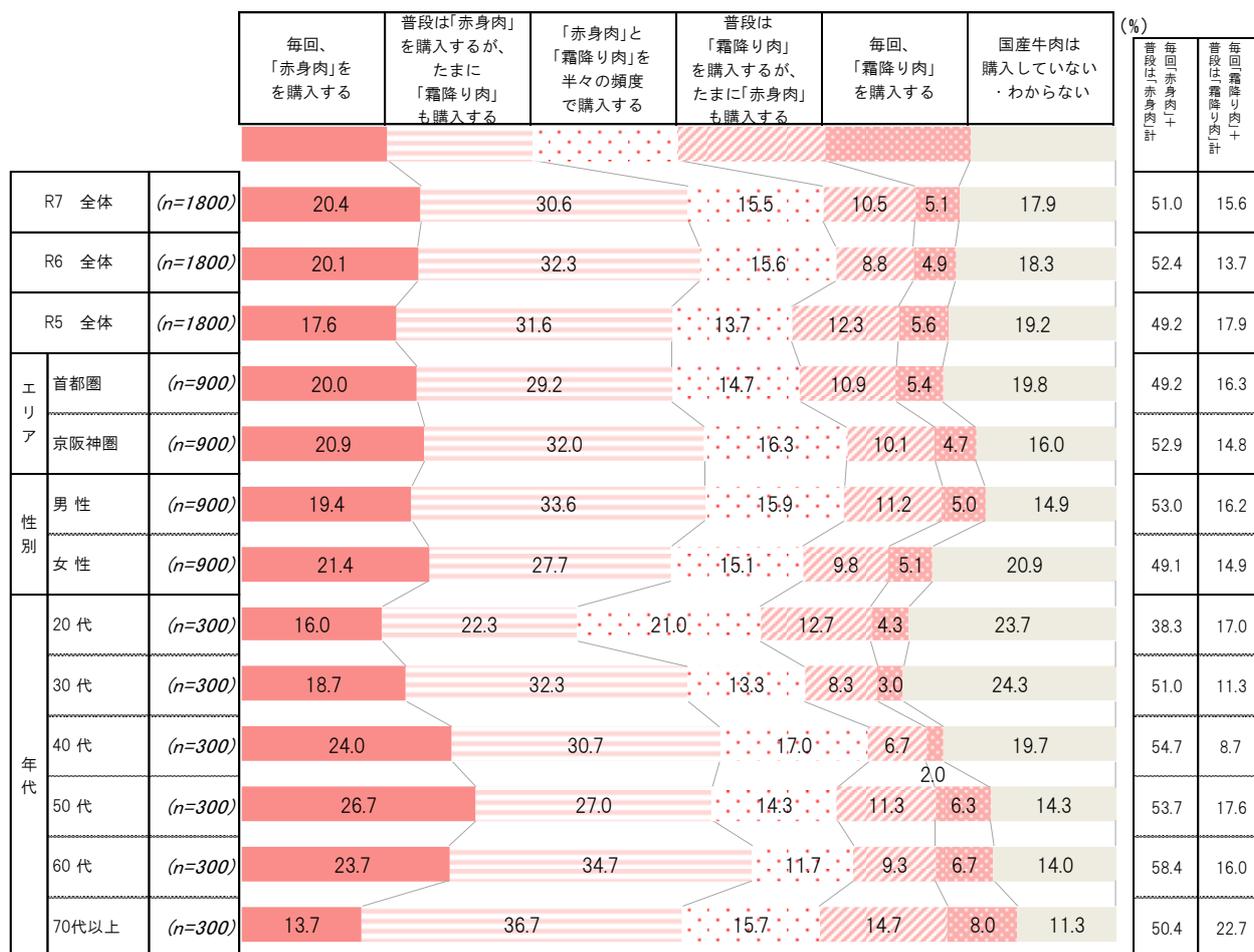
「国産牛肉は購入していない・わからない」が 17.9%である。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」は、男性が 33.6%、女性が 27.7%と、女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」は、20代では 22.3%と少ないが、70代以上では 36.7%と最も多くなっている。20代では、「赤身肉」と「霜降り肉」を半々の頻度で購入する」が 21.0%と多い。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない



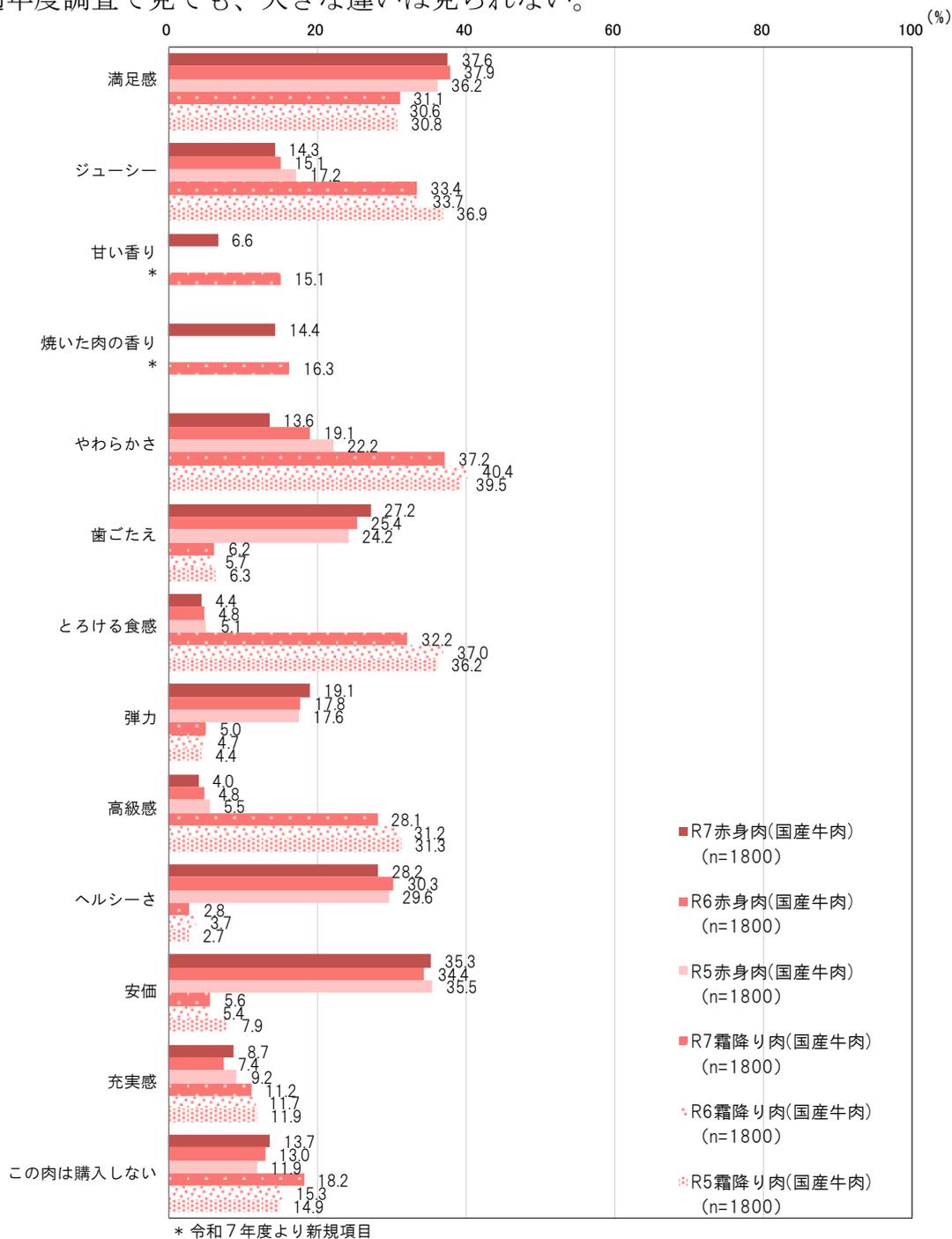
図表 41 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度

6) 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴 (Q33/複数回答) :
エリア・性・年代別分析

「赤身肉」に期待する特徴 (Q33) を聞いたところ、「満足感」が 37.6%で最も多く、「安価」が 35.3%、「ヘルシーさ」が 28.2%、「歯ごたえ」が 27.2%、「弾力」が 19.1%の順である。

一方、「霜降り肉」に期待する特徴は、「やわらかさ」が 37.2%で最も多く、「ジューシー」が 33.4%、「とろける食感」が 32.2%、「満足感」が 31.1%、「高級感」が 28.1%の順である。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



図表 42 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴

【赤身肉】

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「安価」は男性が 37.9%、女性が 32.8%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「ジューシー」は 20 代で 20.7%と多い。「ヘルシーさ」「安価」は年代が高い方が多くなっている。

【霜降り肉】

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「やわらかさ」は男性が 34.2%、女性が 40.2%と男性より女性の方が多い。

年代別に見ると、「やわらかさ」「とろける食感」「高級感」は年代が高い方が高くなっている。

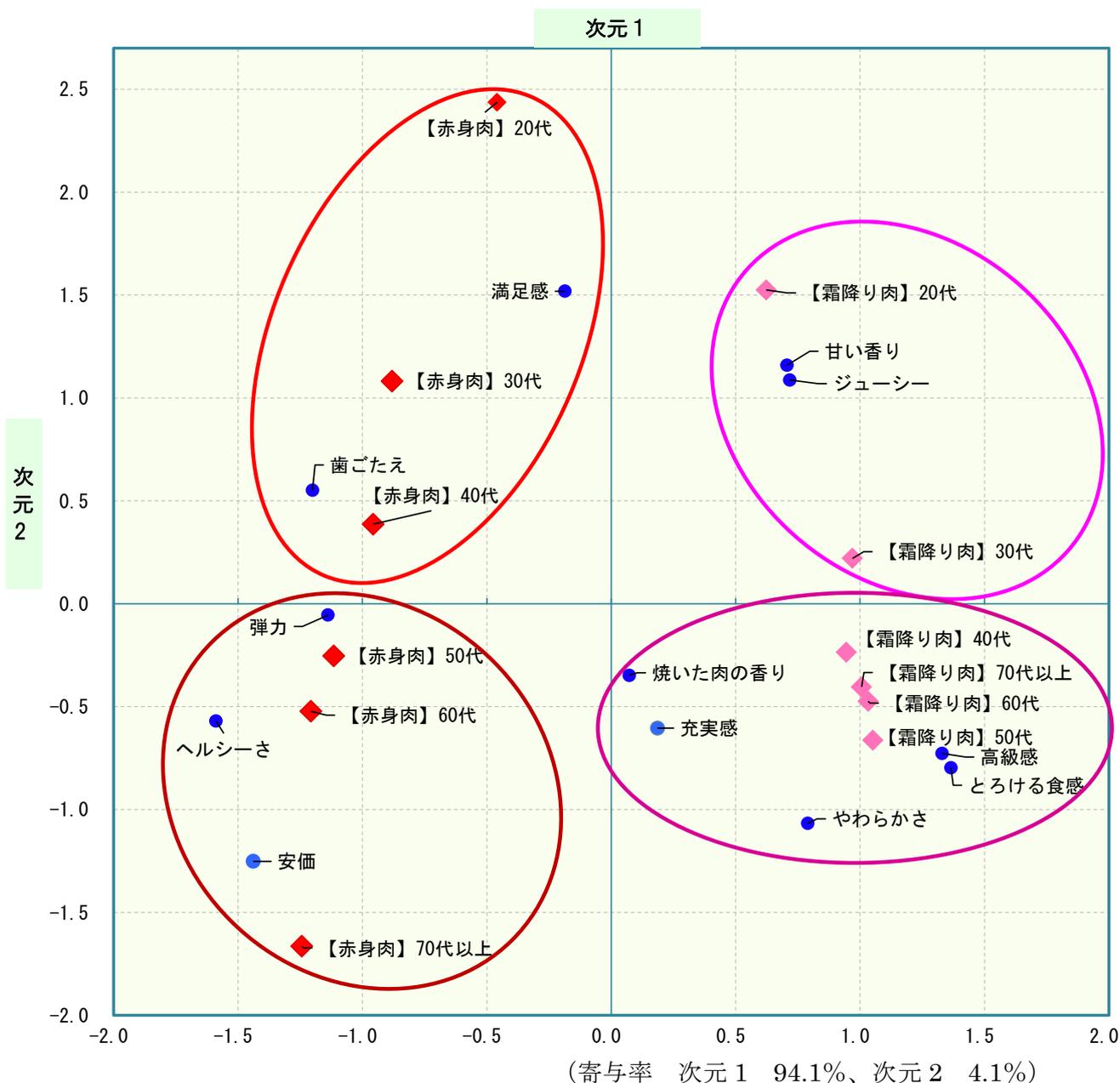


図表 43 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴

「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴（Q33）について、年代別で、コレスポンデンス分析を行った。

「赤身肉」は、「満足感」「歯ごたえ」「弾力」「ヘルシーさ」「安価」のイメージに近い左側の象限に位置している。20代～40代は、「満足感」「歯ごたえ」のイメージに近い左上の象限に位置している。50代以上は、「弾力」「ヘルシーさ」「安価」のイメージに近い左下の象限に位置している。

一方、「霜降り肉」は、「甘い香り」「ジューシー」「高級感」「とろける食感」「やわらかさ」「充実感」「焼いた肉の香り」のイメージに近い右側の象限に位置している。20代・30代は、「甘い香り」「ジューシー」のイメージに近い右上の象限に位置している。40代以上は、「高級感」「とろける食感」「やわらかさ」「充実感」「焼いた肉の香り」のイメージに近い右下の象限に位置している。

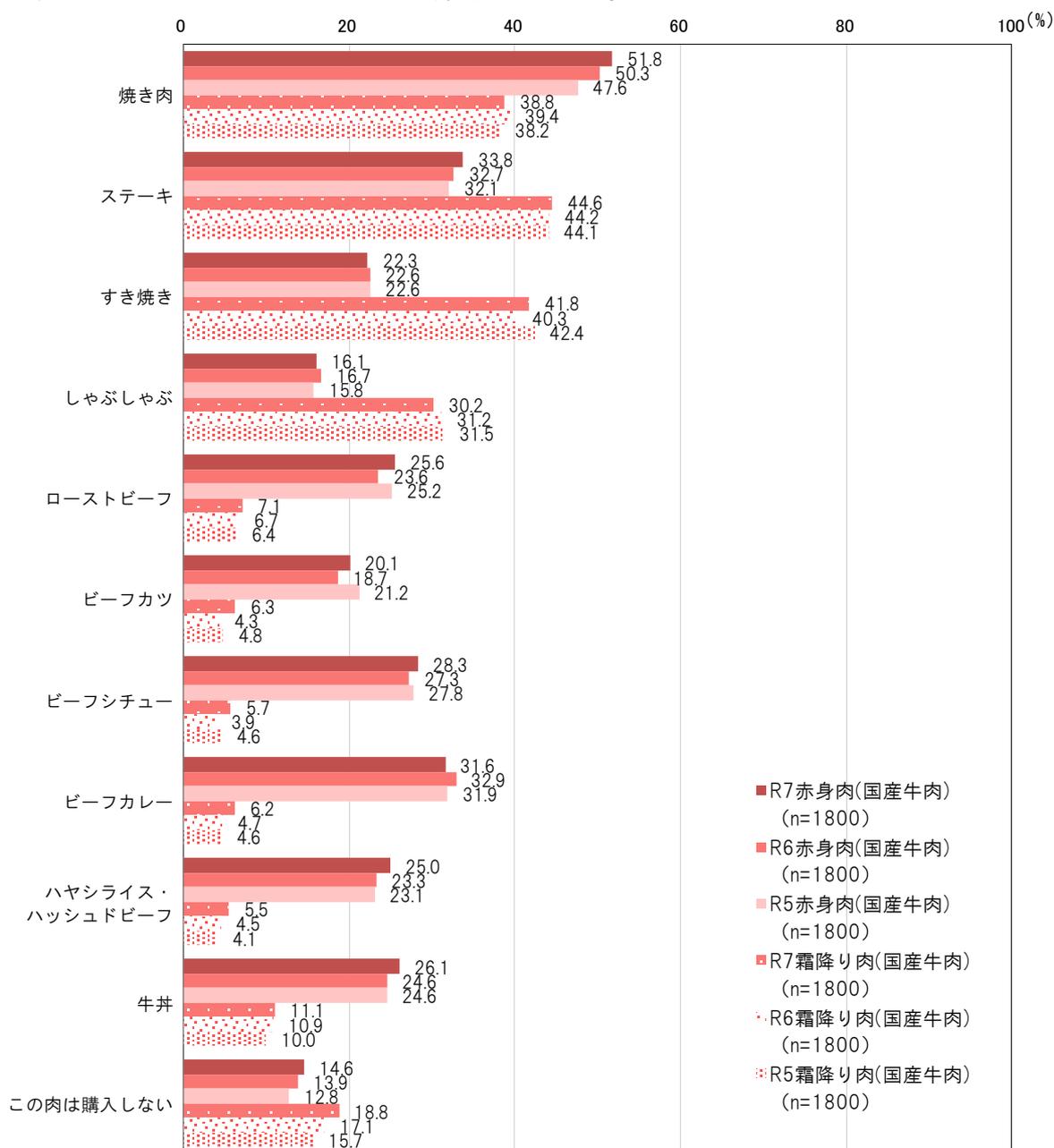


図表 44 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴
年代別 コレスポンデンス分析結果

7) 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー（Q34／複数回答）：
エリア・性・年代別分析

「赤身肉」の調理メニュー（Q34）を聞いたところ、「焼き肉」が51.8%で最も多く、「ステーキ」33.8%、「ビーフカレー」31.6%、「ビーフシチュー」28.3%、「牛丼」26.1%、「ローストビーフ」25.6%、「ハヤシライス・ハッシュドビーフ」25.0%、「すき焼き」22.3%、「ビーフカツ」20.1%の順であり、調理メニューが多岐に渡っている。

一方、「霜降り肉」の調理メニューは、「ステーキ」が44.6%で最も多く、「すき焼き」41.8%、「焼き肉」38.8%、「しゃぶしゃぶ」30.2%の順であり、それ以外の調理メニューは11%以下と少なくなっている。「霜降り肉」の調理メニューは、ハレの日のご馳走メニューに集中している。



図表 45 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー

【赤身肉】

エリア別に見ると、「ステーキ」は首都圏が36.9%、京阪神圏が30.8%と京阪神圏より首都圏の方が多いが、「焼き肉」「すき焼き」「ビーフカレー」「ビーフカツ」は首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「焼き肉」「ステーキ」「すき焼き」「ビーフカツ」は女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、年代が高い方が調理メニューが多岐に渡っており、「ビーフシチュー」「ビーフカレー」は60代以上で多くなっている。

【霜降り肉】

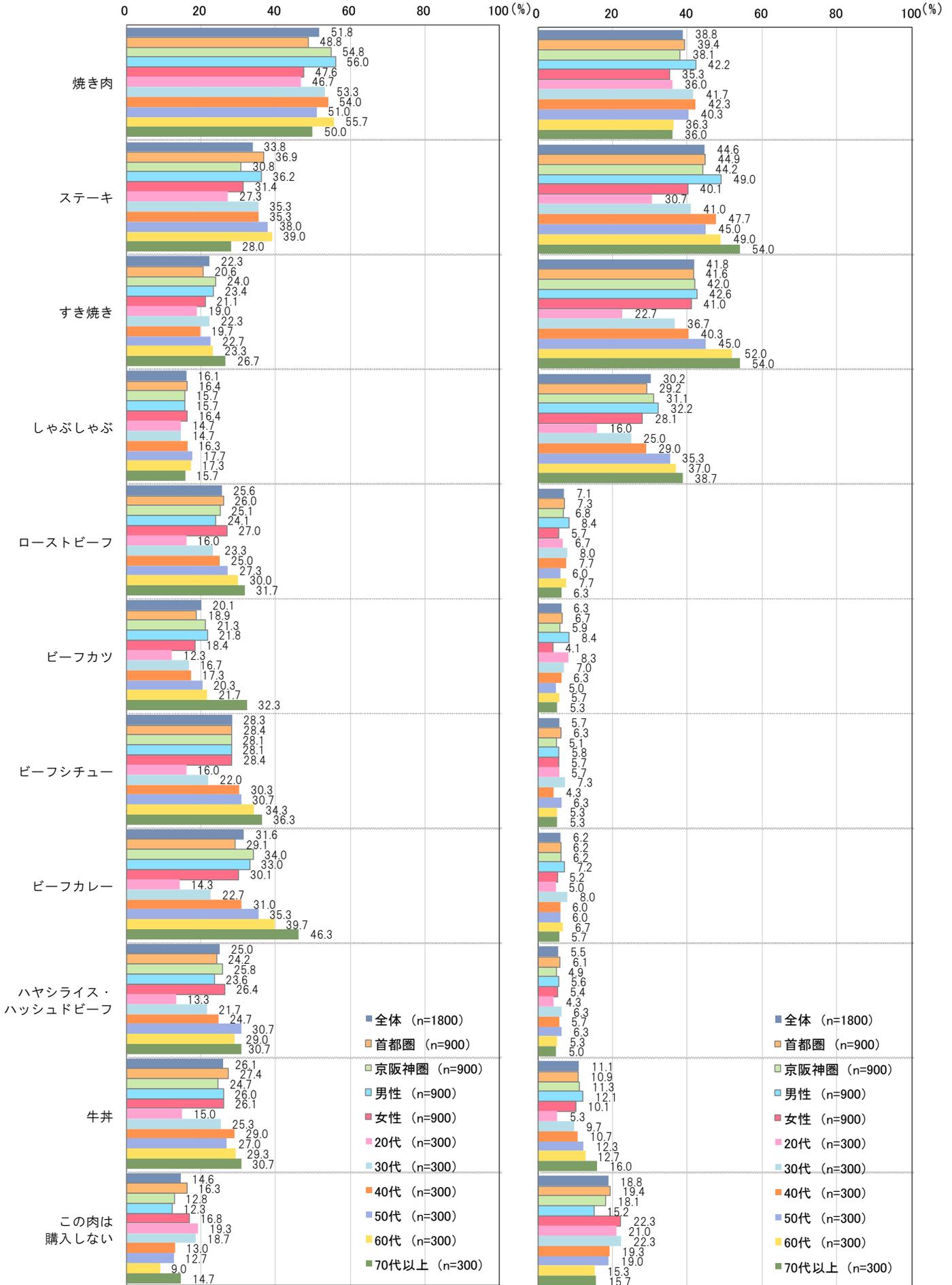
エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「焼き肉」「ステーキ」「しゃぶしゃぶ」「ビーフカツ」は女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、年代が高い方が調理メニューが多岐に渡っており、「すき焼き」「しゃぶしゃぶ」は50代以上で多くなっている。

(1)「赤身肉」(国産牛肉)

(2)「霜降り肉」(国産牛肉)



図表 46 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー

8) 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向 (Q35) :
エリア・性・年代別分析

5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向 (Q35) を聞いたところ、「もともと「霜降り肉」も「赤身肉」も同じ程度好き (好みは変わらない)」が 39.1%で最も多い。「もともと「赤身肉」が好き (好みは変わらない)」が 21.5%、「赤身肉」をより嗜好するようになった」が 14.6%で、「赤身肉」派が 36.1%である。一方、「もともと「霜降り肉」が好き (好みは変わらない)」が 19.3%、「霜降り肉」をより嗜好するようになった」が 5.6%で、「霜降り肉」派が 24.9%である。

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「もともと「霜降り肉」が好き (好みは変わらない)」は 50代以上で 2割以上と多くなっており、70代以上では 24.3%と最も多い。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



「『赤身肉』計」⇒「『赤身肉』をより嗜好するようになった」+「もともと『赤身肉』が好き(好みは変わらない)」
「『霜降り肉』計」⇒「もともと『霜降り肉』が好き(好みは変わらない)+『霜降り肉』をより嗜好するようになった」

図表 47 エリア・性・年代別 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向

9) 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化 (Q36) :
エリア・性・年代別分析

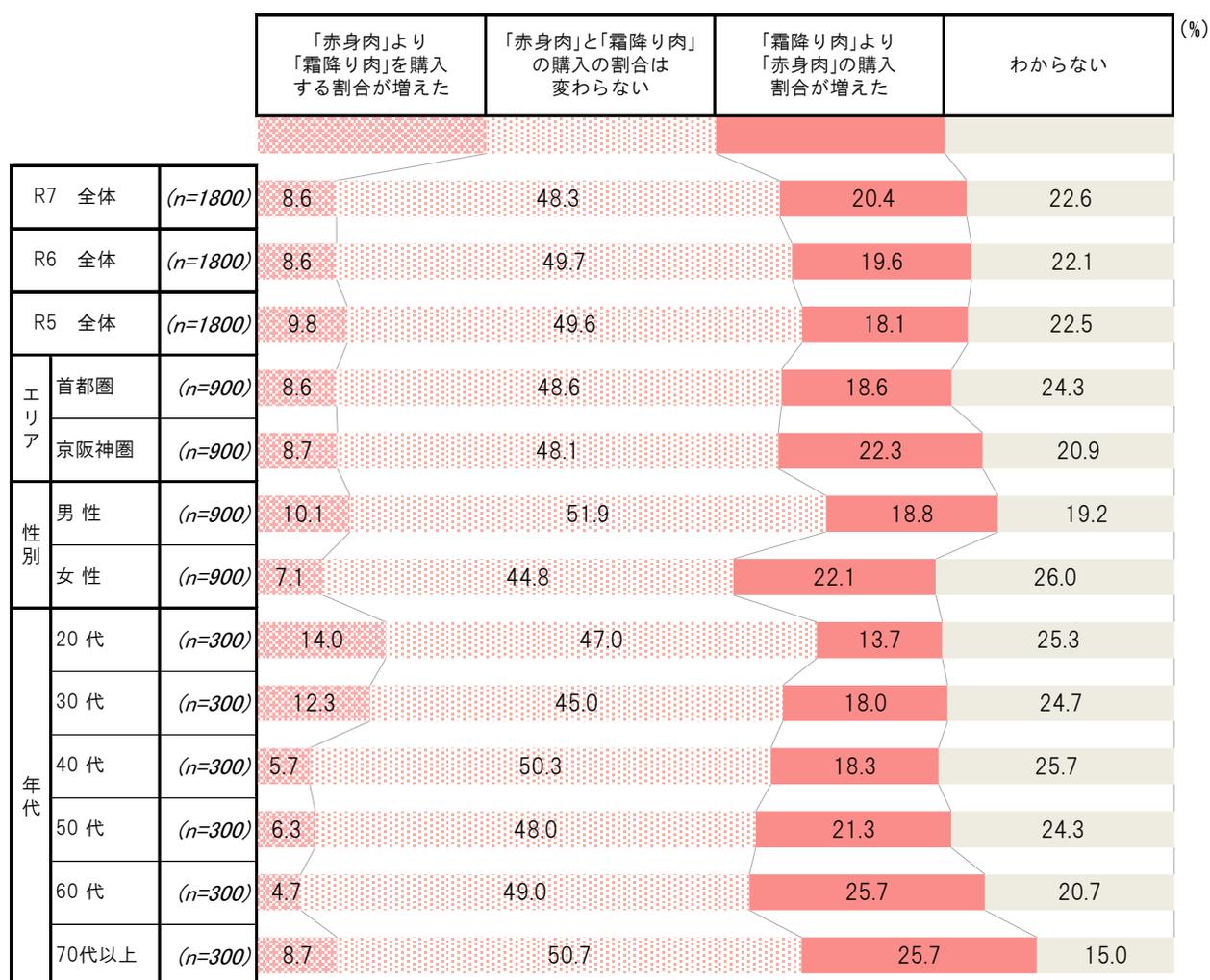
5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化 (Q36) を聞いたところ、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」が48.3%と最も多く半数を占める。「霜降り肉」より、「赤身肉」の購入割合が増えた」が20.4%、「赤身肉」より、「霜降り肉」を購入する割合が増えた」8.6%の順である。「わからない」は22.6%である。

エリア別に見ると、「霜降り肉」より、「赤身肉」の購入割合が増えた」は、首都圏が18.6%、京阪神圏が22.3%と首都圏より京阪神圏の方が多。

性別に見ると、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」は、男性が51.9%、女性が44.8%と女性より男性の方が多。

年代別に見ると、20代は「赤身肉」より「霜降り肉」を購入する割合が増えた」が14.0%と多いが、60代以上は「霜降り肉」より、「赤身肉」の購入割合が増えた」が25.7%と多。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。



図表 48 エリア・性・年代別 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化

2.3 「国産牛肉の格付」に関する消費者意識の考察

- 「国産牛肉の格付」の認知率は77.1%（「A5やA4等という言葉は聞いたことがある・知っている」49.5%+「ある程度知っている」23.0%+「詳しく知っている」4.6%）。
- 「A5の国産牛肉」のイメージは、「美味しい」が52.7%で最も多く、「柔らかい」36.4%、「霜降り（サシが多い）」36.2%、「高級」34.5%の順で、「わからない」が28.3%。
- 「A3の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が38.8%で最も多く、「美味しい」32.4%、「柔らかい」17.6%、「赤身が多い」13.0%、「霜降り（サシが多い）」10.2%、「価格が手頃」9.7%の順。
- 「B5の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が43.6%で最も多く、「価格が手頃」22.6%、「美味しい」20.4%、「赤身が多い」17.3%、「柔らかい」6.3%、「若者向き」6.1%の順。
- 「国産牛肉の格付」に対する関心を聞いたところ、「どちらでもない」が30.2%で、「関心がある計」が36.3%（「非常に関心がある」7.1%+「やや関心がある」29.2%）、「関心がない計」が33.5%（「あまり関心がない」21.1%+「全く関心がない」12.4%）

2.3 では、「国産牛肉の格付」に関する消費者意識を探ることを目的とした。

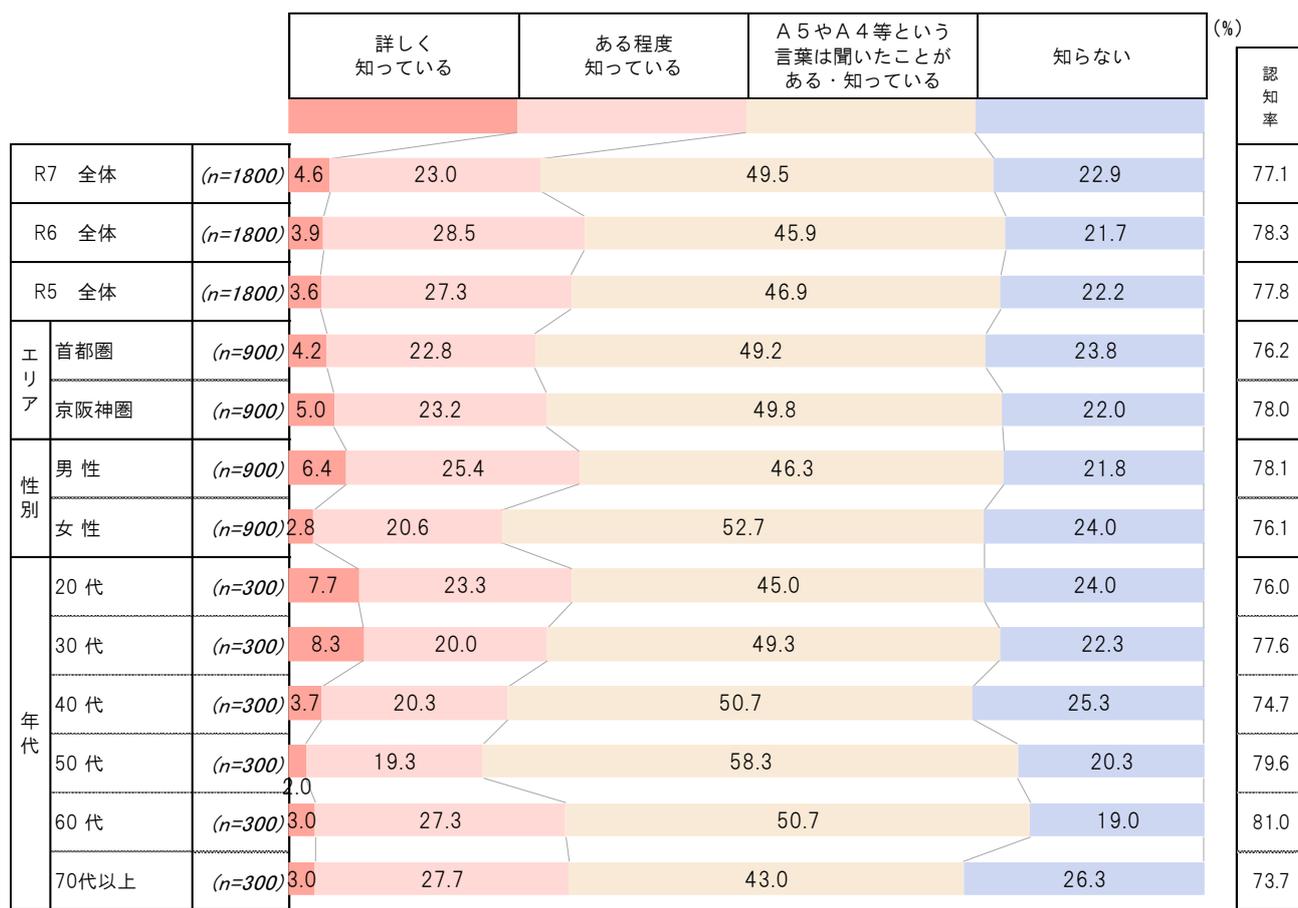
1) 「国産牛肉の格付」の認知度 (Q37) : エリア・性・年代別分析

「国産牛肉の格付」の認知度 (Q37) を聞いたところ、「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」が 49.5%で最も多く、「ある程度知っている」が 23.0%、「詳しく知っている」が 4.6%で、認知率が 77.1%であり、「知らない」は 22.9%である。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」は、男性が 46.3%、女性が 52.7%と男性より女性の方がやや多い。認知率で見ると、男性が 78.1%、女性が 76.1%と男女で大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「ある程度知っている」は 60代以上で3割弱と多い。30代~60代は、「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」がおおむね5割以上と多くなっている。



認知率⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」

図表 49 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付」の認知度

2) 「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ (Q38/複数回答): エリア・性・年代別分析

「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ (Q38) を複数回答で聞いた。

「A5の国産牛肉」のイメージは、「美味しい」が52.7%で最も多く、「柔らかい」36.4%、「霜降り (サシが多い)」36.2%、「高級」34.5%の順で、「わからない」が28.3%である。

「A3の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が38.8%で最も多く、「美味しい」32.4%、「柔らかい」17.6%、「赤身が多い」13.0%、「霜降り (サシが多い)」10.2%、「価格が手頃」9.7%の順である。

「B5の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が43.6%で最も多く、「価格が手頃」22.6%、「美味しい」20.4%、「赤身が多い」17.3%、「柔らかい」6.3%、「若者向き」6.1%の順である。

「A5の国産牛肉」に対しては、「美味しい」等のイメージがきちんと持たれているが、「A3」「B5」になると、「わからない」が最も多く、イメージが希薄になっている。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。

【A5の国産牛肉】

エリア別に見ると、「柔らかい」「高級」は京阪神圏より首都圏の方が多い。

性別に見ると、「高級」は、男性が37.1%、女性が31.9%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「柔らかい」「霜降り (サシが多い)」「高級」「贅沢感がある」は、年代が高い方が多くなっている。

【A3の国産牛肉】

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「価格が手頃」は、男性が11.7%、女性が7.8%と女性より男性の方が高い。

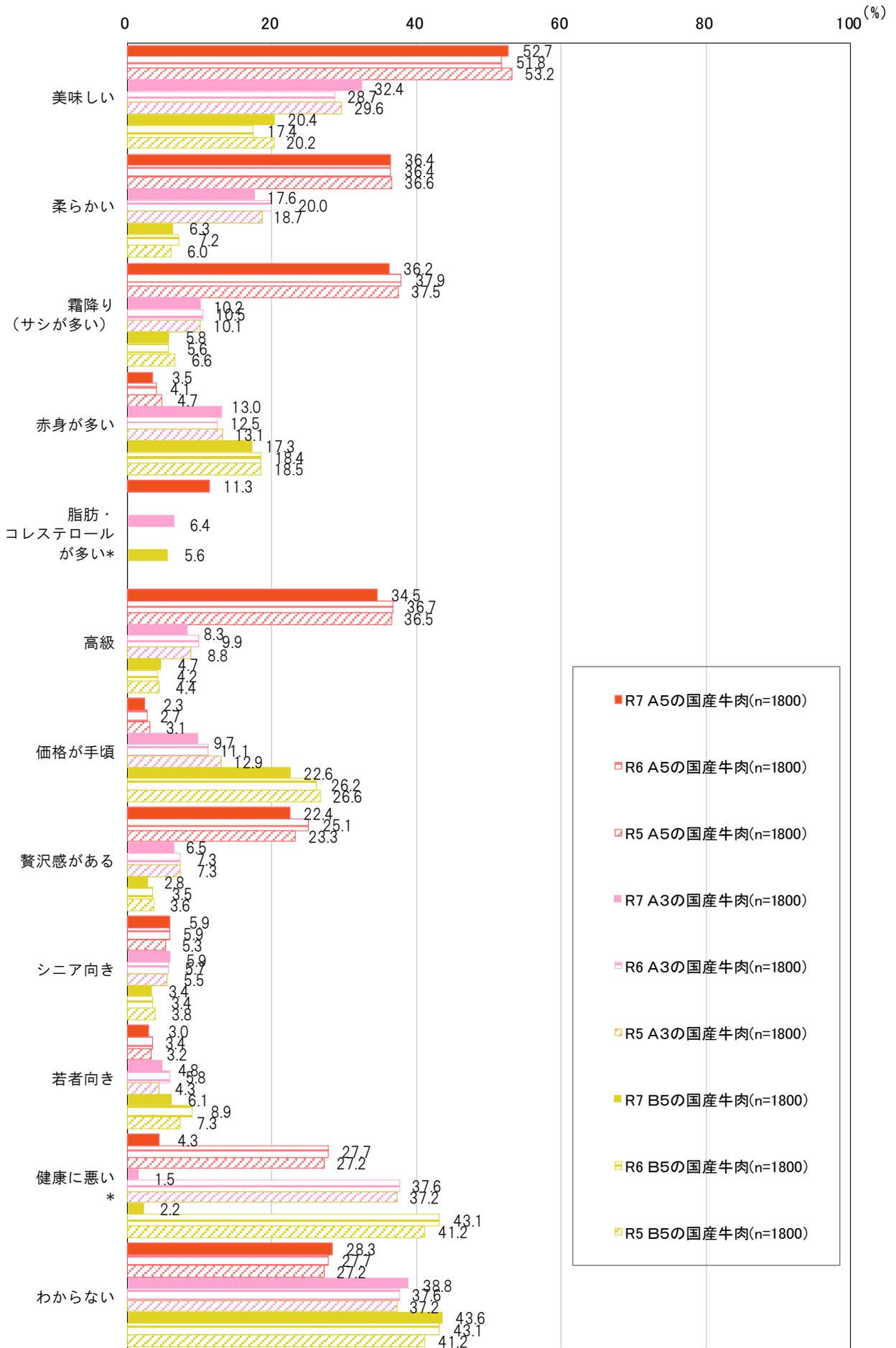
年代別に見ると、「赤身が多い」「価格が手頃」「シニア向き」「若者向き」は、年代が高い方が多くなっている。

【B5の国産牛肉】

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

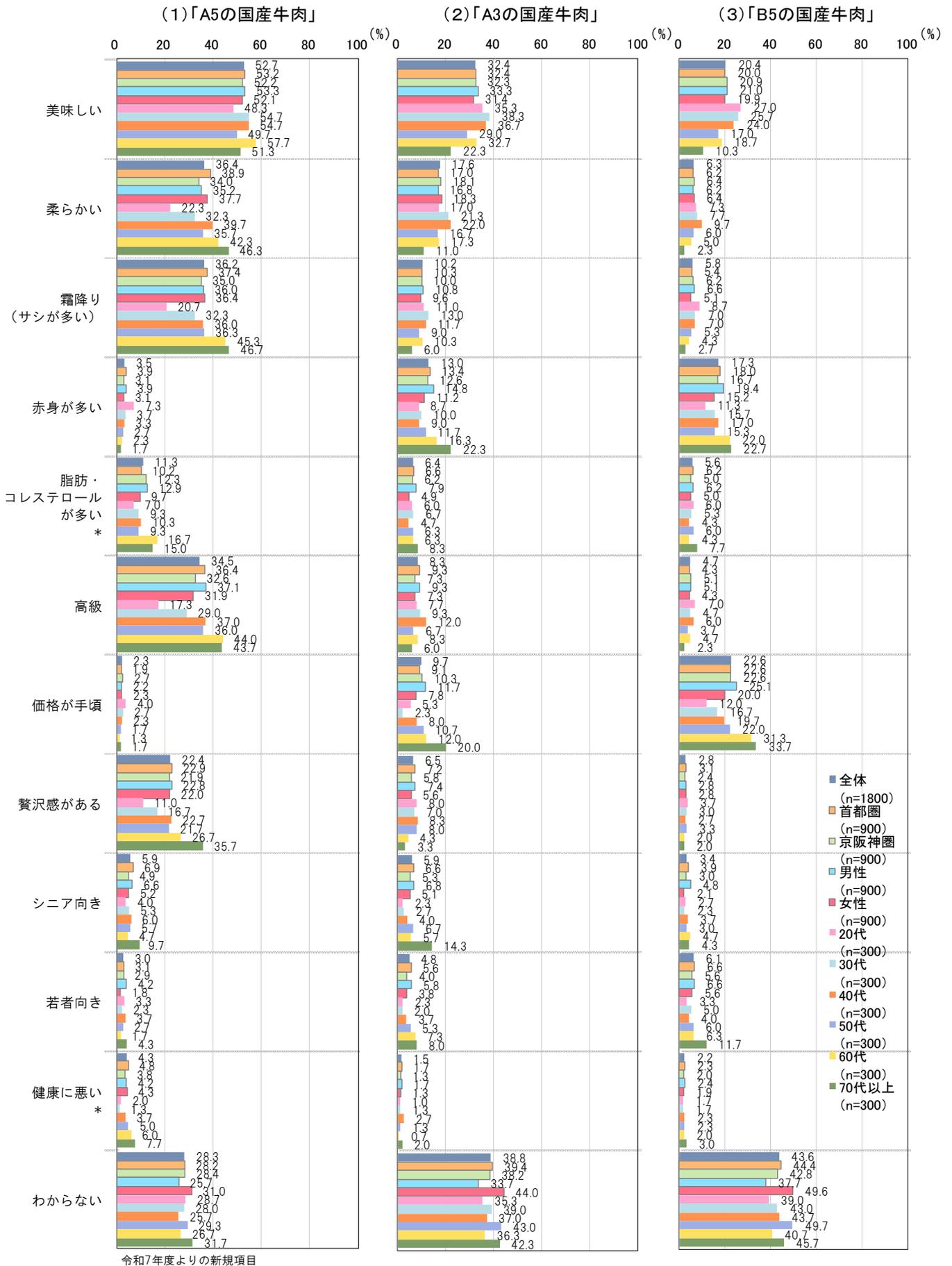
性別に見ると、「価格が手頃」は、男性が25.1%、女性が20.0%と女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、「赤身が多い」「価格が手頃」「若者向き」は、年代が高い方が多くなっている。



* 令和7年度より新規項目

図表 50 「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ



図表 51 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」 のイメージ

3) 「国産牛肉の格付」の関心度 (Q39) : エリア・性・年代別分析

「国産牛肉の格付」の関心度 (Q39) を聞いたところ、「どちらでもない」が 30.2%で、「やや関心がある」が 29.2%、「あまり関心がない」が 21.1%、「全く関心がない」が 12.4%、「非常に関心がある」が 7.1%の順である。

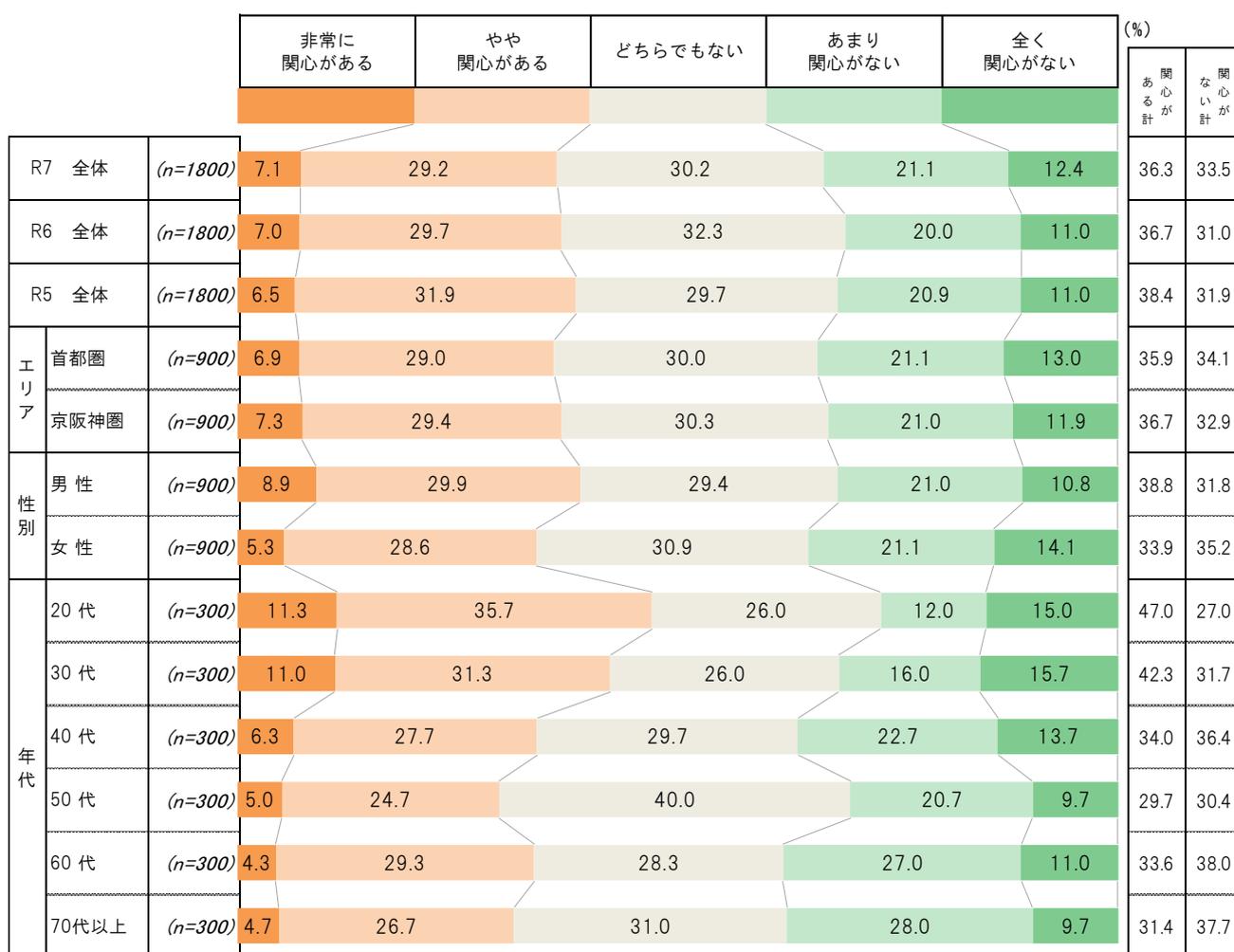
「関心がある計」が 36.3%、「関心がない計」が 33.5%である。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「非常に関心がある」は、男性が 8.9%、女性が 5.3%と女性より男性の方がやや多い。一方、「全く関心がない」は、男性が 10.8%、女性が 14.1%と男性より女性の方がやや多い。「関心がある計」では、男性が 38.8%、女性が 33.9%と女性より男性の方が高くなっている。

年代別に見ると、20代・30代は「非常に関心がある」が1割以上と多く、「関心がある計」が4割以上と、国産牛肉の格付への関心度が高くなっている。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「全く関心がない」

図表 52 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付」の関心度

2.4 「交雑種」「乳用種」に関する消費者意識の考察

- 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度は、「言葉は聞いたことがある・知っている」が41.2%で最も多く、「ある程度知っている」が18.6%、「詳しく知っている」が4.1%で、認知率が63.9%で、「知らない」は36.2%。
- 「国産和牛肉」のイメージは、「高級」が27.3%で最も多く、「おいしい」26.1%、「霜降り」と「贅沢感がある」24.1%、「高品質」23.2%の順で、「わからない・あてはまるイメージはない」は31.1%
- 「交雑種の国産牛肉」のイメージは、「わからない・あてはまるイメージはない」が44.8%で最も多く、「価格が手頃」18.5%、「特売」13.6%、「赤身が多い」11.3%、「赤身がおいしい」10.8%、「おいしい」10.7%の順。
- 「乳用種（ホルスタイン種など）の国産牛肉」のイメージは、「わからない・あてはまるイメージはない」が50.1%で最も多く、「価格が手頃」18.9%、「特売」12.8%、「赤身が多い」9.7%、「おいしい」7.5%、「洋食に合う」7.0%の順。
- スーパー等で牛肉を購入する際に「交雑種」や「乳用種（ホルスタイン種など）」の表示を見たことがあるかの認知度は、「わからない」が42.5%で最も多く、次に「「交雑種」、「乳用種（ホルスタイン種など）」とも見たことはない」が28.6%で、合わせて7割以上が非認知。

2.4 では、「交雑種」「乳用種」に関する消費者意識を探ることを目的とした。

1) 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度 (Q40) :
エリア・性・年代別分析

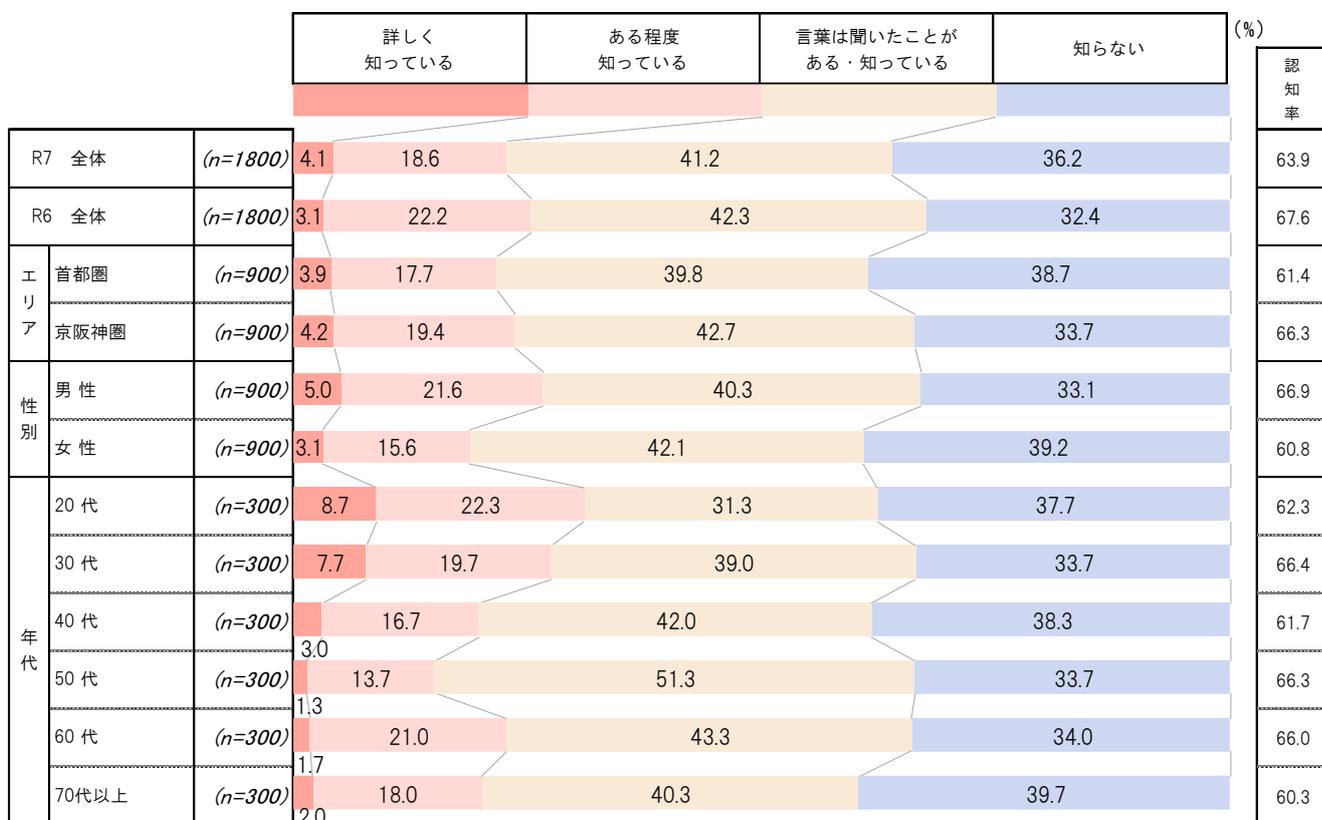
「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度 (Q40) を聞いたところ、「言葉は聞いたことがある・知っている」が 41.2%で最も多く、「ある程度知っている」が 18.6%、「詳しく知っている」が 4.1%で、認知率が 63.9%であり、「知らない」は 36.2%である。

エリア別に見ると、「言葉は聞いたことがある・知っている」は、首都圏が 39.8%、京阪神圏が 42.7%と首都圏より京阪神圏の方が多く、認知率で見ても首都圏が 61.4%、京阪神圏が 66.3%と首都圏より京阪神圏の方が多くなっている。

性別に見ると、「ある程度知っている」は、男性が 21.6%、女性が 15.6%と女性より男性の方が多く、認知率で見ても、男性が 66.9%、女性が 60.8%と女性より男性の方が高くなっている。

年代別に見ると、「言葉は聞いたことがある・知っている」は 20代・30代では 3割台と少なくなっているが、「詳しく知っている」は 8%前後と多くなっている。

過年度調査で見ると、昨年度より認知率がやや少なくなっている。



認知率⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「言葉は聞いたことがある・知っている」

図表 53 エリア・性・年代別 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度

2) 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ (Q41/複数回答): エリア・性・年代別分析

「国産和牛肉」「交雑種の国産牛肉」「乳用種 (ホルスタイン種など) の国産牛肉」別のイメージ (Q41) を複数回答で聞いた。

「国産和牛肉」のイメージは、「高級」が 27.3% で最も多く、「おいしい」26.1%、「霜降り」と「贅沢感がある」24.1%、「高品質」23.2% の順で、「わからない・あてはまるイメージはない」は 31.1% である。

「交雑種の国産牛肉」のイメージは、「わからない・あてはまるイメージはない」が 44.8% で最も多く、「価格が手頃」18.5%、「特売」13.6%、「赤身が多い」11.3%、「赤身がおいしい」10.8%、「おいしい」10.7% の順である。

「乳用種 (ホルスタイン種など) の国産牛肉」のイメージは、「わからない・あてはまるイメージはない」が 50.1% で最も多く、「価格が手頃」18.9%、「特売」12.8%、「赤身が多い」9.7%、「おいしい」7.5%、「洋食に合う」7.0% の順である。

「国産和牛肉」に対しては、「高級」「おいしい」「霜降り」「贅沢感がある」「高品質」などの肯定的なイメージがきちんと持たれているが、「交雑種の国産牛肉」「乳用種 (ホルスタイン種など) の国産牛肉」に対しては、「わからない・あてはまるイメージはない」が半数程度を占め、イメージが非常に希薄である。

【国産和牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「柔らかい」「霜降り」「高品質」「高級」「おいしい」「贅沢感がある」は、年代が高い方が多くなっている。

【交雑種の国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

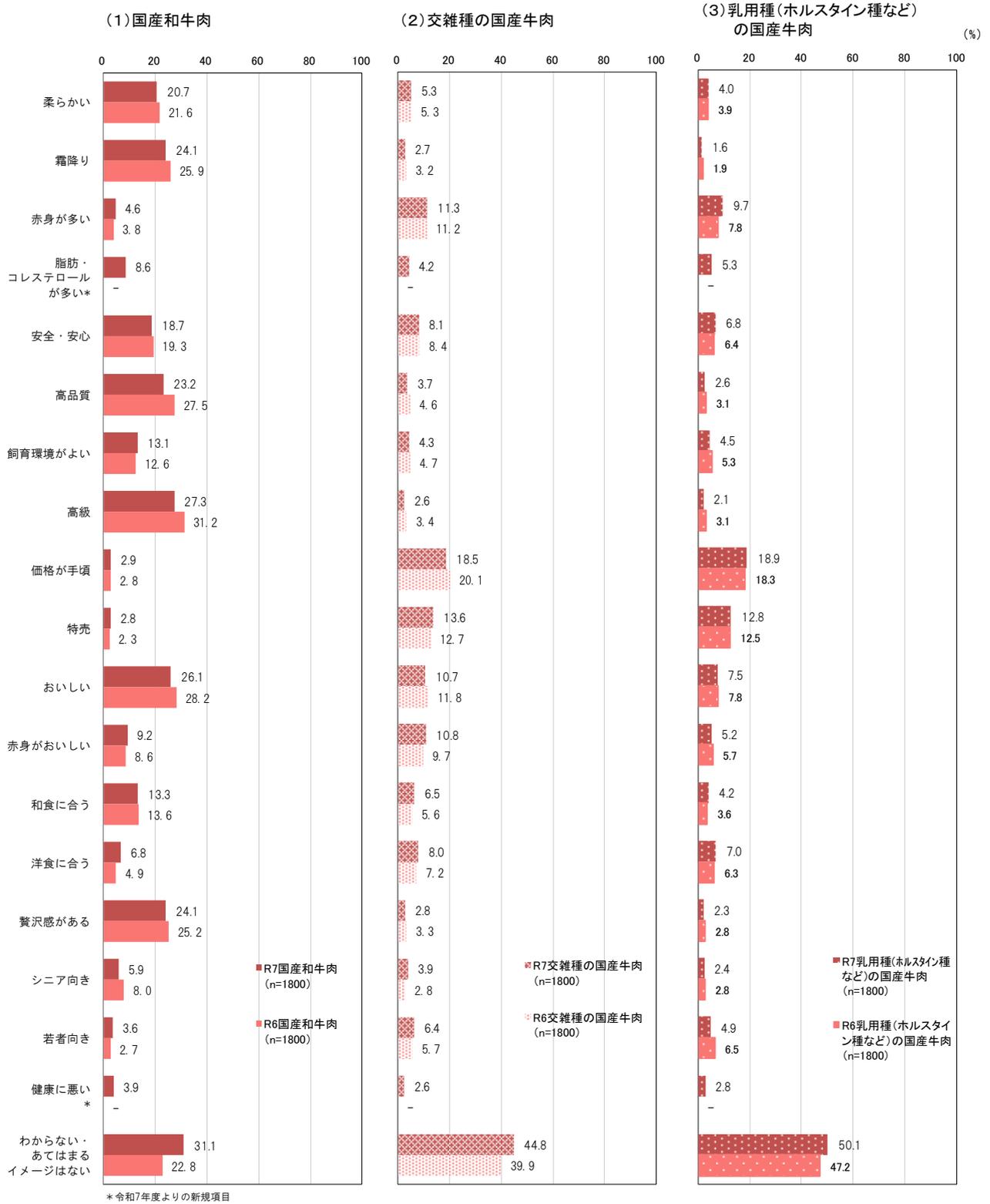
年代別に見ると、「赤身が多い」「価格が手頃」「特売」は、年代が高い方が多くなっている。

【乳用種 (ホルスタイン種など) の国産牛肉】

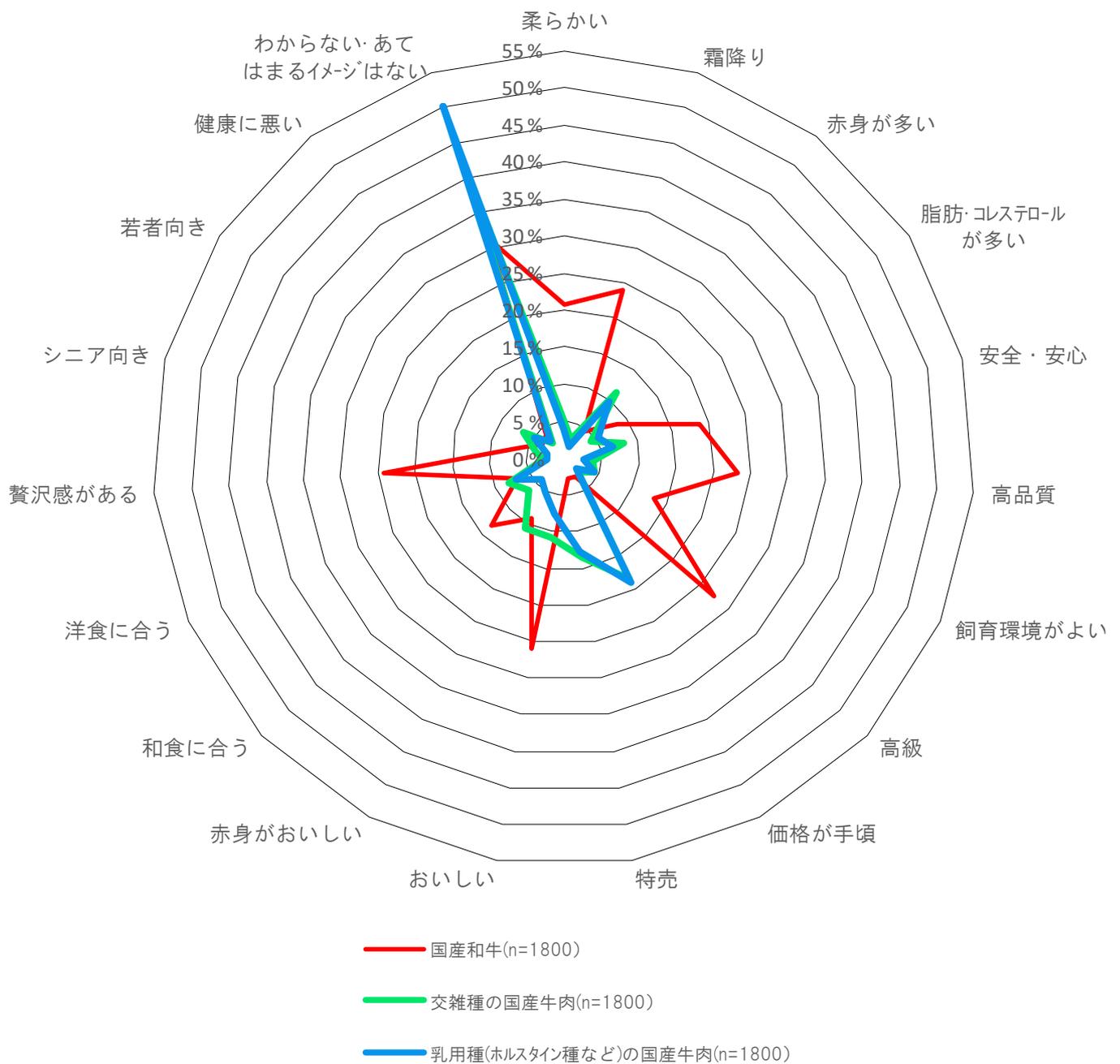
エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「価格が手頃」「特売」は、年代が高い方が多くなっている。

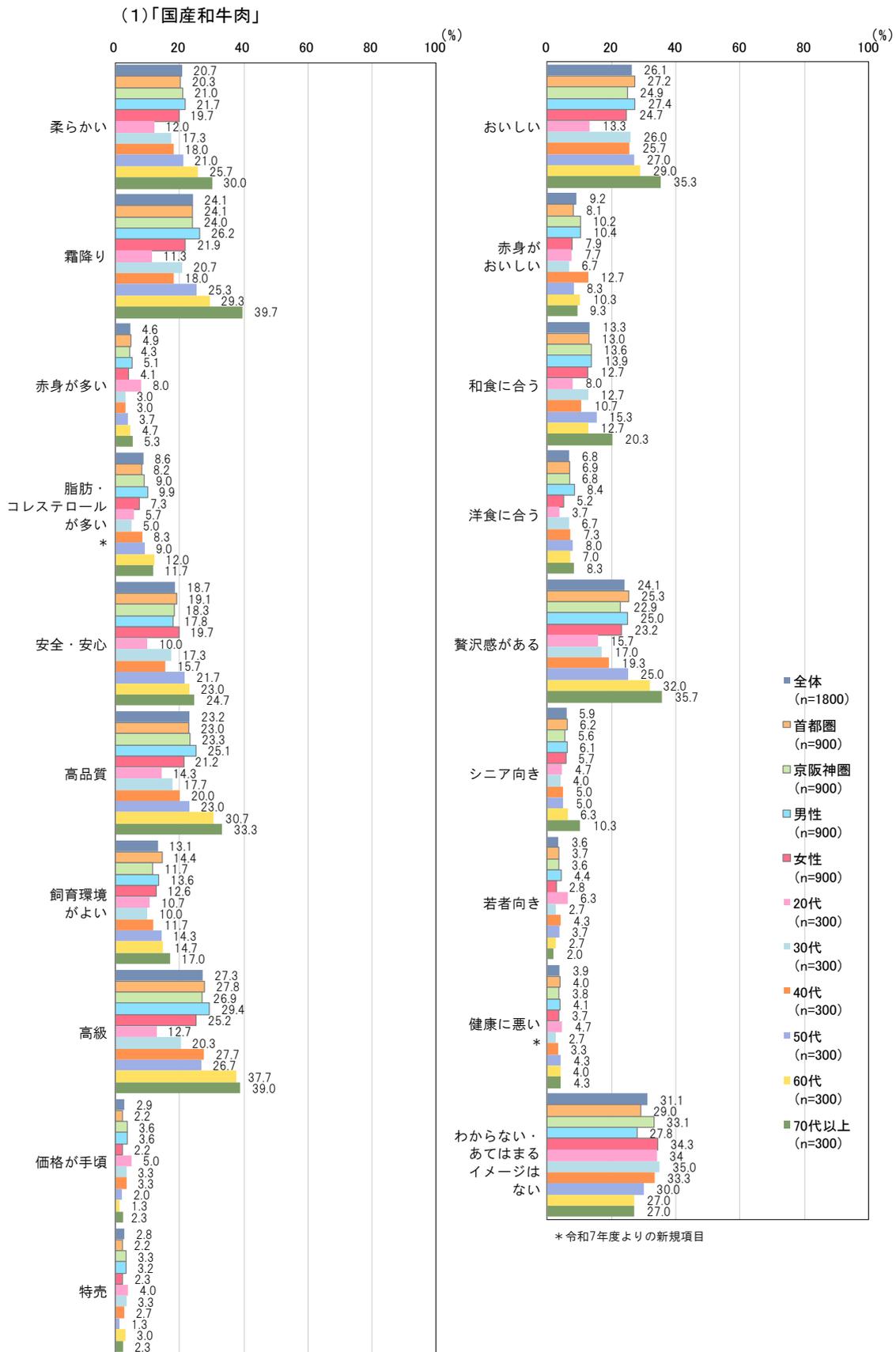
過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



図表 54 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ (Q45)

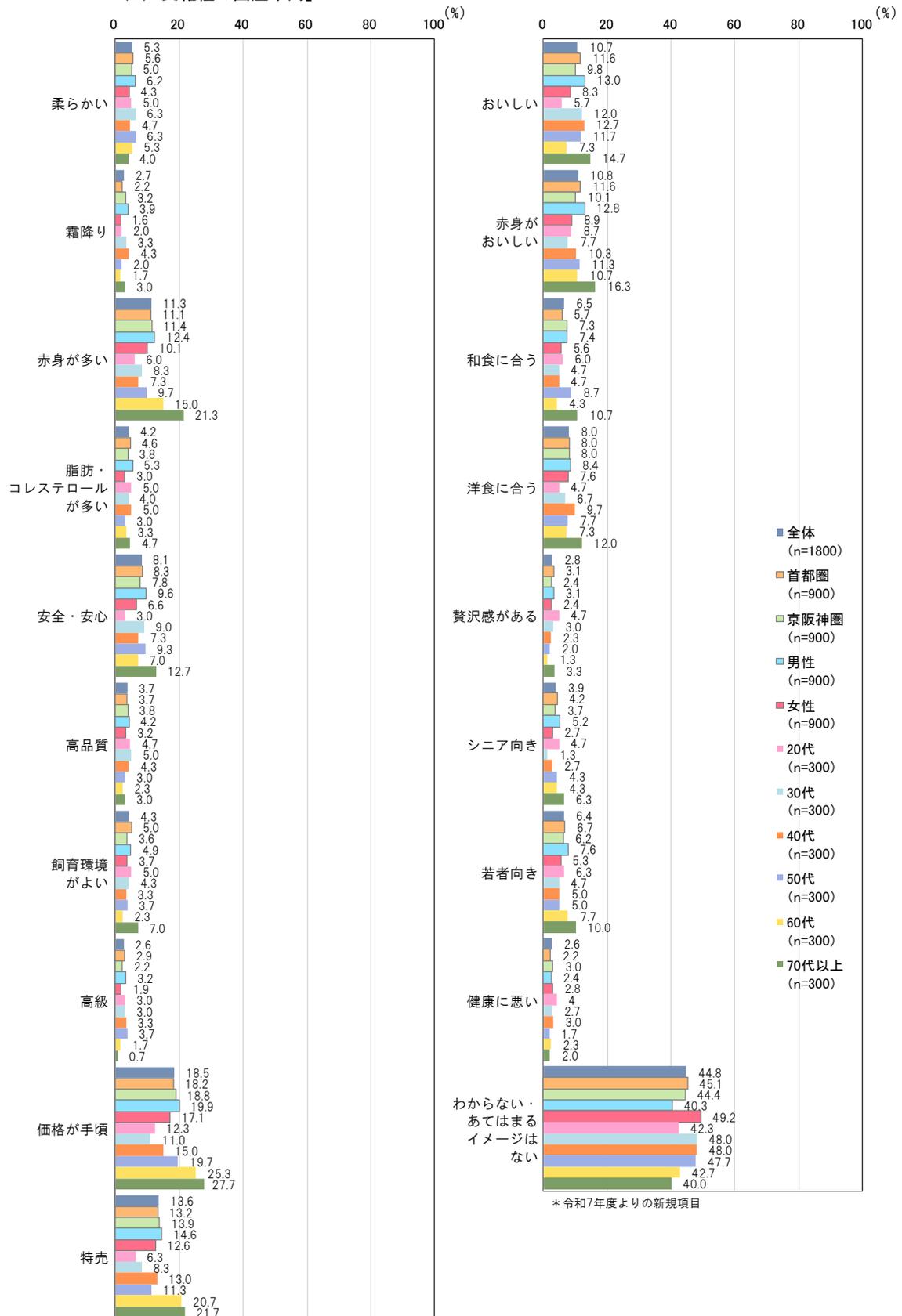


図表 55 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ（レーダーチャート）(Q45)



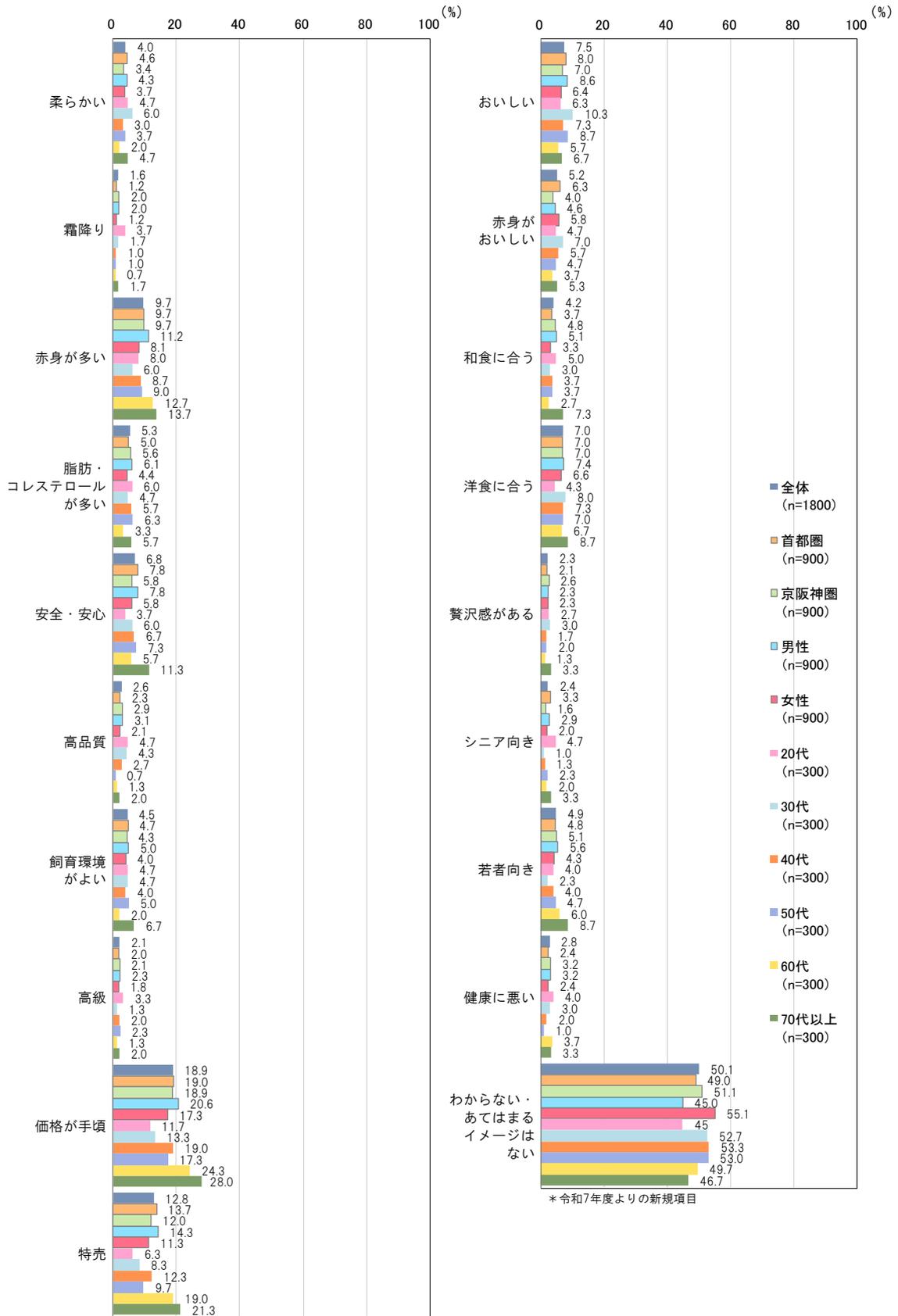
図表 56 (その1) エリア・性・年代別
「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ

(2)「交雑種の国産牛肉」



図表 56 (その2) エリア・性・年代別
「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ

(3)「乳用種(ホルスタイン種など)の国産牛肉」



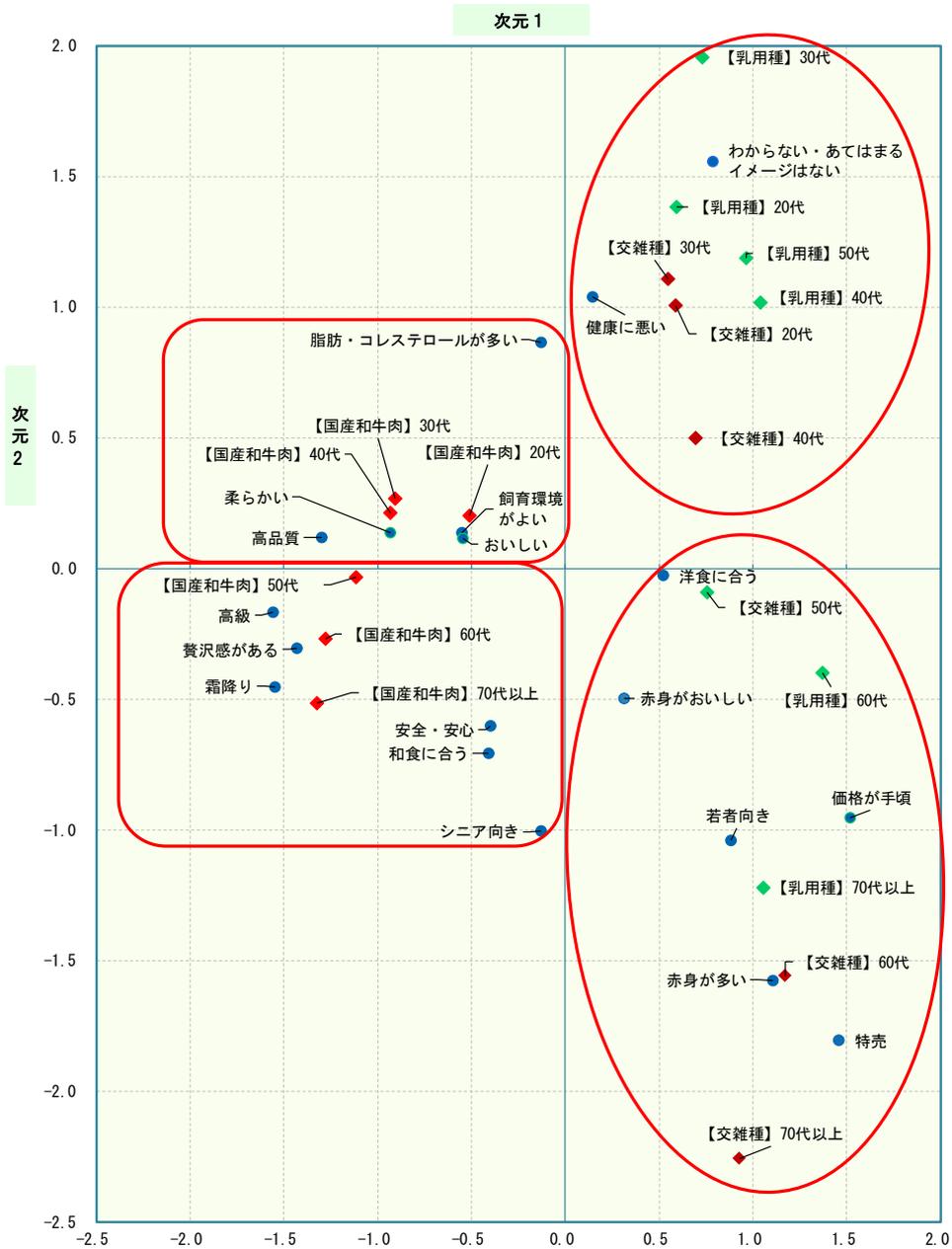
図表 56 (その3) エリア・性・年代別
「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ

「国産和牛肉」「交雑種の国産牛肉」「乳用種（ホルスタイン種など）の国産牛肉」別のイメージ（Q41）について、年代別で、コレスポンデンス分析を行った。

「高級」「贅沢感がある」「霜降り」「高品質」「柔らかい」「おいしい」「和食に合う」「シニア向き」「安全・安心」「飼育環境がよい」は、左側の象限に位置しており、全年代の「国産和牛肉」がこれらのイメージに近く位置している。

一方、「赤身がおいしい」「赤身が多い」「価格が手頃」「特売」「洋食に合う」「若者向き」は、右下の象限に位置しており、50代以上の「交雑種」、60代以上の「乳用種」がこれらのイメージに近く位置している。

20代～40代の交雑種、20代～50代の乳用種は、右上の象限の「わからない・あてはまるイメージはない」の近くに位置している。



(寄与率 次元1 52.9%、次元2 14.1%)

図表 57 「国産和牛肉」「交雑種」「乳用種」別のイメージ
年代別 コレスポンデンス分析結果

3) 「交雑種」「乳用種」の表示の認識度 (Q42) : エリア・性・年代別分析

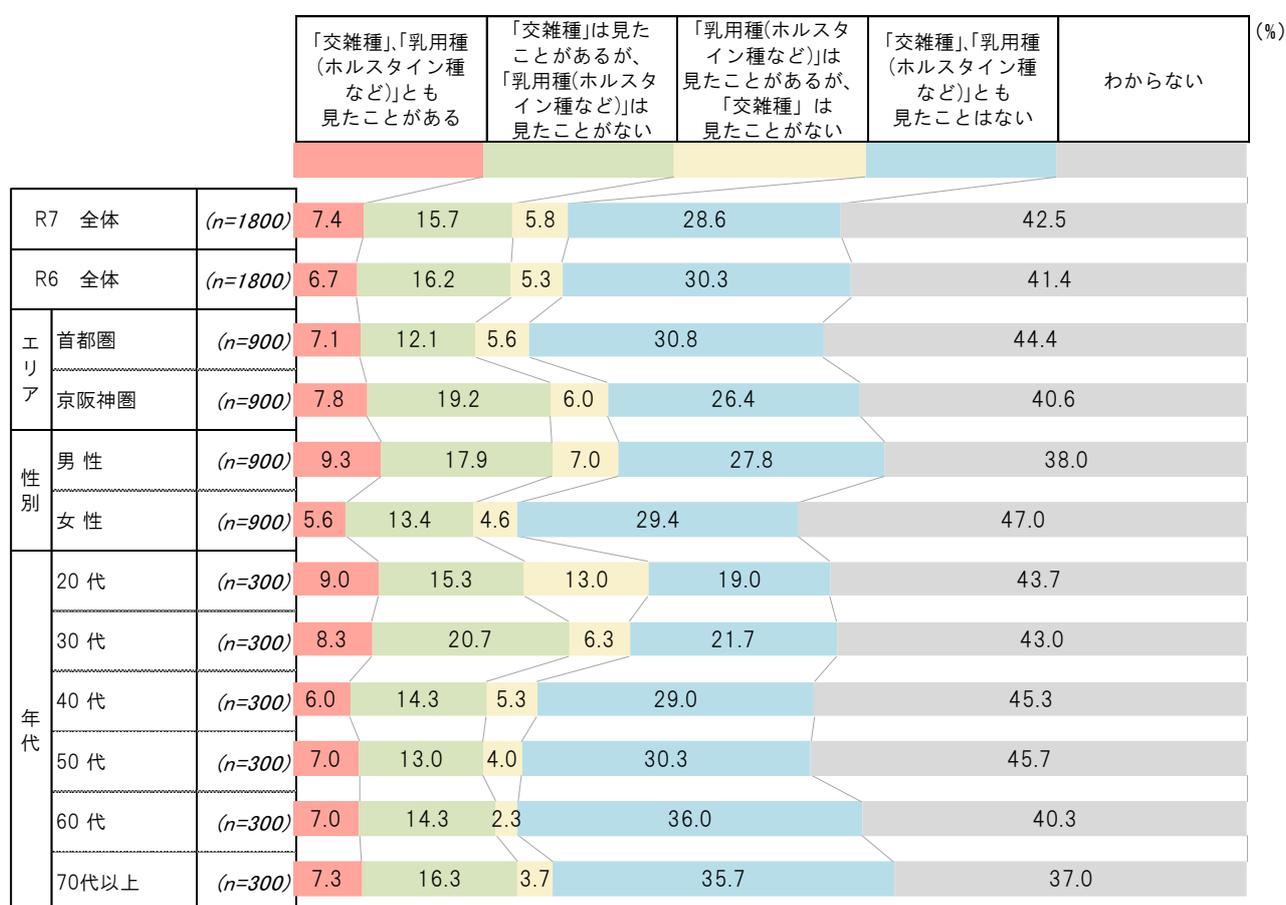
スーパー等で牛肉を購入する際に「交雑種」や「乳用種（ホルスタイン種など）」の表示を見たことがあるかの認識度（Q42）を聞いたところ、「わからない」が42.5%で最も多く、次に「「交雑種」、「乳用種（ホルスタイン種など）」とも見たことはない」が28.6%で、合わせて7割以上が非認知である。

一方、「「交雑種」は見たことがあるが、「乳用種（ホルスタイン種など）」は見たことがない」が15.7%、「「交雑種」、「乳用種（ホルスタイン種など）」とも見たことがある」が7.4%、「乳用種（ホルスタイン種など）」は見たことがあるが、「交雑種」は見たことがない」5.8%の順である。

エリア別に見ると、「「交雑種」は見たことがあるが、「乳用種（ホルスタイン種など）」は見たことがない」は、首都圏が12.1%、京阪神圏が19.2%と、首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「「交雑種」は見たことがあるが、「乳用種（ホルスタイン種など）」は見たことがない」は、男性が17.9%、女性が13.4%と、女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「「交雑種」、「乳用種（ホルスタイン種など）」とも見たことはない」は60代以上で35%以上と多くなっている。



図表 58 エリア・性・年代別 「交雑種」「乳用種」の表示の認識度

2.5 食品購入にあたっての「アニマルウェルフェア（AW）」に対する消費者意識の考察

- ・ 説明文を提示せずに聞いた「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度は、「詳しく知っている」が2.9%、「ある程度知っている」が7.9%、「「アニマルウェルフェア」という言葉は聞いたことがある・知っている」が14.3%で、認知度計は全体の25.1%。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が74.9%と非常に多い。
- ・ 国が「アニマルウェルフェアに配慮した、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこと」としていることについての関心度は、「関心がある計」は32.2%（「非常に関心がある」8.3%＋「やや関心がある」23.9%）、「関心がない計」は38.3%（「あまり関心がない」19.4%＋「まったく関心がない」18.9%）。「どちらでもない」が29.5%。
- ・ 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向は、「割高でも購入したい」が5.2%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が26.0%で、同程度の価格以上で購入する意向のある消費者は31.2%。一方、「安ければ購入したい」が31.6%で最も多く、「購入したくない」が8.9%、「わからない」が28.3%。
- ・ 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉について普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うかは、「50円程度までなら高くても購入する」が15.2%で最も多く、「30円程度までなら高くても購入する」及び「100円程度までなら高くても購入する」が14.3%、「10円程度までなら高くても購入する」が11.1%、「20円程度までなら高くても購入する」が7.5%の順。「平均割高許容価格（円/100g）」は74.0円/100g。

2.5では、食品購入にあたっての「アニマルウェルフェア（AW）」に対する消費者の意識を探ることを目的とした。

1) 「アニマルウェルフェア (AW)」の認知度 (Q43) : エリア・性・年代別分析

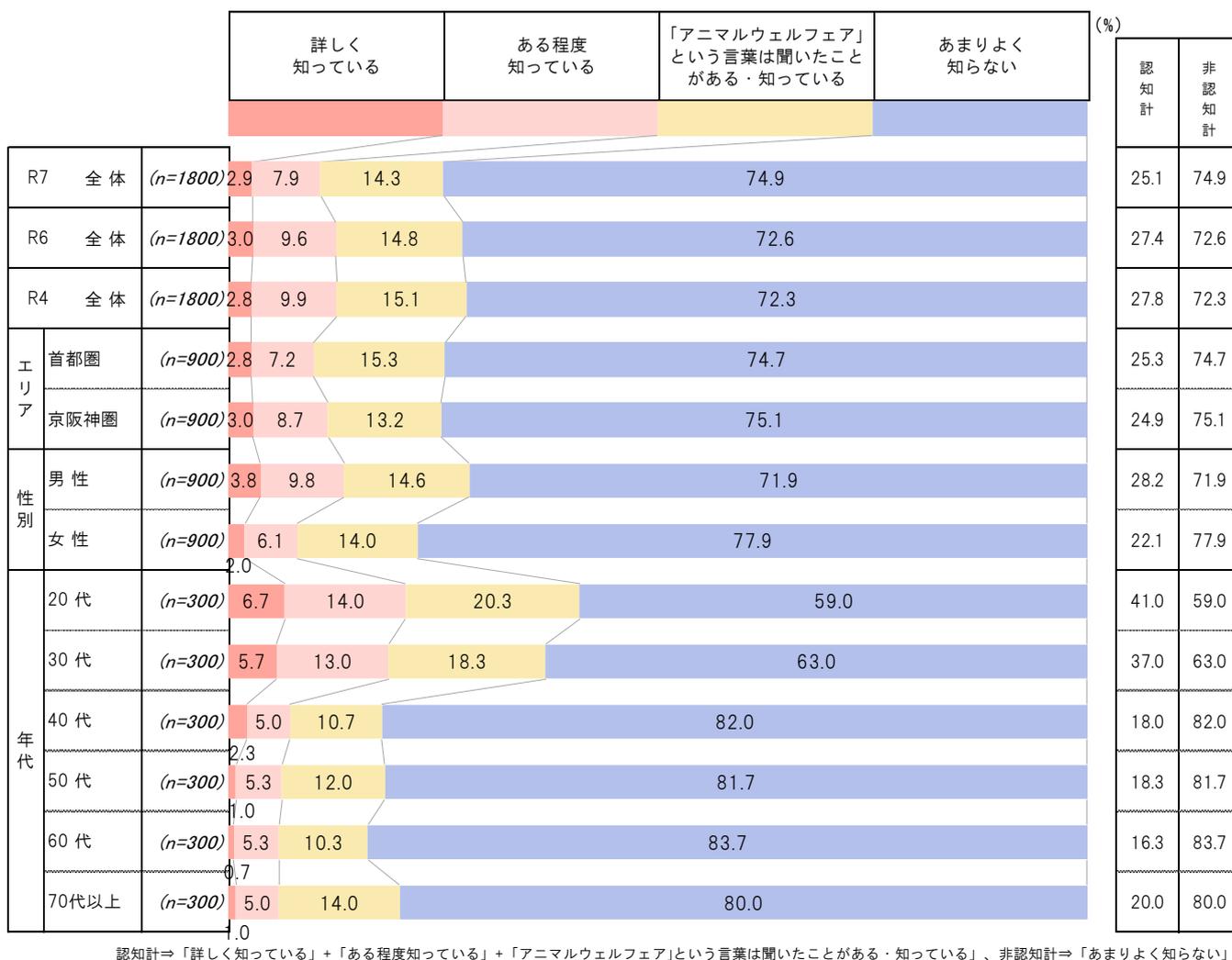
説明文を提示せずに聞いた「アニマルウェルフェア (AW)」の認知度 (Q43) は、「詳しく知っている」が 2.9%、「ある程度知っている」が 7.9%、「「アニマルウェルフェア」という言葉は聞いたことがある・知っている」が 14.3%で、認知度計は全体の 25.1%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が 74.9%と非常に多い。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。

エリア別に認知度計を見ると、大きな違いは見られない。

性別に認知度計を見ると、男性が 28.2%、女性が 22.1%と女性より男性の方が高い。

年代別に認知度計を見ると、若い世代の方が高くなっており、20代が 41.0%、30代が 37.0%だが、40代以上では2割以下と低くなっている。



図表 59 「アニマルウェルフェア」の認知度

2) 「アニマルウェルフェア (AW)」の関心度 (Q44) : エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア」についての説明文を提示して、国が「アニマルウェルフェアに配慮した、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこと」としていることについて関心度 (Q44) を聞いたところ、「非常に関心がある」が 8.3%、「やや関心がある」が 23.9%で、「関心がある計」は全体の 32.2%である。一方、「あまり関心がない」が 19.4%、「まったく関心がない」が 18.9%で「関心がない計」は全体の 38.3%である。「どちらでもない」が 29.5%と最も多い。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。

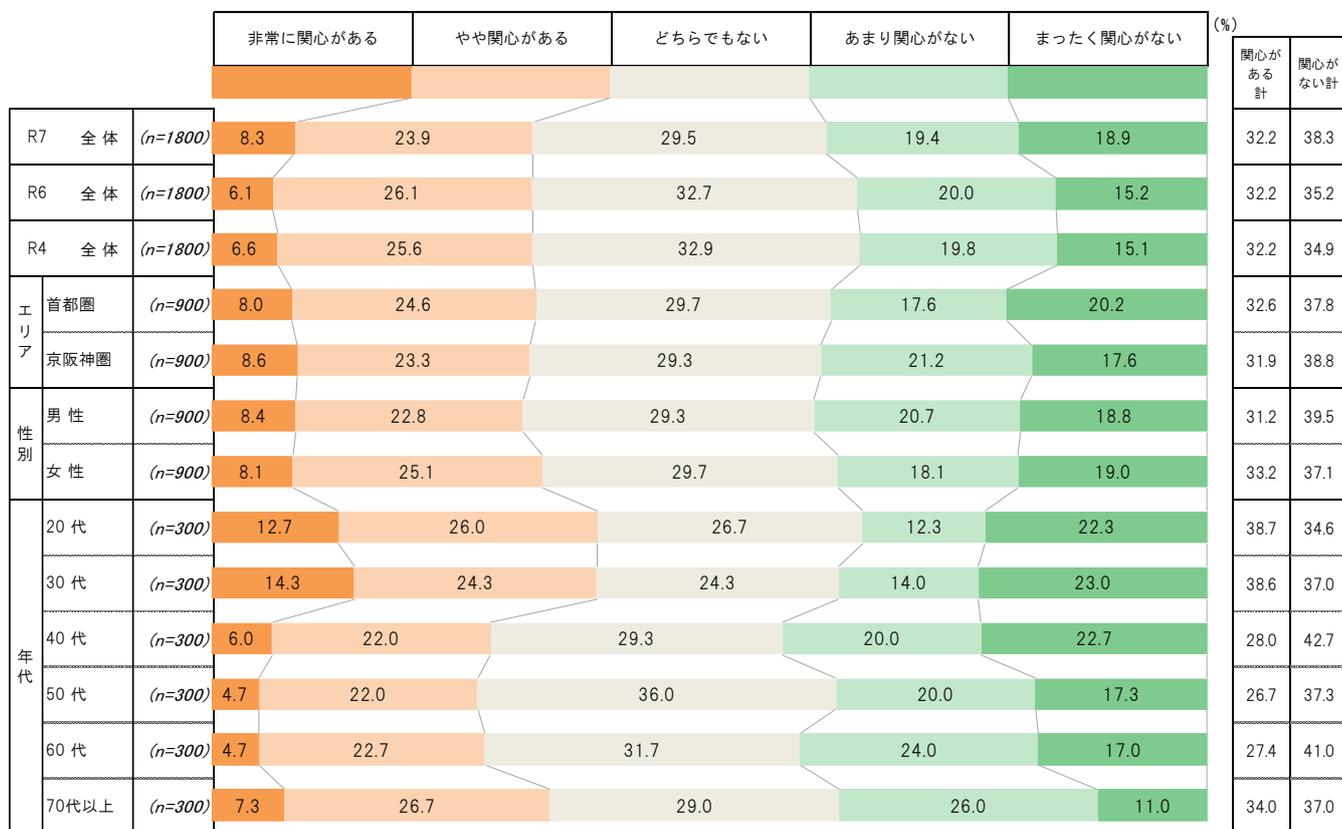
エリア別に「関心がある計」を見ると、大きな違いは見られない。

性別に「関心がある計」を見ると、大きな違いは見られない。

年代別に「関心がある計」を見ると、認知率が高かった 20 代・30 代では 39%と多くなっている。

国は、アニマルウェルフェア(家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なくし、行動要求が満たされた快適で健康的な環境を提供するという考え方)に配慮した飼養管理等に関する技術的な指針を家畜の種類ごとに示し、その普及を図っています。
アニマルウェルフェアを踏まえた家畜の飼養管理は、ストレスや疾病を減らし、結果として安全な畜産物の生産につながります。また、畜産物の輸出拡大を図るため、日本のアニマルウェルフェアの水準を国際水準とすることが必要とされています。

図表 60 提示説明文



関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 61 「アニマルウェルフェア」の関心度

3) 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q45) : エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア」と「アニマルウェルフェア認証マーク」についての説明文を提示して「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q45) を聞いたところ、「割高でも購入したい」が 5.2%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が 26.0%で、同程度の価格以上で購入する意向のある消費者は 31.2%であった。また、「安ければ購入したい」が 31.6%で最も多く、「購入したい計」は 62.8%である。

一方、「購入したくない」が 8.9%、「わからない」が 28.3%である。

過年度調査で「購入したい計」を見ると、減少傾向である。

エリア別に見ると、「安ければ購入したい」は、首都圏が 29.8%、京阪神圏が 33.4%と、首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「安ければ購入したい」は、男性が 35.6%、女性が 27.7%と、女性より男性の方が多い。

年代別に「割高でも購入したい」を見ると、30代で 9.0%と多くなっている。

いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアに配慮した肉用牛の飼養管理に関する審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア認証マーク」を貼られて売られるとします。この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、アニマルウェルフェアに配慮して生産されるため、価格が高めであるとします。

図表 62 提示説明文

		割高でも購入したい	ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい	安ければ購入したい	購入したくない	わからない	同程度の価格以上購入したい計	購入したい計
R7	全体 (n=1800)	5.2	26.0	31.6	8.9	28.3	31.2	62.8
R6	全体 (n=1800)	6.4	27.5	32.3	7.8	25.9	33.9	66.2
R4	全体 (n=1800)	7.3	29.9	32.2	7.4	23.2	37.2	69.4
エリア	首都圏 (n=900)	5.3	26.2	29.8	9.7	29.0	31.5	61.3
	京阪神圏 (n=900)	5.0	25.8	33.4	8.2	27.6	30.8	64.2
性別	男性 (n=900)	5.6	25.1	35.6	9.8	24.0	30.7	66.3
	女性 (n=900)	4.8	26.9	27.7	8.1	32.6	31.7	59.4
年代	20代 (n=300)	7.3	28.7	24.7	10.0	29.3	36.0	60.7
	30代 (n=300)	9.0	30.3	22.7	10.3	27.7	39.3	62.0
	40代 (n=300)	2.3	25.3	33.0	8.3	31.0	27.6	60.6
	50代 (n=300)	3.3	21.7	35.7	8.7	30.7	25.0	60.7
	60代 (n=300)	3.7	23.0	38.0	7.7	27.7	26.7	64.7
	70代以上 (n=300)	5.3	27.0	35.7	8.7	23.3	32.3	68.0

同程度の価格以上購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」
購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 63 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向

4) 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思 (Q46)
: エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア認証マーク」についての説明文を提示して、「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉について、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うか (Q46) を聞いた。 ※Q46は、「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q45) で「割高でも購入したい」又は「ロゴマークがっていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」と回答した人で、かつ、普段買っている国産牛肉の価格帯 (Q15) に価格を回答した人に対してのみ聞いた。

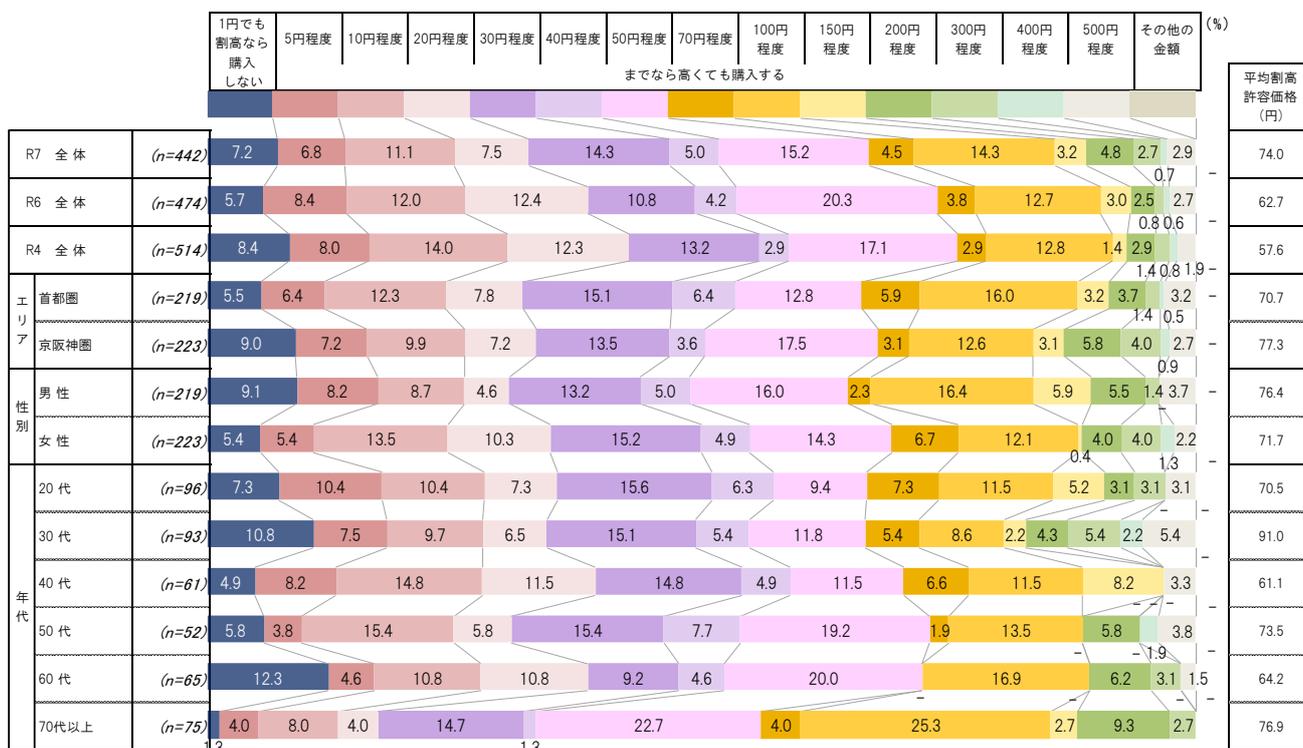
「50円程度までなら高くても購入する」が15.2%で最も多く、「30円程度までなら高くても購入する」及び「100円程度までなら高くても購入する」が14.3%、「10円程度までなら高くても購入する」が11.1%、「20円程度までなら高くても購入する」が7.5%の順で多く、「平均割高許容価格 (円/100g)」で見ると、74.0円/100gである。「1円でも割高なら購入しない」は7.2%である。

過年度調査で「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、増加傾向である。

エリア別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、首都圏が70.7円/100g、京阪神圏が77.3円/100gと大きな違いは見られない。性別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、男性が76.4円/100g、女性が71.7円/100gと、大きな違いは見られない。年代別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、30代が91.0円/100gと最も高く、次いで70代以上が76.9円/100gである。

いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアに配慮した肉用牛の飼養管理に関する審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア認証マーク」を貼られて売られるとします。この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、アニマルウェルフェアに配慮して生産されるため、価格が高めであるとします。

図表 64 提示説明文



図表 65 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思

「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の推定購入価格は、『国産牛肉（和牛を含む）の普段の平均購入価格 426.5 円／100g』に、『「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の平均割高許容価格 74.0 円／100g』を合わせた 500.5 円／100g と推定される。

エリア別、性別に見ると、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、70 代以上は、602.0 円／100g と平均より約 100 円高い。

世帯年収別に見ると、世帯年収が高くなるほど、「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の推定購入価格が高くなっている。

		平均購入価格(円)		平均割高許容価格(円)		平均購入価格と平均割高許容価格の合計(円)
全体		426.5	+	74.0	=	500.5
地域	首都圏	429.7	+	70.7	=	500.4
	京阪神圏	423.7	+	77.3	=	501.0
性別	男性	423.5	+	76.4	=	499.9
	女性	429.7	+	71.7	=	501.4
年代	20代	409.4	+	70.5	=	479.9
	30代	407.9	+	91.0	=	498.9
	40代	369.1	+	61.1	=	430.2
	50代	408.6	+	73.5	=	482.1
	60代	427.2	+	64.2	=	491.4
	70代以上	525.1	+	76.9	=	602.0
世帯年収	300万円未満	372.2	+	56.2	=	428.4
	300～500万円未満	392.2	+	62.8	=	455.0
	500～700万円未満	425.2	+	65.6	=	490.8
	700～1000万円未満	434.6	+	63.0	=	497.6
	1000～1500万円未満	500.6	+	87.8	=	588.4
	1500万円以上	643.3	+	164.2	=	807.5
	答えたくない／わからない	445.7	+	93.6	=	539.3

図表 66 エリア・性・年代・世帯年収別

国産牛肉（和牛を含む）の普段の 100g あたり税込み平均購入価格と

「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思を上乗せした平均割高許容価格のまとめ

2.6 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」に対する消費者意識の考察

- 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」についての説明文とマークを提示して聞いた「温室効果ガス削減」のマークの認知度は、「確かに見たことがある」が5.7%、「見たことがあるような気がする」が21.2%で、見たことがある計は26.9%。「マーク」があることは知っているが、見たことはない」が13.6%で、認知計は40.5%。一方、非認知は、「マーク」があることは知らない」が59.5%と多い。
- 国が環境負荷低減の取組を等級ラベル（「温室効果ガス削減」マーク）で表示することで「見える化」し、その普及を図っていることについての関心度は、「非常に関心がある」が6.1%、「やや関心がある」が23.9%で、「関心がある計」は30.0%。一方、「あまり関心がない」が20.3%、「まったく関心がない」が19.2%で「関心がない計」は39.5%。「どちらでもない」が30.6%。
- 「温室効果ガス削減」のマークがついている国産牛肉の購入意向は、「割高でも購入したい」が4.5%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が27.3%で、同程度の価格以上で購入する意向のある消費者は31.8%。一方、「安ければ購入したい」が34.7%で最も多く、「購入したくない」が7.2%、「わからない」が26.3%。
- 「温室効果ガス削減」のマークがついている国産牛肉について、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うかは、「50円程度までなら高くても購入する」が17.7%で最も多く、「100円程度までなら高くても購入する」が13.5%、「20円程度までなら高くても購入する」が12.4%、「30円程度までなら高くても購入する」が10.8%、「10円程度までなら高くても購入する」が9.4%の順。「平均割高許容価格（円/100g）」は、72.6円/100g。

2.6では、農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」に対する消費者の意識を探ることを目的とした。

1) 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」マークの認知度 (Q47)

：エリア・性・年代別分析

農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」についての説明文とマークを提示して聞いた「温室効果ガス削減」のマークの認知度 (Q47) は、「確かに見たことがある」が 5.7%、「見たことがあるような気がする」が 21.2%で、見たことがある計は全体の 26.9%である。「『マーク』があることは知っているが、見たことはない」が 13.6%で、認知計は全体の 40.5%である。一方、非認知は、「『マーク』があることは知らない」が 59.5%と多い。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

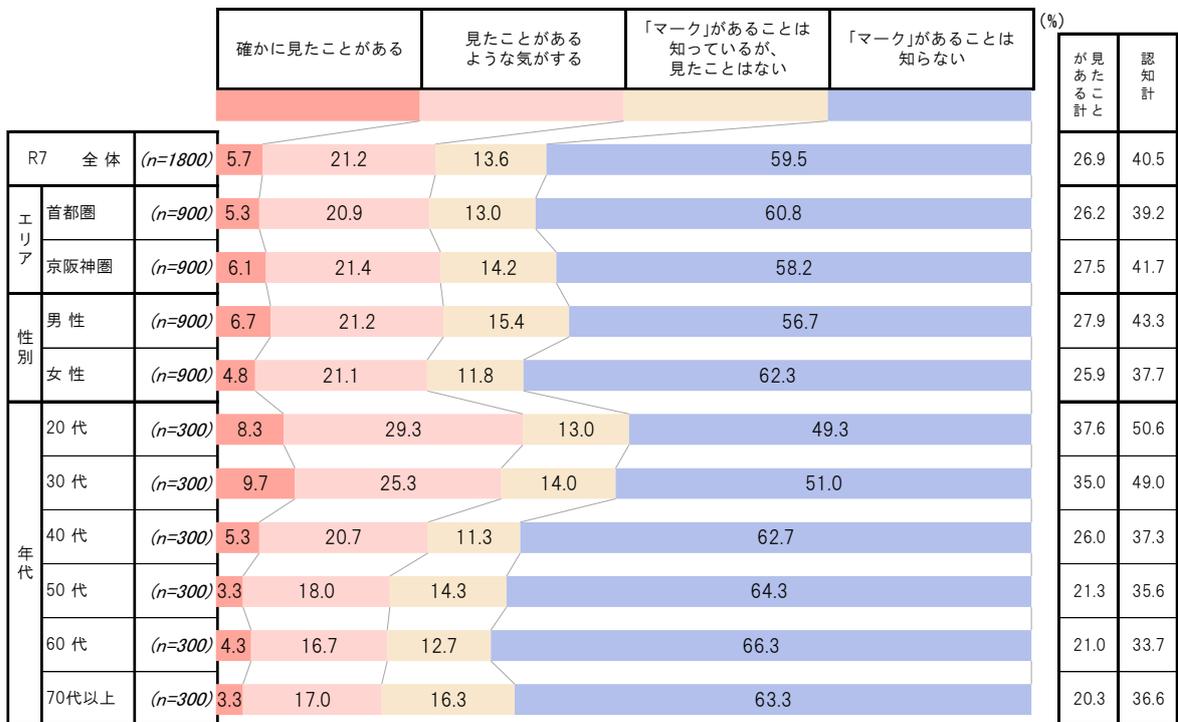
性別に見ると、「『マーク』があることは知っているが、見たことはない」は、男性が 15.4%、女性が 11.8%と女性より男性の方が多く、認知計は、男性が 43.3%、女性が 37.7%と、女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、20代は「見たことがあるような気がする」が 29.3%と多く、若い世代の方がマークを見たことがある割合が多くなっている。

地球温暖化防止や生物多様性の保全の取組が、国際的な課題となっています。農林水産省では「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。ガイドラインに基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベルで表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整えていきます。



図表 67 提示説明文と「見える化」マーク



見たことがある計⇒「確かに見たことがある」+「見たことがあるような気がする」
 認知計⇒「確かに見たことがある」+「見たことがあるような気がする」+「『マーク』があることは知っているが、見たことはない」

図表 68 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」マークの認知度

2) 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」マークの関心度 (Q48)

：エリア・性・年代別分析

農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」についての説明文とマークを提示して、国が環境負荷低減の取組を等級ラベル（「温室効果ガス削減」マーク）で表示することで「見える化」し、その普及を図っていることについて関心度（Q48）を聞いたところ、「非常に関心がある」が6.1%、「やや関心がある」が23.9%で、「関心がある計」は全体の30.0%である。一方、「あまり関心がない」が20.3%、「まったく関心がない」が19.2%で「関心がない計」は全体の39.5%である。「どちらでもない」が30.6%である。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「あまり関心がない」は、男性が22.3%、女性が18.2%と女性より男性の方が多くなっている。

年代別に見ると、20代は「やや関心がある」が31.3%と最も多く、「関心がある計」でみても40.0%と最も多くなっている。

農林水産省では「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。
ガイドラインに基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベルで表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整えていきます。



図表 69 提示説明文と「見える化」マーク

		非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない	あ関 る心 計が	な関 い心 計が
R7	全体 (n=1800)	6.1	23.9	30.6	20.3	19.2	30.0	39.5
エリア	首都圏 (n=900)	5.6	24.8	31.2	19.2	19.2	30.4	38.4
	京阪神圏 (n=900)	6.6	23.1	29.9	21.3	19.1	29.7	40.4
性別	男性 (n=900)	6.8	22.7	29.7	22.3	18.6	29.5	40.9
	女性 (n=900)	5.3	25.2	31.4	18.2	19.8	30.5	38.0
年代	20代 (n=300)	8.7	31.3	22.7	13.3	24.0	40.0	37.3
	30代 (n=300)	9.0	25.0	27.7	15.3	23.0	34.0	38.3
	40代 (n=300)	4.7	19.0	31.0	25.0	20.3	23.7	45.3
	50代 (n=300)	3.0	21.0	41.0	16.3	18.7	24.0	35.0
	60代 (n=300)	3.3	21.0	35.0	24.0	16.7	24.3	40.7
	70代以上 (n=300)	7.7	26.3	26.0	27.7	12.3	34.0	40.0

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 70 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」マークの関心度

3) 「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q49)
: エリア・性・年代別分析

農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」についての説明文とマークを提示して、「温室効果ガス削減」のマークがついている国産牛肉の購入意向 (Q49) を聞いたところ、「割高でも購入したい」が 4.5%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が 27.3%で、同程度の価格以上で購入する意向のある消費者は 31.8%である。また、「安ければ購入したい」が 34.7%で最も多く、「購入したい計」は 66.5%である。

一方、「購入したくない」が 7.2%、「わからない」が 26.3%である。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「安ければ購入したい」は、男性が 38.4%、女性が 31.0%と、女性より男性の方が多い。

年代別に「割高でも購入したい」を見ると、20代で 7.7%と多くなっている。

農林水産省では「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。
ガイドラインに基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベルで表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整えていきます。



図表 71 提示説明文と「見える化」マーク

			割高でも購入したい	ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい	安ければ購入したい	購入したくない	わからない			
								格同以上度の計の価	計購入したい	な購入したくない
R7	全体	(n=1800)	4.5	27.3	34.7	7.2	26.3	31.8	66.5	7.2
エリア	首都圏	(n=900)	4.6	27.7	33.4	7.9	26.4	32.3	65.7	7.9
	京阪神圏	(n=900)	4.4	27.0	36.0	6.4	26.1	31.4	67.4	6.4
性別	男性	(n=900)	4.9	26.8	38.4	7.4	22.4	31.7	70.1	7.4
	女性	(n=900)	4.1	27.9	31.0	6.9	30.1	32.0	63.0	6.9
年代	20代	(n=300)	7.7	31.3	30.0	7.3	23.7	39.0	69.0	7.3
	30代	(n=300)	6.3	30.0	30.3	9.3	24.0	36.3	66.6	9.3
	40代	(n=300)	4.3	23.3	39.0	6.7	26.7	27.6	66.6	6.7
	50代	(n=300)	2.7	23.0	37.0	7.3	30.0	25.7	62.7	7.3
	60代	(n=300)	2.0	26.3	37.0	6.7	28.0	28.3	65.3	6.7
	70代以上	(n=300)	4.0	30.0	35.0	5.7	25.3	34.0	69.0	5.7

同程度の価格以上計⇒「割高でも購入したい」+「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」+「安ければ購入したい」、
購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」
購入したくない計⇒「購入したくない」

図表 72 「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の購入意向

4) 「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の追加支払意思 (Q50)
 : エリア・性・年代別分析

農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」についての説明文とマークを提示して、「温室効果ガス削減」のマークがついている国産牛肉について、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うか (Q50) を聞いた。※Q50は、「温室効果ガス削減」のマークがついている国産牛肉の購入意向 (Q49) で「割高でも購入したい」又は「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」と回答した人で、かつ、普段買っている国産牛肉の価格帯 (Q15) に価格を回答した人に対してのみ聞いた。

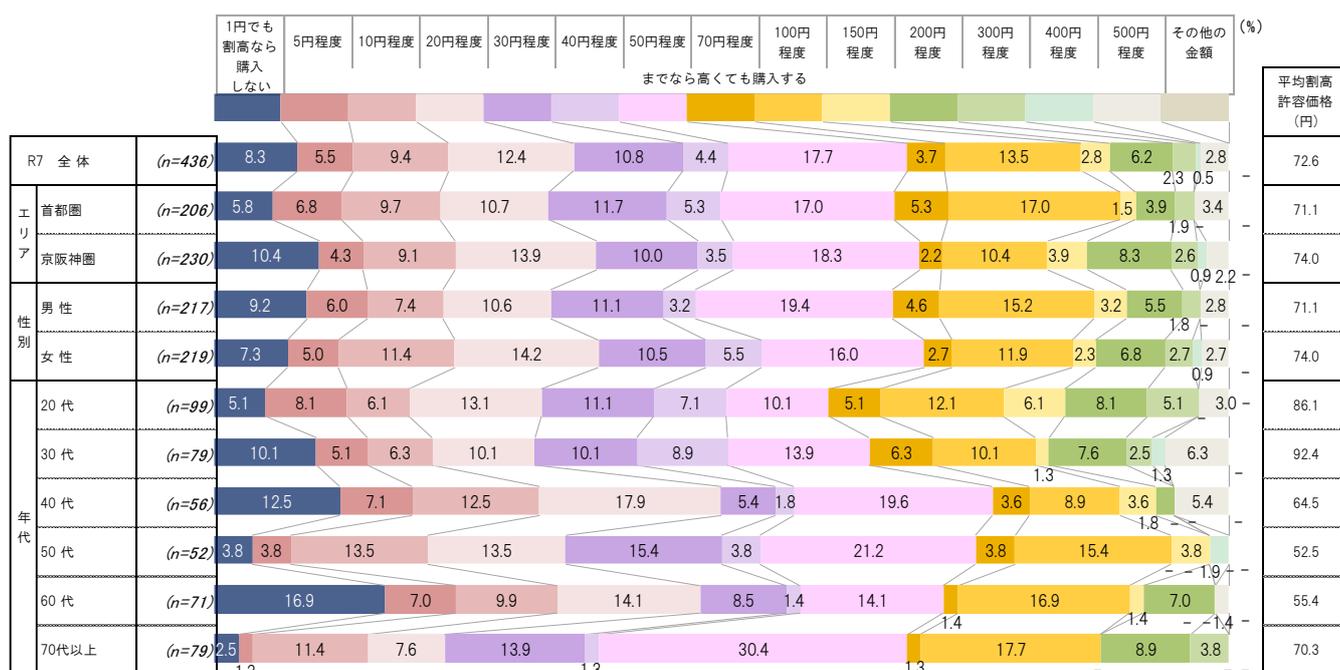
「50円程度までなら高くても購入する」が17.7%で最も多く、「100円程度までなら高くても購入する」が13.5%、「20円程度までなら高くても購入する」が12.4%、「30円程度までなら高くても購入する」が10.8%、「10円程度までなら高くても購入する」が9.4%の順で多く、「平均割高許容価格 (円/100g)」で見ると、72.6円/100gである。「1円でも割高なら購入しない」は8.3%である。

エリア別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、首都圏が71.1円/100g、京阪神圏が74.0円/100gと大きな違いは見られない。性別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、男性が71.1円/100g、女性が74.0円/100gと、大きな違いは見られない。年代別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、30代が92.4円/100gと最も高く、次いで20代が86.1円/100gと高くなっている。

農林水産省では「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。
 ガイドラインに基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベルで表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整えていきます。



図表 73 提示説明文と「見える化」マーク



図表 74 「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の追加支払意思

「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の推定購入価格は、『国産牛肉（和牛を含む）の普段の平均購入価格 426.5 円／100g』に、『「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の平均割高許容価格 72.6 円／100g』を合わせた 499.1 円／100g と推定される。

エリア別、性別に見ると、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、70 代以上は、595.4 円／100g と平均より約 100 円高い。

世帯年収別に見ると、世帯年収が高くなるほど、「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の推定購入価格が高くなっている。

		平均購入価格(円)		平均割高許容価格(円)		平均購入価格と平均割高許容価格の合計(円)
全体		426.5	+	72.6	=	499.1
地域	首都圏	429.7	+	71.1	=	500.8
	京阪神圏	423.7	+	74.0	=	497.7
性別	男性	423.5	+	71.1	=	494.6
	女性	429.7	+	74.0	=	503.7
年代	20代	409.4	+	86.1	=	495.5
	30代	407.9	+	92.4	=	500.3
	40代	369.1	+	64.5	=	433.6
	50代	408.6	+	52.5	=	461.1
	60代	427.2	+	55.4	=	482.6
	70代以上	525.1	+	70.3	=	595.4
世帯年収	300万円未満	372.2	+	56.0	=	428.2
	300～500万円未満	392.2	+	60.5	=	452.7
	500～700万円未満	425.2	+	56.6	=	481.8
	700～1000万円未満	434.6	+	71.1	=	505.7
	1000～1500万円未満	500.6	+	99.5	=	600.1
	1500万円以上	643.3	+	167.7	=	811.0
	答えたくない／わからない	445.7	+	69.3	=	515.0

図表 75 エリア・性・年代・世帯年収別

国産牛肉（和牛を含む）の普段の 100g あたり税込み平均購入価格と「温室効果ガス削減のマーク」がついている国産牛肉の追加支払意思を上乗せした平均割高許容価格のまとめ

3. 食肉の購買実態に関する調査

1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)

- 牛肉料理の内食は「週に1日程度」と「それ以下(月に1日以下)」、中食及び外食では「それ以下(月に1日以下)」とする割合が多い。
- 豚肉料理と鶏肉料理、魚介料理の傾向は似ており、内食では「週に2~3日程度」と「週に1日程度」が多く、中食、外食では「それ以下(月に1日以下)」とする割合が最も多い。

【今年度調査】

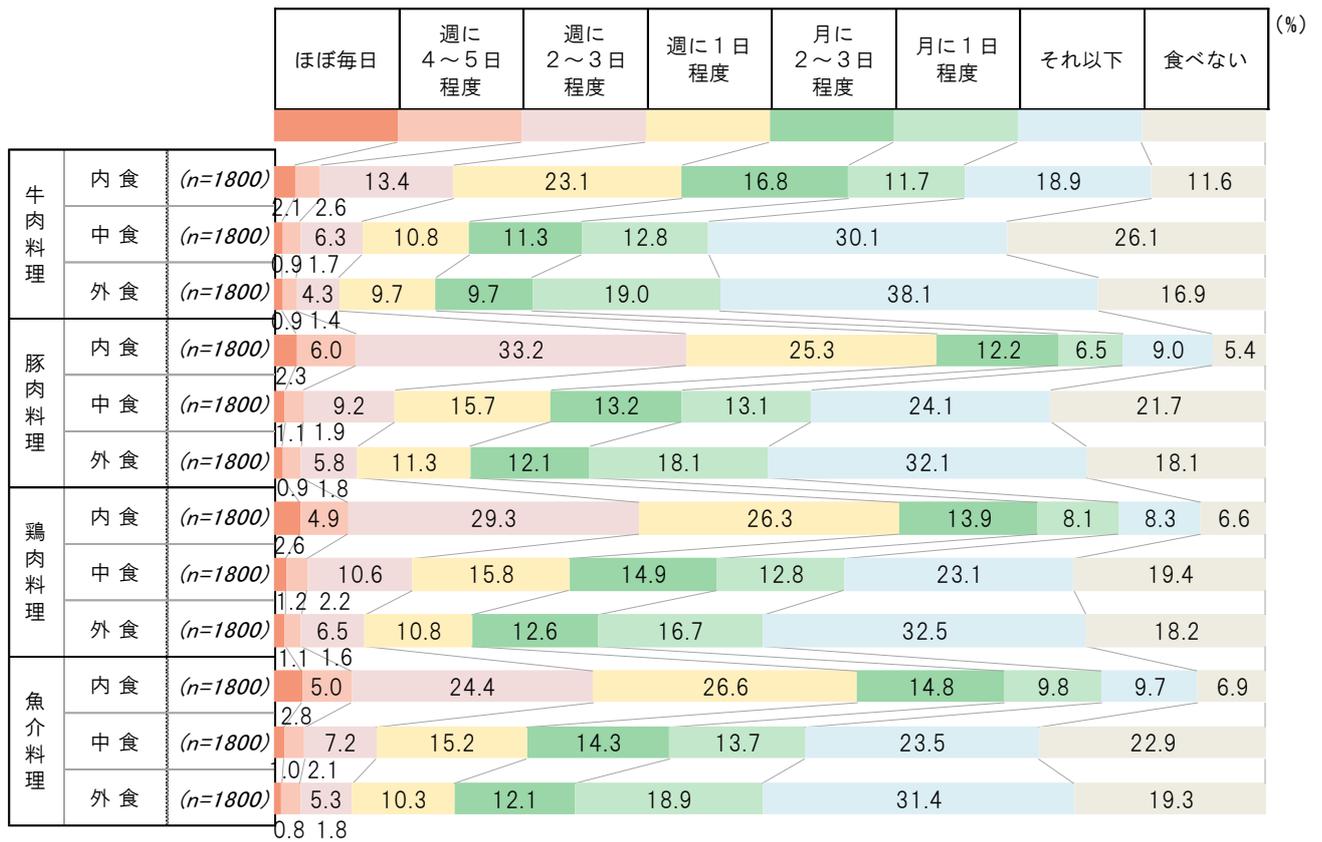
牛肉料理の喫食頻度は、内食では、「週に1日程度」23.1%、「それ以下(月に1日以下)」18.9%、「月に2~3日程度」16.8%、「週に2~3日程度」13.4%、「月に1日程度」11.7%の順で多い。中食では、「それ以下(月に1日以下)」30.1%、「食べない」26.1%、「月に1日程度」12.8%、「月に2~3日程度」11.3%、「週に1日程度」10.8%の順で多い。外食では、「それ以下(月に1日以下)」38.1%、「月に1日程度」19.0%、「食べない」16.9%、「週に1日程度」及び「月に2~3日程度」9.7%の順で多い。

豚肉料理の喫食頻度は、内食では、「週に2~3日程度」33.2%、「週に1日程度」25.3%、「月に2~3日程度」12.2%、「それ以下(月に1日以下)」9.0%、「月に1日程度」6.5%の順で多い。中食では、「それ以下(月に1日以下)」24.1%、「食べない」21.7%、「週に1日程度」15.7%、「月に2~3日程度」13.2%、「月に1日程度」13.1%の順で多い。外食では、「それ以下(月に1日以下)」32.1%、「月に1日程度」及び「食べない」18.1%、「月に2~3日程度」12.1%、「週に1日程度」11.3%の順で多い。

鶏肉料理の喫食頻度は、内食では、「週に2~3日程度」29.3%、「週に1日程度」26.3%、「月に2~3日程度」13.9%、「それ以下(月に1日以下)」8.3%、「月に1日程度」8.1%の順で多い。中食では、「それ以下(月に1日以下)」23.1%、「食べない」19.4%、「週に1日程度」15.8%、「月に2~3日程度」14.9%、「月に1日程度」12.8%、「週に2~3日程度」10.6%の順で多い。外食では、「それ以下(月に1日以下)」32.5%、「食べない」18.2%、「月に1日程度」16.7%、「月に2~3日程度」12.6%、「週に1日程度」10.8%の順で多い。

魚介料理の喫食頻度は、内食では、「週に1日程度」26.6%、「週に2~3日程度」24.4%、「月に2~3日程度」14.8%、「月に1日程度」9.8%、「それ以下(月に1日以下)」9.7%の順で多い。中食では、「それ以下(月に1日以下)」23.5%、「食べない」22.9%、「週に1日程度」15.2%、「月に2~3日程度」14.3%、「月に1日程度」13.7%の順で多い。外食では、「それ以下(月に1日以下)」31.4%、「食べない」19.3%、「月に1日程度」18.9%、「月に2~3日程度」12.1%、「週に1日程度」10.3%の順で多い。

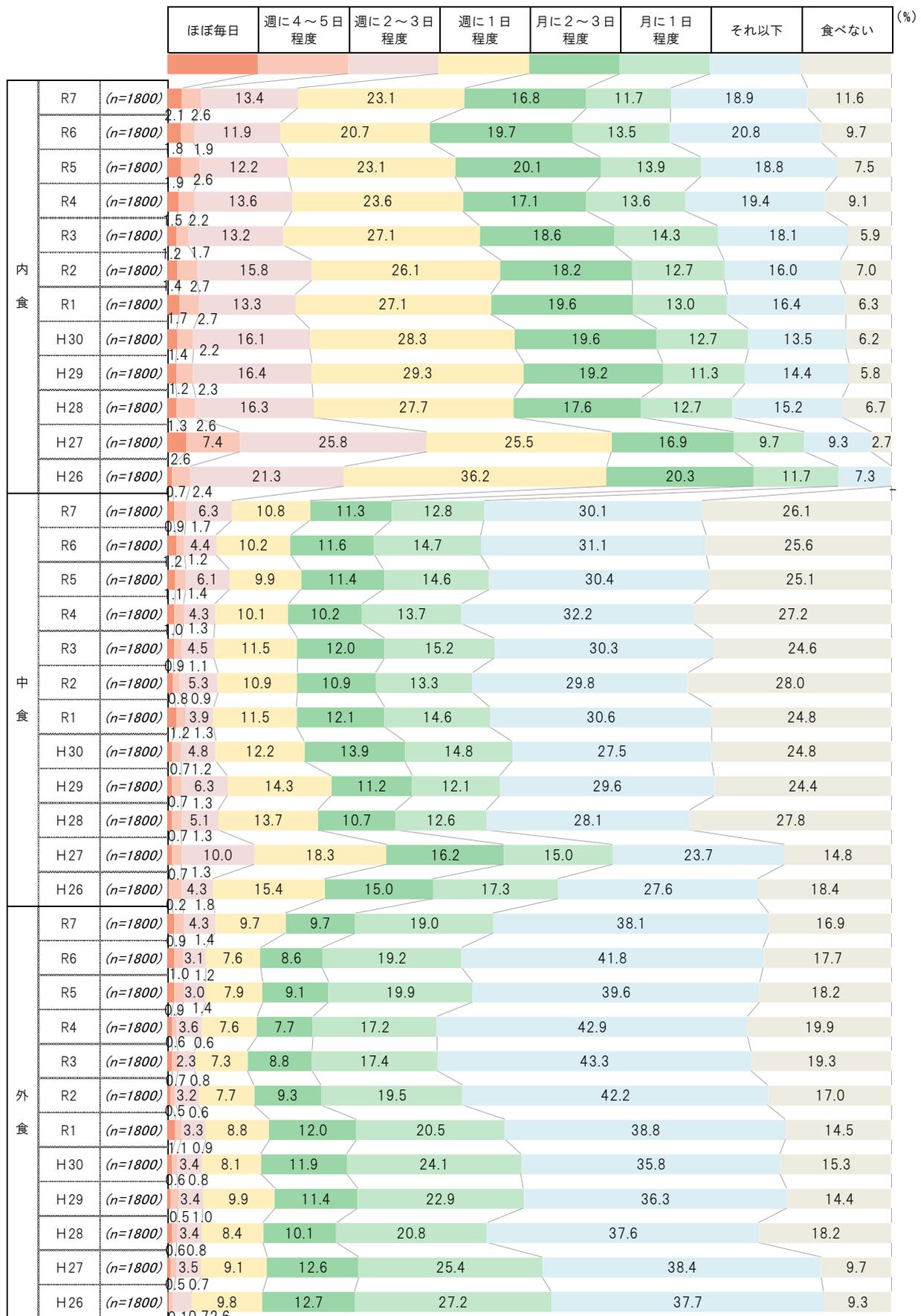
豚肉料理、鶏肉料理、魚介料理は内食、中食、外食のいずれの喫食頻度も似た傾向にある。



図表 76 食肉の種類別機会別の喫食頻度

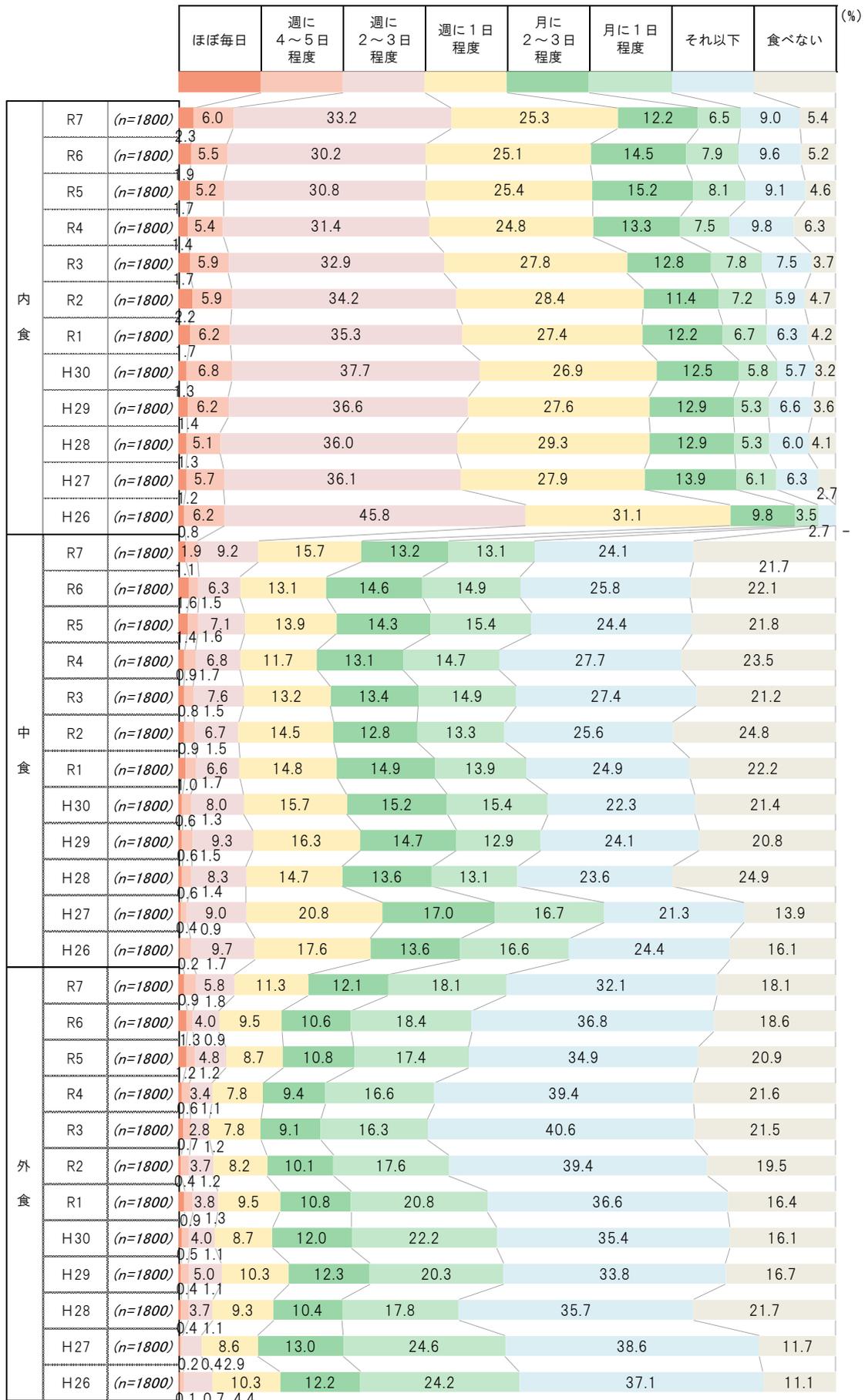
【過年度調査との比較】

牛肉料理は、肉食・中食・外食のいずれも昨年度に比べて大きな違いは見られない。



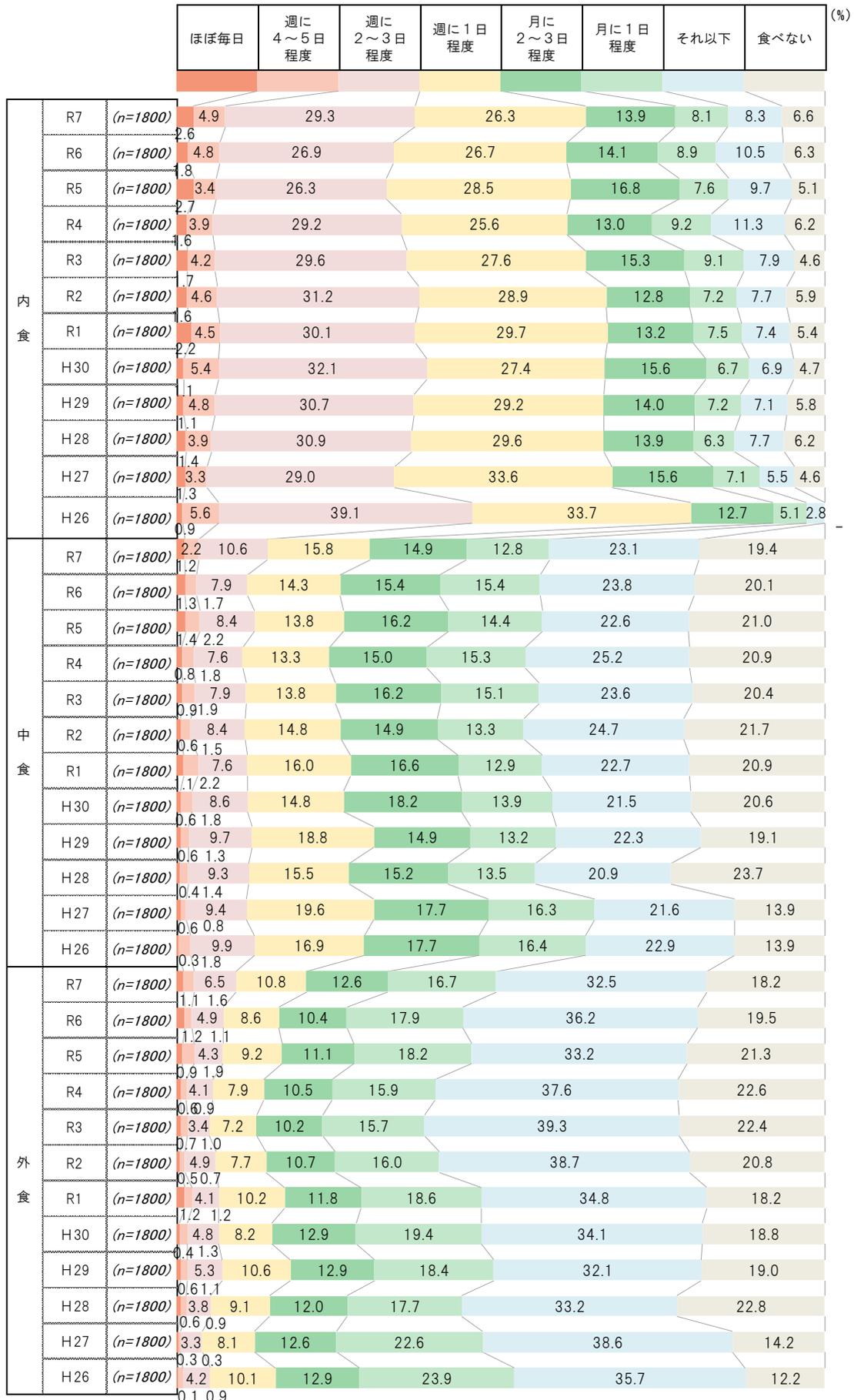
図表 77 牛肉料理の喫食頻度（経年変化）

豚肉料理は、肉食・中食・外食のいずれも昨年度に比べて大きな違いは見られない。



図表 78 豚肉料理の喫食頻度（経年変化）

鶏肉料理は、肉食・中食・外食のいずれも昨年度に比べて大きな違いは見られない。



図表 79 鶏肉料理の喫食頻度（経年変化）

2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5/複数回答)

- どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。
- 牛肉は栄養の豊富さ、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、イメージには大きな違いは見られない。

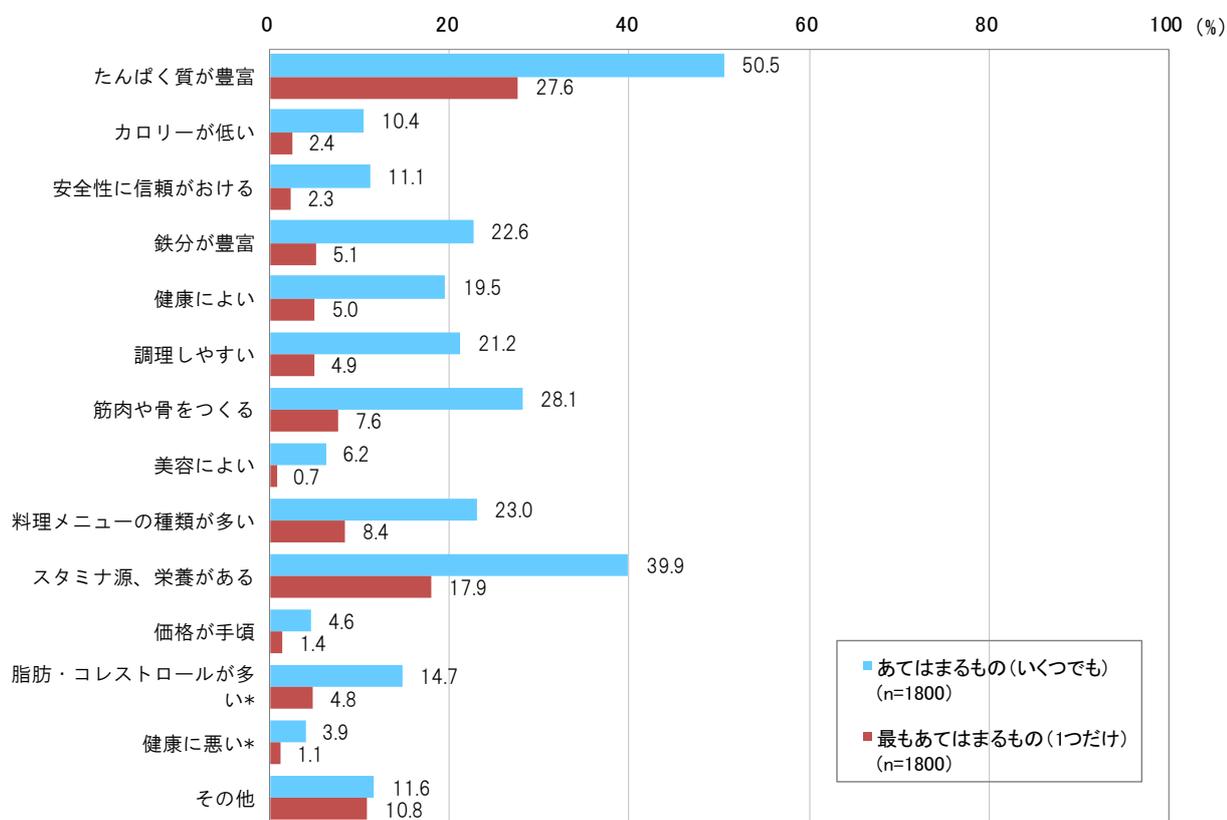
【今年度調査】

牛肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「たんぱく質が豊富」が50.5%で最も多く、「スタミナ源、栄養がある」が39.9%、「筋肉や骨をつくる」が28.1%の順となっている。

豚肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「たんぱく質が豊富」が43.7%で最も多く、「価格が手頃」が40.7%、「調理しやすい」が36.8%、「料理メニューの種類が多い」が32.9%の順となっている。

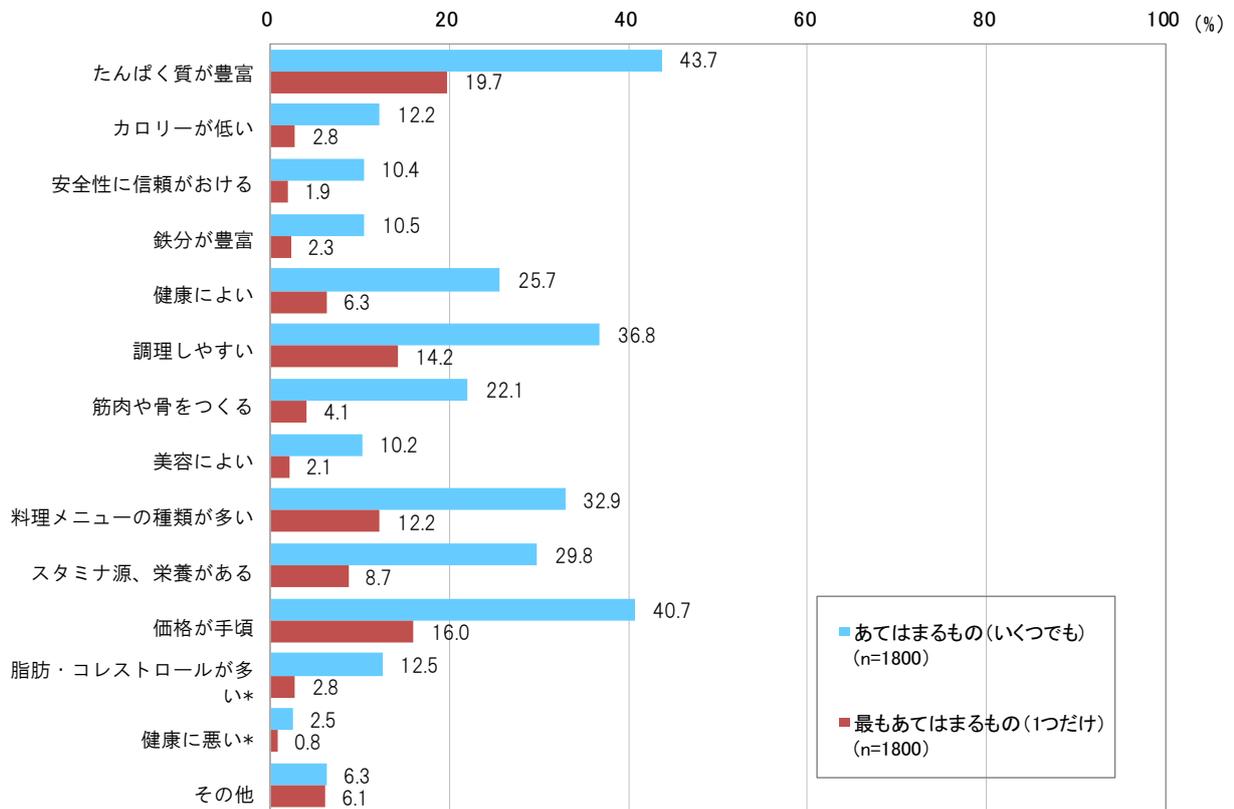
鶏肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「たんぱく質が豊富」が51.5%で最も多く、「価格が手頃」が47.2%、「カロリーが低い」が37.2%の順となっている。

どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが最も多く、たんぱく源としてのイメージが強い。また、牛肉は栄養の豊富さ、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。



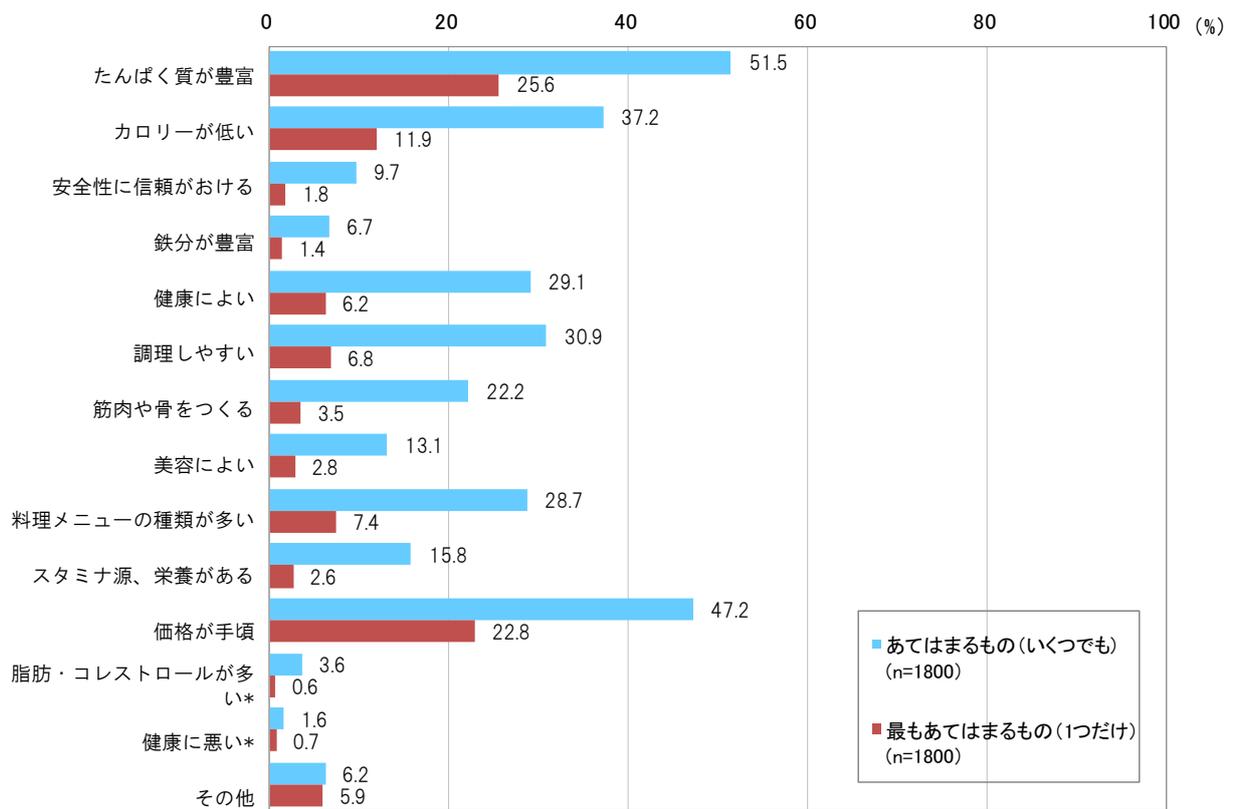
*令和7年度より新規項目

図表 80 牛肉に対するイメージ



*令和7年度より新規項目

図表 81 豚肉に対するイメージ

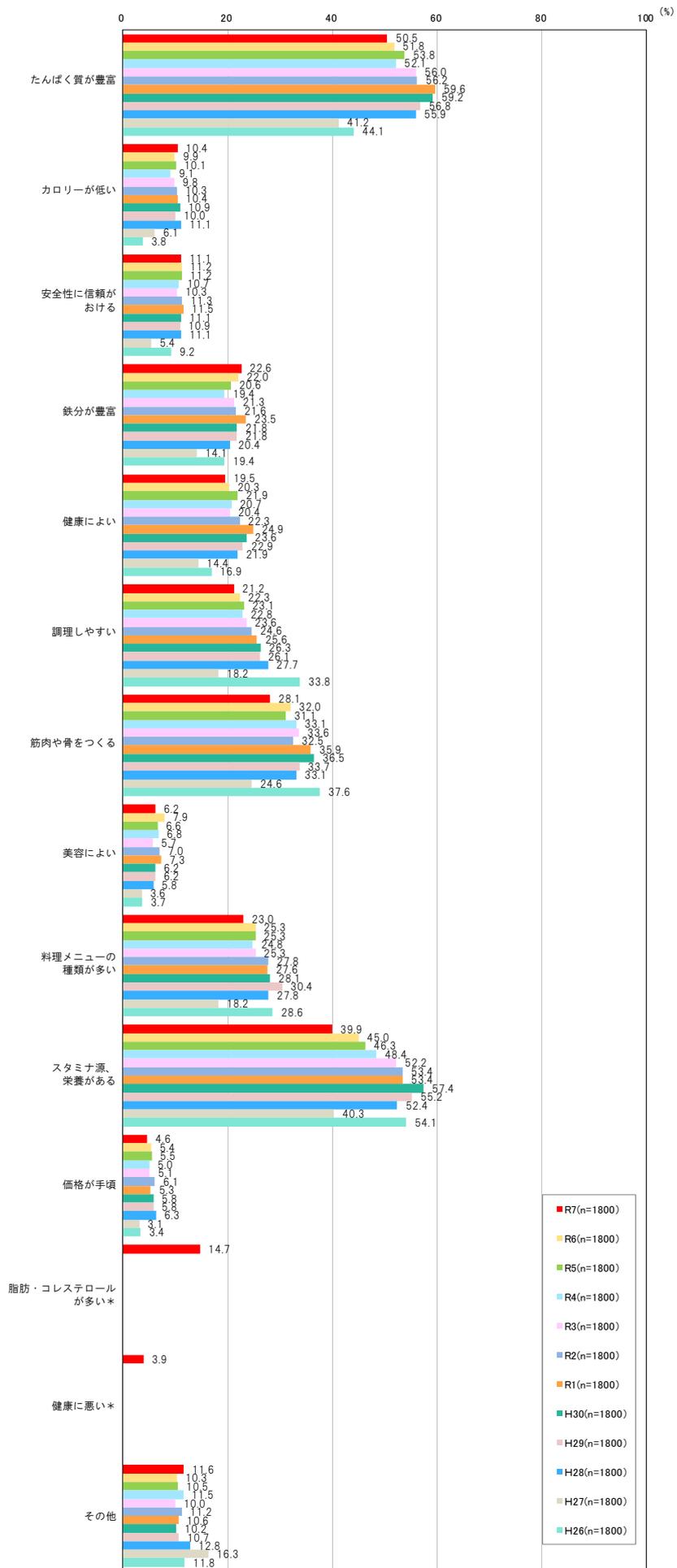


*令和7年度より新規項目

図表 82 鶏肉に対するイメージ

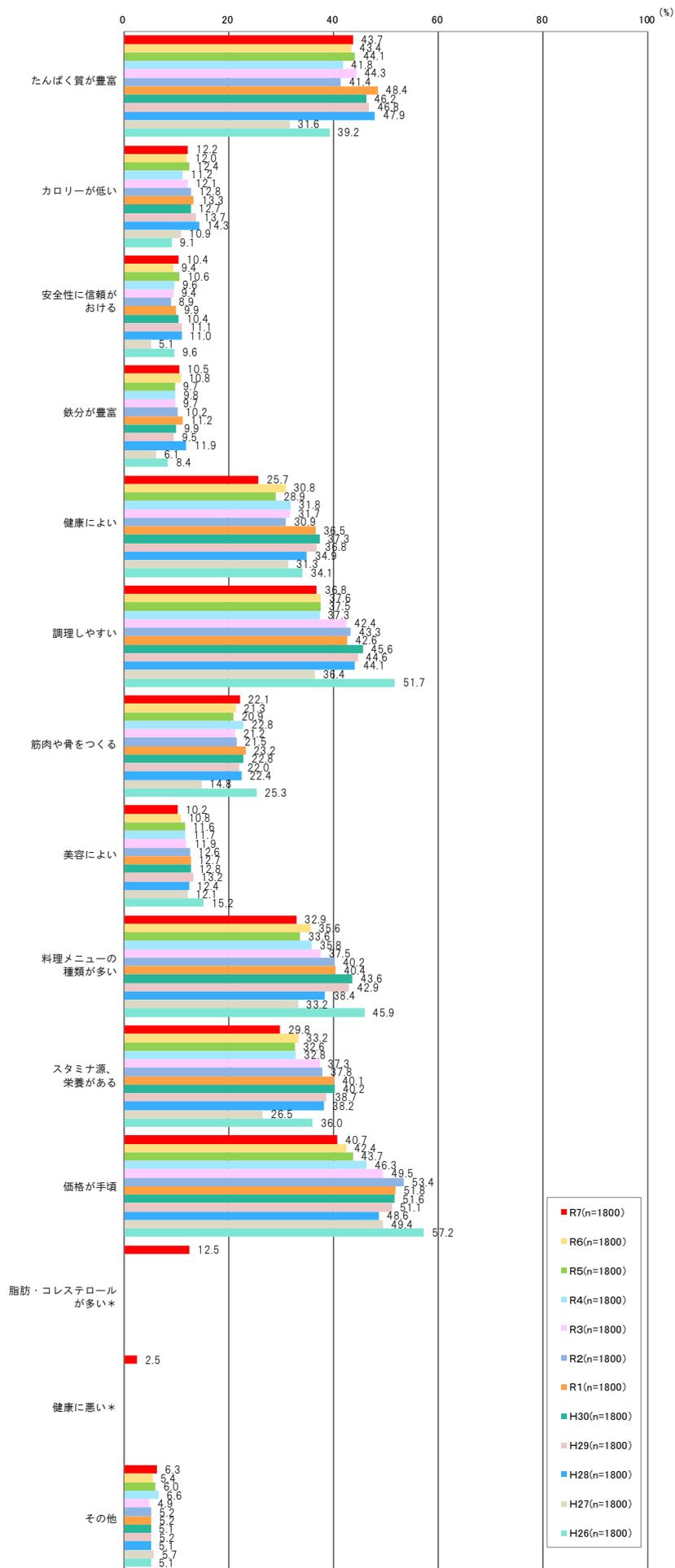
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、消費者に持たれているイメージには大きな違いは見られない。



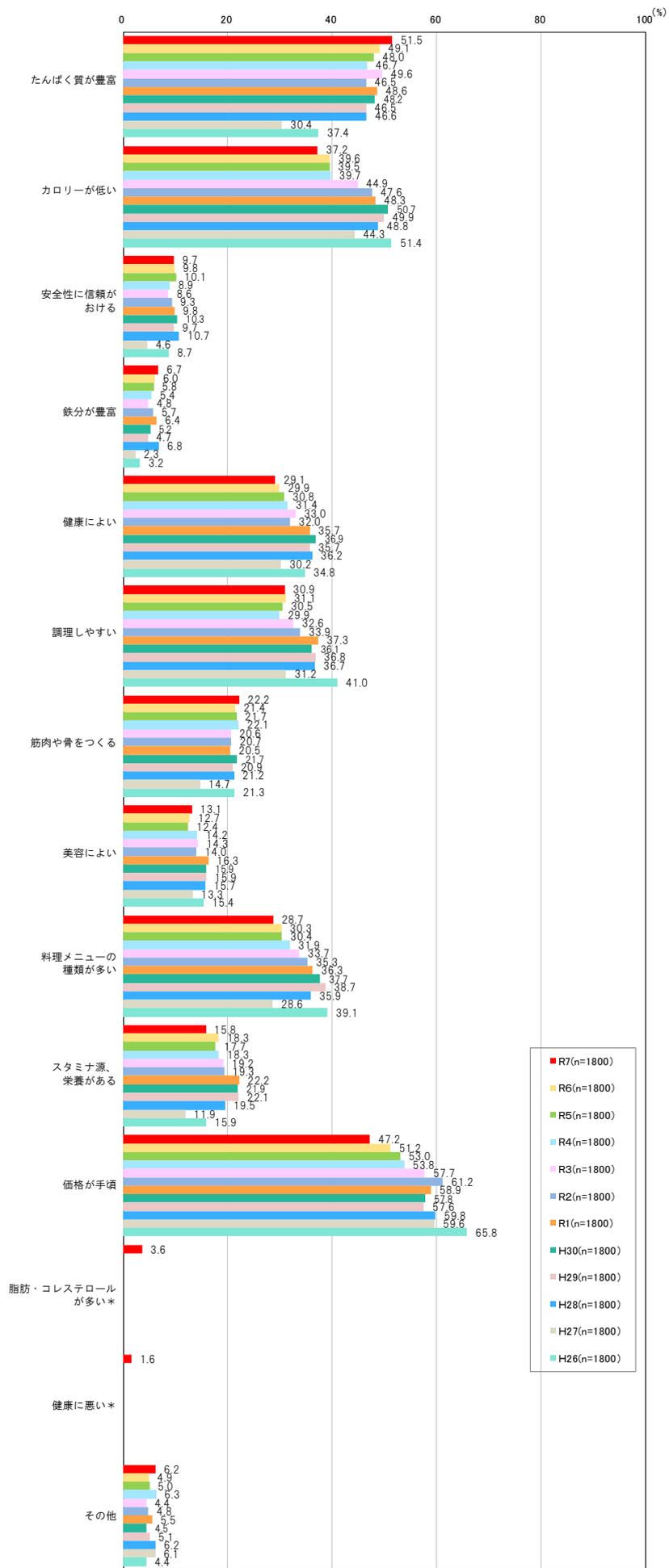
*令和7年度より新規項目

図表 83 牛肉に対するイメージ（経年変化）



*令和7年度より新規項目

図表 84 豚肉に対するイメージ（経年変化）



*令和7年度より新規項目

図表 85 鶏肉に対するイメージ（経年変化）

3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)

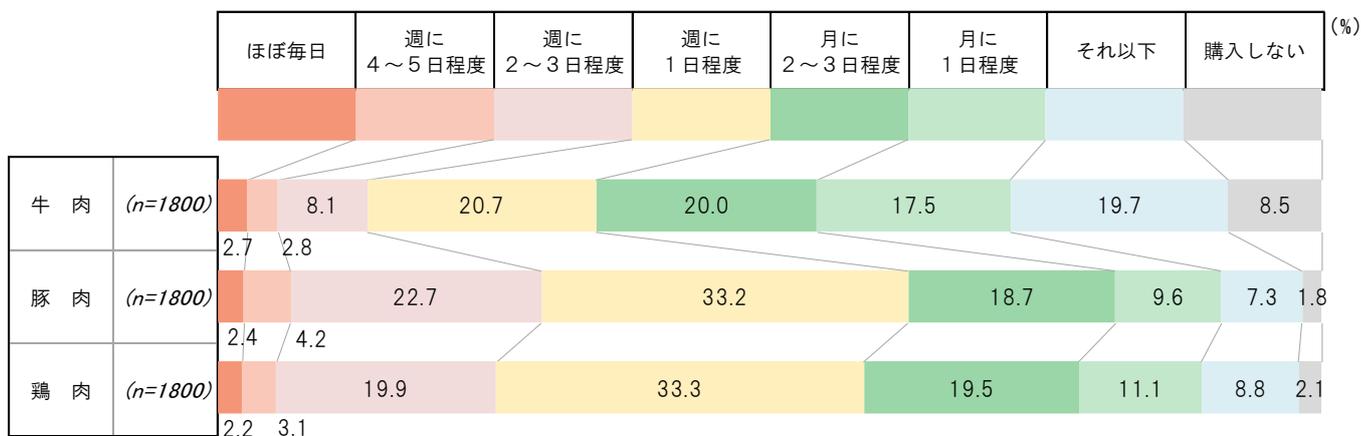
- 牛肉は「週に1日程度」と「月に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- 豚肉と鶏肉は「週に1日程度」「週に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- 過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、大きな違いは見られない。

【今年度調査】

牛肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」20.7%、「月に2～3日程度」20.0%で、合わせて40.7%を占める。他の食肉と比較して低頻度購入のボリュームが大きく、「それ以下（月に1日以下）」が19.7%と他の食肉に比べて高い。

豚肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」33.2%、「週に2～3日程度」22.7%で、合わせて55.9%を占める。「それ以下（月に1日以下）」は7.3%である。

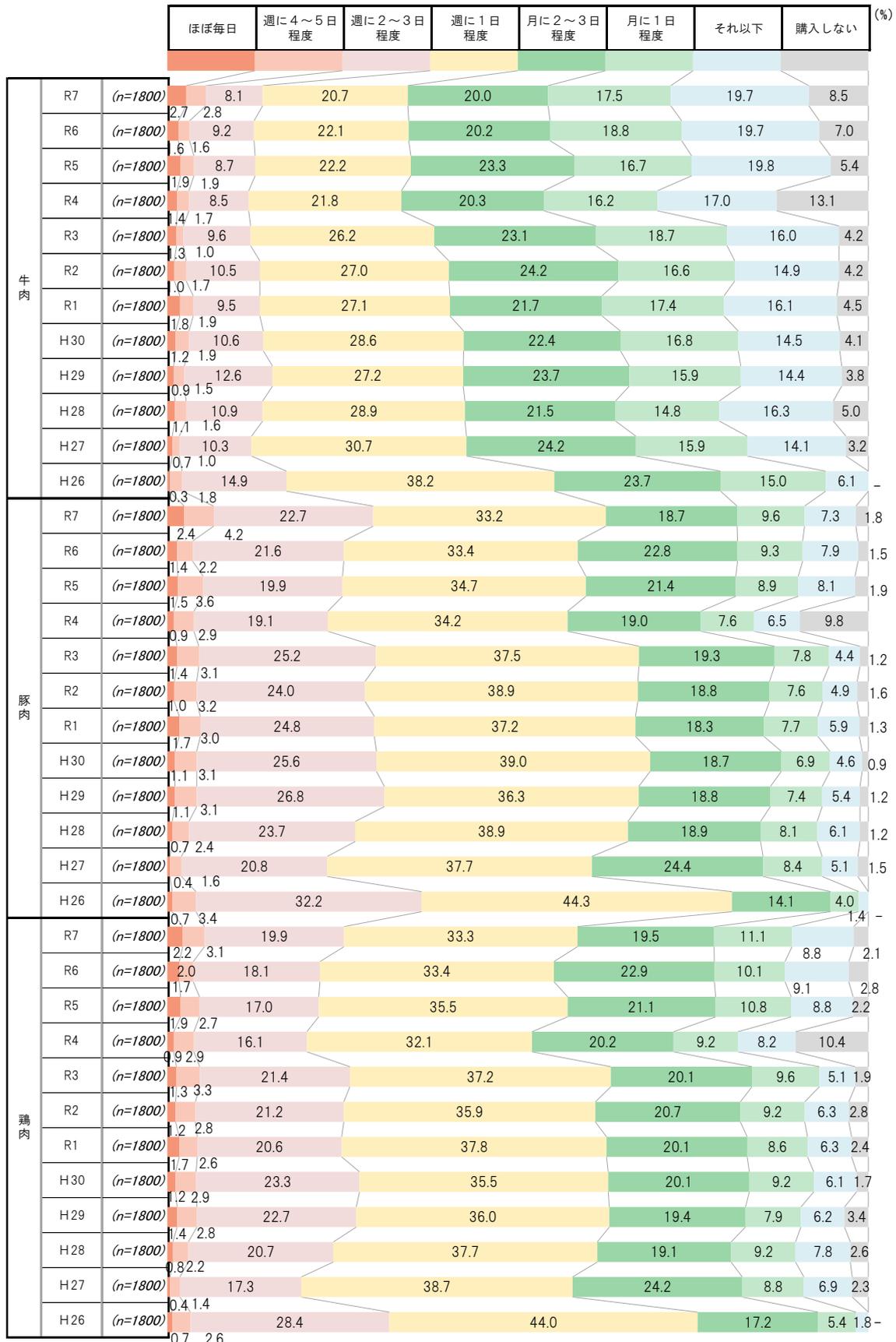
鶏肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」33.3%、「週に2～3日程度」19.9%で、合わせて53.2%を占める。「それ以下（月に1日以下）」は8.8%である。



図表 86 食肉の種類別購入頻度

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、大きな違いは見られない。



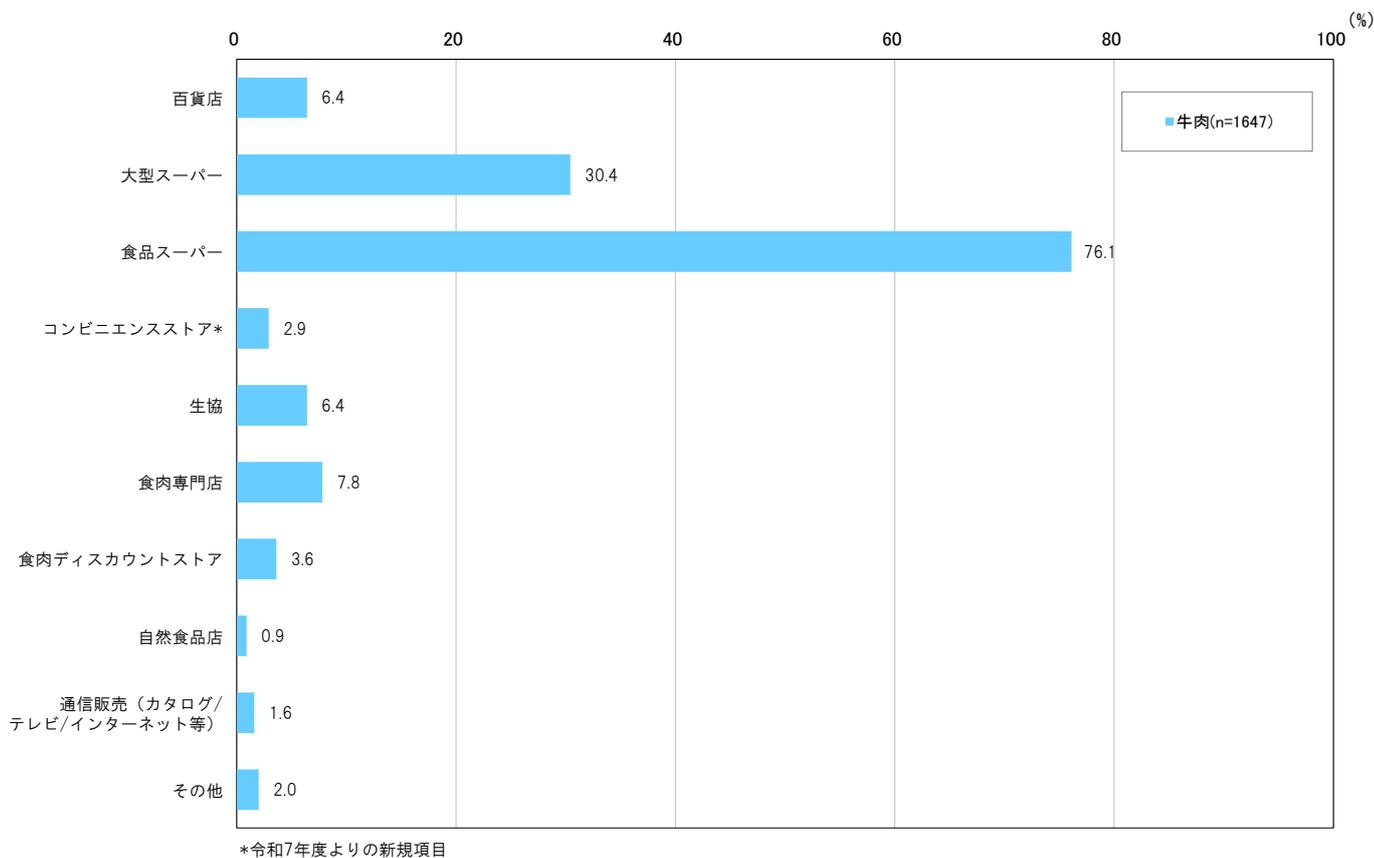
図表 87 食肉の種類別購入頻度（経年変化）

4) 食肉の種類別の主な購入先 (Q7/複数回答)

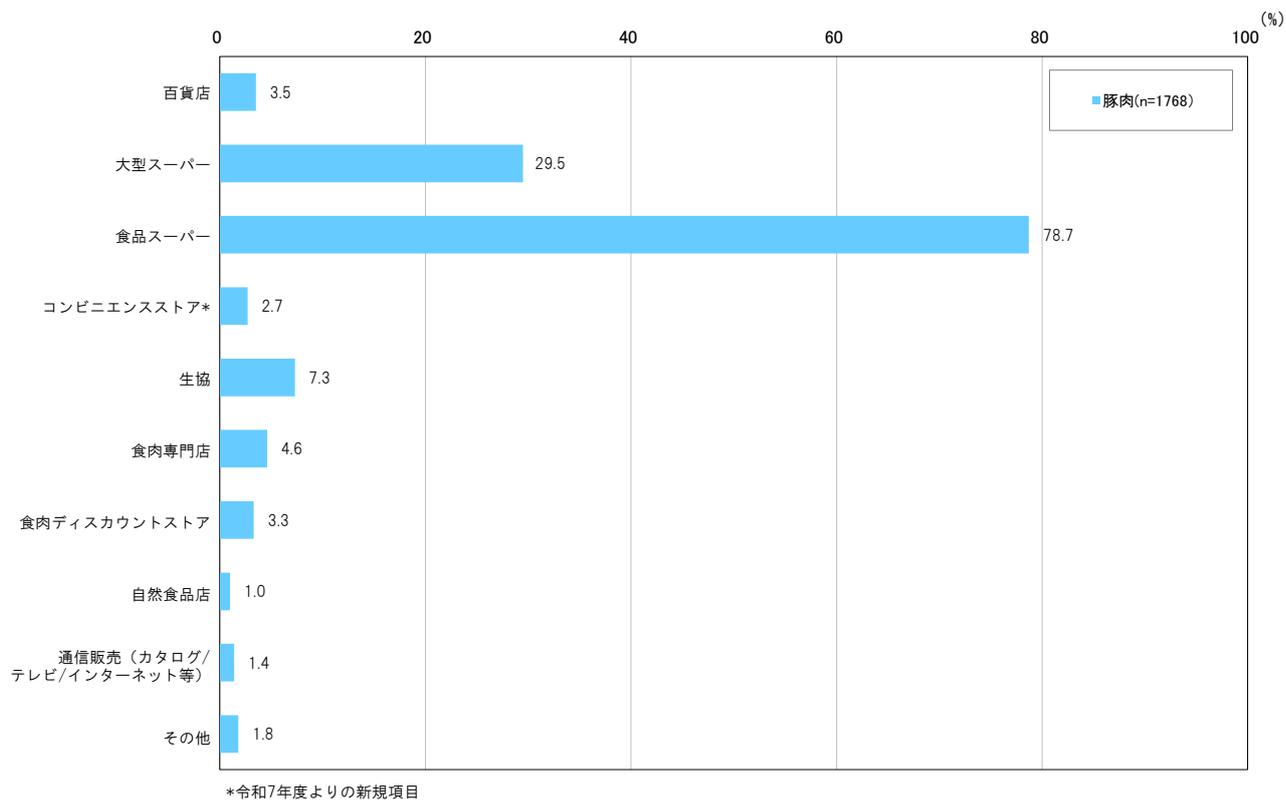
- いずれの食肉も 8 割弱が「食品スーパー」で購入、次いで「大型スーパー」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、大きな違いは見られない。

【今年度調査】

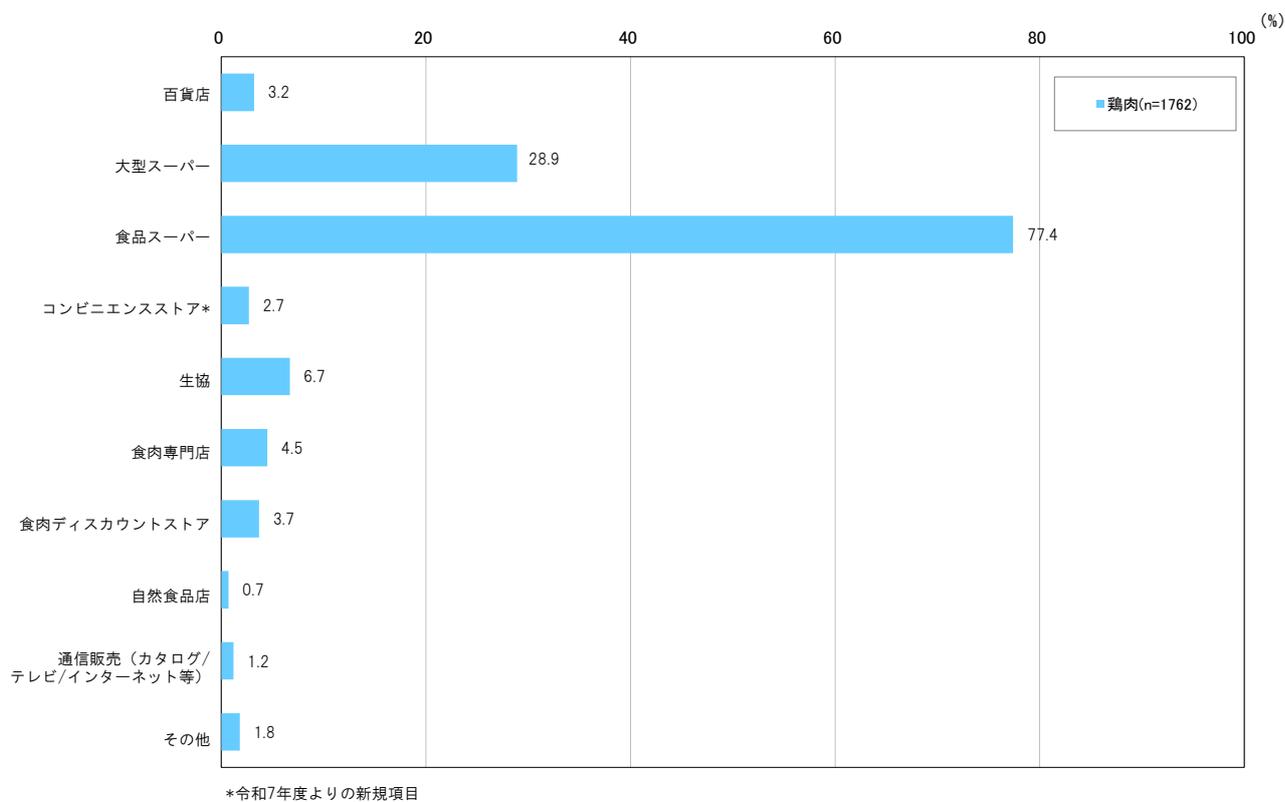
食肉の主な購入先を複数回答で聞いたところ、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも同様の傾向があり、「食品スーパー」が 8 割弱と圧倒的に多く（牛肉 76.1%、豚肉 78.7%、鶏肉 77.4%）、次いで「大型スーパー」が約 3 割（牛肉 30.4%、豚肉 29.5%、鶏肉 28.9%）となっている。



図表 88 牛肉の主な購入先



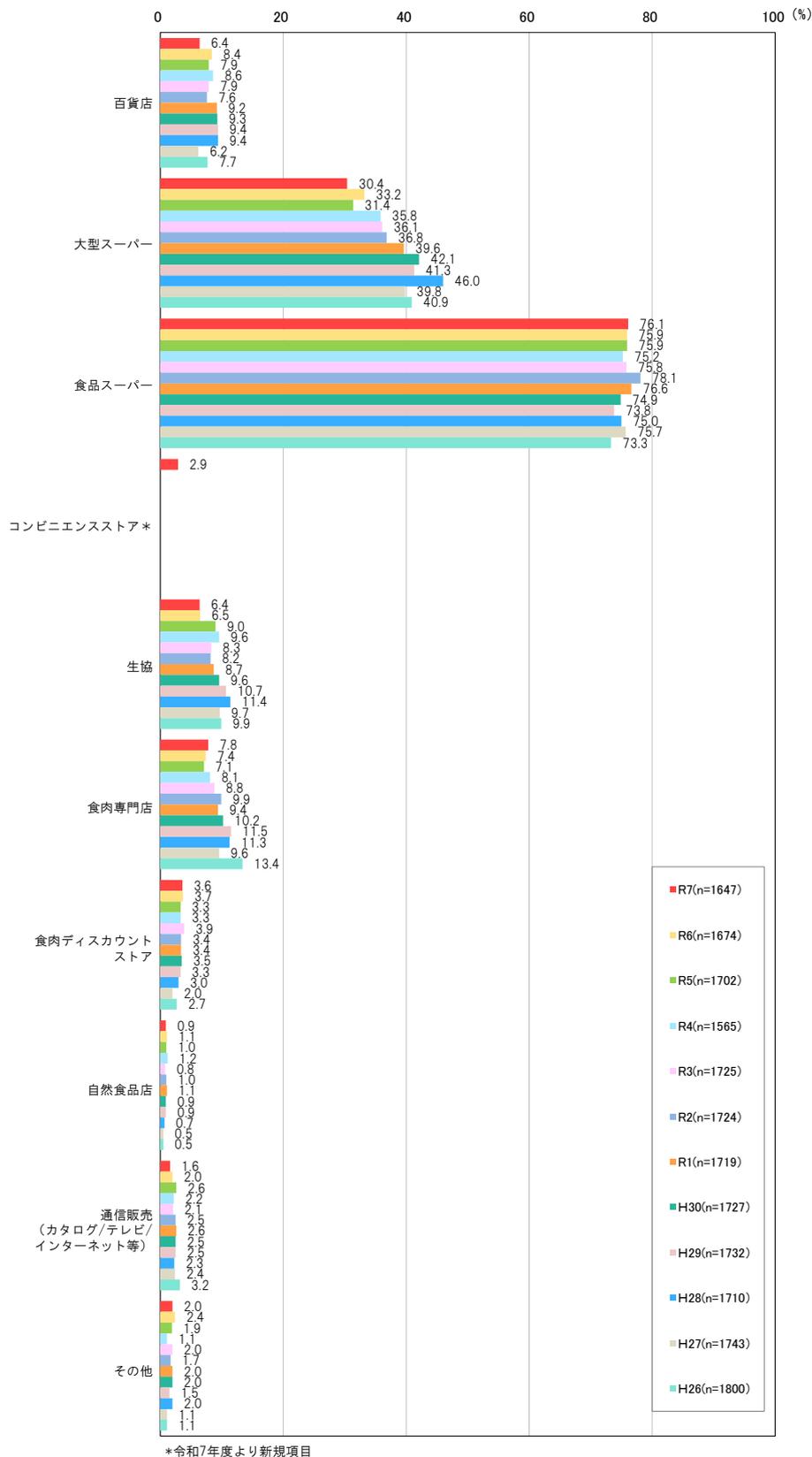
図表 89 豚肉の主な購入先



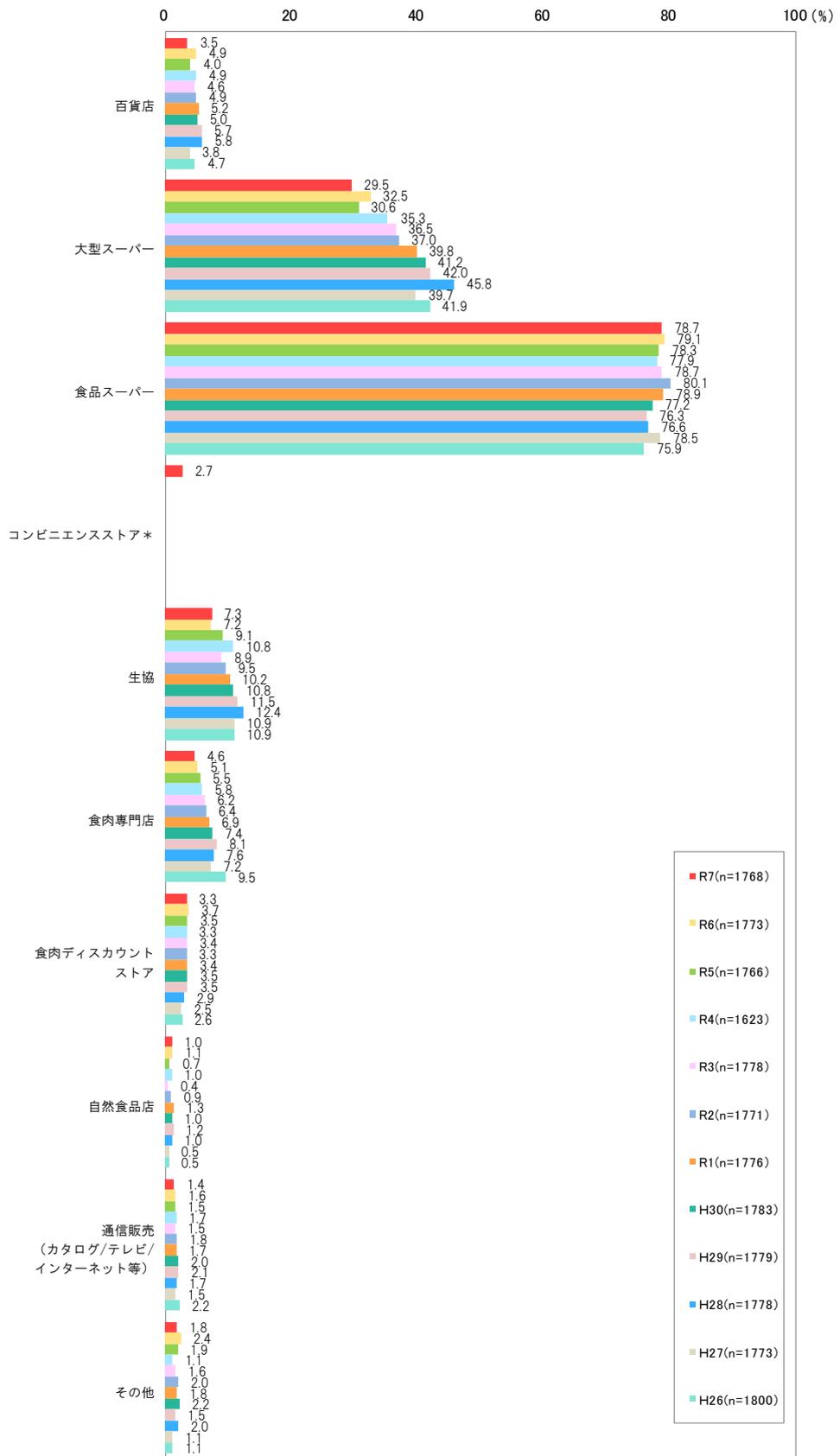
図表 90 鶏肉の主な購入先

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、大きな違いは見られない。

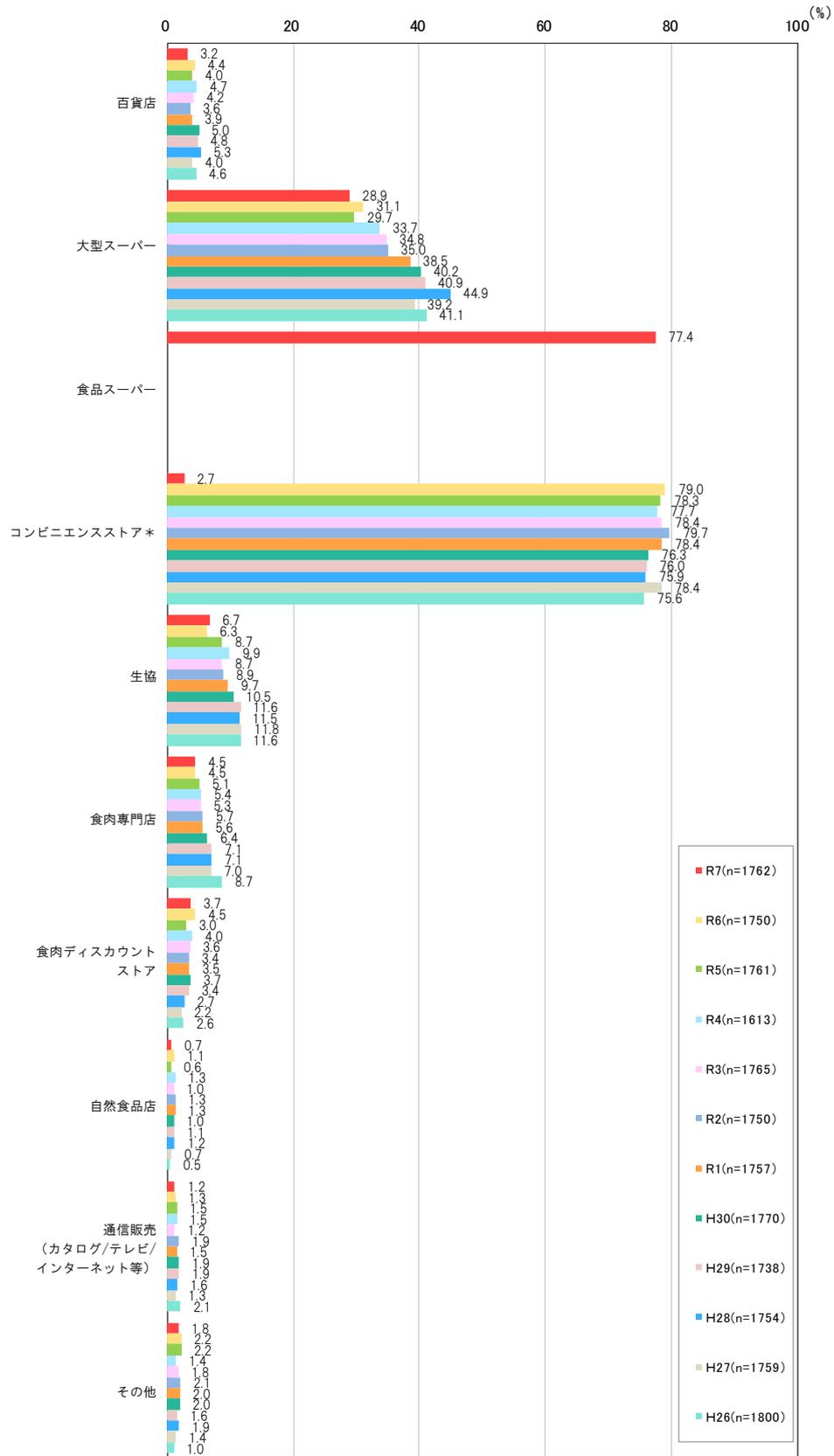


図表 91 牛肉の主な購入先（経年変化）



*令和7年度より新規項目

図表 92 豚肉の主な購入先（経年変化）



*令和7年度より新規項目

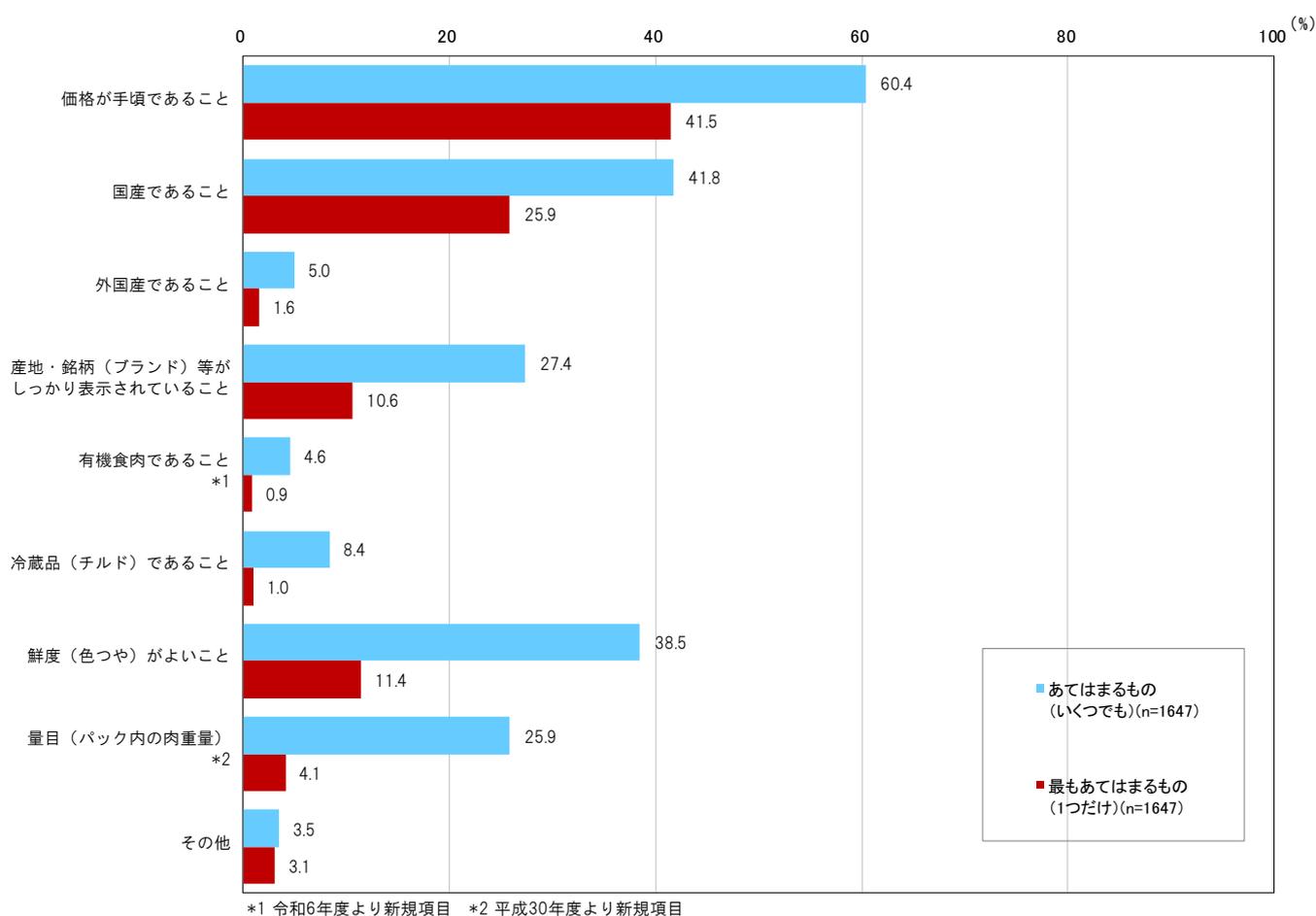
図表 93 鶏肉の主な購入先（経年変化）

5) 食肉購入時に重視する点 (Q8/複数回答)

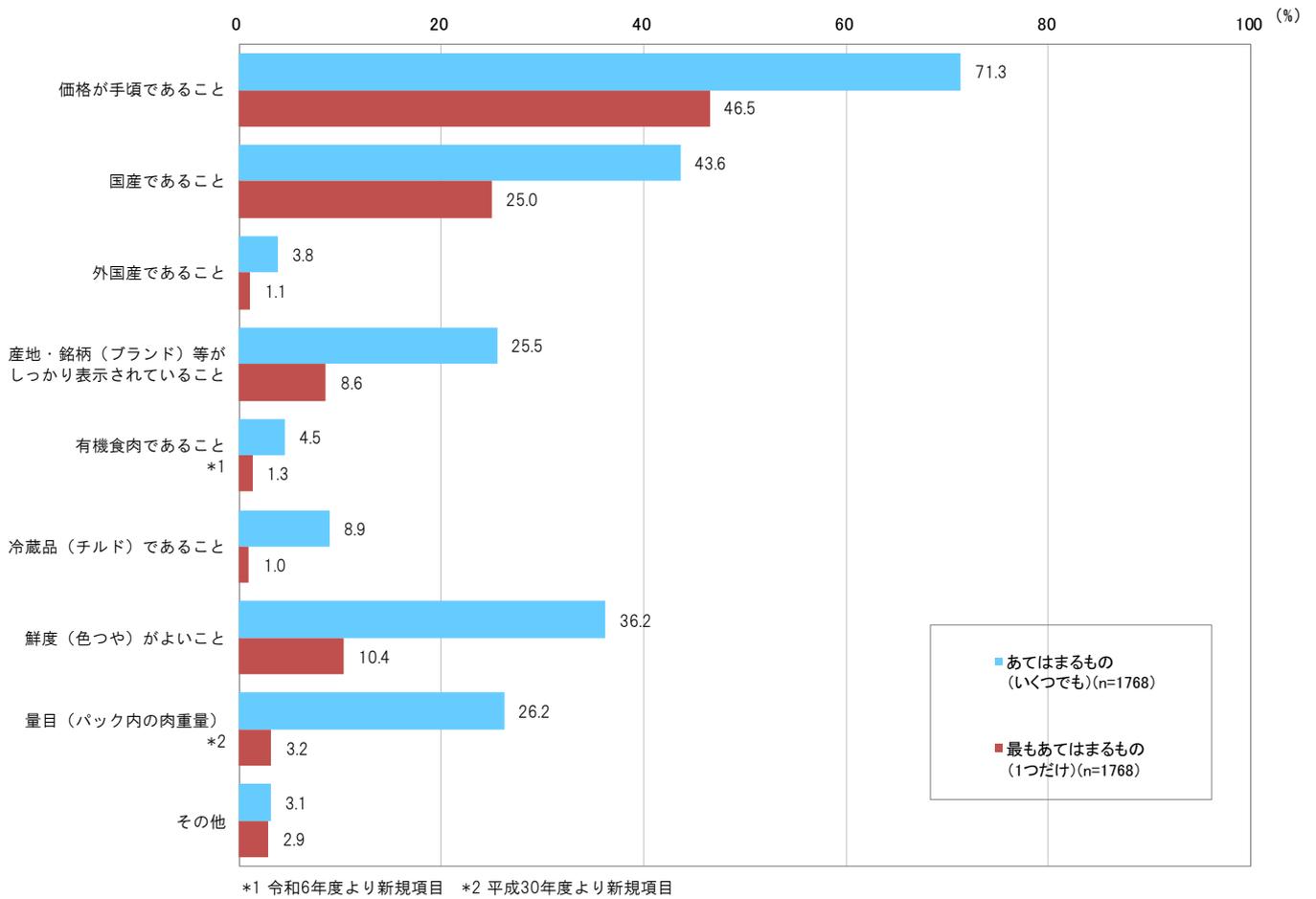
- いずれの食肉も上位3項目は「価格の手頃さ」「国産であること」「鮮度（色つや）がよいこと」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

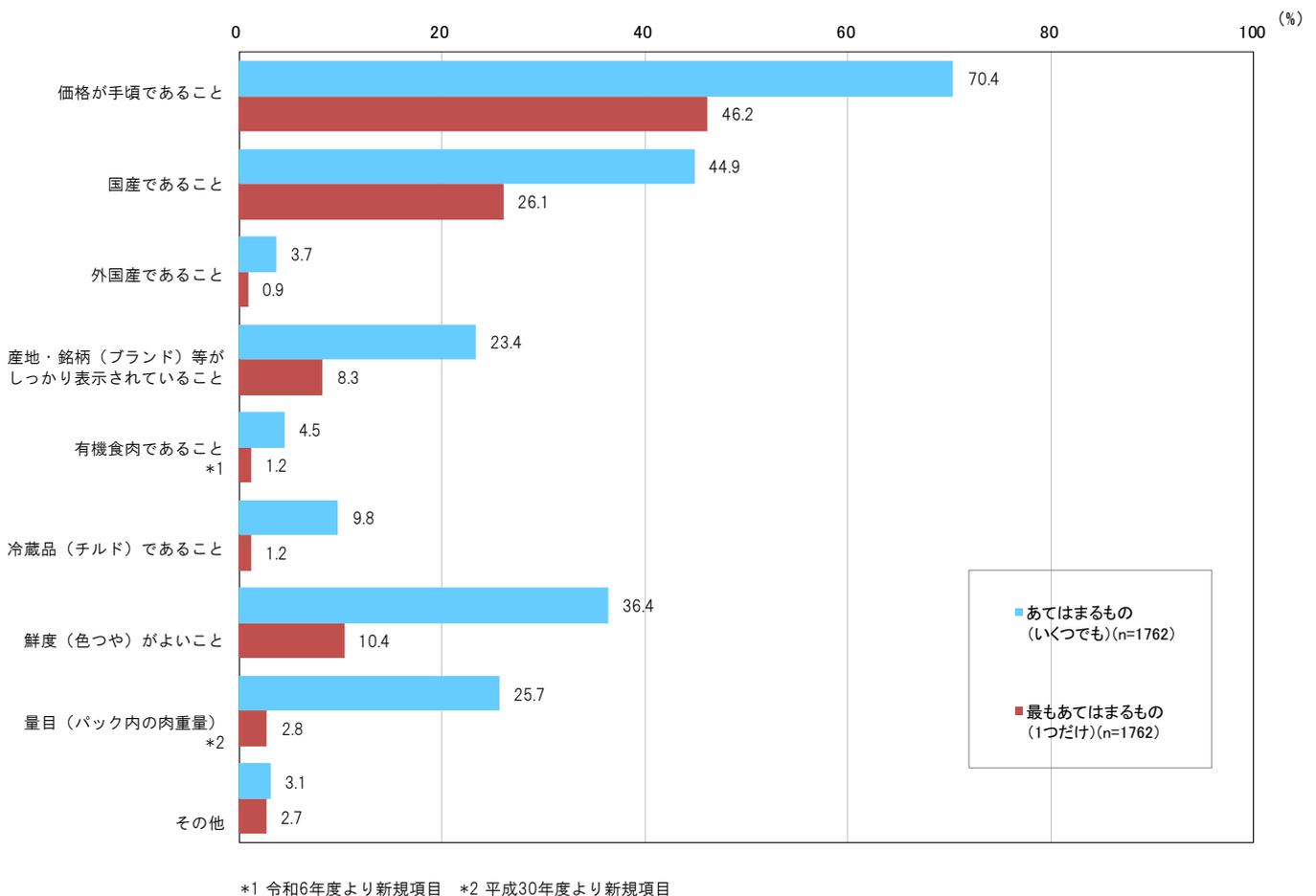
食肉購入時に重視する点を複数回答で聞いたところ、上位3項目は、どの食肉でも同じで、「価格が手頃であること」（牛肉 60.4%、豚肉 71.3%、鶏肉 70.4%）、
「国産であること」（牛肉 41.8%、豚肉 43.6%、鶏肉 44.9%）、「鮮度（色つや）がよいこと」（牛肉 38.5%、豚肉 36.2%、鶏肉 36.4%）。



図表 94 牛肉購入時に重視する項目



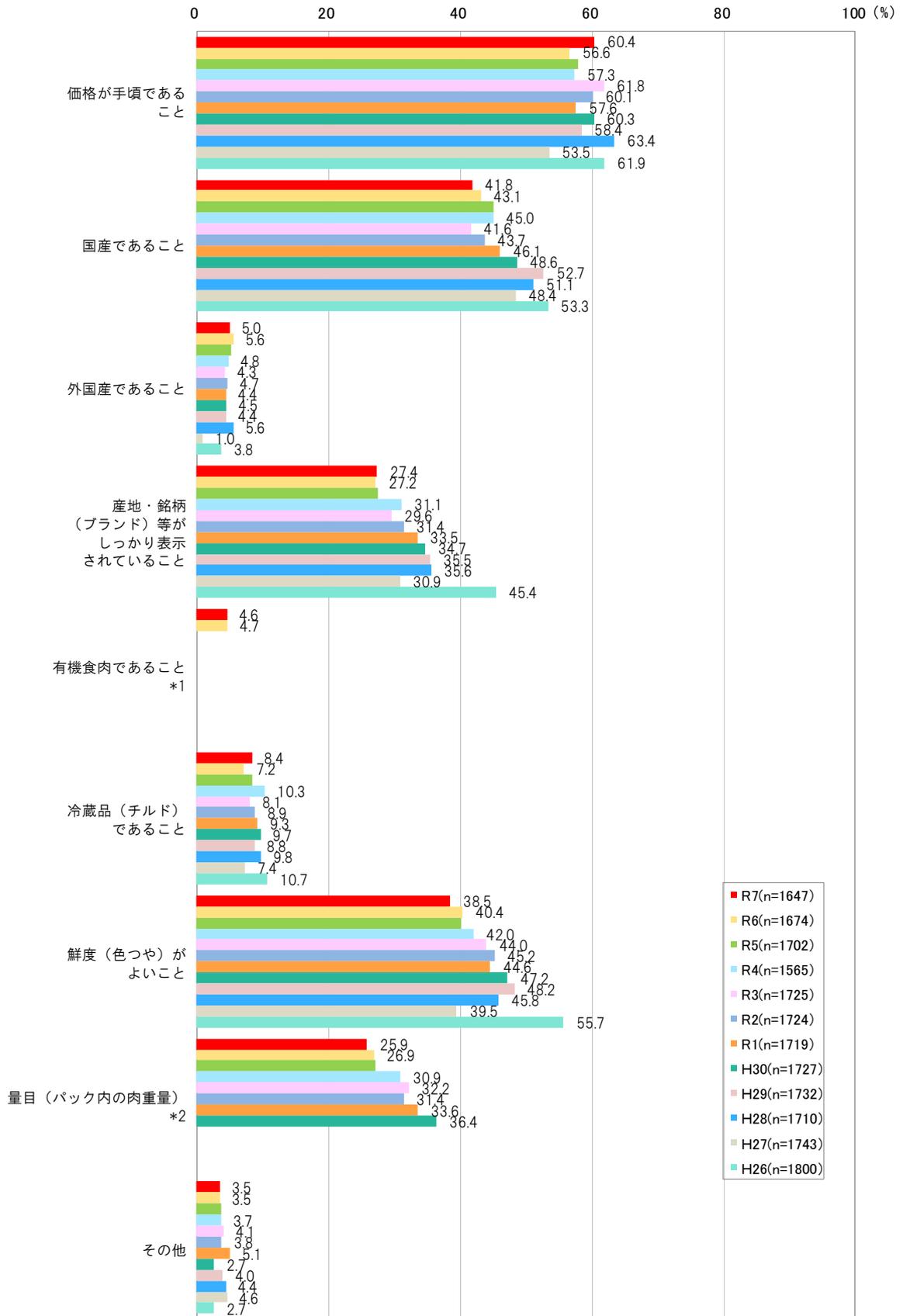
図表 95 豚肉購入時に重視する項目



図表 96 鶏肉購入時に重視する項目

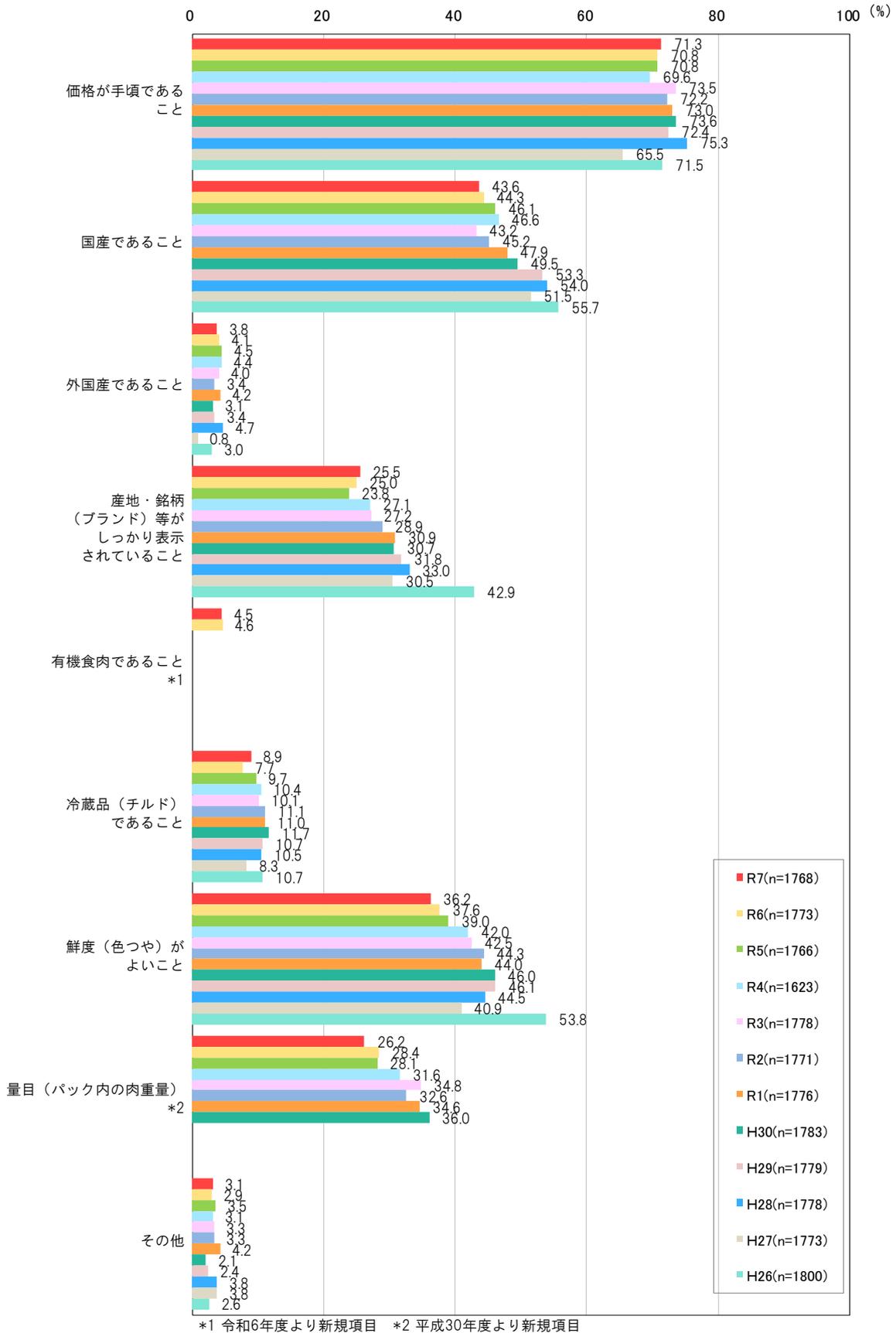
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。



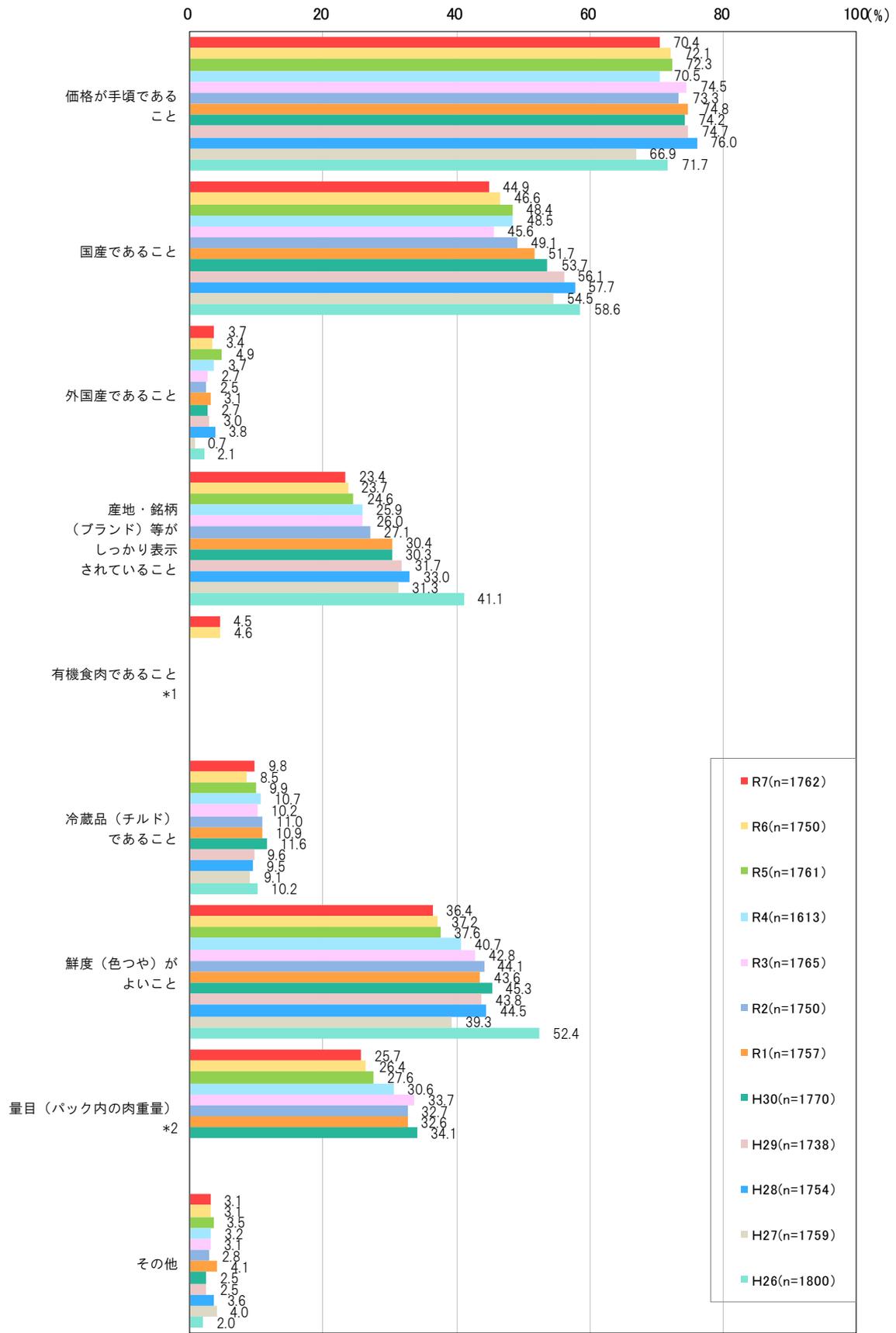
*1 令和6年度より新規項目 *2 平成30年度より新規項目

図表 97 牛肉購入時に重視する項目(経年変化)



*1 令和6年度より新規項目 *2 平成30年度より新規項目

図表 98 豚肉購入時に重視する項目(経年変化)



*1 令和6年度より新規項目 *2 平成30年度より新規項目

図表 99 鶏肉購入時に重視する項目(経年変化)

6) 昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化 (Q9)

- 最近 1 か月間の購入回数が「増えた食肉」は、「国産豚肉」17.2%、「国産鶏肉」16.6%、「国産和牛肉」10.9%。
- 最近 1 か月間の購入回数が「減った食肉」は、「国産和牛肉」15.9%、「和牛肉以外の国産牛肉」12.0%、「和牛肉かどうかわからない国産牛肉」11.9%、「輸入牛肉」11.8%。

【今年度調査】

昨年同期と比べて最近 1 か月間の購入回数が「増えた食肉」は、「国産豚肉」17.2%、「国産鶏肉」16.6%、「国産和牛肉」10.9%の順に多い。増えたものは「いずれもない」が 60.8%である。

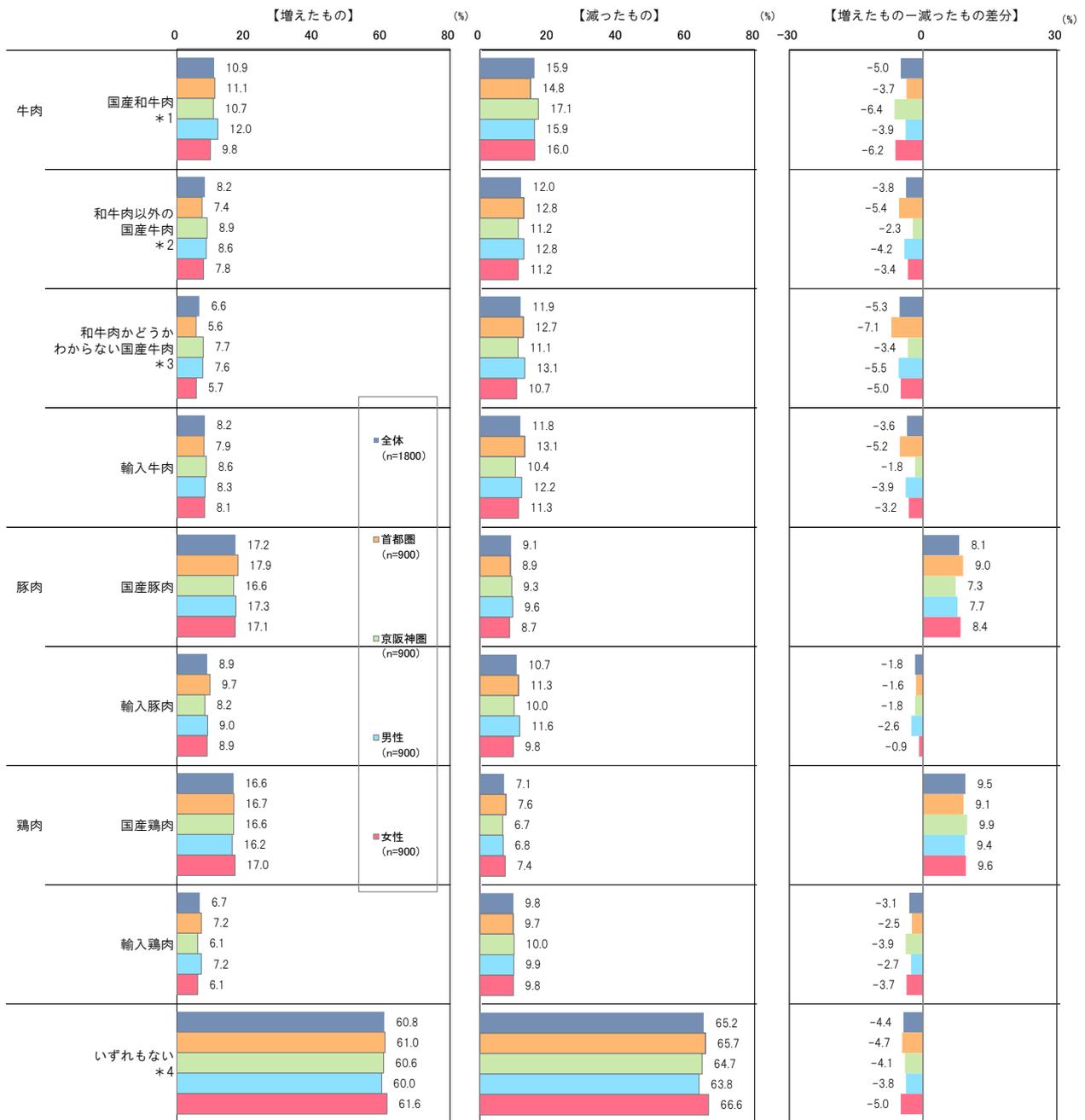
逆に、最近 1 か月間の購入回数が「減った食肉」は、「国産和牛肉」15.9%、「和牛肉以外の国産牛肉」12.0%、「和牛肉かどうかわからない国産牛肉」11.9%、「輸入牛肉」11.8%の順に多い。減ったものは「いずれもない」が 65.2%である。

「増えた」と「減った」の差分で見ると、増加率の方が高い食肉は、「国産鶏肉」9.5 ポイント、「国産豚肉」8.1 ポイントのみである。

逆に、減少率の方が高い食肉は、「和牛肉かどうかわからない国産牛肉」-5.3 ポイント、「国産和牛肉」-5.0 ポイントである。

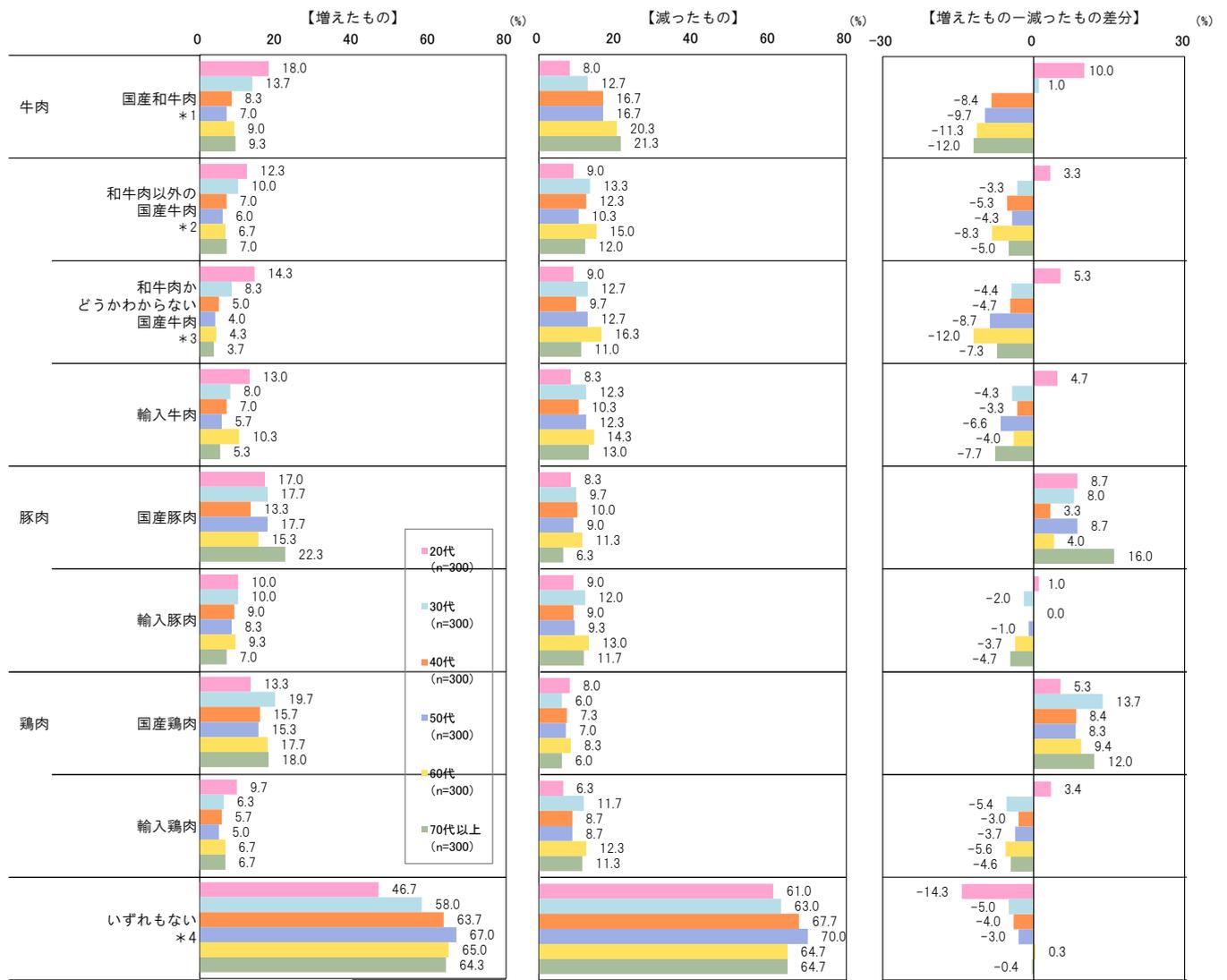
エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「増えた食肉」では、「国産和牛肉」「和牛肉以外の国産牛肉」「国産和牛肉」は 20 代・30 代の若い世代の方が多くなっており、「国産豚肉」は 70 代以上で多くなっている。一方、「減った食肉」では、「国産和牛肉」は 60 代以上で 2 割以上と多くなっている。



*1令和6年度選択肢「国産和牛」より変更 *2令和6年度選択肢「和牛肉以外の国産牛肉」より変更 *3令和6年度選択肢「和牛肉かどうかわからない国産牛肉」より変更
*4令和7年度より新規項目

図表 100 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化
(全体・エリア・性別/複数回答)



*1令和6年度選択肢「国産和牛」より変更 *2令和6年度選択肢「和牛以外の国産牛肉」より変更 *3令和6年度選択肢「和牛肉かどうかわからない国産牛肉」より変更
*4令和7年度より新規項目

図表 101 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化（年代別／複数回答）

7) 昨年同期と比べた最近 1 か月間の食品の購入回数の変化 (Q10/複数回答)

- 昨年の今頃と比べて最近 1 か月間の購入回数が「増えた食品」は、「パン」22.8%、「野菜」15.9%、「冷凍食品」13.2%、「インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)」12.6%。逆に、「減った食品」は、「米」26.3%、「ファストフード」15.7%、「菓子類」15.1%、「食肉加工品 (ハム、ソーセージ、ベーコン等) 14.1%、「果物」13.6%。
- 過年度調査と比較すると、「米」の購入回数の減少傾向が見て取れる。

【今年度調査】

昨年の今頃と比べて最近 1 か月間の購入回数が「増えた食品」は、「パン」22.8%、「野菜」15.9%、「冷凍食品」13.2%、「インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)」12.6%の順に多い。増えたものは「いずれもない」が 48.4%である。

逆に、最近 1 か月間の購入回数が「減った食品」は、「米」26.3%、「ファストフード」15.7%、「菓子類」15.1%、「食肉加工品 (ハム、ソーセージ、ベーコン等)」14.1%、「果物」13.6%の順に多い。減ったものは「いずれもない」が 43.6%である。

「増えた」と「減った」の差分で見ると、増加率の方が高い食品は「パン」12.5ポイント、「野菜」6.7ポイント、「冷凍食品」5.5ポイントである。

逆に、減少率の方が高い食品は、「米」-16.0ポイント、「ファストフード」-11.4ポイント、「菓子類」-6.8ポイント、「食肉加工品 (ハム、ソーセージ、ベーコン等)」-5.8ポイント、「弁当・惣菜類」-4.4ポイントである。

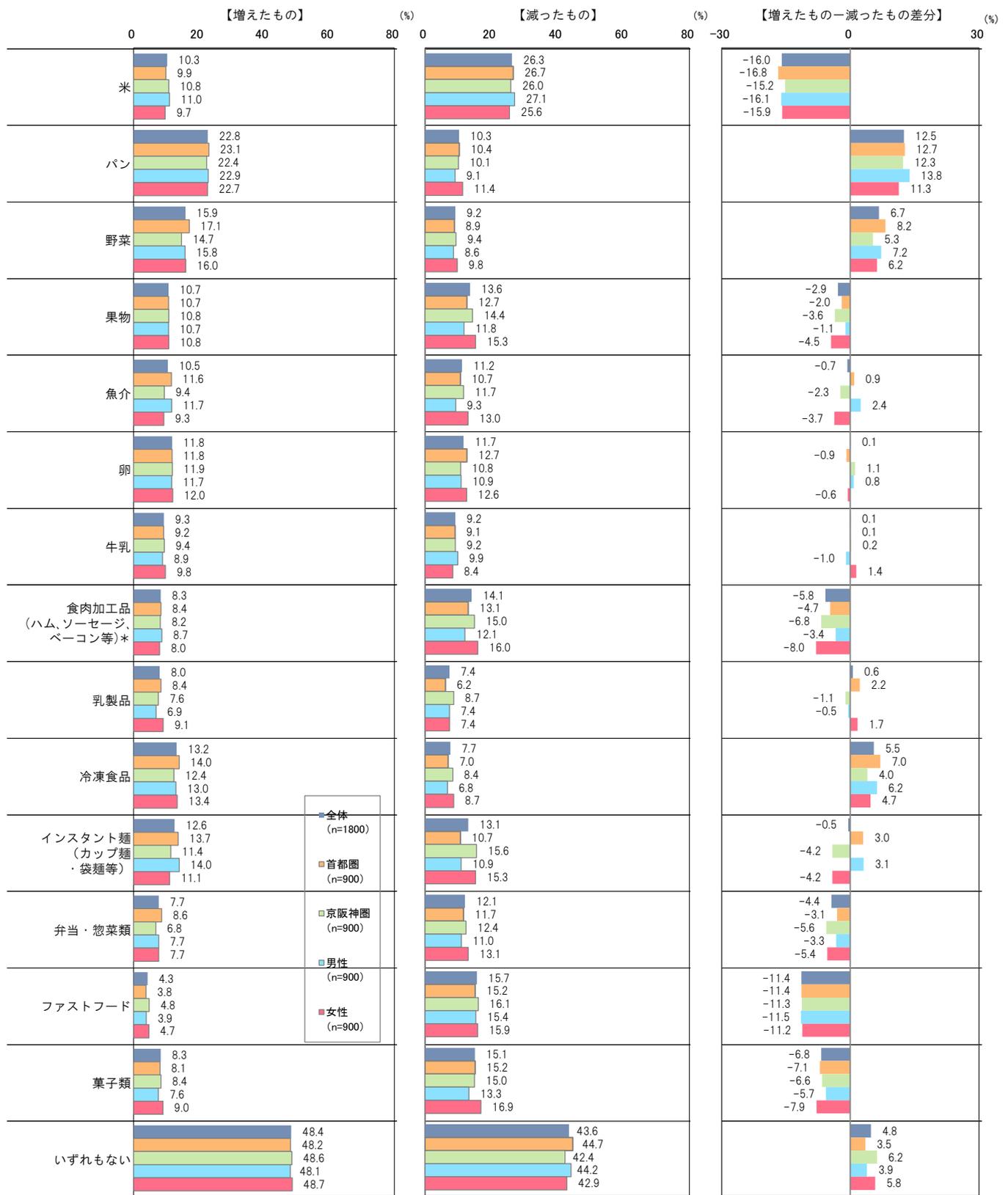
エリア別に見ると、「増えた食品」では、「野菜」(首都圏 17.1% > 京阪神圏 14.7%) は京阪神圏より首都圏の方が多い。「減った食品」では、「インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)」(首都圏 10.7% < 京阪神圏 15.6%) は首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「増えた食品」では、「インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)」(男性 14.0% > 女性 11.1%) が女性より男性の方が多くなっている。「減った食品」では、「インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)」(男性 10.9% < 女性 15.3%) が男性より女性の方が多い。

年代別に見ると、「増えた食品」では、「米」は 20 代・30 代の若い世代の方が多くなっており、「果物」は 70 代以上で多くなっている。一方、「減った食品」では、「米」「菓子類」は 70 代以上で最も多くなっている。

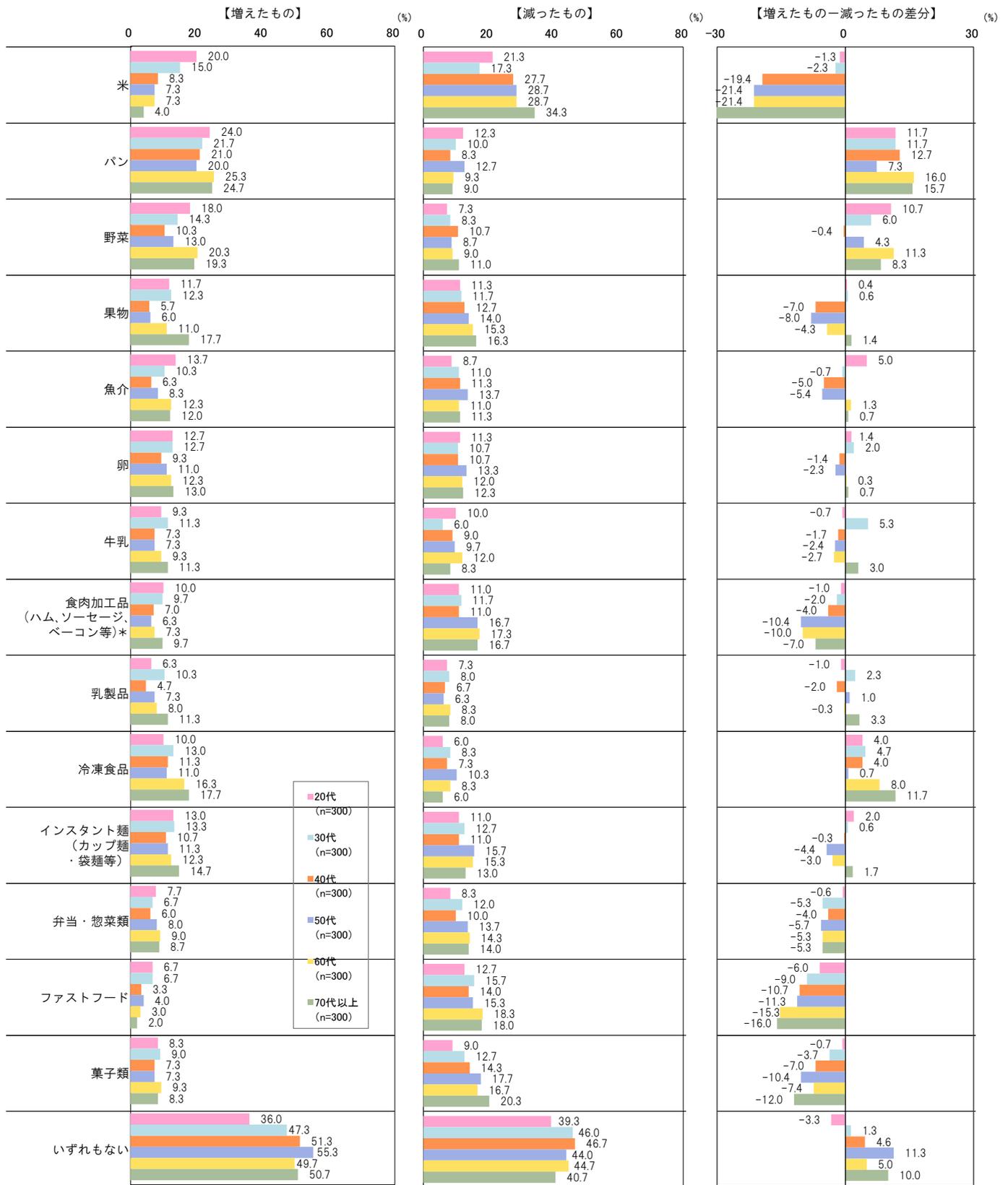
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度は、「米」を「減った食品」と回答した割合が前年の 8.2%から 20.1%と大幅に増加したが、今年度も更に増加し 26.3%となった。「米」の購入回数の減少傾向が見て取れる。



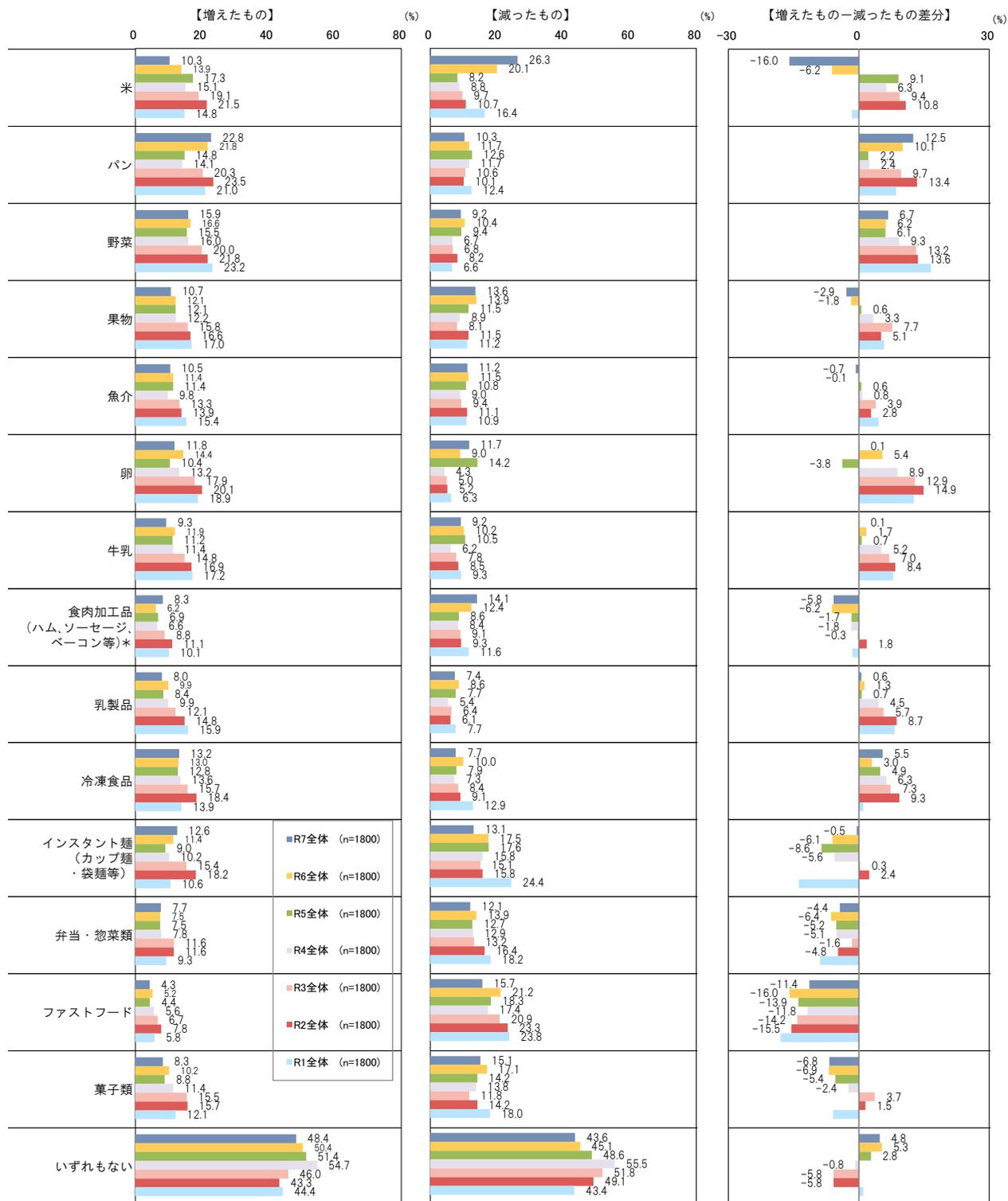
* 令和6年度の選択肢「食肉加工品」より変更

図表 102 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化
(全体・エリア・性別/複数回答)



* 令和6年度の選択肢「食肉加工品」より変更

図表 103 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化（年代別／複数回答）



* 令和6年度の選択肢「食肉加工品」より変更

図表 104 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化（経年変化）

8) 各種牛肉の購入頻度 (Q11)

- 各種牛肉の購入頻度は、「週に1日以上購入計」では、「国産和牛肉」22.3%、「和牛肉以外の国産牛肉」18.5%、「和牛肉かどうかわからない国産牛肉」14.7%、「アメリカ産牛肉」13.6%、「オーストラリア産牛肉」13.3%の順に多い。
- 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、いずれの牛肉も購入頻度が下がっており、「購入していない」が増加。

【今年度調査】

各種牛肉の購入頻度は、国産和牛肉は、「ほぼ毎日」が1.2%、「週に4~5日程度」が2.4%、「週に2~3日程度」が6.1%、「週に1日程度」が12.6%であり、「週に1日以上購入計」が22.3%となっており、「購入していない」が16.8%である。

和牛肉以外の国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.0%、「週に4~5日程度」が1.3%、「週に2~3日程度」が5.0%、「週に1日程度」が11.2%であり、「週に1日以上購入計」が18.5%となっており、「購入していない」が20.0%である。

和牛肉かどうかわからない国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が0.7%、「週に4~5日程度」が1.4%、「週に2~3日程度」が4.3%、「週に1日程度」が8.3%であり、「週に1日以上購入計」が14.7%となっており、「購入していない」が35.3%である。

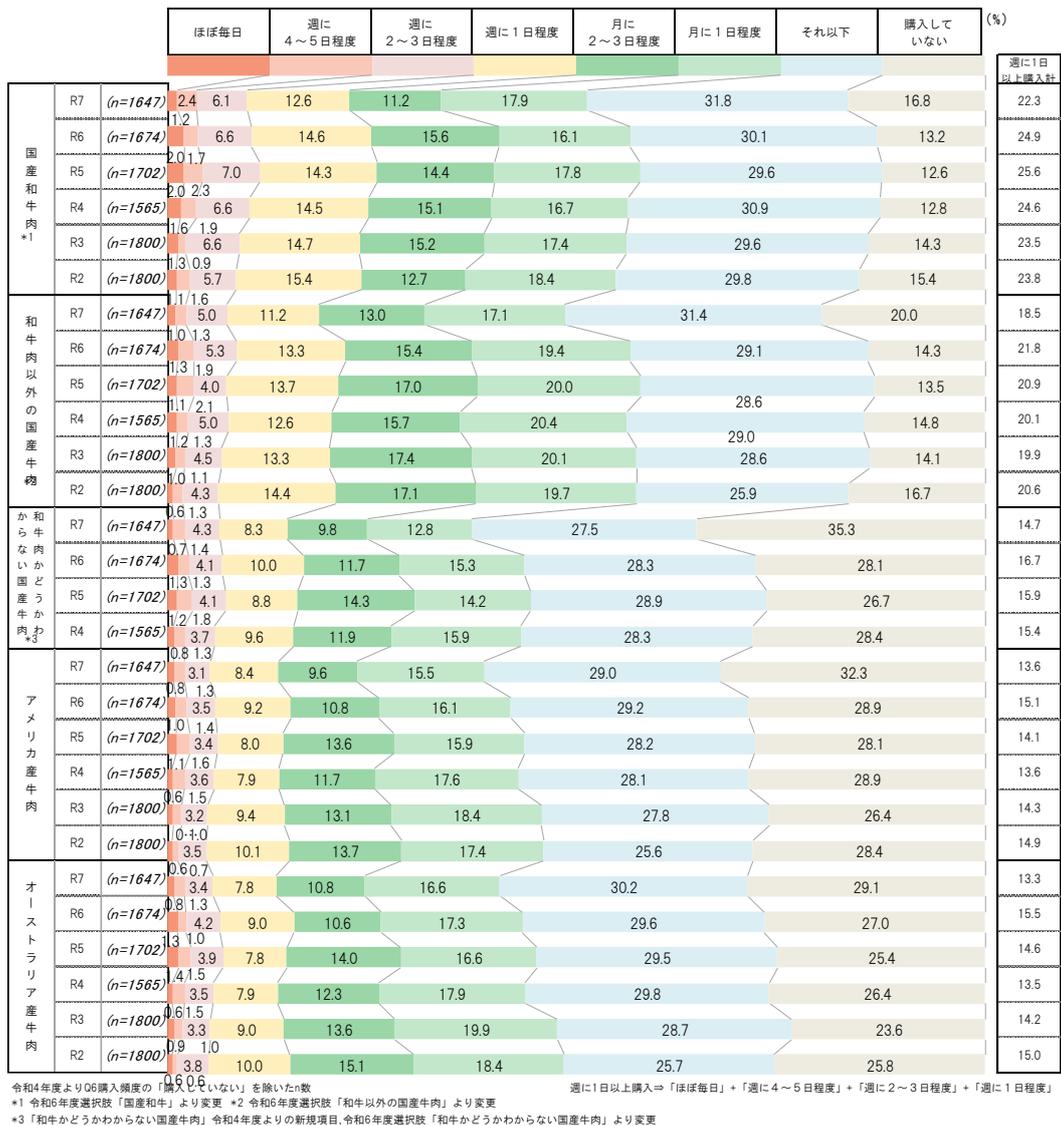
アメリカ産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が0.8%、「週に4~5日程度」が1.3%、「週に2~3日程度」が3.1%、「週に1日程度」が8.4%であり、「週に1日以上購入計」が13.6%となっており、「購入していない」が32.3%である。

オーストラリア産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が0.8%、「週に4~5日程度」が1.3%、「週に2~3日程度」が3.4%、「週に1日程度」が7.8%であり、「週に1日以上購入計」が13.3%となっており、「購入していない」が29.1%である。

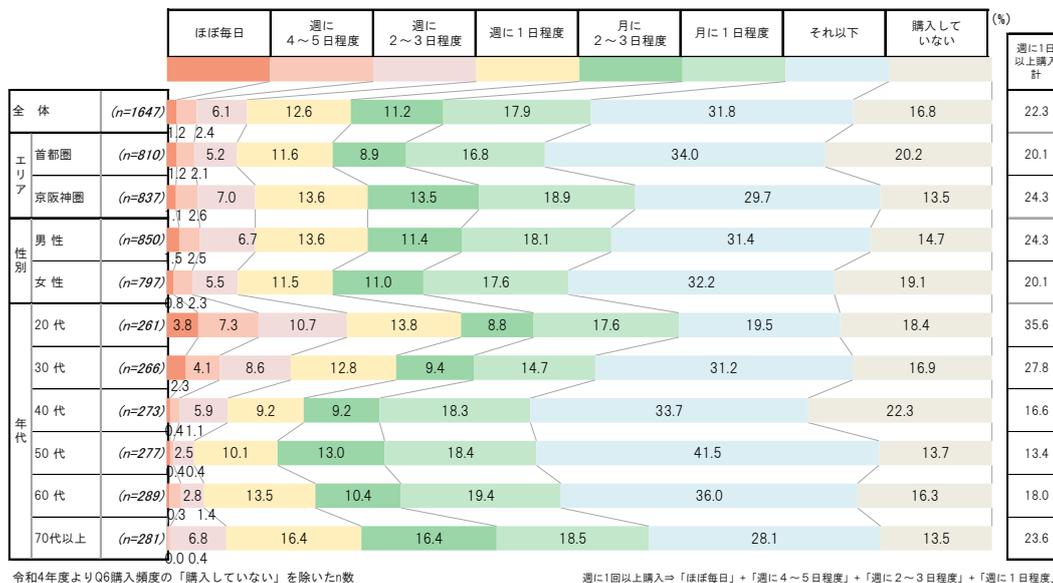
各種牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、「国産和牛肉」22.3%、「和牛肉以外の国産牛肉」18.5%、「和牛肉かどうかわからない国産牛肉」14.7%、「アメリカ産牛肉」13.6%、「オーストラリア産牛肉」13.3%の順に多くなっている。

【過年度調査との比較】

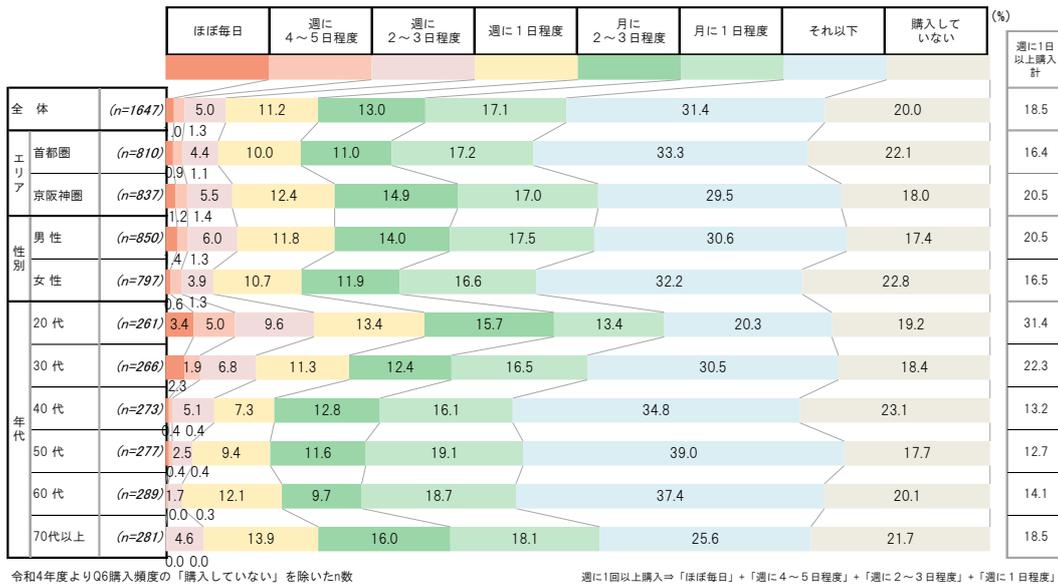
過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、いずれの牛肉も購入頻度が下がっており、「購入していない」が増加している。



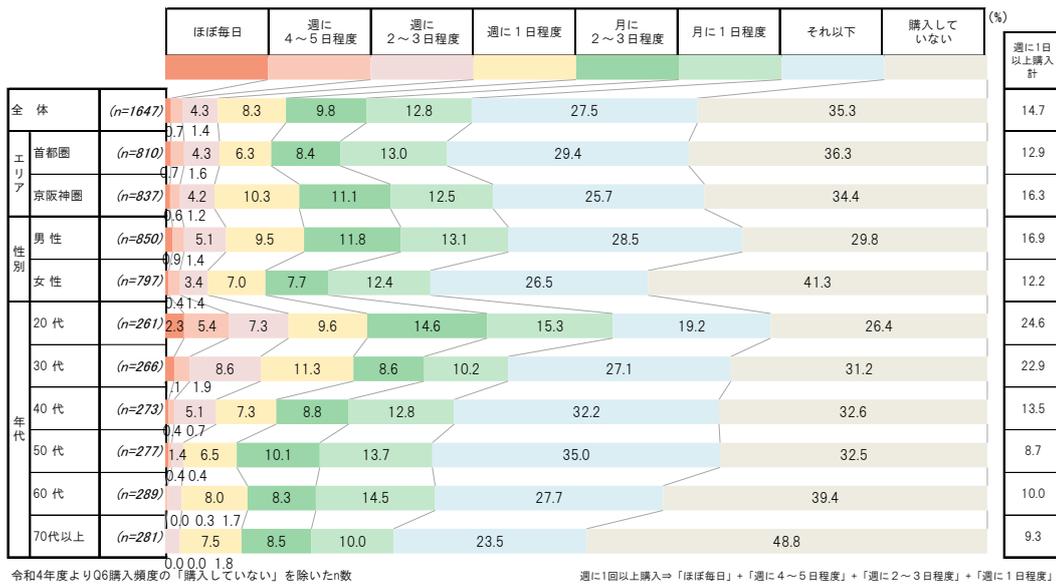
図表 105 国産和牛肉／和牛肉以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度（経年変化）



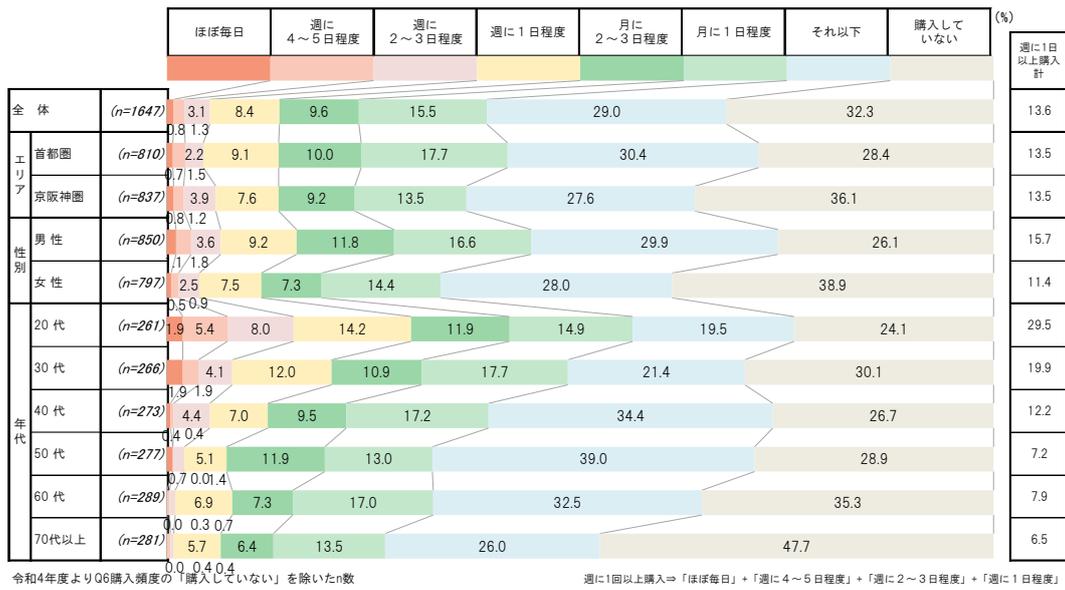
図表 106 国産和牛肉の購入頻度



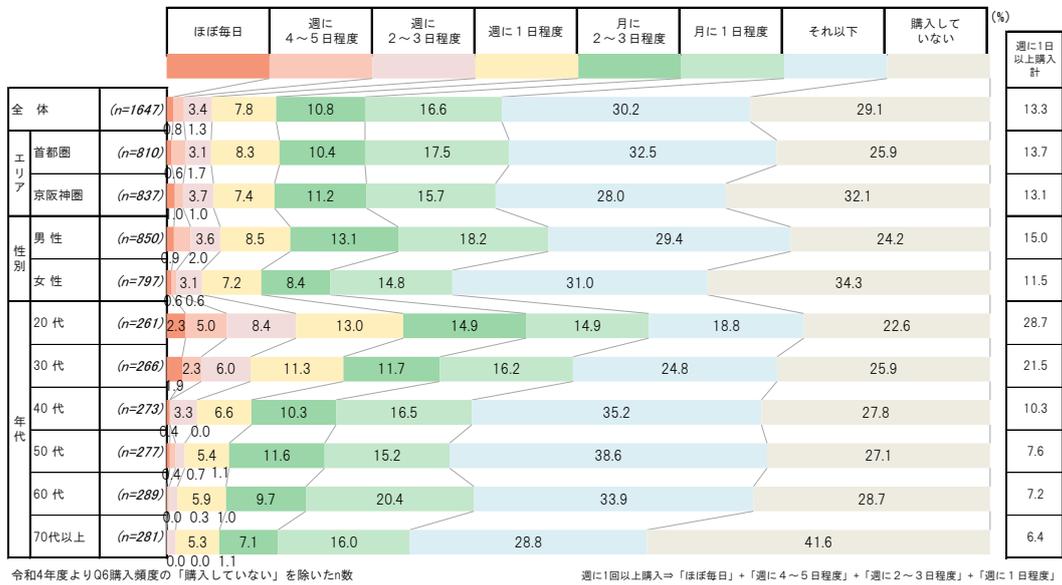
図表 107 和牛肉以外の国産牛肉の購入頻度



図表 108 和牛肉かどうかわからない国産牛肉の購入頻度



図表 109 アメリカ産牛肉の購入頻度



図表 110 オーストラリア産牛肉の購入頻度

9) 各種牛肉のイメージ (Q12/複数回答)

- 国産和牛肉は、「高級」「おいしい」「贅沢感がある」「高品質」「霜降り」「安全・安心」「柔らかい」「和食に合う」「飼育環境がよい」「赤身がおいしい」の10のイメージ項目で最もイメージが高く、高いイメージ評価。
- 和牛肉以外の国産牛肉は、国産和牛肉に次いで、「おいしい」「安全・安心」「和食に合う」といったイメージが高い。
- アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「価格が手頃」「特売」「洋食に合う」「若者向き」「赤身が多い」といったイメージが高い。

【今年度調査】

18のイメージ項目について、あてはまると思う牛肉を複数回答で聞いた。

国産和牛肉は、「高級」67.4%、「おいしい」65.6%、「贅沢感がある」64.1%、「高品質」62.6%、「霜降り」62.2%、「安全・安心」61.3%、「柔らかい」59.1%、「和食に合う」48.2%、「飼育環境がよい」44.8%、「赤身がおいしい」34.9%の10イメージ項目で、他の牛肉に比して最もイメージが高く、高いイメージ評価を得ている。一方、「脂肪・コレステロールが多い」は23.7%である。

和牛肉以外の国産牛肉は、国産和牛肉に次いで、「おいしい」35.3%、「安全・安心」31.8%、「和食に合う」24.4%といったイメージが高くなっている。

アメリカ産牛肉は、「価格が手頃」46.9%、「特売」39.5%、「洋食に合う」33.3%、「若者向き」29.5%、「赤身が多い」28.4%といったイメージが高くなっている。

オーストラリア産牛肉は、アメリカ産牛肉と同じく、「価格が手頃」48.9%、「特売」37.7%、「洋食に合う」29.7%、「赤身が多い」27.2%、「若者向き」23.1%といったイメージが高くなっている。

今年度の国産和牛肉、和牛肉以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉の18のイメージ項目について、図表112のレーダーチャートで示した。

【過年度調査との比較】

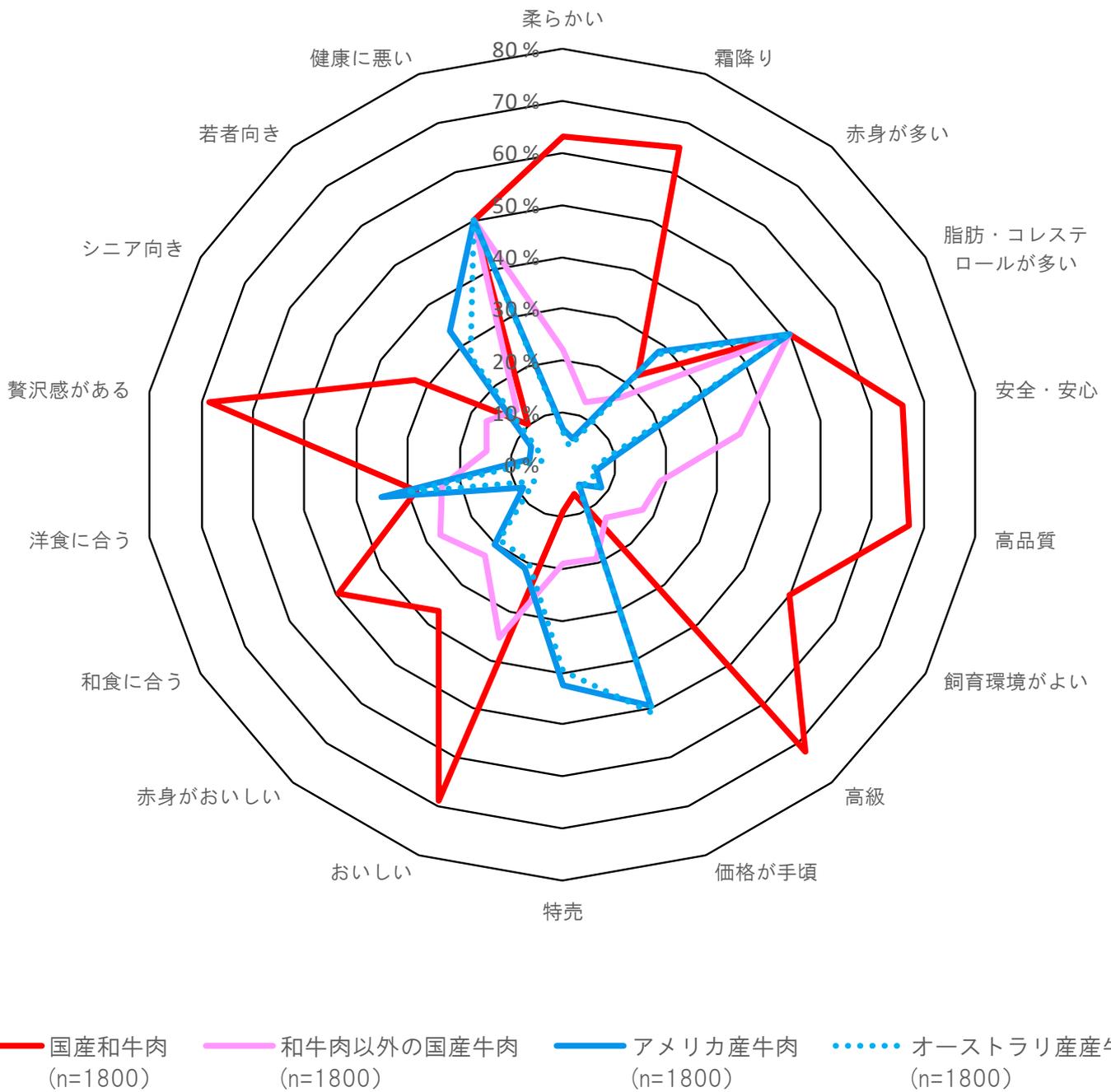
過年度調査と比較すると、各種牛肉のイメージに大きな変化は見られない。

			国産和牛肉 *1	和牛肉以外の 国産牛肉 *2	アメリカ産牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
食感	柔らかい	R7 (n=1800)	59.1	20.6	8.4	5.8	28.5
		R6 (n=1800)	63.2	22.2	6.8	6.4	25.0
		R5 (n=1800)	61.9	23.1	8.9	7.2	24.4
		R4 (n=1800)	63.2	20.0	8.3	7.3	24.7
部位・栄養素	霜降り	R7 (n=1800)	62.2	14.8	5.7	4.1	26.1
		R6 (n=1800)	64.8	12.7	5.4	3.7	24.3
		R5 (n=1800)	64.2	14.3	6.6	3.6	23.6
		R4 (n=1800)	67.7	12.8	5.2	2.9	22.8
	赤身が多い	R7 (n=1800)	18.1	13.6	28.4	27.2	39.0
		R6 (n=1800)	22.3	17.1	28.6	27.7	34.6
		R5 (n=1800)	20.9	17.8	28.1	25.9	35.1
		R4 (n=1800)	19.6	15.6	30.7	27.5	35.6
脂肪: コレステロールが多い*3		R7 (n=1800)	23.7	15.0	18.7	12.4	52.5
品質	安全・安心	R7 (n=1800)	61.3	31.8	9.2	9.3	27.2
		R6 (n=1800)	65.8	34.4	10.4	8.7	22.4
		R5 (n=1800)	65.8	33.7	13.0	12.6	21.7
		R4 (n=1800)	65.1	32.6	10.3	10.8	24.4
	高品質	R7 (n=1800)	62.6	17.8	7.6	5.4	26.0
		R6 (n=1800)	67.1	18.8	6.6	5.4	21.9
		R5 (n=1800)	65.3	18.4	7.2	6.2	21.9
		R4 (n=1800)	68.2	16.8	7.0	6.6	21.5
ウエニマル フルニア	飼育環境 がよい	R7 (n=1800)	44.8	15.9	7.2	8.2	42.2
		R6 (n=1800)	49.9	17.6	8.6	7.9	36.3
		R5 (n=1800)	50.0	19.4	9.2	10.5	34.2
		R4 (n=1800)	51.9	17.3	8.4	10.1	35.3
価格	高級	R7 (n=1800)	67.4	13.2	6.0	4.3	21.8
		R6 (n=1800)	72.0	13.1	4.9	4.4	18.3
		R5 (n=1800)	70.4	13.3	6.8	4.7	18.2
		R4 (n=1800)	73.2	11.7	5.2	4.2	17.5
	価格が手頃	R7 (n=1800)	6.3	15.3	46.9	48.9	29.7
		R6 (n=1800)	6.1	19.3	49.3	51.1	27.1
		R5 (n=1800)	8.2	19.2	52.5	52.8	23.9
		R4 (n=1800)	5.8	18.3	52.9	55.3	23.7
	特売	R7 (n=1800)	8.4	15.1	39.5	37.7	37.7
		R6 (n=1800)	9.1	19.0	42.5	39.7	33.5
		R5 (n=1800)	10.3	18.8	42.7	37.4	32.8
		R4 (n=1800)	8.2	19.8	42.6	39.8	33.1
味・風味	おいしい	R7 (n=1800)	65.6	35.3	20.1	19.8	21.3
		R6 (n=1800)	68.9	35.4	21.3	19.7	18.9
		R5 (n=1800)	69.1	36.4	20.8	21.9	17.8
		R4 (n=1800)	71.7	34.8	21.3	20.7	17.7
	赤身が おいしい	R7 (n=1800)	34.9	18.0	19.3	19.9	37.3
		R6 (n=1800)	36.7	22.9	20.2	18.7	34.6
		R5 (n=1800)	36.5	23.8	18.2	19.1	33.4
		R4 (n=1800)	36.7	22.0	20.3	19.2	34.1
利便性	和食に合う	R7 (n=1800)	48.2	24.4	8.9	6.4	38.2
		R6 (n=1800)	49.4	26.9	8.7	6.3	35.1
		R5 (n=1800)	51.3	27.2	9.5	7.3	32.6
		R4 (n=1800)	52.9	26.4	8.3	7.4	33.3
	洋食に合う	R7 (n=1800)	24.7	20.7	33.3	29.7	40.2
		R6 (n=1800)	28.4	23.4	35.2	30.6	35.5
		R5 (n=1800)	31.8	24.1	34.2	30.5	34.2
		R4 (n=1800)	29.7	21.8	36.7	32.8	34.3
情緒	満足感がある	R7 (n=1800)	64.1	16.4	6.7	4.7	24.2
		R6 (n=1800)	68.5	14.7	6.3	3.8	21.4
		R5 (n=1800)	66.7	14.7	6.9	4.9	21.7
		R4 (n=1800)	69.9	12.9	6.7	4.9	20.2
	シニア向き	R7 (n=1800)	26.8	12.7	7.4	6.6	56.8
		R6 (n=1800)	32.6	16.7	6.9	5.7	50.2
		R5 (n=1800)	33.3	16.6	7.7	6.3	47.6
		R4 (n=1800)	33.4	15.8	6.9	6.2	49.4
	若者向き	R7 (n=1800)	10.1	10.8	29.5	23.1	50.8
		R6 (n=1800)	10.2	13.8	33.6	27.2	46.1
		R5 (n=1800)	12.5	13.8	32.4	26.7	44.0
		R4 (n=1800)	10.6	12.8	33.9	27.9	44.9
健康に悪い*3		R7 (n=1800)	9.2	7.6	13.5	8.6	70.4

*1 令和6年度「国産和牛」より変更
 *2 令和6年度「和牛以外の国産牛肉」より変更
 *3 令和7年度よりの新規項目

■ R7 国産和牛肉 ■ R7 和牛肉以外の国産牛肉 ■ R7 アメリカ産牛肉 ■ R7 オーストラリア産牛肉 ■ R7 あてはまるものはない
■ R6 国産和牛肉 ■ R6 和牛肉以外の国産牛肉 ■ R6 アメリカ産牛肉 ■ R6 オーストラリア産牛肉 ■ R6 あてはまるものはない
■ R5 国産和牛肉 ■ R5 和牛肉以外の国産牛肉 ■ R5 アメリカ産牛肉 ■ R5 オーストラリア産牛肉 ■ R5 あてはまるものはない
■ R4 国産和牛肉 ■ R4 和牛肉以外の国産牛肉 ■ R4 アメリカ産牛肉 ■ R4 オーストラリア産牛肉 ■ R4 あてはまるものはない

図表 111 各種牛肉のイメージ



図表 112 各種牛肉のイメージ (レーダーチャート)

(%)

		食感	部位・栄養素		脂肪・コレステロールが多い*	品質		品質・アニマルウェルフェア 飼育環境がよい	価格			
			柔らかい	霜降り		赤身が多い	安全・安心		高品質	高級	価格が手頃	特売
R7	全体	(n=1800)	59.1	62.2	18.1	23.7	61.3	62.6	44.8	67.4	6.3	8.4
R6	全体	(n=1800)	63.2	64.8	22.3	-	65.8	67.1	49.9	72.0	6.1	9.1
エリア	首都圏	(n=900)	59.9	63.3	16.6	24.7	62.3	63.9	46.7	68.7	6.3	7.7
	京阪神圏	(n=900)	58.3	61.1	19.6	22.7	60.3	61.3	42.9	66.2	6.3	9.1
性別	男性	(n=900)	57.6	60.1	15.9	24.4	58.9	60.3	43.3	65.4	7.6	9.8
	女性	(n=900)	60.7	64.3	20.2	22.9	63.8	64.9	46.2	69.4	5.1	7.0
年代	20代	(n=300)	34.7	40.0	18.0	17.7	38.3	42.0	31.7	44.3	10.7	10.7
	30代	(n=300)	46.7	51.7	18.3	19.7	55.7	52.3	34.3	55.7	7.0	9.3
	40代	(n=300)	58.7	61.7	18.0	21.3	61.7	60.3	48.0	70.0	7.0	8.0
	50代	(n=300)	67.7	65.3	14.3	24.7	63.7	67.3	49.7	74.0	5.0	7.0
	60代	(n=300)	73.3	76.3	19.7	28.0	73.7	75.7	54.3	80.7	3.0	6.3
	70代以上	(n=300)	73.7	78.3	20.0	30.7	75.0	78.0	50.7	80.0	5.3	9.0

		味・風味	利便性		情緒			健康に悪い*		
			おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある		シニア向き	若者向き
R7	全体	(n=1800)	65.6	34.9	48.2	24.7	64.1	26.8	10.1	9.2
R6	全体	(n=1800)	68.9	36.7	49.4	28.4	68.5	32.6	10.2	0.0
エリア	首都圏	(n=900)	67.1	32.3	48.1	25.4	66.2	24.7	10.3	9.9
	京阪神圏	(n=900)	64.1	37.6	48.3	24.0	62.0	29.0	9.8	8.6
性別	男性	(n=900)	61.8	33.6	47.1	25.2	60.1	25.9	10.7	8.3
	女性	(n=900)	69.4	36.3	49.3	24.2	68.1	27.8	9.4	10.1
年代	20代	(n=300)	44.0	27.0	32.0	16.0	43.3	18.7	14.3	8.3
	30代	(n=300)	59.3	25.3	42.3	18.7	54.7	18.0	11.3	8.7
	40代	(n=300)	62.3	39.0	47.0	23.0	64.7	23.0	10.7	10.7
	50代	(n=300)	71.0	35.7	48.7	24.7	66.7	30.7	9.7	8.0
	60代	(n=300)	79.0	42.3	58.7	30.7	77.7	31.0	7.0	10.7
	70代以上	(n=300)	78.0	40.3	60.7	35.3	77.7	39.7	7.3	9.0

*令和7年度よりの新規項目

図表 113 国産和牛肉のイメージ

		食感	部位・栄養素			脂肪・コレステロールが多い*	品質		品質・アニマルウェルフェア 飼育環境がよい	価格		
			柔らかい	霜降り	赤身が多い		安全・安心	高品質		高級	価格が手頃	特売
R7	全体 (n=1800)	20.6	14.8	13.6	15.0	31.8	17.8	15.9	13.2	15.3	15.1	
R6	全体 (n=1800)	22.2	12.7	17.1	-	34.4	18.8	17.6	13.1	19.3	19.0	
エリア	首都圏 (n=900)	23.1	15.3	13.2	15.9	34.2	20.8	17.8	14.8	14.3	13.9	
	京阪神圏 (n=900)	18.0	14.2	13.9	14.1	29.3	14.8	14.1	11.7	16.3	16.3	
性別	男性 (n=900)	22.3	15.1	13.2	17.3	32.1	17.7	16.6	12.6	15.4	15.1	
	女性 (n=900)	18.8	14.4	13.9	12.7	31.4	17.9	15.3	13.9	15.2	15.1	
年代	20代 (n=300)	22.3	18.0	16.7	18.3	27.3	20.3	20.3	18.7	16.3	12.7	
	30代 (n=300)	19.3	15.7	13.3	11.7	26.3	20.0	13.3	15.7	15.7	15.0	
	40代 (n=300)	20.3	17.7	12.7	13.7	35.3	21.0	16.7	18.3	13.0	13.7	
	50代 (n=300)	21.0	12.3	8.0	13.7	32.3	16.3	14.0	11.7	14.7	13.3	
	60代 (n=300)	19.3	10.7	13.3	17.0	33.3	15.0	14.3	8.0	16.3	18.7	
	70代以上 (n=300)	21.0	14.3	17.3	15.7	36.0	14.0	17.0	7.0	16.0	17.3	

		味・風味		利便性		情緒			健康に悪い*
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	驚沢感がある	シニア向き	若者向き	
R7	全体 (n=1800)	35.3	18.0	24.4	20.7	16.4	12.7	10.8	7.6
R6	全体 (n=1800)	35.4	22.9	26.9	23.4	14.7	16.7	13.8	-
エリア	首都圏 (n=900)	36.2	19.2	25.7	21.4	18.7	14.2	9.9	8.6
	京阪神圏 (n=900)	34.3	16.8	23.1	19.9	14.1	11.2	11.8	6.7
性別	男性 (n=900)	35.6	19.3	24.9	21.6	16.4	13.7	12.0	8.0
	女性 (n=900)	35.0	16.7	23.9	19.8	16.3	11.8	9.7	7.2
年代	20代 (n=300)	32.7	16.7	24.7	15.7	22.3	12.7	15.3	17.0
	30代 (n=300)	34.7	19.3	20.0	17.7	17.3	13.3	13.7	8.3
	40代 (n=300)	42.7	20.0	27.3	20.3	23.7	13.0	8.3	9.0
	50代 (n=300)	34.7	15.3	26.7	21.3	13.0	12.0	8.3	4.3
	60代 (n=300)	36.7	16.0	23.3	23.3	10.3	10.3	8.3	3.3
	70代以上 (n=300)	30.3	20.7	24.3	25.7	11.7	15.0	11.0	3.7

図表 114 和牛肉以外の国産牛肉のイメージ

		食感	部位・栄養素		脂肪・コレステロールが多い*	品質		品質・アニマルウェルフェア	価格		
		柔らかい	霜降り	赤身が多い		安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
R7	全体 (n=1800)	8.4	5.7	28.4	18.7	9.2	7.6	7.2	6.0	46.9	39.5
R6	全体 (n=1800)	6.8	5.4	28.6	0.0	10.4	6.6	8.6	4.9	49.3	42.5
エリア	首都圏 (n=900)	8.9	5.9	30.0	18.8	10.0	8.7	7.1	6.0	48.2	40.6
	京阪神圏 (n=900)	7.9	5.6	26.8	18.7	8.4	6.6	7.2	6.0	45.7	38.4
性別	男性 (n=900)	8.0	6.7	30.7	20.3	10.8	9.4	8.0	6.9	46.1	40.1
	女性 (n=900)	8.8	4.8	26.1	17.1	7.7	5.8	6.3	5.1	47.8	38.9
年代	20代 (n=300)	13.0	10.0	23.0	18.7	11.0	13.0	12.7	11.0	35.0	29.7
	30代 (n=300)	11.3	7.3	26.7	16.7	10.0	11.7	7.0	11.3	43.0	36.7
	40代 (n=300)	9.7	8.7	28.7	19.0	9.0	8.3	7.7	8.7	50.7	41.3
	50代 (n=300)	5.0	4.0	30.3	18.0	6.3	5.3	4.7	2.7	50.3	40.7
	60代 (n=300)	7.3	2.7	28.0	19.3	10.0	4.0	3.3	1.3	49.7	42.0
	70代以上 (n=300)	4.0	1.7	33.7	20.7	9.0	3.3	7.7	1.0	53.0	46.7

		味・風味		利便性		情緒			健康に悪い*
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	驚沢感がある	シニア向き	若者向き	
R7	全体 (n=1800)	20.1	19.3	8.9	33.3	6.7	7.4	29.5	13.5
R6	全体 (n=1800)	21.3	20.2	8.7	35.2	6.3	6.9	33.6	-
エリア	首都圏 (n=900)	21.3	22.0	9.6	34.6	6.9	6.7	27.1	12.6
	京阪神圏 (n=900)	18.9	16.7	8.3	32.0	6.4	8.1	31.9	14.4
性別	男性 (n=900)	22.0	22.1	10.0	33.6	7.6	8.4	28.8	12.7
	女性 (n=900)	18.2	16.6	7.9	33.0	5.8	6.3	30.2	14.3
年代	20代 (n=300)	16.7	20.0	11.3	28.0	11.7	11.3	22.3	16.3
	30代 (n=300)	25.3	23.0	10.3	27.0	11.0	8.7	22.3	15.7
	40代 (n=300)	26.7	23.3	12.7	39.0	7.0	7.0	27.0	16.7
	50代 (n=300)	18.3	16.7	8.0	36.3	5.0	4.7	28.0	13.3
	60代 (n=300)	20.7	16.7	6.0	36.0	2.3	7.0	36.0	10.0
	70代以上 (n=300)	13.0	16.3	5.3	33.3	3.0	5.7	41.3	9.0

*令和7年度よりの新規項目

図表 115 アメリカ産牛肉のイメージ

		食感	部位・栄養素		脂肪・コレステロールが多い*	品質		品質:アミノ酸/ウェルフェア	価格		
		柔らかい	霜降り	赤身が多い		安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
R7	全体 (n=1800)	5.8	4.1	27.2	12.4	9.3	5.4	8.2	4.3	48.9	37.7
R6	全体 (n=1800)	6.4	3.7	27.7	-	8.7	5.4	7.9	4.4	51.1	39.7
エリア	首都圏 (n=900)	6.2	3.8	27.9	12.0	11.2	6.1	8.3	4.6	48.0	38.2
	京阪神圏 (n=900)	5.3	4.3	26.6	12.8	7.4	4.8	8.0	4.0	49.8	37.1
性別	男性 (n=900)	5.4	4.6	28.2	13.0	11.2	6.2	9.8	5.0	49.6	37.4
	女性 (n=900)	6.1	3.6	26.2	11.8	7.4	4.7	6.6	3.6	48.2	37.9
年代	20代 (n=300)	6.0	7.7	15.3	12.0	9.3	9.0	8.3	9.3	28.0	23.3
	30代 (n=300)	6.7	6.3	21.3	13.0	10.0	8.0	8.0	7.0	40.0	30.3
	40代 (n=300)	6.3	4.0	29.3	13.7	5.0	4.0	10.7	4.3	52.7	39.0
	50代 (n=300)	3.7	2.7	36.0	10.3	8.0	4.0	5.7	2.7	54.3	40.7
	60代 (n=300)	7.0	2.7	28.3	11.0	13.3	4.0	7.0	1.3	58.3	47.0
	70代以上 (n=300)	5.0	1.0	33.0	14.3	10.3	3.7	9.3	1.0	60.0	45.7

		味・風味		利便性		情緒			健康に悪い*
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	満足感がある	シニア向き	若者向き	
R7	全体 (n=1800)	19.8	19.9	6.4	29.7	4.7	6.6	23.1	8.6
R6	全体 (n=1800)	19.7	18.7	6.3	30.6	3.8	5.7	27.2	-
エリア	首都圏 (n=900)	22.0	23.7	7.9	30.9	4.8	6.9	22.9	7.9
	京阪神圏 (n=900)	17.7	16.1	5.0	28.4	4.6	6.3	23.3	9.2
性別	男性 (n=900)	20.1	20.6	7.1	29.1	5.6	8.3	23.0	8.7
	女性 (n=900)	19.6	19.2	5.8	30.2	3.8	4.9	23.2	8.4
年代	20代 (n=300)	16.3	15.7	5.3	21.0	8.0	9.0	13.7	10.0
	30代 (n=300)	20.7	20.0	5.7	22.0	5.0	5.3	18.7	11.0
	40代 (n=300)	23.3	23.7	10.3	30.3	5.3	5.7	22.0	11.7
	50代 (n=300)	19.3	20.3	6.0	34.0	4.3	4.3	25.3	8.7
	60代 (n=300)	25.3	23.0	6.7	35.7	3.0	9.7	30.3	5.0
	70代以上 (n=300)	14.0	16.7	4.7	35.0	2.3	5.7	28.7	5.0

*令和7年度よりの新規項目

図表 116 オーストラリア産牛肉のイメージ

10) 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q13)

- 「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は全体の 49.2%。
- 「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」の割合は 23.7%。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

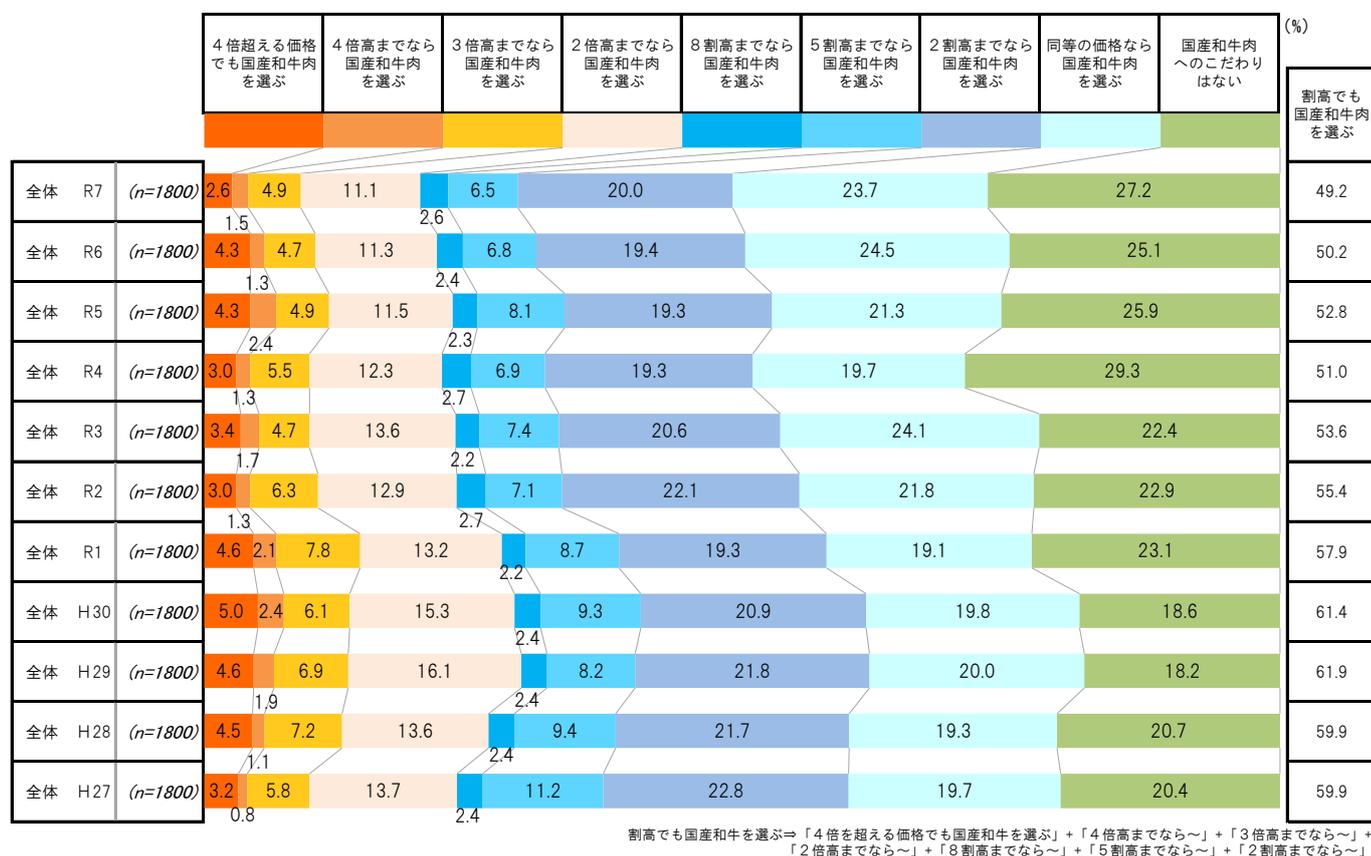
【今年度調査】

輸入牛肉と比べ「割高でも国産和牛肉を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」）」割合は 49.2%。

特に「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」が 23.7%、「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」が 20.0%の順で高く、合わせて全体の 43.7%を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

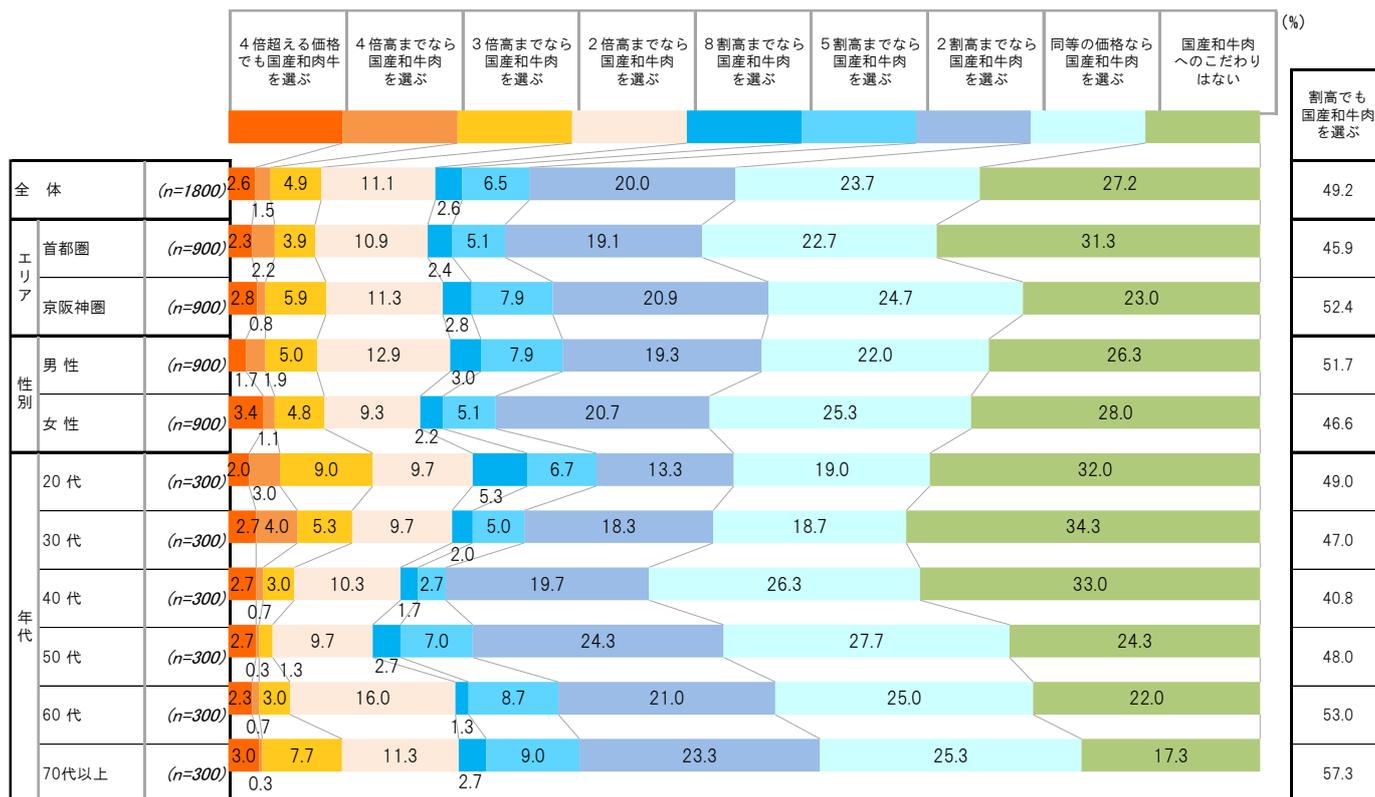


図表 117 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (経年変化)

「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は45.9%、京阪神圏が52.4%と、首都圏より京阪神圏の方が多。

性別に「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合を見ると、男性が51.7%、女性が46.6%と、女性より男性の方が多。

年代別に「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合を見ると、60代は53.0%、70代以上は57.3%と年代が高い方が多くなり、国産和牛肉への価格許容度が高い。



割高でも国産和牛を選ぶ⇒「4倍を超える価格でも国産和牛を選ぶ」+「4倍高までなら〜」+「3倍高までなら〜」+「2倍高までなら〜」+「8割高までなら〜」+「5割高までなら〜」+「2割高までなら〜」+「同等の価格なら〜」

図表 118 エリア・性・年代別 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

11) 和牛肉以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)

- 「割高でも和牛肉以外の国産牛肉を選択する割合」は全体の48.8%。
- 「同等の価格なら和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ」の割合は23.9%。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

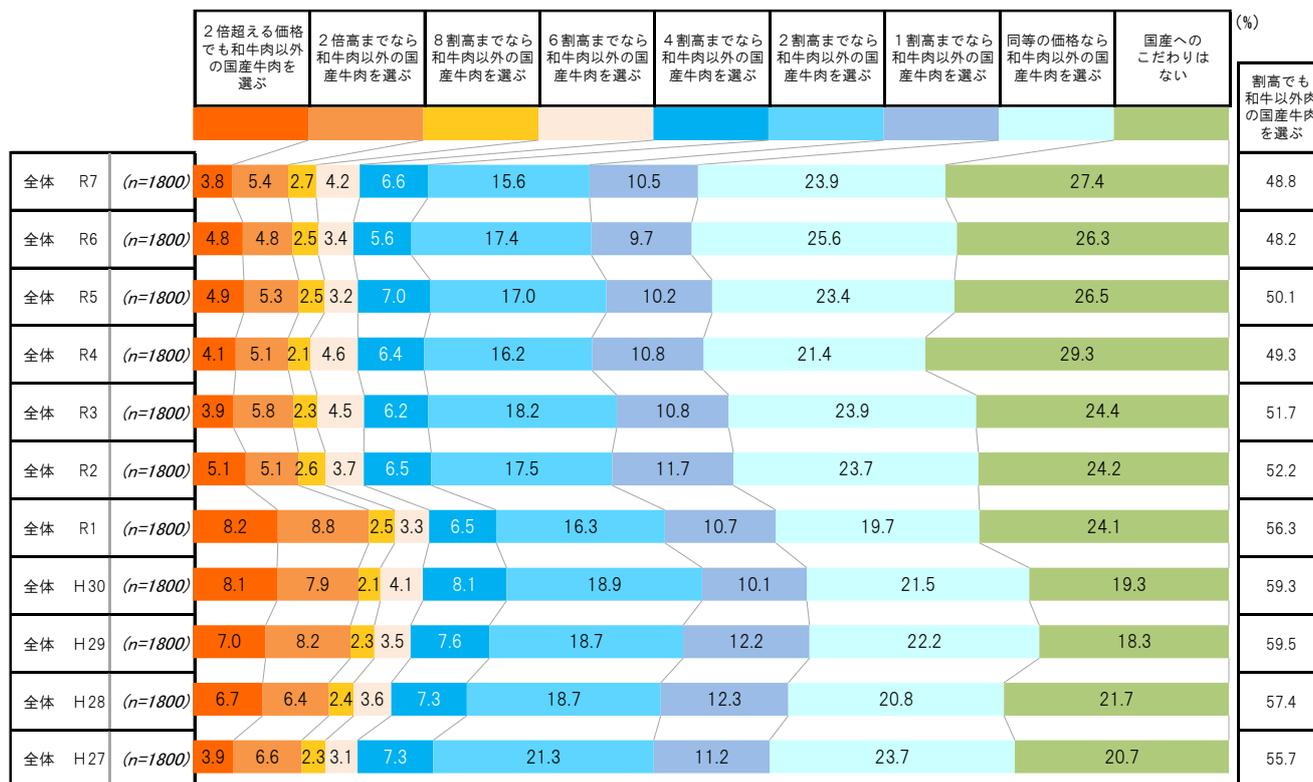
【今年度調査】

輸入牛肉と比べ「割高でも和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ（「2倍を超える価格でも和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ」～「1割高までなら和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ」）割合は48.8%。

特に「同等の価格なら和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ」が23.9%、「2割高までなら和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ」が15.6%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



選択肢内の「国産和牛肉」は令和6年度の選択肢「国産和牛」より変更

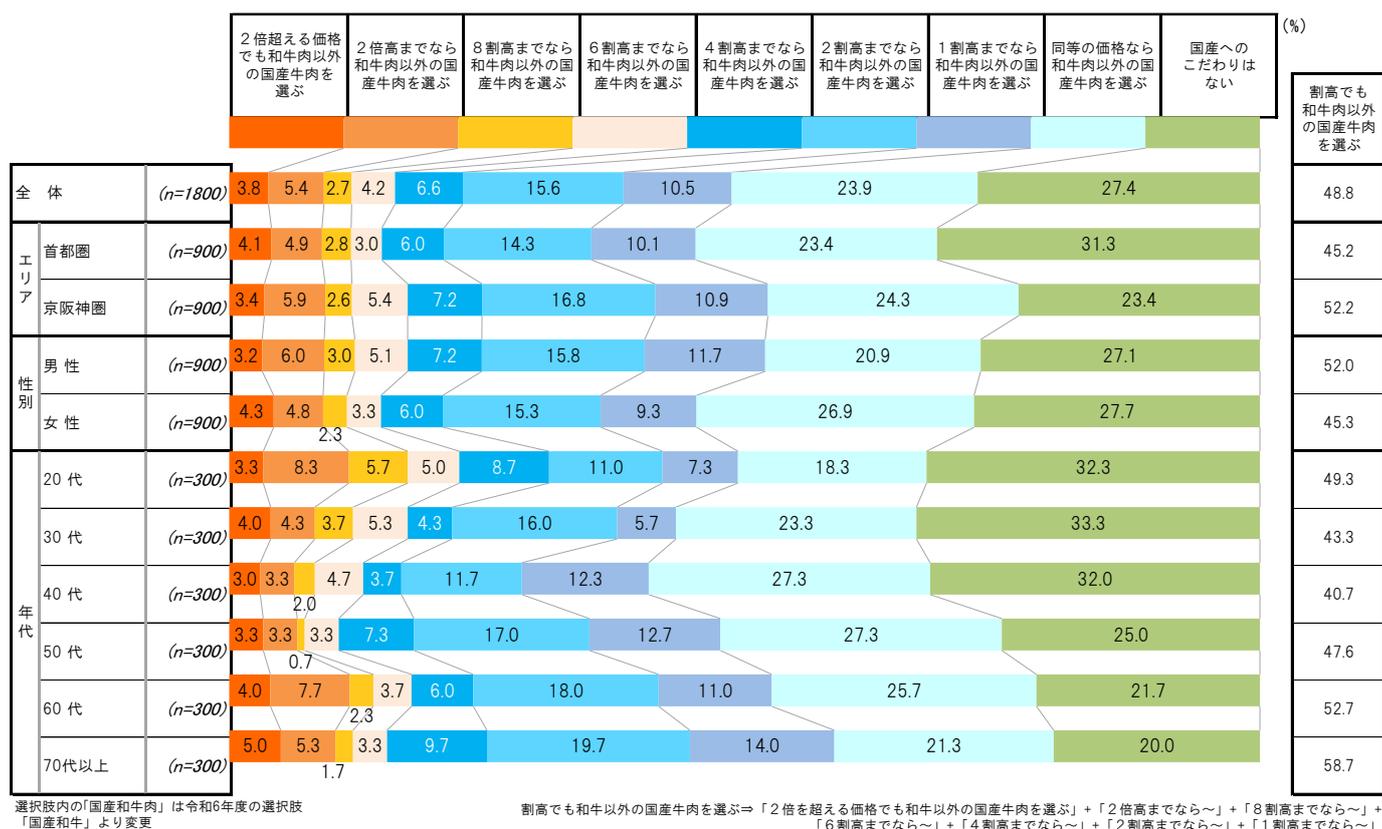
割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら～」+「8割高までなら～」+「6割高までなら～」+「4割高までなら～」+「2割高までなら～」+「1割高までなら～」

図表 119 和牛肉以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (経年変化)

「割高でも和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は45.2%、京阪神圏が52.2%と、首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に「割高でも和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、男性が52.0%、女性が45.3%と、女性より男性の方が多い。

年代別に「割高でも和牛肉以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、60代は52.7%、70代以上は58.7%と年代が高い方が多くなり、和牛肉以外の国産牛肉への価格許容度が高い。



図表 120 エリア・性・年代別 和牛肉以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

12) 国産牛肉（和牛肉を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）
（Q15）

- ▶ 国産牛肉（和牛肉を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）は、平均426.5円/100g。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

【今年度調査】

国産牛肉（和牛肉を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）は、平均426.5円/100gである。

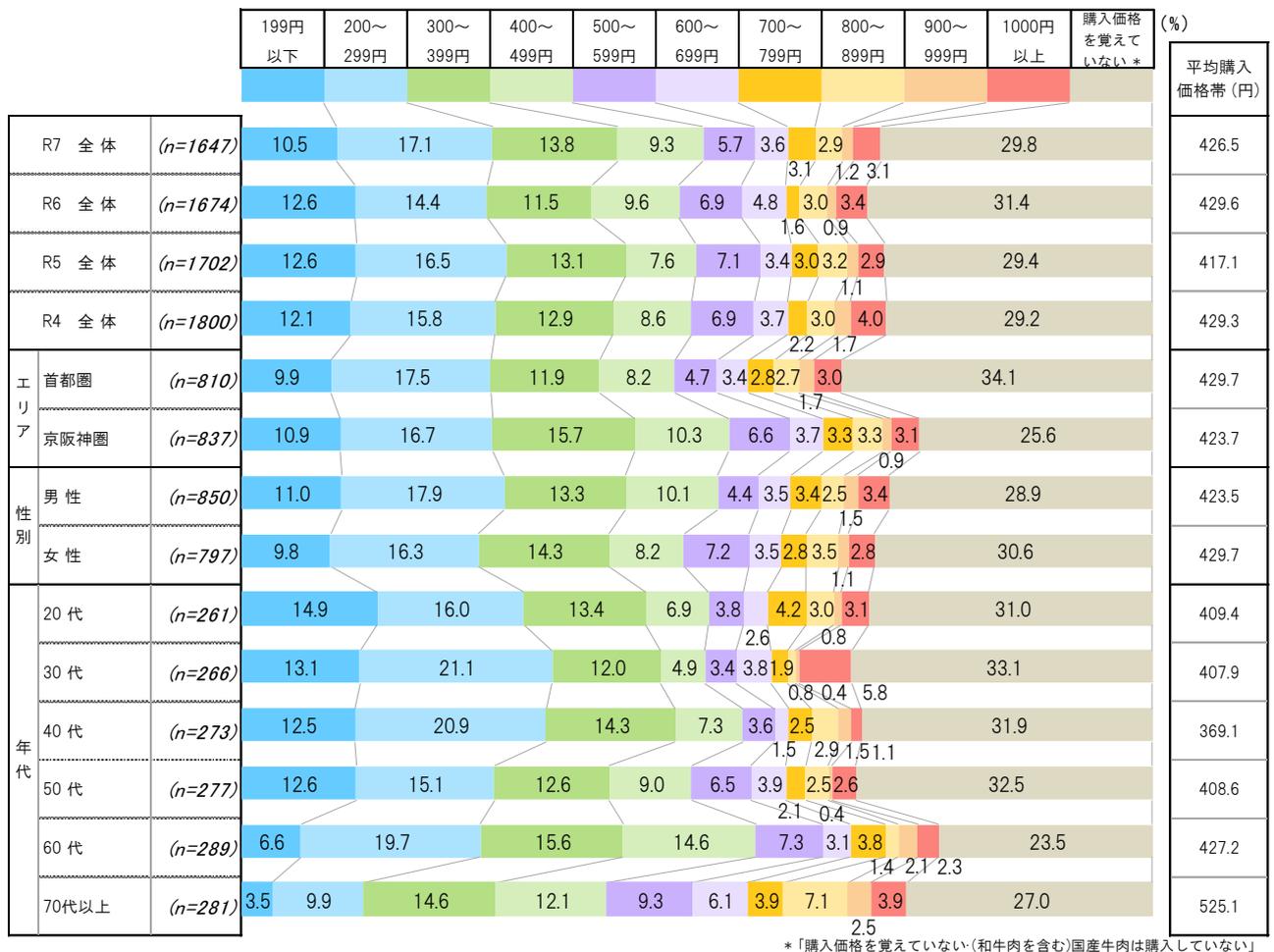
エリア別に見ると、首都圏は平均429.7円/100g、京阪神圏は平均423.7円/100gと、大きな違いは見られない。

性別に見ると、男性が平均423.5円/100g、女性が平均429.7円/100gと、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、70代以上は平均525.1円/100gと最も高く、40代が平均369.1円/100gと最も低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



図表 121 国産牛肉（和牛肉を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）

13) 産地別牛肉の購入意向 (Q16)

- 牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛肉が 85.1%、和牛肉以外の国産牛肉が 79.7%、オーストラリア産牛肉が 64.9%、アメリカ産牛肉が 62.0%の順。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

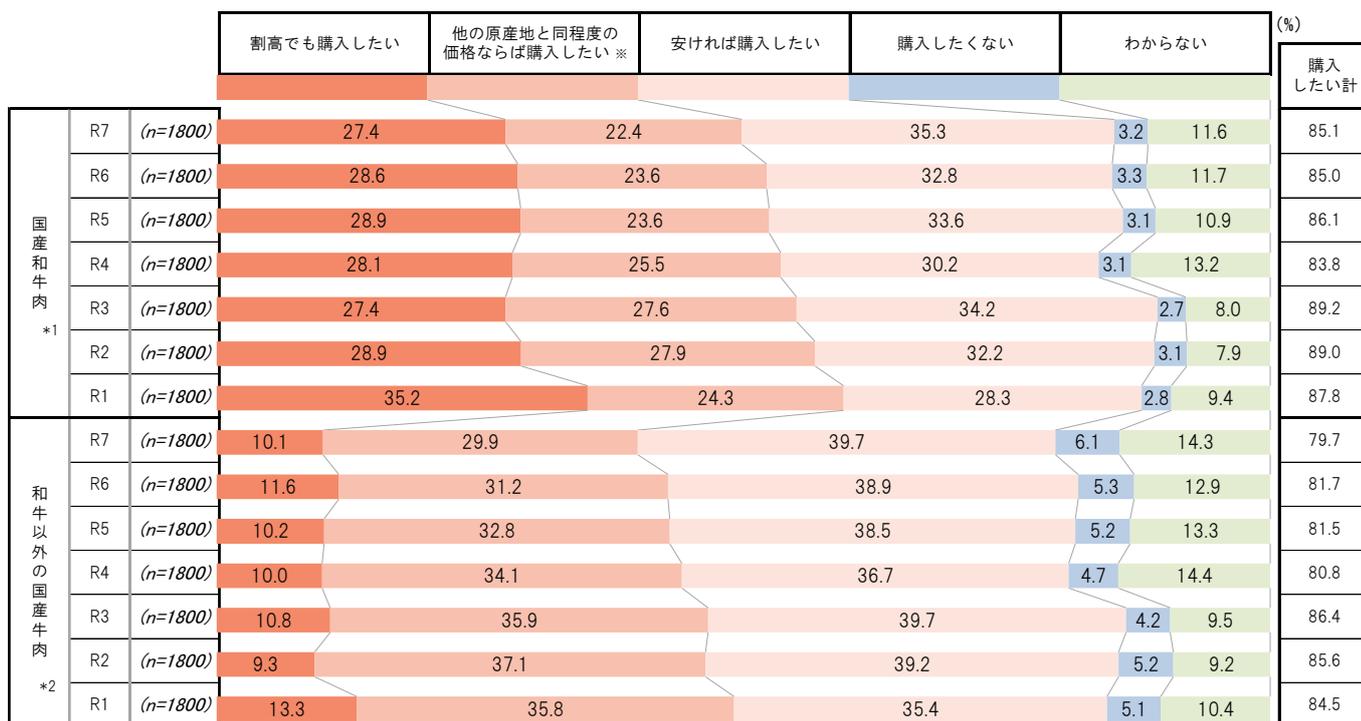
【今年度調査】

牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛肉が 85.1%、和牛肉以外の国産牛肉が 79.7%、オーストラリア産牛肉が 64.9%、アメリカ産牛肉が 62.0%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産和牛肉は 27.4%と高いが、和牛肉以外の国産牛肉は 10.1%で、オーストラリア産牛肉・アメリカ産牛肉も含めた輸入牛肉はいずれも 2%前後と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

*1令和6年度の選択肢「国産和牛」より変更 *2令和6年度の選択肢「和牛以外の国産和牛」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 122 (その1) 牛肉の産地別購入意向

		割高でも購入したい	他の原産地と同程度の価格ならば購入したい※	安ければ購入したい	購入したくない	わからない	(%)
							購入したい計
アメリカ産牛肉	R7	(n=1800)	11.2	49.0	20.1	17.9	62.0
	R6	(n=1800)	11.8	50.4	20.1	15.6	64.3
	R5	(n=1800)	11.7	47.1	20.7	15.8	63.5
	R4	(n=1800)	12.1	45.1	20.1	18.4	61.6
	R3	(n=1800)	11.8	51.9	20.7	13.7	65.6
	R2	(n=1800)	10.9	51.0	23.1	14.0	62.8
	R1	(n=1800)	10.9	49.7	22.6	16.1	61.3
オーストラリア産牛肉	R7	(n=1800)	11.3	50.8	16.7	18.3	64.9
	R6	(n=1800)	11.7	52.9	17.4	15.2	67.3
	R5	(n=1800)	11.4	51.8	16.6	15.2	68.3
	R4	(n=1800)	11.9	48.2	16.8	18.2	64.9
	R3	(n=1800)	11.4	55.9	16.9	13.0	70.1
	R2	(n=1800)	11.2	55.4	18.0	13.6	68.4
	R1	(n=1800)	10.8	53.5	16.5	16.4	67.1
カナダ産牛肉	R7	(n=1800)	11.5	45.4	19.3	23.9	56.8
	R6	(n=1800)	11.6	47.4	20.3	20.1	59.6
	R5	(n=1800)	11.7	44.8	19.8	21.2	58.9
	R4	(n=1800)	11.4	42.8	19.6	24.2	56.2
	R3	(n=1800)	11.4	47.9	19.9	21.1	59.0
	R2	(n=1800)	11.2	47.2	21.8	20.2	58.0
	R1	(n=1800)	11.2	44.7	20.3	24.1	55.6
ニュージーランド産牛肉	R7	(n=1800)	11.2	45.9	19.2	23.0	57.8
	R6	(n=1800)	11.2	47.2	20.2	20.7	59.1
	R5	(n=1800)	11.9	44.6	19.5	21.0	59.5
	R4	(n=1800)	11.9	43.3	19.2	23.8	57.1
	R3	(n=1800)	11.7	48.2	19.6	20.4	60.0
	R2	(n=1800)	11.1	46.5	21.3	20.1	58.7
	R1	(n=1800)	11.1	44.9	19.8	24.2	55.9
メキシコ産牛肉	R7	(n=1800)	11.3	30.8	32.2	28.9	38.8
	R6	(n=1800)	11.2	30.4	35.8	25.6	38.5
	R5	(n=1800)	11.4	30.7	31.8	27.6	40.6
	R4	(n=1800)	11.3	28.3	32.6	29.7	37.7
	R3	(n=1800)	11.3	29.0	35.4	28.7	35.9
	R2	(n=1800)	10.7	27.1	38.4	28.2	33.5
	R1	(n=1800)	10.8	26.6	34.7	32.2	33.0
ウルグアイ産牛肉	R7	(n=1800)	11.3	28.8	33.2	30.1	36.7
	R6	(n=1800)	11.2	29.3	35.8	27.6	36.6
	R5	(n=1800)	11.6	27.7	33.9	28.7	37.4
	R4	(n=1800)	11.6	26.9	33.1	30.6	36.3
	R3	(n=1800)	11.1	26.6	36.8	29.8	33.4
	R2	(n=1800)	10.7	25.9	38.3	29.6	32.1
	R1	(n=1800)	10.8	26.1	35.0	32.7	32.3
アルゼンチン産牛肉	R7	(n=1800)	10.9	29.5	32.2	30.2	37.6
	R6	(n=1800)	11.2	29.9	34.6	27.8	37.6
	R5	(n=1800)	11.6	28.7	32.3	28.9	38.8
	R4	(n=1800)	11.7	27.4	31.4	31.1	37.5
	R3	(n=1800)	11.7	27.6	35.9	29.4	34.6
	R2	(n=1800)	11.1	26.2	37.4	29.5	33.1
	R1	(n=1800)	10.9	27.1	34.1	32.5	33.4

※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 122 (その2) 牛肉の産地別購入意向

14) 産地別豚肉の購入意向 (Q17)

- 豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は国産豚肉が 89.2%、アメリカ産豚肉が 64.1%、カナダ産豚肉が 62.4%、スペイン産豚肉が 53.6%の順。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

【今年度調査】

豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 89.2%、アメリカ産豚肉が 64.1%、カナダ産豚肉が 62.4%、スペイン産豚肉が 53.6%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産豚肉は 28.7%と高いが、アメリカ産豚肉・カナダ産豚肉・スペイン産豚肉も含め輸入豚肉はいずれも 2%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

		割高でも購入したい	他の原産地と同程度の価格ならば購入したい※	安ければ購入したい	購入したくない	わからない	(%)
							購入したい計
国産豚肉	R7 (n=1800)	28.7	27.6	32.9	1.9	8.8	89.2
	R6 (n=1800)	29.5	28.3	29.9	2.1	10.2	87.7
	R5 (n=1800)	29.3	30.4	29.1	2.2	9.1	88.8
	R4 (n=1800)	27.5	31.8	26.2	2.5	12.0	85.5
	R3 (n=1800)	26.7	34.7	30.2	1.9	6.5	91.6
	R2 (n=1800)	25.4	37.1	28.6	1.8	7.1	91.1
	R1 (n=1800)	32.4	32.1	25.1	1.6	8.7	89.6
	アメリカ産豚肉	R7 (n=1800)	14.8	47.1	19.7	16.2	64.1
R6 (n=1800)		15.4	44.4	21.7	16.4	61.9	
R5 (n=1800)		17.5	43.4	21.2	16.0	62.8	
R4 (n=1800)		16.8	41.5	20.9	19.1	60.0	
R3 (n=1800)		16.6	48.0	20.2	13.8	66.0	
R2 (n=1800)		14.9	45.4	24.3	14.3	61.4	
R1 (n=1800)		15.1	42.5	23.6	16.9	59.4	
カナダ産豚肉		R7 (n=1800)	12.9	47.9	19.2	18.4	62.4
	R6 (n=1800)	14.3	45.1	20.8	18.4	60.8	
	R5 (n=1800)	15.3	43.1	21.8	18.3	60.0	
	R4 (n=1800)	15.3	41.3	20.3	21.9	57.8	
	R3 (n=1800)	14.7	46.5	20.2	17.4	62.4	
	R2 (n=1800)	12.6	46.6	22.7	17.6	59.8	
	R1 (n=1800)	13.2	42.7	22.3	20.5	57.2	
	スペイン産豚肉	R7 (n=1800)	11.5	40.7	23.8	22.6	53.6
R6 (n=1800)		12.2	38.9	25.2	21.9	52.8	
R5 (n=1800)		13.3	37.8	25.0	22.1	52.9	
R4 (n=1800)		13.4	35.4	25.2	24.5	50.4	
R3 (n=1800)		11.6	38.7	25.3	23.2	51.5	
R2 (n=1800)		10.2	35.8	29.5	23.3	47.2	
R1 (n=1800)		10.7	35.7	26.6	26.2	47.3	
メキシコ産豚肉		R7 (n=1800)	8.5	34.8	30.6	24.6	44.9
	R6 (n=1800)	8.5	32.7	31.9	25.3	42.9	
	R5 (n=1800)	9.7	33.4	30.1	25.2	44.7	
	R4 (n=1800)	9.9	29.3	32.2	27.7	40.0	
	R3 (n=1800)	7.8	31.1	32.6	27.5	39.8	
	R2 (n=1800)	6.4	29.1	37.2	26.8	35.9	
	R1 (n=1800)	7.0	29.1	33.3	29.7	37.0	
	チリ産豚肉	R7 (n=1800)	7.7	33.4	31.9	25.8	42.2
R6 (n=1800)		7.2	31.1	33.5	26.8	39.7	
R5 (n=1800)		8.7	30.8	31.8	27.2	40.9	
R4 (n=1800)		9.7	27.6	33.2	28.7	38.1	
R3 (n=1240)		7.1	29.4	33.4	29.3	37.2	
R2 (n=1240)		6.3	27.4	37.4	28.4	34.2	
R1 (n=1240)		6.2	27.4	34.8	30.6	34.5	
デンマーク産豚肉		R7 (n=1800)	9.8	35.5	27.6	26.1	46.4
	R6 (n=1800)	9.9	33.7	28.6	26.2	45.2	
	R5 (n=1800)	10.1	34.7	27.7	26.1	46.4	
	R4 (n=1800)	11.4	30.9	28.1	28.5	43.4	
	R3 (n=1244)	8.4	33.8	28.2	28.7	43.1	
	R2 (n=1244)	8.7	31.6	31.4	27.4	41.2	
	R1 (n=1244)	8.4	31.8	28.8	29.9	41.3	

※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 123 豚肉の産地別購入意向

15) 産地別鶏肉の購入意向 (Q18)

- 鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 88.3%、アメリカ産鶏肉が 55.5%、ブラジル産鶏肉が 49.3%、タイ産鶏肉が 44.4%の順。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

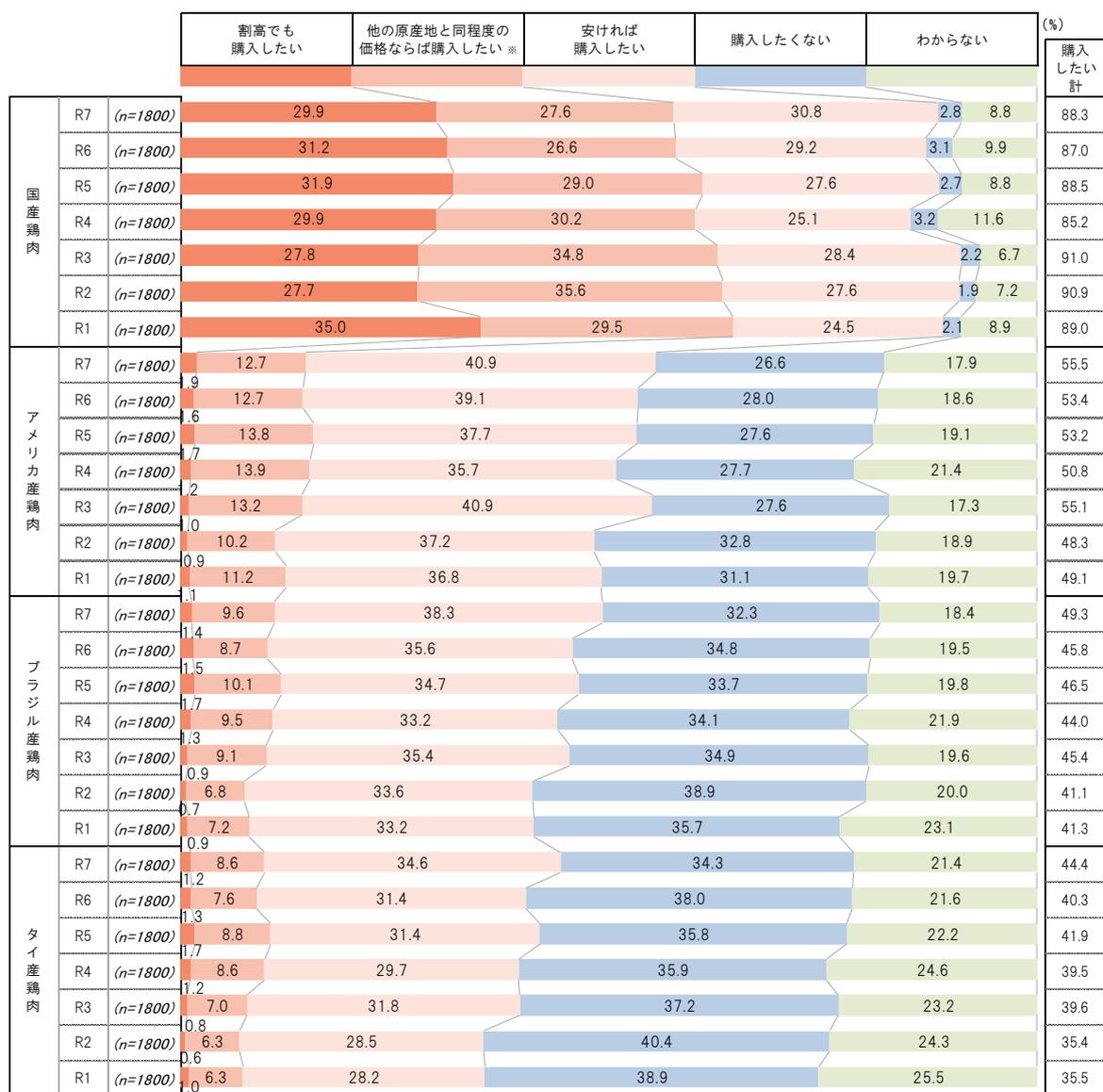
【今年度調査】

鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 88.3%、アメリカ産鶏肉が 55.5%、ブラジル産鶏肉が 49.3%、タイ産鶏肉が 44.4%の順である。

「割高でも購入したい」で見ると、国産鶏肉は 29.9%と高いが、輸入鶏肉はいずれも 2%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



※令和4年度の選択肢「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 124 鶏肉の産地別購入意向

4. 食肉の安全性に関する意識調査

4.1 食品の安全性に関する意識

1) 食品の安全性の不安感 (Q19)

- 「不安を感じる」とする回答割合が高い食品は、「ファストフード」31.8%、「食肉加工品」31.3%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」29.5%、「弁当・惣菜類」26.7%の順。
- 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

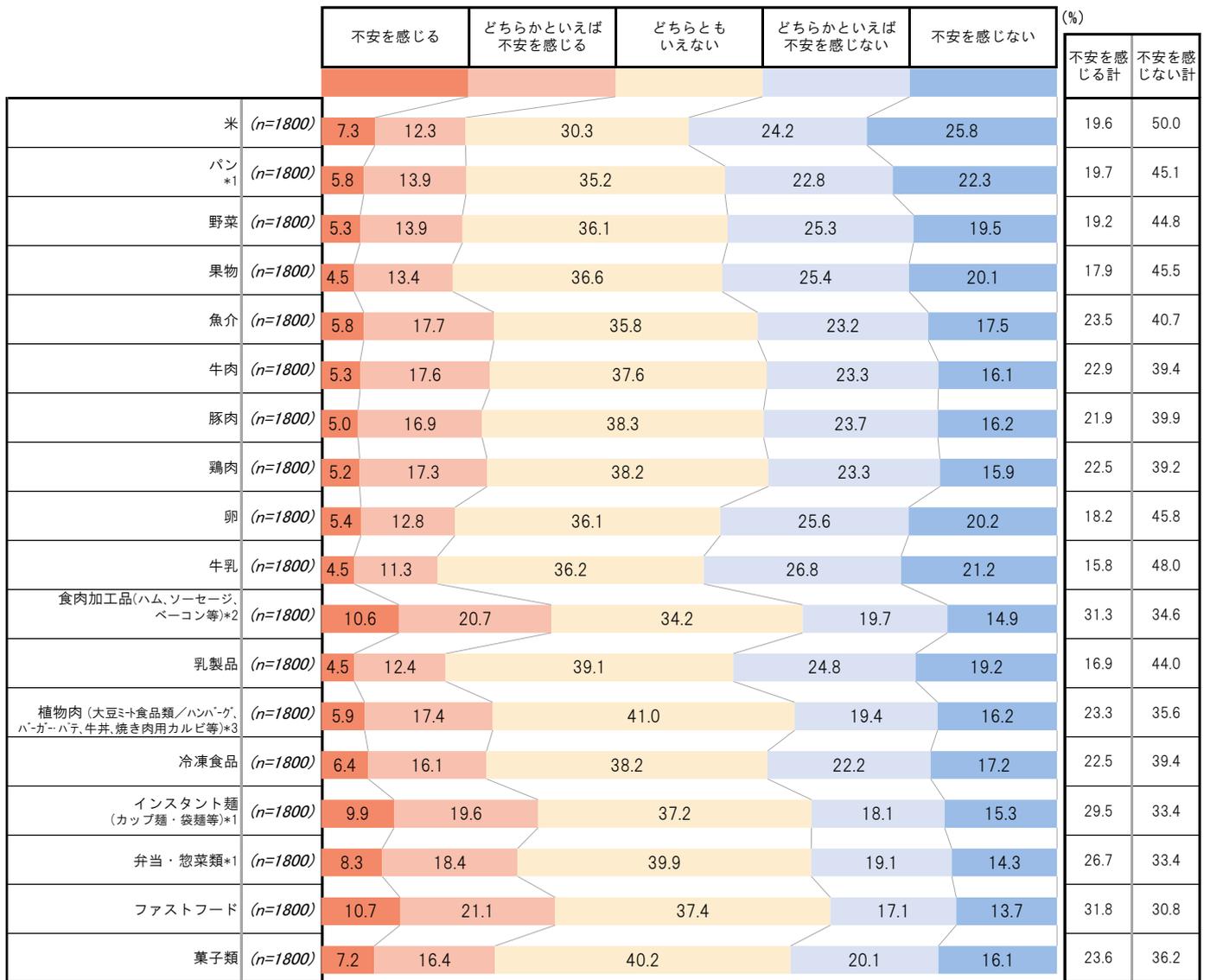
【今年度調査】

18種類の食品（食品群）の安全性について不安を感じるかどうかを聞いたところ、「不安を感じる（不安を感じる＋どちらかといえば不安を感じる）」の割合は「ファストフード」31.8%、「食肉加工品（ハム・ソーセージ）」31.3%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」29.5%、「弁当・惣菜類」26.7%の順で高い。「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は、23.3%であった。

逆に、「不安を感じない（どちらかといえば不安を感じない＋不安を感じない）」の割合は、「米」50.0%、「牛乳」48.0%、「卵」45.8%、「果物」45.5%、「パン」45.1%、「野菜」44.8%、「乳製品」44.0%の順で高い。なお「牛肉」は39.4%、「豚肉」は39.9%、「鶏肉」は39.2%であった。「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は、35.6%であった。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。



*1 「ハン」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年度より新規項目

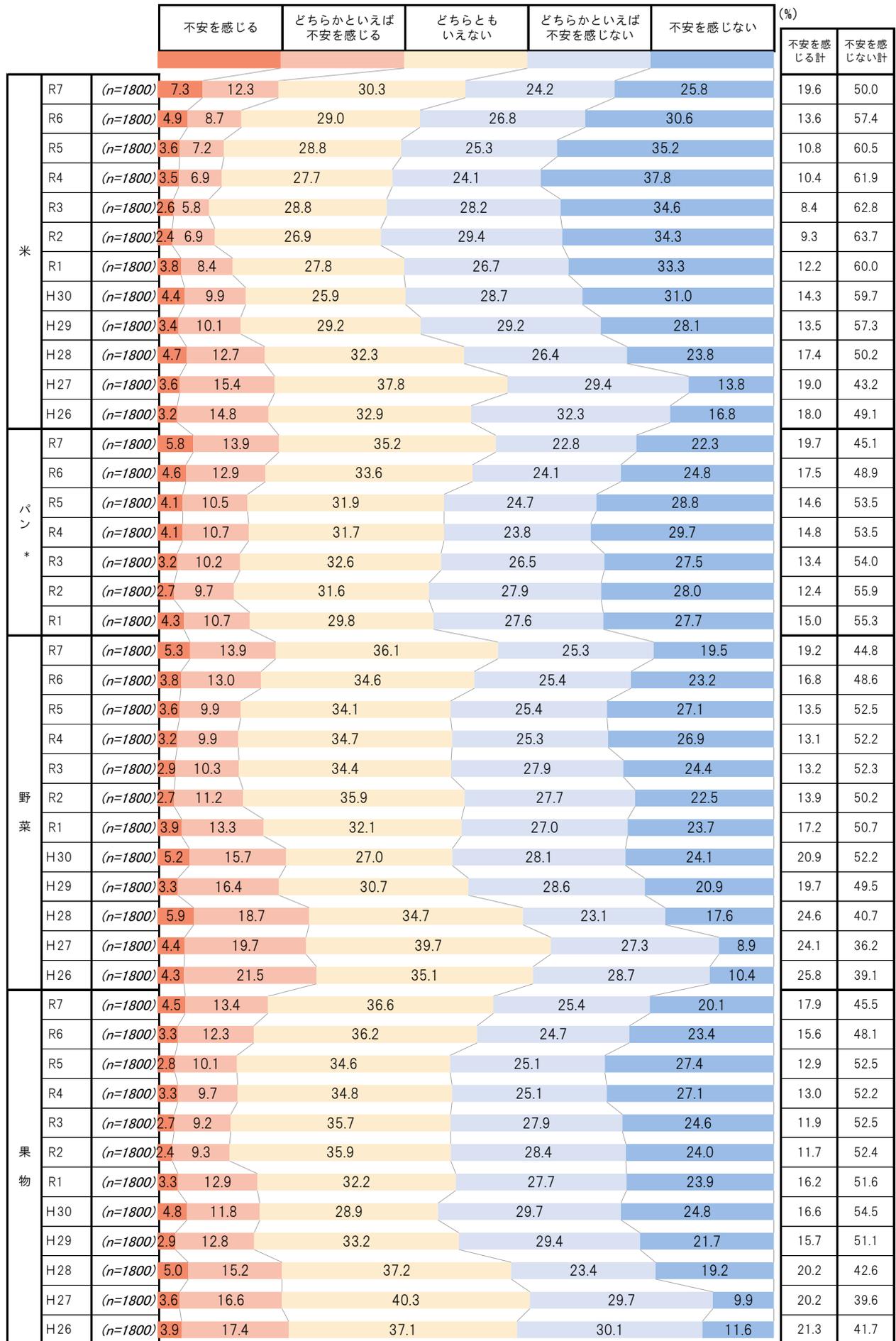
*2 令和6年度の選択肢「食肉加工品」より変更

*3 令和6年度の選択肢「大豆ミート食品類(ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルピ等)」より変更

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」

不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 125 食品の安全性の不安感



* 「パン」は令和元年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
 不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 126 (その1) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)		
							不安を感じる計	不安を感じない計	
魚介	R7	(n=1800)	5.8	17.7	35.8	23.2	17.5	23.5	40.7
	R6	(n=1800)	4.3	16.9	35.5	23.3	20.0	21.2	43.3
	R5	(n=1800)	3.8	14.1	35.2	23.6	23.4	17.9	47.0
	R4	(n=1800)	4.2	13.7	36.1	23.4	22.6	17.9	46.0
	R3	(n=1800)	3.7	14.2	36.9	24.9	20.3	17.9	45.2
	R2	(n=1800)	4.0	16.5	35.0	25.7	18.8	20.5	44.5
	R1	(n=1800)	5.6	18.3	32.7	23.8	19.5	23.9	43.3
	H30	(n=1800)	7.2	18.2	28.1	26.8	19.7	25.4	46.5
	H29	(n=1800)	5.3	19.1	32.1	26.8	16.8	24.4	43.6
	H28	(n=1800)	7.6	19.4	35.4	22.2	15.4	27.0	37.6
	H27	(n=1800)	4.8	23.9	38.3	25.5	7.5	28.7	33.0
	H26	(n=1800)	6.6	27.0	33.6	23.6	9.3	33.6	32.9
牛肉	R7	(n=1800)	5.3	17.6	37.6	23.3	16.1	22.9	39.4
	R6	(n=1800)	4.3	14.6	38.6	23.1	19.6	18.9	42.7
	R5	(n=1800)	4.3	12.8	35.3	23.9	23.7	17.1	47.6
	R4	(n=1800)	4.1	13.3	38.3	22.3	22.1	17.4	44.4
	R3	(n=1800)	4.1	12.4	37.3	26.1	20.2	16.5	46.3
	R2	(n=1800)	3.6	15.4	36.3	26.4	18.2	19.0	44.6
	R1	(n=1800)	4.7	16.2	35.7	24.7	18.7	20.9	43.4
	H30	(n=1800)	5.7	16.8	31.6	26.7	19.3	22.5	46.0
	H29	(n=1800)	3.8	17.2	34.8	26.8	17.3	21.0	44.1
	H28	(n=1800)	7.4	19.3	36.3	22.4	14.7	26.7	37.1
	H27	(n=1800)	4.1	18.9	44.5	24.9	7.6	23.0	32.5
	H26	(n=1800)	4.9	23.2	39.3	23.9	8.7	28.1	32.6
豚肉	R7	(n=1800)	5.0	16.9	38.3	23.7	16.2	21.9	39.9
	R6	(n=1800)	4.1	14.4	37.9	23.5	20.1	18.5	43.6
	R5	(n=1800)	4.1	11.3	36.9	24.1	23.6	15.4	47.7
	R4	(n=1800)	3.8	11.6	39.3	23.0	22.3	15.4	45.3
	R3	(n=1800)	3.6	12.7	37.6	25.5	20.7	16.3	46.2
	R2	(n=1800)	3.2	14.4	37.4	26.7	18.2	17.6	44.9
	R1	(n=1800)	4.3	16.4	36.3	24.7	18.3	20.7	43.0
	H30	(n=1800)	4.8	15.5	33.4	26.9	19.4	20.3	46.3
	H29	(n=1800)	3.2	16.7	35.7	27.4	17.0	19.9	44.4
	H28	(n=1800)	6.7	17.2	38.4	22.6	15.2	23.9	37.8
	H27	(n=1800)	3.8	17.4	44.6	26.5	7.7	21.2	34.2
	H26	(n=1800)	4.4	20.6	41.1	25.2	8.7	25.0	33.9

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 126 (その2) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)	
							不安を感じる計	不安を感じない計
鶏肉	R7 (n=1800)	5.2	17.3	38.2	23.3	15.9	22.5	39.2
	R6 (n=1800)	4.3	14.6	38.1	23.3	19.8	18.9	43.1
	R5 (n=1800)	3.9	13.7	35.6	23.6	23.2	17.6	46.8
	R4 (n=1800)	3.8	12.8	38.7	23.4	21.3	16.6	44.7
	R3 (n=1800)	3.2	12.7	38.6	25.5	20.1	15.9	45.6
	R2 (n=1800)	3.4	14.6	37.3	26.0	18.7	18.0	44.7
	R1 (n=1800)	4.2	17.3	35.8	24.4	18.2	21.5	42.6
	H30 (n=1800)	5.4	17.1	32.7	25.2	19.5	22.5	44.7
	H29 (n=1800)	4.3	17.0	36.1	25.9	16.7	21.3	42.6
	H28 (n=1800)	6.7	17.7	37.9	22.6	15.1	24.4	37.7
	H27 (n=1800)	3.9	17.8	43.8	26.8	7.7	21.7	34.5
	H26 (n=1800)	4.9	23.5	39.2	23.8	8.5	28.4	32.3
卵	R7 (n=1800)	5.4	12.8	36.1	25.6	20.2	18.2	45.8
	R6 (n=1800)	4.1	12.0	34.3	25.6	23.9	16.1	49.5
	R5 (n=1800)	4.2	11.5	32.8	24.3	27.3	15.7	51.6
	R4 (n=1800)	3.1	8.5	35.4	25.7	27.3	11.6	53.0
	R3 (n=1800)	2.9	9.4	34.9	27.7	25.1	12.3	52.8
	R2 (n=1800)	2.1	10.9	32.6	29.6	24.8	13.0	54.4
	R1 (n=1800)	3.9	11.9	31.9	29.4	22.9	15.8	52.3
	H30 (n=1800)	4.2	13.1	29.7	28.7	24.4	17.3	53.1
	H29 (n=1800)	2.9	13.1	32.2	29.9	21.9	16.0	51.8
	H28 (n=1800)	5.4	12.8	36.8	25.8	19.2	18.2	45.0
	H27 (n=1800)	3.2	14.2	41.4	30.4	10.8	17.4	41.2
	H26 (n=1800)	2.8	14.9	37.6	31.6	13.1	17.7	44.7
牛乳	R7 (n=1800)	4.5	11.3	36.2	26.8	21.2	15.8	48.0
	R6 (n=1800)	3.9	10.2	35.8	25.5	24.5	14.1	50.0
	R5 (n=1800)	3.8	9.9	33.7	25.0	27.6	13.7	52.6
	R4 (n=1800)	3.0	9.2	33.6	28.5	25.8	12.2	54.3
	R3 (n=1800)	3.0	9.2	33.6	28.5	25.8	12.2	54.3
	R2 (n=1800)	2.3	8.9	33.9	29.6	25.3	11.2	54.9
	R1 (n=1800)	4.2	10.4	32.7	28.0	24.7	14.6	52.7
	H30 (n=1800)	4.3	11.7	30.1	28.2	25.7	16.0	53.9
	H29 (n=1800)	2.9	11.6	32.6	30.3	22.7	14.5	53.0
	H28 (n=1800)	5.8	11.4	36.3	26.6	19.8	17.2	46.4
	H27 (n=1800)	3.7	12.9	40.3	31.4	11.6	16.6	43.0
	H26 (n=1800)	3.1	14.3	37.6	31.7	13.2	17.4	44.9

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

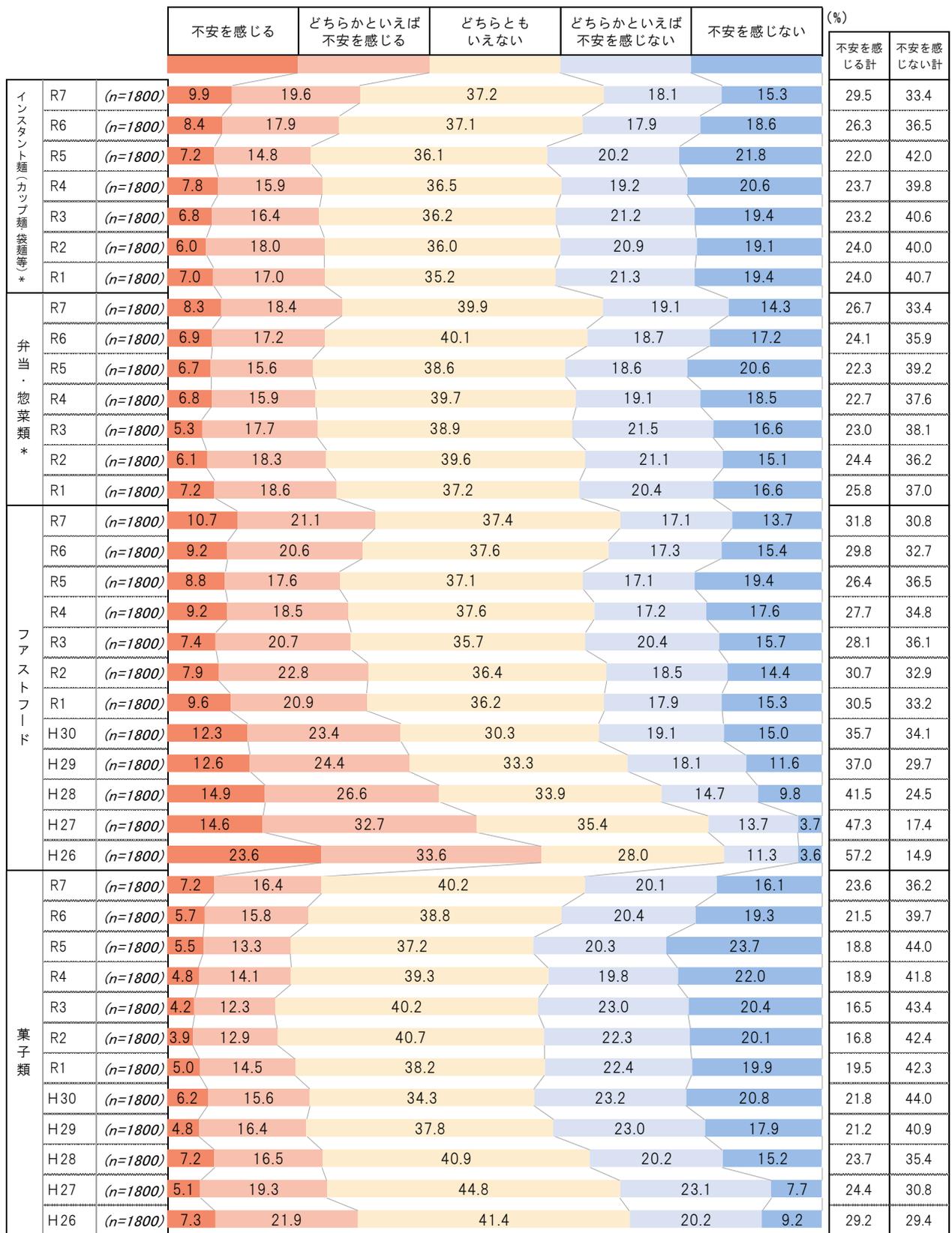
図表 126 (その3) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

							(%)		
		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	不安を感じる計	不安を感じない計	
食肉加工品	R7	(n=1800)	10.6	20.7	34.2	19.7	14.9	31.3	34.6
	R6	(n=1800)	7.8	18.1	37.7	18.6	17.7	25.9	36.3
	R5	(n=1800)	6.8	16.3	35.0	20.7	21.2	23.1	41.9
	R4	(n=1800)	7.4	15.8	38.3	18.7	19.7	23.2	38.4
	R3	(n=1800)	6.6	18.4	36.8	20.6	17.6	25.0	38.2
	R2	(n=1800)	6.1	20.4	36.2	20.0	17.3	26.5	37.3
	R1	(n=1800)	7.5	20.0	35.9	19.3	17.3	27.5	36.6
	H30	(n=1800)	8.7	20.8	31.4	22.5	16.6	29.5	39.1
	H29	(n=1800)	8.4	22.4	35.0	20.1	14.1	30.8	34.2
	H28	(n=1800)	10.7	22.7	36.7	17.2	12.7	33.4	29.9
	H27	(n=1800)	9.2	29.1	37.3	19.4	5.0	38.3	24.4
	H26	(n=1800)	13.3	32.3	32.2	16.8	5.4	45.6	22.2
乳製品	R7	(n=1800)	4.5	12.4	39.1	24.8	19.2	16.9	44.0
	R6	(n=1800)	4.3	10.6	39.6	24.4	21.2	14.9	45.6
	R5	(n=1800)	3.6	9.9	36.8	24.5	25.3	13.5	49.8
	R4	(n=1800)	3.0	10.6	37.1	24.1	25.2	13.6	49.3
	R3	(n=1800)	3.2	9.2	38.5	26.3	22.8	12.4	49.1
	R2	(n=1800)	2.2	9.8	36.7	27.5	23.8	12.0	51.3
	R1	(n=1800)	3.8	11.4	36.0	26.5	22.3	15.2	48.8
	H30	(n=1800)	4.2	12.1	32.1	29.6	22.1	16.3	51.7
	H29	(n=1800)	2.9	11.7	36.7	29.8	18.9	14.6	48.7
	H28	(n=1800)	5.4	13.9	39.1	24.5	17.2	19.3	41.7
	H27	(n=1800)	3.6	15.2	43.0	30.1	8.2	18.8	38.3
	H26	(n=1800)	4.1	16.2	41.8	27.8	10.2	20.3	38.0
植物肉	R7	(n=1800)	5.9	17.4	41.0	19.4	16.2	23.3	35.6
	R6	(n=1800)	5.6	14.8	40.3	20.6	18.7	20.4	39.3
	R5	(n=1800)	4.2	11.9	39.2	21.4	23.2	16.1	44.6
	R4	(n=1800)	5.0	12.9	41.2	19.7	21.2	17.9	40.9
冷凍食品	R7	(n=1800)	6.4	16.1	38.2	22.2	17.2	22.5	39.4
	R6	(n=1800)	5.7	14.4	38.8	21.8	19.3	20.1	41.1
	R5	(n=1800)	4.4	12.9	36.8	22.7	23.3	17.3	46.0
	R4	(n=1800)	5.7	12.7	37.7	22.1	21.8	18.4	43.9
	R3	(n=1800)	4.3	13.3	37.5	23.4	21.4	17.6	44.8
	R2	(n=1800)	4.0	14.6	36.7	24.2	20.6	18.6	44.8
	R1	(n=1800)	5.7	14.7	37.3	21.9	20.4	20.4	42.3
	H30	(n=1800)	6.1	18.0	32.7	23.9	19.3	24.1	43.2
	H29	(n=1800)	6.0	18.2	35.7	23.7	16.4	24.2	40.1
	H28	(n=1800)	9.1	19.8	37.6	20.4	13.2	28.9	33.6
	H27	(n=1800)	6.3	22.7	40.9	23.1	7.0	29.0	30.1
	H26	(n=1800)	12.7	28.8	33.4	19.2	5.9	41.5	25.1

* 令和6年度の選択肢「大豆ミート食品類（ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」より変更

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 126（その4） 食品の安全性に関する意識調査（経年変化）



*「インスタント種(カップ種・袋種等)」「弁当・惣菜類」は令和元年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 126 (その5) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q20)

- 関心が高い上位3項目は、「鳥インフルエンザ」が53.3%、「食肉の消費期限改ざん」が52.5%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が51.7%。
- 過年度調査と比較すると、多くの項目で、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。

【今年度調査】

食肉の安全性に関して聞いたところ、幅広い項目に対して高い関心が寄せられていることがわかった。「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が最も高かったのは、「鳥インフルエンザ」が53.3%、「食肉の消費期限改ざん」が52.5%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が51.7%、「食肉の産地偽装」50.4%、「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」50.1%、「牛肉・豚肉の発がん性」48.4%、「食肉の生食」47.1%、「牛のBSE（牛海綿状脳症）」45.7%の順で高い。

「牛・豚の口蹄疫」は44.1%、「豚熱」は42.4%、「アフリカ豚熱」は41.5%である。

「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は39.1%、「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は42.0%である。

「食肉の放射能汚染」については43.3%となっており、他の項目に比べて特別に高い関心が寄せられているわけではない。

「非常に関心がある」の割合は、「食肉の消費期限改ざん」が22.4%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が21.8%、「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」が21.7%、「食肉の産地偽装」が21.6%、「鳥インフルエンザ」が21.1%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、多くの項目で、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。

		非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
							関心がある計	関心がない計
食肉中の残留抗生物質	(n=1800)	11.8	29.6	31.2	17.0	10.3	41.4	27.3
食肉中の残留動物薬	(n=1800)	12.1	29.2	32.7	15.5	10.6	41.3	26.1
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	(n=1800)	13.5	28.1	33.3	15.6	9.6	41.6	25.2
ゲノム編集飼料を用いた食肉 ^{*1}	(n=1800)	13.1	26.7	33.1	16.5	10.7	39.8	27.2
牛のBSE(牛海綿状脳症)	(n=1800)	18.2	27.5	31.8	13.1	9.4	45.7	22.5
成形肉・牛脂注入肉 ^{*2}	(n=1800)	15.4	28.0	32.9	13.7	9.9	43.4	23.6
食肉の放射能汚染	(n=1800)	15.6	27.7	33.0	14.2	9.6	43.3	23.8
牛・豚の口蹄疫	(n=1800)	16.8	27.3	33.1	13.0	9.8	44.1	22.8
豚熱 ^{*3}	(n=1800)	15.7	26.7	33.9	13.5	10.1	42.4	23.6
アフリカ豚熱 ^{*4}	(n=1800)	16.0	25.5	34.1	13.9	10.4	41.5	24.3
鳥インフルエンザ	(n=1800)	21.1	32.2	29.7	9.8	7.2	53.3	17.0
食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染	(n=1800)	21.8	29.9	29.7	10.9	7.7	51.7	18.6
食肉の生食	(n=1800)	19.8	27.3	30.3	12.3	10.4	47.1	22.7
食肉の産地偽装	(n=1800)	21.6	28.8	31.1	10.3	8.1	50.4	18.4
食肉の消費期限改ざん	(n=1800)	22.4	30.1	30.6	9.0	7.9	52.5	16.9
牛肉・豚肉の発がん性	(n=1800)	20.3	28.1	32.1	10.7	8.9	48.4	19.6
豚肉加工品(ハム・ソーセージ)の発がん性	(n=1800)	21.7	28.4	31.5	9.8	8.7	50.1	18.5
植物肉(大豆ミート食品類/ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等) ^{*5}	(n=1800)	12.7	26.4	37.3	13.2	10.3	39.1	23.5
細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉) ^{*6}	(n=1800)	15.7	26.3	35.6	12.0	10.4	42.0	22.4

*1 令和元年度より新規項目 *2 平成29年度の選択肢「成形肉」より変更、令和5年度「成形肉(インジェクション)」より変更

*3 令和元年度の選択肢「CSF」より変更 *4 令和元年の選択肢「ASF」より変更

*5 令和6年度の選択肢「大豆ミート食品類(ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等)」より変更

*6 「細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年度より新規項目

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 127 食肉の安全性に関する項目別関心度

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	関心 がある計		関心 がない計	
			(%)								
食肉中の残留抗生物質	R7	(n=1800)	11.8	29.6	31.2	17.0	10.3	41.4	27.3		
	R6	(n=1800)	10.1	28.8	33.6	17.5	10.1	38.9	27.6		
	R5	(n=1800)	11.0	27.8	34.0	17.7	9.4	38.8	27.1		
	R4	(n=1800)	12.3	25.9	34.1	17.3	10.4	38.2	27.7		
	R3	(n=1800)	10.7	31.4	32.0	17.4	8.4	42.1	25.8		
	R2	(n=1800)	13.8	33.3	29.7	14.2	9.1	47.1	23.3		
	R1	(n=1800)	14.8	35.0	29.1	13.5	7.7	49.8	21.2		
	H30	(n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4		
	H29	(n=1800)	17.1	34.2	28.4	14.3	6.0	51.3	20.3		
	H28	(n=1800)	16.9	34.8	30.6	12.4	5.3	51.7	17.7		
	H27	(n=1800)	14.6	41.4	27.8	13.1	3.2	56.0	16.3		
	H26	(n=1800)	21.4	44.6	23.3	8.9	1.8	66.0	10.7		
食肉中の残留動物薬	R7	(n=1800)	12.1	29.2	32.7	15.5	10.6	41.3	26.1		
	R6	(n=1800)	10.4	28.4	34.9	16.4	9.9	38.8	26.3		
	R5	(n=1800)	11.8	27.7	34.0	17.0	9.5	39.5	26.5		
	R4	(n=1800)	11.3	28.1	33.6	16.7	10.3	39.4	27.0		
	R3	(n=1800)	10.2	32.8	32.6	16.0	8.4	43.0	24.4		
	R2	(n=1800)	14.0	32.9	30.3	14.3	8.5	46.9	22.8		
	R1	(n=1800)	15.4	34.9	29.7	12.6	7.4	50.3	20.0		
	H30	(n=1800)	16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9		
	H29	(n=1800)	17.2	33.9	29.3	13.4	6.2	51.1	19.6		
	H28	(n=1800)	17.7	35.2	30.2	11.6	5.3	52.9	16.9		
	H27	(n=1800)	16.2	41.4	26.9	12.5	3.0	57.6	15.5		
	H26	(n=1800)	22.7	43.9	23.8	7.7	1.9	66.6	9.6		
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	R7	(n=1800)	13.5	28.1	33.3	15.6	9.6	41.6	25.2		
	R6	(n=1800)	12.3	29.8	33.6	15.1	9.2	42.1	24.3		
	R5	(n=1800)	12.7	28.4	34.2	15.8	8.9	41.1	24.7		
	R4	(n=1800)	13.9	26.6	33.4	16.3	9.9	40.5	26.2		
	R3	(n=1800)	12.5	33.1	31.8	14.7	7.9	45.6	22.6		
	R2	(n=1800)	15.9	32.4	30.2	13.3	8.2	48.3	21.5		
	R1	(n=1800)	18.6	32.1	30.6	11.3	7.3	50.7	18.6		
	H30	(n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5		
	H29	(n=1800)	19.0	34.5	28.8	11.9	5.7	53.5	17.6		
	H28	(n=1800)	21.0	34.6	28.8	10.2	5.5	55.6	15.7		
	H27	(n=1800)	17.7	40.1	27.7	11.8	2.8	57.8	14.6		
	H26	(n=1800)	23.1	42.6	24.6	7.8	2.0	65.7	9.8		
ゲノム編集飼料 を用いた食肉*	R7	(n=1800)	13.1	26.7	33.1	16.5	10.7	39.8	27.2		
	R6	(n=1800)	10.9	28.3	35.8	15.3	9.6	39.2	24.9		
	R5	(n=1800)	12.4	26.1	35.4	16.4	9.6	38.5	26.0		
	R4	(n=1800)	12.3	23.6	36.9	16.6	10.7	35.9	27.3		
	R3	(n=1800)	12.2	30.1	33.8	15.0	8.9	42.3	23.9		
	R2	(n=1800)	13.8	30.7	32.2	14.0	9.3	44.5	23.3		
	R1	(n=1800)	16.6	32.1	31.5	11.7	8.1	48.7	19.8		

*「ゲノム編集飼料を用いた食肉」は令和元年度より新規項目

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 128 (その1) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

		非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	関心がない計	
		(%)					関心がある計	関心がない計
牛のBSE (牛海綿状脳症)	R7 (n=1800)	18.2	27.5	31.8	13.1	9.4	45.7	22.5
	R6 (n=1800)	16.6	29.9	32.2	12.4	8.9	46.5	21.3
	R5 (n=1800)	17.5	29.3	31.9	12.7	8.6	46.8	21.3
	R4 (n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R3 (n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R2 (n=1800)	22.2	31.7	26.7	11.1	8.4	53.9	19.5
	R1 (n=1800)	25.9	31.2	26.5	9.3	7.1	57.1	16.4
	H30 (n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5
	H29 (n=1800)	29.4	32.7	24.5	8.2	5.1	62.1	13.3
	H28 (n=1800)	30.7	34.4	23.7	6.7	4.5	65.1	11.2
	H27 (n=1800)	31.2	38.7	21.7	6.2	2.2	69.9	8.4
	H26 (n=1800)	35.4	40.9	17.0	5.2	1.4	76.3	6.6
成形肉・牛脂注入肉 *	R7 (n=1800)	15.4	28.0	32.9	13.7	9.9	43.4	23.6
	R6 (n=1800)	14.3	29.3	34.5	12.9	9.0	43.6	21.9
	R5 (n=1800)	11.8	25.5	37.4	15.6	9.6	37.3	25.2
	R4 (n=1800)	12.6	24.1	36.7	16.1	10.5	36.7	26.6
	R3 (n=1800)	12.5	27.9	36.8	13.7	9.0	40.4	22.7
	R2 (n=1800)	15.3	28.4	34.9	12.2	9.2	43.7	21.4
	R1 (n=1800)	17.4	29.6	34.3	10.8	7.9	47.0	18.7
	H30 (n=1800)	18.3	30.2	31.9	11.4	8.2	48.5	19.6
	H29 (n=1800)	19.8	32.6	30.5	11.2	6.0	52.4	17.2
	H28 (n=1800)	20.8	35.1	30.2	8.9	5.1	55.9	14.0
	H27 (n=1800)	18.3	38.1	30.0	9.9	3.7	56.4	13.6
	H26 (n=1800)	27.7	42.3	21.3	6.8	1.9	70.0	8.7
食肉の放射能汚染	R7 (n=1800)	15.6	27.7	33.0	14.2	9.6	43.3	23.8
	R6 (n=1800)	14.9	26.9	35.3	13.8	9.1	41.8	22.9
	R5 (n=1800)	13.9	26.3	35.8	15.2	8.8	40.2	24.0
	R4 (n=1800)	15.3	25.9	34.8	14.3	9.6	41.2	23.9
	R3 (n=1800)	16.2	30.6	33.0	12.6	7.7	46.8	20.3
	R2 (n=1800)	19.3	30.2	31.1	11.2	8.2	49.5	19.4
	R1 (n=1800)	20.9	32.6	30.1	9.5	6.9	53.5	16.4
	H30 (n=1800)	23.1	31.1	28.7	10.4	6.8	54.2	17.2
	H29 (n=1800)	24.6	31.4	29.1	9.7	5.2	56.0	14.9
	H28 (n=1800)	24.8	32.9	28.6	8.6	5.1	57.7	13.7
	H27 (n=1800)	26.6	38.9	24.1	7.9	2.5	65.5	10.4
	H26 (n=1800)	32.4	39.4	19.9	6.4	1.9	71.8	8.3

* 「成形肉（インジェクション）」は平成30年度より変更、
「成形肉、牛脂注入肉」は令和6年度より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

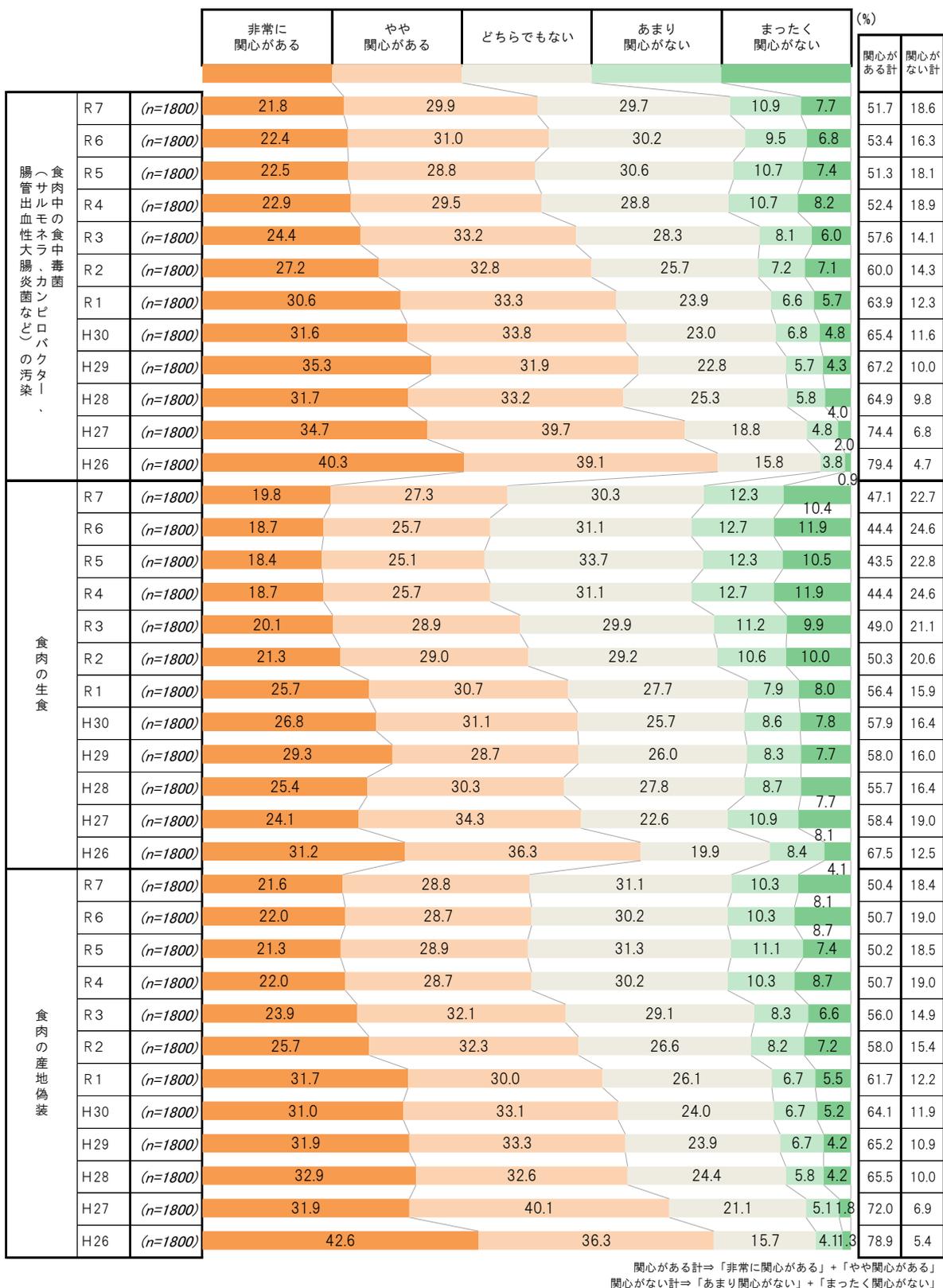
図表 128 (その2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

		非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
							関心が ある計	関心が ない計
牛・豚の口蹄疫	R7 (n=1800)	16.8	27.3	33.1	13.0	9.8	44.1	22.8
	R6 (n=1800)	15.9	29.4	34.2	11.4	9.0	45.3	20.4
	R5 (n=1800)	16.4	27.9	34.4	12.7	8.6	44.3	21.3
	R4 (n=1800)	16.4	27.4	33.7	12.8	9.7	43.8	22.5
	R3 (n=1800)	17.3	29.7	33.2	11.9	7.9	47.0	19.8
	R2 (n=1800)	20.4	29.4	30.3	11.1	8.7	49.8	19.8
	R1 (n=1800)	23.3	32.9	28.9	8.0	6.9	56.2	14.9
	H30 (n=1800)	25.1	31.9	28.1	7.9	7.1	57.0	15.0
	H29 (n=1800)	26.9	33.3	26.3	8.5	5.0	60.2	13.5
	H28 (n=1800)	27.6	32.9	26.9	7.6	4.9	60.5	12.5
	H27 (n=1800)	28.8	40.7	21.3	6.8	2.5	69.5	9.3
	H26 (n=1800)	35.2	39.7	18.5	5.4	1.2	74.9	6.6
豚熱	R7 (n=1800)	15.7	26.7	33.9	13.5	10.1	42.4	23.6
	R6 (n=1800)	14.5	27.7	36.4	12.4	9.0	42.2	21.4
	R5 (n=1800)	16.2	26.1	35.2	14.0	8.6	42.3	22.6
	R4 (n=1800)	15.8	24.0	35.8	14.0	10.4	39.8	24.4
	R3 (n=1800)	15.9	28.3	35.3	12.7	7.8	44.2	20.5
	R2 (n=1800)	18.2	27.9	33.9	11.4	8.6	46.1	20.0
	R1 (n=1800)	27.5	33.8	25.2	7.3	6.3	61.3	13.6
	*1 H30 (n=1800)	25.9	33.8	25.6	8.4	6.3	59.7	14.7
アフリカ豚熱	R7 (n=1800)	16.0	25.5	34.1	13.9	10.4	41.5	24.3
	R6 (n=1800)	14.9	27.3	35.3	13.2	9.2	42.2	22.4
	R5 (n=1800)	16.3	25.6	35.8	13.3	9.1	41.9	22.4
	R4 (n=1800)	15.6	23.7	36.2	13.9	10.6	39.3	24.5
	R3 (n=1800)	16.6	27.9	34.9	12.8	7.8	44.5	20.6
	R2 (n=1800)	19.1	27.4	33.1	11.2	9.3	46.5	20.5
	*2 R1 (n=1800)	25.9	31.8	28.1	7.1	7.2	57.7	14.3
	鳥インフルエンザ	R7 (n=1800)	21.1	32.2	29.7	9.8	7.2	53.3
R6 (n=1800)		20.2	33.6	29.3	9.8	7.2	53.8	17.0
R5 (n=1800)		20.4	32.1	30.4	9.9	7.2	52.5	17.1
R4 (n=1800)		19.1	30.3	30.8	11.0	8.8	49.4	19.8
R3 (n=1800)		22.2	35.3	27.4	9.4	5.7	57.5	15.1
R2 (n=1800)		24.5	34.6	26.3	7.6	7.1	59.1	14.7
R1 (n=1800)		28.4	35.4	23.8	6.2	6.1	63.8	12.3
H30 (n=1800)		31.3	36.9	21.3	5.7	4.8	68.2	10.5
H29 (n=1800)		33.3	35.5	21.4	5.9	3.9	68.8	9.8
H28 (n=1800)		32.0	36.3	22.1	5.8	3.8	68.3	9.6
H27 (n=1800)		33.7	41.3	17.7	5.4	1.9	75.0	7.3
H26 (n=1800)		39.6	39.5	15.8	4.2	0.9	79.1	5.1

*1 令和元年度の選択肢「CSF」より変更 *2 令和元年度の選択肢「ASF」より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 128 (その3) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



図表 128 (その4) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

		非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
							関心が ある計	関心が ない計
食肉の消費期限改ざん	R7 (n=1800)	22.4	30.1	30.6	9.0	7.9	52.5	16.9
	R6 (n=1800)	23.2	29.1	29.4	10.1	8.2	52.3	18.3
	R5 (n=1800)	22.0	30.4	30.1	10.0	7.5	52.4	17.5
	R4 (n=1800)	23.2	29.1	29.4	10.1	8.2	52.3	18.3
	R3 (n=1800)	24.7	32.6	27.7	8.8	6.2	57.3	15.0
	R2 (n=1800)	26.9	33.9	24.1	7.9	7.1	60.8	15.0
	R1 (n=1800)	31.4	32.1	24.6	6.4	5.4	63.5	11.8
	H30 (n=1800)	31.5	33.6	24.3	6.1	4.5	65.1	10.6
	H29 (n=1800)	32.9	34.3	22.2	6.4	4.1	67.2	10.5
	H28 (n=1800)	34.1	32.8	23.9	5.2	4.1	66.9	9.3
	H27 (n=1800)	35.2	41.1	18.6	3.6	1.6	76.3	5.2
H26 (n=1800)	45.7	37.1	13.2	2.8	1.2	82.8	4.0	
牛肉・豚肉の発がん性	R7 (n=1800)	20.3	28.1	32.1	10.7	8.9	48.4	19.6
	R6 (n=1800)	19.2	28.3	34.2	10.1	8.2	47.5	18.3
	R5 (n=1800)	19.3	26.0	35.4	11.5	7.8	45.3	19.3
	R4 (n=1800)	20.9	25.9	32.8	11.3	9.2	46.8	20.5
	R3 (n=1800)	21.4	31.1	30.4	10.6	6.4	52.5	17.0
	R2 (n=1800)	24.7	30.9	27.4	9.6	7.3	55.6	16.9
	R1 (n=1800)	28.9	31.9	26.1	7.1	6.1	60.8	13.2
	H30 (n=1800)	28.2	30.3	28.1	7.9	5.6	58.5	13.5
	H29 (n=1800)	30.9	30.1	26.6	7.8	4.7	61.0	12.5
	H28 (n=1800)	30.7	31.2	26.8	6.7	4.6	61.9	11.3
(豚肉加工品(ハム・ソーセージ)の発がん性)	R7 (n=1800)	21.7	28.4	31.5	9.8	8.7	50.1	18.5
	R6 (n=1800)	20.7	28.7	33.6	9.2	7.7	49.4	16.9
	R5 (n=1800)	19.4	28.4	34.3	10.4	7.5	47.8	17.9
	R4 (n=1800)	20.2	27.9	32.1	11.3	8.6	48.1	19.9
	R3 (n=1800)	22.9	31.1	30.3	10.0	5.7	54.0	15.7
	R2 (n=1800)	24.6	32.8	27.1	8.3	7.3	57.4	15.6
	R1 (n=1800)	29.1	32.1	26.3	6.6	5.9	61.2	12.5
	H30 (n=1800)	29.8	31.7	25.6	7.5	5.4	61.5	12.9
	H29 (n=1800)	30.7	30.2	27.4	7.1	4.7	60.9	11.8
	H28 (n=1800)	31.1	31.6	26.2	6.2	4.9	62.7	11.1
植物肉* (大豆ミート食品類/ハンバーグ、バーガー、パテ、牛丼、焼き肉用カルビ等)	R7 (n=1800)	12.7	26.4	37.3	13.2	10.3	39.1	23.5
	R6 (n=1800)	12.6	26.8	37.3	13.0	10.4	39.4	23.4
	R5 (n=1800)	12.6	25.6	38.8	13.1	9.9	38.2	23.0
	R4 (n=1800)	14.0	24.7	37.7	13.9	9.7	38.7	23.6
細胞培養肉 (食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)	R7 (n=1800)	15.7	26.3	35.6	12.0	10.4	42.0	22.4
	R6 (n=1800)	13.3	24.8	38.9	12.8	10.2	38.1	23.0
	R5 (n=1800)	13.7	25.9	37.8	11.9	10.6	39.6	22.5
	R4 (n=1800)	14.1	24.4	35.9	14.7	10.9	38.5	25.6

*令和6年度の選択肢「大豆ミート食品類（ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 128 (その5) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識

1) 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源

①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q26・Q27/3 つまで複数回答)

- ▶ 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」について情報を得るために用いている主な情報源の上位3項目は、「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」。
- ▶ 信頼できる情報源は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」。

【今年度調査】

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」（①72.4%、②61.1%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①27.0%、②23.6%）、「インターネット上のニュースサイト」（①25.4%、②22.7%）で、次いで「新聞」（①14.9%、②11.4%）である。

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての信頼できる情報源（上位3つ）は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」（①62.6%、②57.0%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①23.1%、②19.9%）、「インターネット上のニュースサイト」（①18.1%、②16.7%）で、次いで「新聞」（①15.2%、②12.9%）である。

年代別に見ると、「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての主な情報源及び信頼できる情報源は、20代・30代では「SNS（X、Instagram、TikTok等）」が高く、60代以上では「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「新聞」が高くなっている。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。

※令和2年度からは、「主な情報源（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。



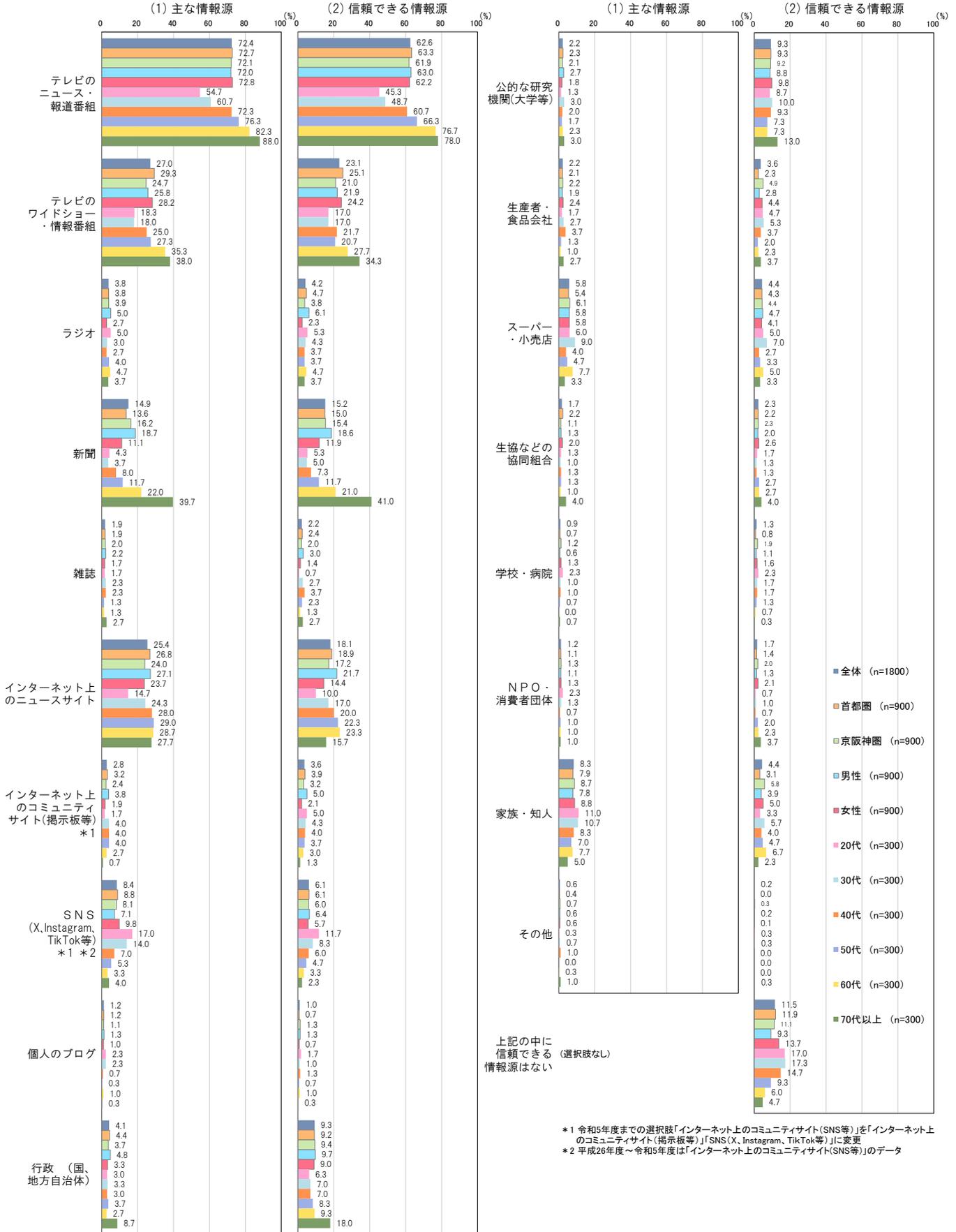
* 令和5年度までの選択肢「インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)」を「インターネット上のコミュニティサイト(掲示板等)」「SNS(X, Instagram, TikTok等)」に変更

■ 主な情報源 ■ 信頼できる情報源

図表 129 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源

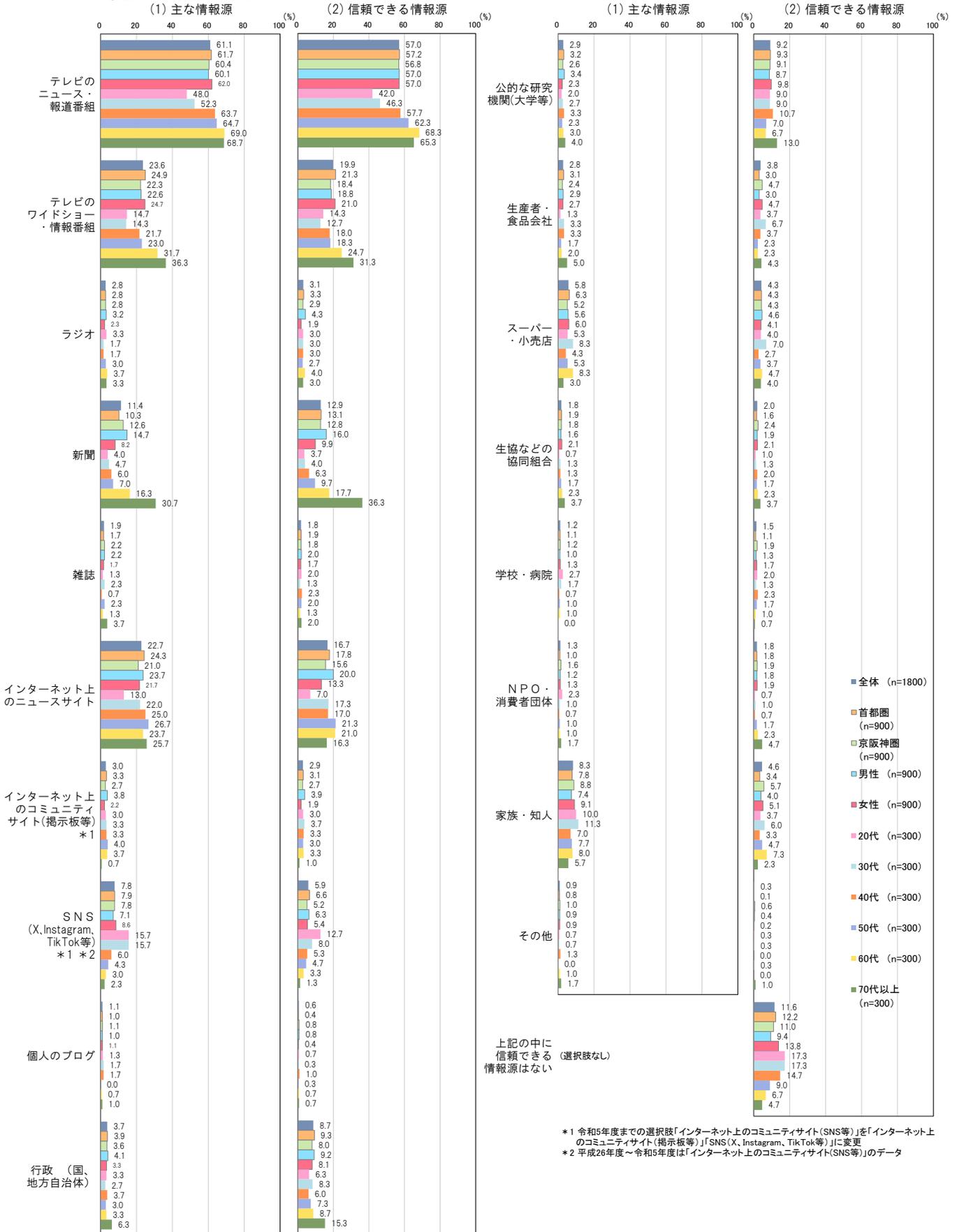
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能

①食肉の安全性について

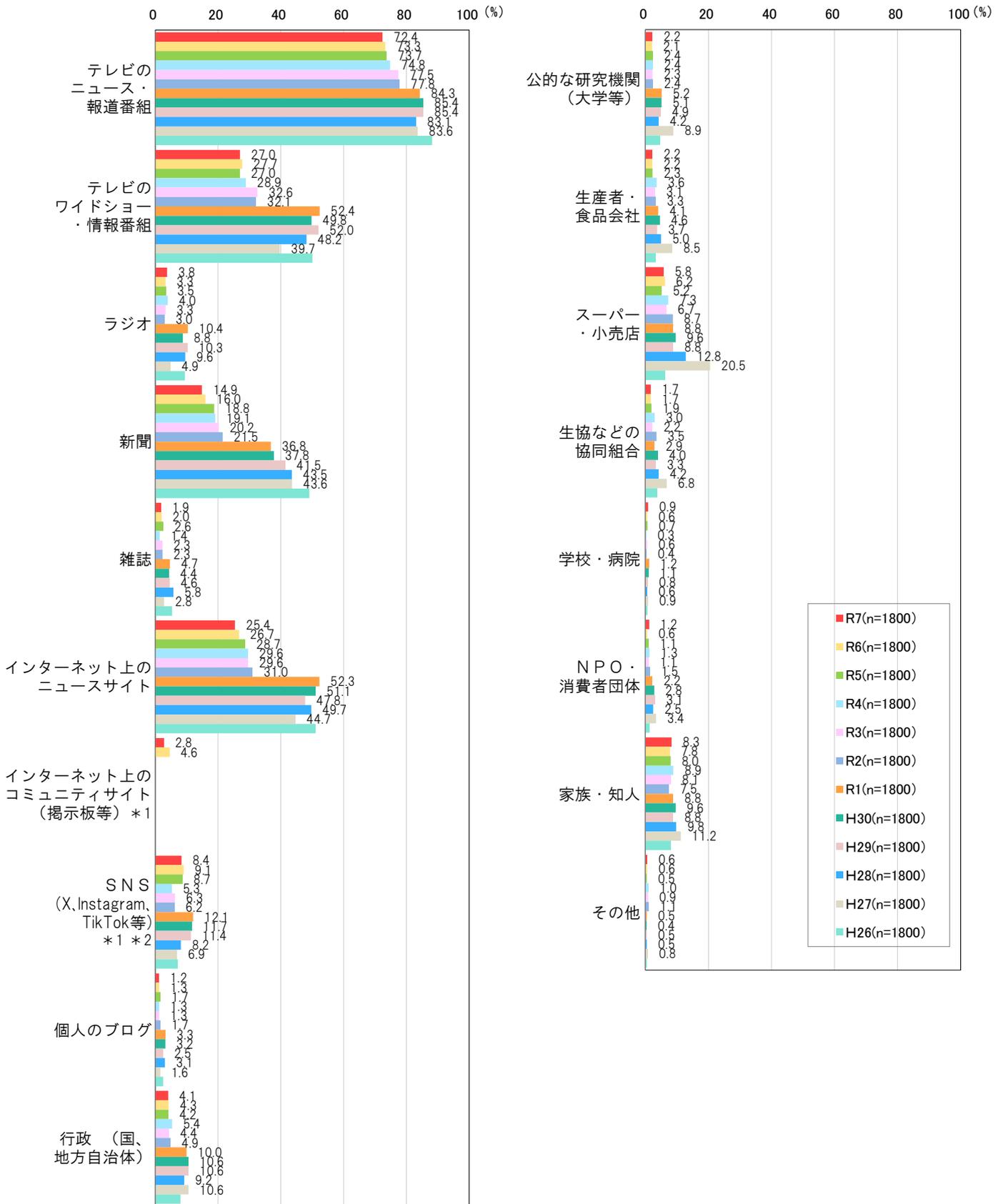


図表 130 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源
エリア・性・年代別 ①食肉の安全性

②食肉の栄養や機能について

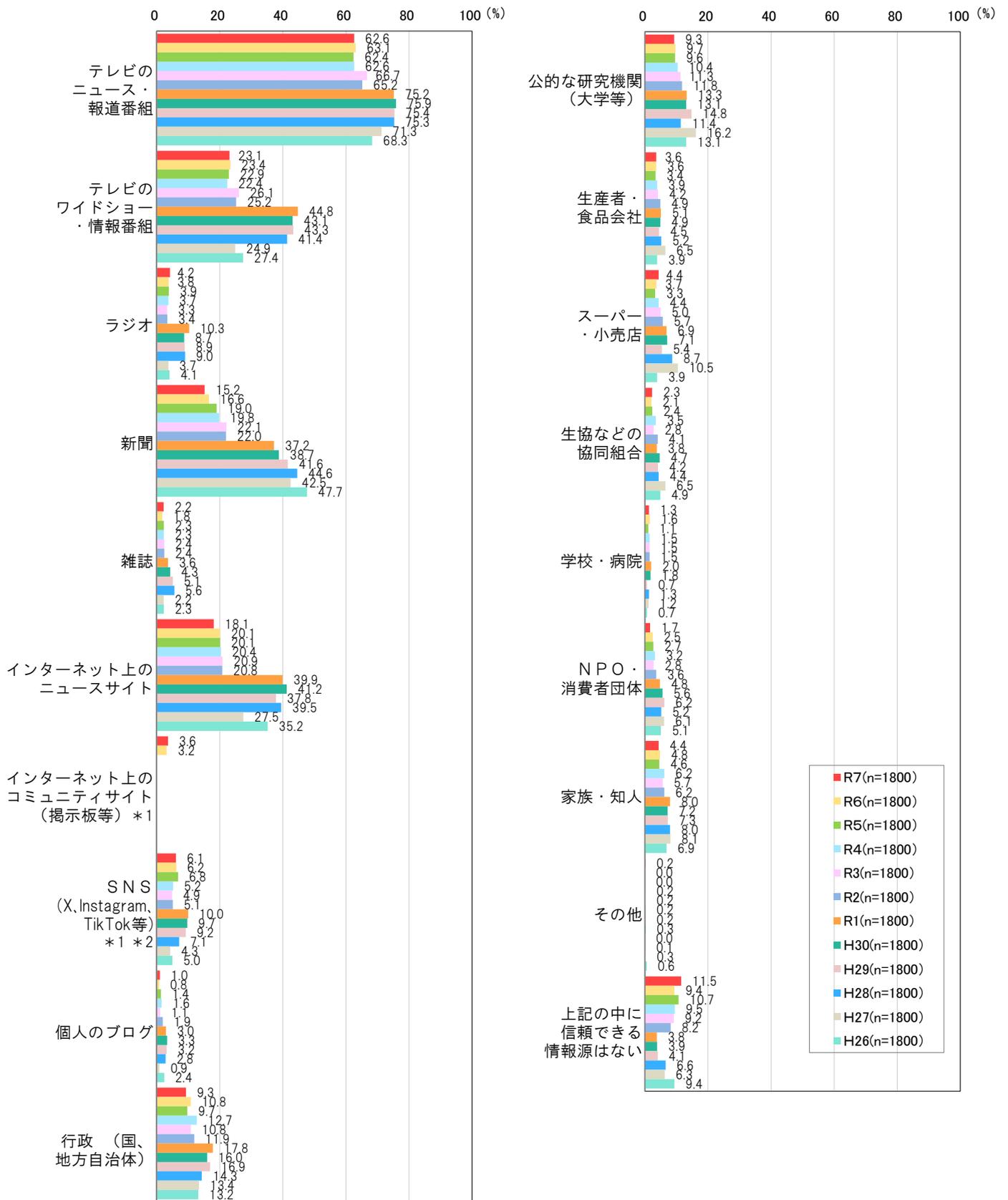


図表 131 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源
エリア・性・年代別 ②食肉の栄養や機能



* 令和元年度までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年度からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった
 *1 令和5年度までの選択肢「インターネット上のコミュニティサイト（SNS等）」を「インターネット上のコミュニティサイト（掲示板等）」「SNS（X、Instagram、Tik Tok等）」に変更
 *2 平成26年度～令和5年度は「インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)」のデータ

図表 132 食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性（経年変化※参考値）



* 令和元年度までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年度からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった
 *1 令和5年度までの選択肢「インターネット上のコミュニティサイト (SNS等)」を「インターネット上のコミュニティサイト (掲示板等)」「SNS (X, Instagram, Tik Tok等)」に変更
 *2 平成26年度～令和5年度は「インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)」のデータ

図表 133 信頼できる情報源 ②食肉の栄養や機能 (経年変化※参考値)

2) 各機関の取組に対する信頼性 (Q28)

- 「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合が高かったのは「農林水産省」「厚生労働省」「畜産農家」「地方自治体」。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

【今年度調査】

食肉の安全性に関しては、農林水産省、厚生労働省といった国の機関、地方自治体などの機関が様々な取組を行っている。各機関の取組について消費者から見た際、どの機関が信用できるか聞いた。

その結果「信頼できる計 (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合は「農林水産省」が 42.3%、「厚生労働省」が 38.9%、「地方自治体」が 38.4%、「畜産農家」が 37.9%の順で高い。

逆に「信頼できない計 (信頼できない+どちらかといえば信頼できない)」の割合は、「食肉卸売業者」及び「食肉を扱う外食店」が 19.9%、「食肉小売業者」が 18.4%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	(%)	
								で信頼できる計	で信頼できない計
農林水産省	(n=1800)	11.9	30.4	32.5	8.4	7.1	9.6	42.3	15.5
厚生労働省	(n=1800)	10.3	28.6	35.3	8.1	7.9	9.8	38.9	16.0
地方自治体	(n=1800)	8.4	30.0	38.1	7.2	5.9	10.4	38.4	13.1
畜産農家	(n=1800)	7.5	30.4	40.3	7.2	4.9	9.7	37.9	12.1
食肉卸売業者	(n=1800)	4.3	20.3	44.9	13.1	6.8	10.5	24.6	19.9
食肉小売業者	(n=1800)	4.4	19.9	46.6	12.2	6.2	10.7	24.3	18.4
食肉を扱う外食店	(n=1800)	3.0	17.7	48.4	13.6	6.3	10.9	20.7	19.9

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 134 各機関の取組に対する信頼性

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	(%)	計信頼できる	計信頼できない
農林水産省	R7 (n=1800)	11.9	30.4	32.5	8.4	7.1	9.6	42.3	15.5	
	R6 (n=1800)	11.8	29.5	31.3	7.7	7.3	12.3	41.3	15.0	
	R5 (n=1800)	11.2	32.1	30.5	6.4	6.1	13.6	43.3	12.5	
	R4 (n=1800)	10.4	29.7	31.6	7.3	6.6	14.6	40.1	13.9	
	R3 (n=1800)	8.8	31.6	33.6	8.1	5.7	12.3	40.4	13.8	
	R2 (n=1800)	9.7	33.1	30.9	7.4	5.9	13.0	42.8	13.3	
	R1 (n=1800)	9.7	29.5	35.3	7.4	6.4	11.6	39.2	13.8	
	H30 (n=1800)	9.1	27.4	33.4	9.3	8.3	12.4	36.5	17.6	
	H29 (n=1800)	9.1	30.3	32.4	8.6	7.7	11.9	39.4	16.3	
	H28 (n=1800)	7.6	30.4	35.3	8.2	8.3	10.2	38.0	16.5	
	H27 (n=1800)	4.1	30.8	42.2	12.9	6.5	3.4	34.9	19.4	
	H26 (n=1800)	6.5	32.2	40.0	10.0	5.8	5.6	38.7	15.8	
厚生労働省	R7 (n=1800)	10.3	28.6	35.3	8.1	7.9	9.8	38.9	16.0	
	R6 (n=1800)	10.1	27.4	33.7	8.1	8.0	12.7	37.5	16.1	
	R5 (n=1800)	9.5	30.4	32.0	7.7	6.7	13.7	39.9	14.4	
	R4 (n=1800)	8.9	26.8	33.8	8.3	7.0	15.1	35.7	15.3	
	R3 (n=1800)	7.6	26.8	36.2	9.8	6.2	13.4	34.4	16.0	
	R2 (n=1800)	7.2	30.3	33.8	8.6	6.5	13.7	37.5	15.1	
	R1 (n=1800)	8.1	26.8	36.6	9.1	7.3	12.0	34.9	16.4	
	H30 (n=1800)	8.5	25.3	34.7	10.0	8.9	12.6	33.8	18.9	
	H29 (n=1800)	7.3	29.4	33.6	9.5	8.3	11.8	36.7	17.8	
	H28 (n=1800)	6.6	29.7	35.9	8.6	8.9	10.3	36.3	17.5	
	H27 (n=1800)	3.9	28.9	42.2	13.3	7.8	3.8	32.8	21.1	
	H26 (n=1800)	5.6	30.8	40.6	10.9	6.3	5.7	36.4	17.2	
地方自治体	R7 (n=1800)	8.4	30.0	38.1	7.2	5.9	10.4	38.4	13.1	
	R6 (n=1800)	7.7	28.8	37.1	7.4	5.9	13.1	36.5	13.3	
	R5 (n=1800)	8.1	30.2	35.4	6.3	5.8	14.1	38.3	12.1	
	R4 (n=1800)	7.2	27.6	36.6	7.8	4.9	15.9	34.8	12.7	
	R3 (n=1800)	5.6	30.6	38.2	7.4	4.6	13.6	36.2	12.0	
	R2 (n=1800)	6.2	30.9	36.8	7.6	4.2	14.3	37.1	11.8	
	R1 (n=1800)	7.1	27.7	40.5	8.1	4.6	12.1	34.8	12.7	
	H30 (n=1800)	7.8	27.7	37.0	8.3	6.2	13.0	35.5	14.5	
	H29 (n=1800)	7.1	30.9	36.3	7.8	6.3	11.6	38.0	14.1	
	H28 (n=1800)	5.9	27.7	40.1	8.2	7.6	10.6	33.6	15.8	
	H27 (n=1800)	3.2	30.9	44.5	12.4	4.9	4.1	34.1	17.3	
	H26 (n=1800)	4.3	32.4	44.1	8.9	4.6	5.7	36.7	13.5	
畜産農家	R7 (n=1800)	7.5	30.4	40.3	7.2	4.9	9.7	37.9	12.1	
	R6 (n=1800)	7.6	29.5	40.7	6.2	3.7	12.3	37.1	9.9	
	R5 (n=1800)	7.1	29.7	39.0	7.3	3.7	13.2	36.8	11.0	
	R4 (n=1800)	7.7	26.8	39.6	7.2	4.2	14.6	34.5	11.4	
	R3 (n=1800)	5.8	29.1	42.1	7.7	3.6	11.7	34.9	11.3	
	R2 (n=1800)	6.8	31.1	40.1	6.2	3.1	12.7	37.9	9.3	
	R1 (n=1800)	6.6	28.5	42.0	7.6	3.4	11.9	35.1	11.0	
	H30 (n=1800)	6.5	27.6	42.2	7.3	4.3	12.1	34.1	11.6	
	H29 (n=1800)	6.2	30.2	41.3	6.3	4.4	11.6	36.4	10.7	
	H28 (n=1800)	6.4	26.8	43.9	7.2	5.3	10.3	33.2	12.5	
	H27 (n=1800)	4.3	29.9	50.3	8.1	3.1	4.3	34.2	11.2	
	H26 (n=1800)	4.3	31.3	48.2	7.4	3.1	5.7	35.6	10.5	

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 135 行政・農家の取組に対する信頼性（経年変化）

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	計 (%)	
								信頼できる	い信頼できない
食肉卸売業者	R7 (n=1800)	4.3	20.3	44.9	13.1	6.8	10.5	24.6	19.9
	R6 (n=1800)	4.2	18.1	45.9	13.4	5.7	12.8	22.3	19.1
	R5 (n=1800)	4.6	19.1	44.6	12.2	5.9	13.7	23.7	18.1
	R4 (n=1800)	3.8	16.7	42.9	14.0	7.4	15.1	20.5	21.4
	R3 (n=1800)	2.7	17.4	49.2	13.0	5.2	12.6	20.1	18.2
	R2 (n=1800)	3.5	17.5	46.1	14.5	5.4	12.9	21.0	19.9
	R1 (n=1800)	4.2	16.2	45.9	14.1	7.1	12.5	20.4	21.2
	H30 (n=1800)	3.4	14.8	45.4	15.9	8.2	12.2	18.2	24.1
	H29 (n=1800)	3.2	15.7	44.8	15.6	8.8	11.8	18.9	24.4
	H28 (n=1800)	2.7	13.8	44.1	17.9	10.5	11.0	16.5	28.4
	H27 (n=1800)	1.6	12.4	52.0	22.2	7.2	4.6	14.0	29.4
	H26 (n=1800)	1.0	11.8	51.5	21.6	7.9	6.2	12.8	29.5
食肉小売業者	R7 (n=1800)	4.4	19.9	46.6	12.2	6.2	10.7	24.3	18.4
	R6 (n=1800)	4.3	17.1	47.2	12.6	5.7	13.1	21.4	18.3
	R5 (n=1800)	4.3	18.4	46.6	11.5	5.4	13.8	22.7	16.9
	R4 (n=1800)	3.8	15.9	45.2	13.0	6.7	15.4	19.7	19.7
	R3 (n=1800)	2.7	16.7	49.9	13.1	4.8	12.8	19.4	17.9
	R2 (n=1800)	3.4	16.7	47.8	13.7	5.2	13.2	20.1	18.9
	R1 (n=1800)	3.9	15.6	47.8	13.2	6.7	12.8	19.5	19.9
	H30 (n=1800)	3.4	15.4	45.1	16.6	7.1	12.5	18.8	23.7
	H29 (n=1800)	3.0	15.8	46.3	14.4	8.8	11.7	18.8	23.2
	H28 (n=1800)	2.5	14.4	46.2	16.8	9.0	11.1	16.9	25.8
	H27 (n=1800)	1.4	12.7	54.5	20.3	6.6	4.5	14.1	26.9
	H26 (n=1800)	1.1	12.3	53.3	19.7	7.2	6.3	13.4	26.9
食肉を扱う外食店	R7 (n=1800)	3.0	17.7	48.4	13.6	6.3	10.9	20.7	19.9
	R6 (n=1800)	3.3	14.6	48.1	14.2	6.2	13.6	17.9	20.4
	R5 (n=1800)	4.1	16.7	45.8	13.3	6.2	13.9	20.8	19.5
	R4 (n=1800)	3.3	13.5	46.2	14.6	6.9	15.6	16.8	21.5
	R3 (n=1800)	2.4	13.8	50.4	14.0	6.3	13.1	16.2	20.3
	R2 (n=1800)	2.8	14.4	47.8	15.4	6.1	13.4	17.2	21.5
	R1 (n=1800)	3.3	12.7	46.5	16.4	8.2	12.9	16.0	24.6
	H30 (n=1800)	2.8	12.8	44.1	18.6	8.7	13.1	15.6	27.3
	H29 (n=1800)	2.5	12.5	45.0	17.0	10.7	12.3	15.0	27.7
	H28 (n=1800)	1.8	11.8	45.2	18.6	11.2	11.4	13.6	29.8
	H27 (n=1800)	0.9	9.7	51.8	23.2	9.7	4.7	10.6	32.9
	H26 (n=1800)	0.7	8.2	47.7	24.2	12.1	7.1	8.9	36.3

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 136 民間事業者などの取組に対する信頼性（経年変化）

集計表

Q4 牛肉、豚肉、鶏肉、魚介料理について、各料理を食べる頻度をお答えください。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

※「中食」とは、惣菜や調理済み食品など家庭外で調理された食品を、持ち帰り・テイクアウト、出前・デリバリー・宅配などを利用して購入し、自宅や職場などで食べることをいいます。肉や魚介を主菜とする弁当のテイクアウトやデリバリーも含まれます。

【1. 牛肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	37 2.1	47 2.6	241 13.4	415 23.1	302 16.8	210 11.7	340 18.9	208 11.6
地域	首都圏		900 100	20 2.2	20 2.2	104 11.6	171 19.0	160 17.8	114 12.7	188 20.9	123 13.7
	京阪神圏		900 100	17 1.9	27 3.0	137 15.2	244 27.1	142 15.8	96 10.7	152 16.9	85 9.4
年代	20代		300 100	12 4.0	19 6.3	35 11.7	53 17.7	48 16.0	36 12.0	49 16.3	48 16.0
	30代		300 100	9 3.0	11 3.7	30 10.0	70 23.3	45 15.0	28 9.3	55 18.3	52 17.3
	40代		300 100	3 1.0	6 2.0	37 12.3	55 18.3	46 15.3	40 13.3	78 26.0	35 11.7
	50代		300 100	1 0.3	2 0.7	34 11.3	73 24.3	57 19.0	45 15.0	61 20.3	27 9.0
	60代		300 100	6 2.0	5 1.7	43 14.3	75 25.0	61 20.3	35 11.7	52 17.3	23 7.7
	70代以上		300 100	6 2.0	4 1.3	62 20.7	89 29.7	45 15.0	26 8.7	45 15.0	23 7.7

【2. 牛肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	16 0.9	31 1.7	113 6.3	195 10.8	204 11.3	230 12.8	541 30.1	470 26.1
地域	首都圏		900 100	10 1.1	15 1.7	54 6.0	81 9.0	100 11.1	122 13.6	276 30.7	242 26.9
	京阪神圏		900 100	6 0.7	16 1.8	59 6.6	114 12.7	104 11.6	108 12.0	265 29.4	228 25.3
年代	20代		300 100	5 1.7	14 4.7	35 11.7	39 13.0	41 13.7	39 13.0	63 21.0	64 21.3
	30代		300 100	5 1.7	6 2.0	31 10.3	37 12.3	35 11.7	32 10.7	78 26.0	76 25.3
	40代		300 100	2 0.7	2 0.7	15 5.0	32 10.7	39 13.0	37 12.3	97 32.3	76 25.3
	50代		300 100	1 0.3	3 1.0	10 3.3	30 10.0	34 11.3	43 14.3	113 37.7	66 22.0
	60代		300 100	3 1.0	2 0.7	15 5.0	31 10.3	26 8.7	46 15.3	99 33.0	78 26.0
	70代以上		300 100	0 0.0	4 1.3	7 2.3	26 8.7	29 9.7	33 11.0	91 30.3	110 36.7

【3. 牛肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	16 0.9	26 1.4	78 4.3	174 9.7	174 9.7	342 19.0	686 38.1	304 16.9
地域	首都圏		900 100	8 0.9	17 1.9	37 4.1	87 9.7	80 8.9	164 18.2	350 38.9	157 17.4
	京阪神圏		900 100	8 0.9	9 1.0	41 4.6	87 9.7	94 10.4	178 19.8	336 37.3	147 16.3
年代	20代		300 100	6 2.0	12 4.0	31 10.3	46 15.3	37 12.3	60 20.0	68 22.7	40 13.3
	30代		300 100	6 2.0	7 2.3	18 6.0	44 14.7	34 11.3	49 16.3	91 30.3	51 17.0
	40代		300 100	1 0.3	4 1.3	10 3.3	29 9.7	26 8.7	67 22.3	110 36.7	53 17.7
	50代		300 100	1 0.3	2 0.7	6 2.0	22 7.3	28 9.3	56 18.7	146 48.7	39 13.0
	60代		300 100	2 0.7	1 0.3	11 3.7	17 5.7	28 9.3	71 23.7	126 42.0	44 14.7
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	2 0.7	16 5.3	21 7.0	39 13.0	145 48.3	77 25.7

【4. 豚肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	42 2.3	108 6.0	597 33.2	456 25.3	220 12.2	117 6.5	162 9.0	98 5.4
地域	首都圏		900 100	24 2.7	70 7.8	296 32.9	204 22.7	117 13.0	61 6.8	82 9.1	46 5.1
	京阪神圏		900 100	18 2.0	38 4.2	301 33.4	252 28.0	103 11.4	56 6.2	80 8.9	52 5.8
年代	20代		300 100	11 3.7	21 7.0	75 25.0	72 24.0	40 13.3	27 9.0	29 9.7	25 8.3
	30代		300 100	11 3.7	14 4.7	105 35.0	67 22.3	41 13.7	15 5.0	25 8.3	22 7.3
	40代		300 100	6 2.0	20 6.7	90 30.0	72 24.0	35 11.7	24 8.0	34 11.3	19 6.3
	50代		300 100	1 0.3	24 8.0	94 31.3	80 26.7	42 14.0	17 5.7	31 10.3	11 3.7
	60代		300 100	6 2.0	14 4.7	114 38.0	76 25.3	36 12.0	18 6.0	24 8.0	12 4.0
	70代以上		300 100	7 2.3	15 5.0	119 39.7	89 29.7	26 8.7	16 5.3	19 6.3	9 3.0

【5. 豚肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	20 1.1	34 1.9	166 9.2	282 15.7	238 13.2	235 13.1	434 24.1	391 21.7
地域	首都圏		900 100	12 1.3	21 2.3	83 9.2	146 16.2	123 13.7	118 13.1	217 24.1	180 20.0
	京阪神圏		900 100	8 0.9	13 1.4	83 9.2	136 15.1	115 12.8	117 13.0	217 24.1	211 23.4
年代	20代		300 100	5 1.7	10 3.3	35 11.7	62 20.7	52 17.3	36 12.0	55 18.3	45 15.0
	30代		300 100	8 2.7	7 2.3	31 10.3	57 19.0	43 14.3	36 12.0	57 19.0	61 20.3
	40代		300 100	3 1.0	5 1.7	28 9.3	52 17.3	31 10.3	40 13.3	85 28.3	56 18.7
	50代		300 100	1 0.3	5 1.7	25 8.3	40 13.3	46 15.3	49 16.3	84 28.0	50 16.7
	60代		300 100	2 0.7	6 2.0	25 8.3	39 13.0	36 12.0	37 12.3	77 25.7	78 26.0
	70代以上		300 100	1 0.3	1 0.3	22 7.3	32 10.7	30 10.0	37 12.3	76 25.3	101 33.7

【6. 豚肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	17 0.9	32 1.8	104 5.8	203 11.3	217 12.1	325 18.1	577 32.1	325 18.1
地域	首都圏		900 100	10 1.1	18 2.0	47 5.2	108 12.0	122 13.6	163 18.1	285 31.7	147 16.3
	京阪神圏		900 100	7 0.8	14 1.6	57 6.3	95 10.6	95 10.6	162 18.0	292 32.4	178 19.8
年代	20代		300 100	5 1.7	16 5.3	32 10.7	47 15.7	49 16.3	52 17.3	61 20.3	38 12.7
	30代		300 100	7 2.3	7 2.3	24 8.0	50 16.7	40 13.3	55 18.3	69 23.0	48 16.0
	40代		300 100	2 0.7	2 0.7	14 4.7	35 11.7	43 14.3	50 16.7	102 34.0	52 17.3
	50代		300 100	1 0.3	3 1.0	13 4.3	26 8.7	37 12.3	60 20.0	117 39.0	43 14.3
	60代		300 100	1 0.3	2 0.7	14 4.7	29 9.7	28 9.3	57 19.0	110 36.7	59 19.7
	70代以上		300 100	1 0.3	2 0.7	7 2.3	16 5.3	20 6.7	51 17.0	118 39.3	85 28.3

【7. 鶏肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	47 2.6	88 4.9	528 29.3	474 26.3	250 13.9	146 8.1	149 8.3	118 6.6
地域	首都圏		900 100	28 3.1	47 5.2	260 28.9	227 25.2	135 15.0	71 7.9	69 7.7	63 7.0
	京阪神圏		900 100	19 2.1	41 4.6	268 29.8	247 27.4	115 12.8	75 8.3	80 8.9	55 6.1
年代	20代		300 100	14 4.7	18 6.0	66 22.0	70 23.3	52 17.3	26 8.7	28 9.3	26 8.7
	30代		300 100	11 3.7	17 5.7	94 31.3	75 25.0	38 12.7	25 8.3	22 7.3	18 6.0
	40代		300 100	5 1.7	13 4.3	101 33.7	67 22.3	33 11.0	31 10.3	33 11.0	17 5.7
	50代		300 100	5 1.7	19 6.3	80 26.7	82 27.3	48 16.0	22 7.3	28 9.3	16 5.3
	60代		300 100	3 1.0	12 4.0	87 29.0	93 31.0	40 13.3	22 7.3	23 7.7	20 6.7
	70代以上		300 100	9 3.0	9 3.0	100 33.3	87 29.0	39 13.0	20 6.7	15 5.0	21 7.0

【8. 鶏肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	21 1.2	39 2.2	190 10.6	285 15.8	269 14.9	231 12.8	416 23.1	349 19.4
地域	首都圏		900 100	16 1.8	19 2.1	96 10.7	145 16.1	133 14.8	120 13.3	204 22.7	167 18.6
	京阪神圏		900 100	5 0.6	20 2.2	94 10.4	140 15.6	136 15.1	111 12.3	212 23.6	182 20.2
年代	20代		300 100	6 2.0	11 3.7	38 12.7	59 19.7	56 18.7	33 11.0	48 16.0	49 16.3
	30代		300 100	5 1.7	13 4.3	36 12.0	61 20.3	41 13.7	36 12.0	62 20.7	46 15.3
	40代		300 100	3 1.0	4 1.3	46 15.3	42 14.0	50 16.7	37 12.3	71 23.7	47 15.7
	50代		300 100	4 1.3	4 1.3	23 7.7	44 14.7	49 16.3	43 14.3	88 29.3	45 15.0
	60代		300 100	2 0.7	4 1.3	29 9.7	47 15.7	39 13.0	42 14.0	79 26.3	58 19.3
	70代以上		300 100	1 0.3	3 1.0	18 6.0	32 10.7	34 11.3	40 13.3	68 22.7	104 34.7

【9. 鶏肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	19 1.1	29 1.6	117 6.5	195 10.8	226 12.6	301 16.7	585 32.5	328 18.2
地域	首都圏		900 100	14 1.6	17 1.9	64 7.1	91 10.1	128 14.2	140 15.6	291 32.3	155 17.2
	京阪神圏		900 100	5 0.6	12 1.3	53 5.9	104 11.6	98 10.9	161 17.9	294 32.7	173 19.2
年代	20代		300 100	7 2.3	13 4.3	32 10.7	49 16.3	49 16.3	56 18.7	59 19.7	35 11.7
	30代		300 100	7 2.3	7 2.3	28 9.3	54 18.0	37 12.3	51 17.0	79 26.3	37 12.3
	40代		300 100	2 0.7	4 1.3	19 6.3	32 10.7	43 14.3	47 15.7	108 36.0	45 15.0
	50代		300 100	1 0.3	2 0.7	17 5.7	21 7.0	39 13.0	55 18.3	116 38.7	49 16.3
	60代		300 100	1 0.3	1 0.3	12 4.0	27 9.0	36 12.0	51 17.0	107 35.7	65 21.7
	70代以上		300 100	1 0.3	2 0.7	9 3.0	12 4.0	22 7.3	41 13.7	116 38.7	97 32.3

【10. 魚介料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	50 2.8	90 5.0	439 24.4	479 26.6	266 14.8	177 9.8	174 9.7	125 6.9
地域	首都圏		900 100	32 3.6	45 5.0	224 24.9	238 26.4	122 13.6	84 9.3	91 10.1	64 7.1
	京阪神圏		900 100	18 2.0	45 5.0	215 23.9	241 26.8	144 16.0	93 10.3	83 9.2	61 6.8
年代	20代		300 100	12 4.0	15 5.0	41 13.7	70 23.3	49 16.3	46 15.3	36 12.0	31 10.3
	30代		300 100	8 2.7	9 3.0	58 19.3	78 26.0	50 16.7	35 11.7	36 12.0	26 8.7
	40代		300 100	3 1.0	13 4.3	70 23.3	72 24.0	45 15.0	27 9.0	37 12.3	33 11.0
	50代		300 100	4 1.3	13 4.3	69 23.0	90 30.0	51 17.0	28 9.3	31 10.3	14 4.7
	60代		300 100	6 2.0	17 5.7	88 29.3	82 27.3	44 14.7	27 9.0	23 7.7	13 4.3
	70代以上		300 100	17 5.7	23 7.7	113 37.7	87 29.0	27 9.0	14 4.7	11 3.7	8 2.7

【11. 魚介料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	18 1.0	38 2.1	130 7.2	274 15.2	258 14.3	247 13.7	423 23.5	412 22.9
地域	首都圏		900 100	11 1.2	20 2.2	64 7.1	139 15.4	130 14.4	125 13.9	203 22.6	208 23.1
	京阪神圏		900 100	7 0.8	18 2.0	66 7.3	135 15.0	128 14.2	122 13.6	220 24.4	204 22.7
年代	20代		300 100	5 1.7	13 4.3	29 9.7	44 14.7	52 17.3	44 14.7	49 16.3	64 21.3
	30代		300 100	5 1.7	8 2.7	17 5.7	52 17.3	42 14.0	42 14.0	69 23.0	65 21.7
	40代		300 100	2 0.7	4 1.3	23 7.7	49 16.3	47 15.7	37 12.3	83 27.7	55 18.3
	50代		300 100	2 0.7	4 1.3	18 6.0	51 17.0	43 14.3	47 15.7	81 27.0	54 18.0
	60代		300 100	2 0.7	5 1.7	25 8.3	45 15.0	38 12.7	39 13.0	80 26.7	66 22.0
	70代以上		300 100	2 0.7	4 1.3	18 6.0	33 11.0	36 12.0	38 12.7	61 20.3	108 36.0

【12. 魚介料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	14 0.8	32 1.8	96 5.3	186 10.3	218 12.1	340 18.9	566 31.4	348 19.3
地域	首都圏		900 100	8 0.9	20 2.2	51 5.7	101 11.2	109 12.1	175 19.4	276 30.7	160 17.8
	京阪神圏		900 100	6 0.7	12 1.3	45 5.0	85 9.4	109 12.1	165 18.3	290 32.2	188 20.9
年代	20代		300 100	7 2.3	14 4.7	26 8.7	37 12.3	50 16.7	51 17.0	68 22.7	47 15.7
	30代		300 100	3 1.0	9 3.0	17 5.7	52 17.3	36 12.0	61 20.3	74 24.7	48 16.0
	40代		300 100	1 0.3	4 1.3	19 6.3	26 8.7	43 14.3	49 16.3	104 34.7	54 18.0
	50代		300 100	1 0.3	3 1.0	13 4.3	24 8.0	31 10.3	62 20.7	114 38.0	52 17.3
	60代		300 100	1 0.3	1 0.3	13 4.3	30 10.0	31 10.3	64 21.3	98 32.7	62 20.7
	70代以上		300 100	1 0.3	1 0.3	8 2.7	17 5.7	27 9.0	53 17.7	108 36.0	85 28.3

Q5 牛肉、豚肉、鶏肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

度数 横%	あてはまるもの（いくつでも）														
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ ーが低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	脂肪・コレ ステロール が多い	健康に悪い	その他
全 体	1800 100	909 50.5	188 10.4	199 11.1	406 22.6	351 19.5	381 21.2	506 28.1	112 6.2	414 23.0	719 39.9	83 4.6	264 14.7	70 3.9	209 11.6
地域	900 100	446 49.6	118 13.1	104 11.6	215 23.9	176 19.6	178 19.8	245 27.2	61 6.8	203 22.6	343 38.1	42 4.7	130 14.4	37 4.1	108 12.0
首都圏	900	446	118	104	215	176	178	245	61	203	343	42	130	37	108
京阪神圏	900	463	70	95	191	175	203	261	51	211	376	41	134	33	101
100	51.4	7.8	10.6	21.2	19.4	22.6	29.0	5.7	23.4	41.8	4.6	14.9	3.7	11.2	
年代	300 100	123 41.0	42 14.0	44 14.7	55 18.3	54 18.0	41 13.7	44 14.7	21 7.0	46 15.3	60 20.0	23 7.7	22 7.3	7 2.3	45 15.0
20代	300	123	42	44	55	54	41	44	21	46	60	23	22	7	45
30代	300	136	31	36	90	39	49	60	24	57	94	14	33	12	37
100	45.3	10.3	12.0	30.0	13.0	16.3	20.0	8.0	19.0	31.3	4.7	11.0	4.0	12.3	
40代	300	138	26	27	64	56	54	83	20	74	132	12	33	9	40
100	46.0	8.7	9.0	21.3	18.7	18.0	27.7	6.7	24.7	44.0	4.0	11.0	3.0	13.3	
50代	300	140	20	23	66	41	64	92	16	64	129	12	47	13	39
100	46.7	6.7	7.7	22.0	13.7	21.3	30.7	5.3	21.3	43.0	4.0	15.7	4.3	13.0	
60代	300	157	31	24	59	63	76	93	16	73	133	6	51	9	26
100	52.3	10.3	8.0	19.7	21.0	25.3	31.0	5.3	24.3	44.3	2.0	17.0	3.0	8.7	
70代以上	300	215	38	45	72	98	97	134	15	100	171	16	78	20	22
100	71.7	12.7	15.0	24.0	32.7	32.3	44.7	5.0	33.3	57.0	5.3	26.0	6.7	7.3	

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

度数 横%	最もあてはまるもの（1つだけ）														
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ ーが低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	脂肪・コレ ステロール が多い	健康に悪い	その他
全 体	1800 100	497 27.6	43 2.4	42 2.3	92 5.1	90 5.0	88 4.9	136 7.6	13 0.7	152 8.4	323 17.9	25 1.4	86 4.8	19 1.1	194 10.8
地域	900 100	243 27.0	30 3.3	18 2.0	51 5.7	50 5.6	41 4.6	70 7.8	8 0.9	73 8.1	146 16.2	13 1.4	51 5.7	7 0.8	99 11.0
首都圏	900	243	30	18	51	50	41	70	8	73	146	13	51	7	99
京阪神圏	900	254	13	24	41	40	47	66	5	79	177	12	35	12	95
100	28.2	1.4	2.7	4.6	4.4	5.2	7.3	0.6	8.8	19.7	1.3	3.9	1.3	10.6	
年代	300 100	82 27.3	15 5.0	16 5.3	19 6.3	20 6.7	17 5.7	13 4.3	5 1.7	23 7.7	26 8.7	14 4.7	7 2.3	0 0.0	43 14.3
20代	300	82	15	16	19	20	17	13	5	23	26	14	7	0	43
30代	300	89	6	9	28	12	14	15	5	20	45	3	13	6	35
100	29.7	2.0	3.0	9.3	4.0	4.7	5.0	1.7	6.7	15.0	1.0	4.3	2.0	11.7	
40代	300	68	5	5	17	15	7	28	1	25	73	1	12	4	39
100	22.7	1.7	1.7	5.7	5.0	2.3	9.3	0.3	8.3	24.3	0.3	4.0	1.3	13.0	
50代	300	77	7	6	9	7	13	27	0	29	60	4	20	4	38
100	25.7	2.3	2.0	2.7	2.3	4.3	9.0	0.0	9.7	20.0	1.3	6.7	1.3	12.7	
60代	300	82	7	4	12	17	22	17	1	28	61	1	18	4	26
100	27.3	2.3	1.3	4.0	5.7	7.3	5.7	0.3	9.3	20.3	0.3	6.0	1.3	8.7	
70代以上	300	99	3	2	8	19	15	36	1	27	58	2	16	1	13
100	33.0	1.0	0.7	2.7	6.3	5.0	12.0	0.3	9.0	19.3	0.7	5.3	0.3	4.3	

【3.豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

度数 横%	あてはまるもの（いくつでも）														
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ ーが低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	脂肪・コレ ステロール が多い	健康に悪い	その他
全 体	1800 100	787 43.7	219 12.2	188 10.4	189 10.5	462 25.7	662 36.8	398 22.1	184 10.2	593 32.9	537 29.8	733 40.7	225 12.5	45 2.5	114 6.3
地域	900 100	413 45.9	96 10.7	101 11.2	104 11.6	232 25.8	350 38.9	217 24.1	86 9.6	308 34.2	289 32.1	359 39.9	105 11.7	27 3.0	52 5.8
首都圏	900	413	96	101	104	232	350	217	86	308	289	359	105	27	52
京阪神圏	900	374	123	87	85	230	312	181	98	285	248	374	120	18	62
100	41.6	13.7	9.7	9.4	25.6	34.7	20.1	10.9	31.7	27.6	41.6	13.3	2.0	6.9	
年代	300 100	100 33.3	37 12.3	34 11.3	38 12.7	43 14.3	77 25.7	42 14.0	25 8.3	66 22.0	39 13.0	67 22.3	34 11.3	9 3.0	35 11.7
20代	300	100	37	34	38	43	77	42	25	66	39	67	34	9	35
30代	300	109	41	33	29	49	105	50	33	75	62	96	39	9	22
100	36.3	13.7	11.0	9.7	16.3	35.0	16.7	11.0	25.0	20.7	32.0	13.0	3.0	7.3	
40代	300	118	28	34	24	66	113	60	45	101	100	124	38	3	14
100	39.3	9.3	11.3	8.0	22.0	37.7	20.0	15.0	33.7	33.3	41.3	12.7	1.0	4.7	
50代	300	128	32	29	35	77	111	62	40	97	105	115	33	10	18
100	42.7	10.7	9.7	11.7	25.7	37.0	20.7	13.3	32.3	35.0	38.3	11.0	3.3	6.0	
60代	300	149	40	19	26	100	107	77	21	105	103	150	34	5	14
100	49.7	13.3	6.3	8.7	33.3	35.7	25.7	7.0	35.0	34.3	50.0	11.3	1.7	4.7	
70代以上	300	183	41	39	37	127	149	107	20	149	128	181	47	9	11
100	61.0	13.7	13.0	12.3	42.3	49.7	35.7	6.7	49.7	42.7	60.3	15.7	3.0	3.7	

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%	全 体														
		たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ューの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	脂肪・コレ ステロール が多い	健康に悪い	その他	
全 体	1800 100	35.5 19.7	2.8 2.8	1.9 1.9	4.2 2.3	11.4 6.3	25.5 14.2	7.3 4.1	3.8 2.1	22.0 12.2	15.6 8.7	28.8 16.0	5.0 2.8	1.5 0.8	10.9 6.1	
地域	首都圏	900 100	18.3 20.3	1.7 1.9	1.7 2.0	1.8 7.0	6.3 16.2	4.1 4.6	1.8 2.0	11.5 12.8	8.1 9.0	12.2 13.6	2.4 2.7	0.8 0.9	4.9 5.4	
	京阪神圏	900 100	17.2 19.1	3.4 3.8	2.1 2.1	2.4 2.7	5.1 5.7	10.9 12.1	3.2 3.6	2.0 11.7	10.5 8.3	16.6 18.4	2.6 2.9	0.7 0.8	6.0 6.7	
年代	20代	300 100	6.5 21.7	8 2.7	11 3.7	13 4.3	15 5.0	3.8 12.7	1.7 5.7	9 11.3	3.4 2.3	7 11.7	3.5 4.0	1.2 0.7	2 11.3	
	30代	300 100	6.2 20.7	15 5.0	7 2.3	3.0 3.0	9 3.7	11 16.3	6 2.0	7 2.3	2.8 9.3	4.5 8.0	1.0 15.0	5 3.3	2.2 7.3	
	40代	300 100	5.5 18.3	7 2.3	6 2.0	1.7 1.7	5 4.0	12 15.3	4.6 3.7	1.1 3.3	10 12.3	3.7 12.3	1.7 17.0	2.3 0.7	2 4.7	
	50代	300 100	5.3 17.7	8 2.7	7 2.3	1.3 1.3	4 4.7	14 15.7	4.7 4.3	5 1.7	3.5 11.7	3.4 11.3	4.7 15.7	4.0 4.0	1.3 1.3	5.7 5.7
	60代	300 100	6.3 21.0	5 1.7	1 0.3	1.7 1.7	5 11.3	3.3 11.0	1.1 3.7	4 1.3	4.1 13.7	2.8 9.3	5.4 18.0	2.3 2.3	0.3 0.3	4.3 4.3
	70代以上	300 100	5.7 19.0	8 2.7	2 0.7	2.0 2.0	6 9.3	2.8 14.0	4.2 5.0	1.5 1.0	3 15.0	4.5 8.7	2.6 18.7	5.6 0.7	2 0.3	1 3.0

【5. 鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	全 体														
		たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ューの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	脂肪・コレ ステロール が多い	健康に悪い	その他	
全 体	1800 100	9.27 51.5	37.2 37.2	9.7 9.7	12.0 6.7	52.3 29.1	30.9 30.9	22.2 22.2	13.1 13.1	28.7 28.7	23.5 15.8	8.50 47.2	6.4 3.6	2.8 1.6	11.2 6.2	
地域	首都圏	900 100	4.78 53.1	34.7 38.6	10.9 10.9	7.2 7.2	30.1 30.1	31.9 31.9	22.6 22.6	14.2 14.2	28.2 28.2	16.4 16.4	47.4 47.4	3.1 3.1	1.6 1.6	5.0 5.6
	京阪神圏	900 100	4.49 49.9	32.2 35.8	8.6 8.6	6.1 6.1	28.0 28.0	29.9 29.9	21.8 21.8	11.9 11.9	29.2 29.2	15.2 15.2	47.0 47.0	4.0 4.0	1.6 1.6	6.2 6.9
年代	20代	300 100	12.2 40.7	26.3 26.3	11.7 11.7	9.3 9.3	16.3 16.3	22.3 22.3	17.3 17.3	15.3 15.3	16.3 16.3	11.0 11.0	28.0 28.0	3.3 3.3	1.7 1.7	9.0 9.0
	30代	300 100	15.5 51.7	31.0 31.0	10.3 10.3	8.3 8.3	23.3 23.3	23.7 23.7	15.3 15.3	13.3 13.3	24.0 24.0	15.7 15.7	36.7 36.7	5.0 5.0	1.3 1.3	8.0 8.0
	40代	300 100	17.4 58.0	37.0 37.0	8.3 8.3	5.0 5.0	25.0 25.0	28.0 28.0	23.3 23.3	13.7 13.7	30.7 30.7	16.7 16.7	45.7 45.7	2.0 2.0	0.7 0.7	5.7 5.7
	50代	300 100	15.6 52.0	31.0 31.0	9.3 9.3	6.7 6.7	26.7 26.7	32.0 32.0	22.0 22.0	11.7 11.7	28.3 28.3	13.7 13.7	47.3 47.3	3.0 3.0	2.0 2.0	5.3 5.3
	60代	300 100	15.6 52.0	44.7 44.7	7.0 7.0	3.7 3.7	32.7 32.7	34.7 34.7	21.0 21.0	12.7 12.7	34.3 34.3	14.3 14.3	56.7 56.7	2.7 2.7	0.7 0.7	5.0 5.0
	70代以上	300 100	16.4 54.7	53.0 53.0	11.7 11.7	7.0 7.0	50.3 50.3	44.7 44.7	34.0 34.0	11.7 11.7	38.7 38.7	23.7 23.7	69.0 69.0	5.3 5.3	3.0 3.0	4.3 4.3

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%	全 体														
		たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ューの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	脂肪・コレ ステロール が多い	健康に悪い	その他	
全 体	1800 100	4.60 25.6	11.9 11.9	3.3 1.8	2.6 1.4	11.1 6.2	12.2 6.8	6.3 3.5	5.0 2.8	7.4 7.4	4.6 2.6	41.1 22.8	1.0 0.6	1.2 0.7	10.7 5.9	
地域	首都圏	900 100	2.44 27.1	11.9 11.9	2.0 2.0	1.6 1.6	6.4 6.4	6.7 6.7	3.6 3.6	2.4 2.4	7.2 7.2	2.8 2.8	21.9 21.9	0.6 0.6	0.4 0.4	5.4 5.4
	京阪神圏	900 100	2.16 24.0	12.0 12.0	1.7 1.7	1.3 1.3	5.9 5.9	6.9 6.9	3.4 3.4	3.1 3.1	7.7 7.7	2.3 2.3	23.8 23.8	0.6 0.6	0.9 0.9	6.4 6.4
年代	20代	300 100	8.1 27.0	9.7 9.7	4.0 4.0	2.7 2.7	4.3 4.3	7.3 7.3	4.0 4.0	5.0 5.0	5.7 5.7	3.3 3.3	17.7 17.7	0.0 0.0	0.7 0.7	8.7 8.7
	30代	300 100	8.9 29.7	9.7 9.7	2.0 2.0	1.7 1.7	3.7 3.7	7.3 7.3	2.0 2.0	4.3 4.3	6.0 6.0	2.0 2.0	22.0 22.0	0.7 0.7	1.0 1.0	8.0 8.0
	40代	300 100	10.2 34.0	9.3 9.3	1.7 1.7	1.3 1.3	4.0 4.0	4.3 4.3	3.3 3.3	1.3 1.3	8.3 8.3	3.7 3.7	22.7 22.7	0.3 0.3	0.3 0.3	5.3 5.3
	50代	300 100	8.0 26.7	10.3 10.3	1.3 1.3	1.7 1.7	5.3 5.3	7.7 7.7	4.3 4.3	2.3 2.3	8.0 8.0	3.3 3.3	21.7 21.7	1.0 1.0	1.0 1.0	5.3 5.3
	60代	300 100	6.2 20.7	16.3 16.3	1.0 1.0	0.7 0.7	8.7 8.7	6.3 6.3	2.7 2.7	2.7 2.7	8.3 8.3	1.7 1.7	25.3 25.3	0.3 0.3	0.3 0.3	5.0 5.0
	70代以上	300 100	4.6 15.3	16.3 16.3	1.0 1.0	0.7 0.7	11.0 11.0	7.7 7.7	4.7 4.7	1.0 1.0	8.3 8.3	1.3 1.3	27.7 27.7	1.0 1.0	0.7 0.7	3.3 3.3

Q6 牛肉、豚肉、鶏肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	48 2.7	50 2.8	146 8.1	373 20.7	360 20.0	315 17.5	355 19.7	153 8.5
地域	首都圏		900 100	25 2.8	27 3.0	56 6.2	154 17.1	176 19.6	173 19.2	199 22.1	90 10.0
	京阪神圏		900 100	23 2.6	23 2.6	90 10.0	219 24.3	184 20.4	142 15.8	156 17.3	63 7.0
年代	20代		300 100	26 8.7	20 6.7	22 7.3	54 18.0	40 13.3	49 16.3	50 16.7	39 13.0
	30代		300 100	14 4.7	16 5.3	27 9.0	54 18.0	52 17.3	46 15.3	57 19.0	34 11.3
		40代		300 100	3 1.0	6 2.0	29 9.7	46 15.3	51 17.0	54 18.0	84 28.0
	50代		300 100	2 0.7	1 0.3	14 4.7	61 20.3	77 25.7	54 18.0	68 22.7	23 7.7
		60代		300 100	2 0.7	4 1.3	26 8.7	66 22.0	66 22.0	68 22.7	57 19.0
	70代以上		300 100	1 0.3	3 1.0	28 9.3	92 30.7	74 24.7	44 14.7	39 13.0	19 6.3

【2. 豚肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	44 2.4	76 4.2	409 22.7	598 33.2	337 18.7	172 9.6	132 7.3	32 1.8
地域	首都圏		900 100	18 2.0	38 4.2	211 23.4	293 32.6	167 18.6	90 10.0	66 7.3	17 1.9
	京阪神圏		900 100	26 2.9	38 4.2	198 22.0	305 33.9	170 18.9	82 9.1	66 7.3	15 1.7
年代	20代		300 100	16 5.3	23 7.7	43 14.3	88 29.3	54 18.0	40 13.3	27 9.0	9 3.0
	30代		300 100	12 4.0	16 5.3	71 23.7	93 31.0	54 18.0	29 9.7	18 6.0	7 2.3
		40代		300 100	4 1.3	10 3.3	65 21.7	100 33.3	58 19.3	28 9.3	29 9.7
	50代		300 100	6 2.0	10 3.3	60 20.0	100 33.3	68 22.7	24 8.0	27 9.0	5 1.7
		60代		300 100	2 0.7	12 4.0	75 25.0	104 34.7	54 18.0	32 10.7	20 6.7
	70代以上		300 100	4 1.3	5 1.7	95 31.7	113 37.7	49 16.3	19 6.3	11 3.7	4 1.3

【3. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	40 2.2	56 3.1	358 19.9	599 33.3	351 19.5	200 11.1	158 8.8	38 2.1
地域	首都圏		900 100	19 2.1	33 3.7	178 19.8	292 32.4	173 19.2	106 11.8	79 8.8	20 2.2
	京阪神圏		900 100	21 2.3	23 2.6	180 20.0	307 34.1	178 19.8	94 10.4	79 8.8	18 2.0
年代	20代		300 100	16 5.3	15 5.0	45 15.0	89 29.7	53 17.7	40 13.3	34 11.3	8 2.7
	30代		300 100	10 3.3	10 3.3	60 20.0	97 32.3	53 17.7	45 15.0	22 7.3	3 1.0
		40代		300 100	3 1.0	6 2.0	67 22.3	97 32.3	63 21.0	24 8.0	34 11.3
	50代		300 100	6 2.0	8 2.7	52 17.3	99 33.0	65 21.7	33 11.0	32 10.7	5 1.7
		60代		300 100	2 0.7	6 2.0	60 20.0	107 35.7	65 21.7	34 11.3	19 6.3
	70代以上		300 100	3 1.0	11 3.7	74 24.7	110 36.7	52 17.3	24 8.0	17 5.7	9 3.0

Q7 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、主にどこで購入されますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。

※大型スーパー：食品以外に衣料品などを取り扱っているスーパー

※食品スーパー：食品中心の品揃えのスーパー

【1. 牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	コンビニエンスストア	生協	食肉専門店	食肉ディスカウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、インターネット等)	その他
全体		1647 100	105 6.4	501 30.4	1253 76.1	47 2.9	105 6.4	128 7.8	60 3.6	14 0.9	26 1.6	33 2.0
地域	首都圏	810 100	51 6.3	257 31.7	607 74.9	23 2.8	56 6.9	53 6.5	33 4.1	11 1.4	15 1.9	20 2.5
	京阪神圏	837 100	54 6.5	244 29.2	646 77.2	24 2.9	49 5.9	75 9.0	27 3.2	3 0.4	11 1.3	13 1.6
年代	20代	261 100	31 11.9	61 23.4	175 67.0	18 6.9	26 10.0	18 6.9	16 6.1	6 2.3	4 1.5	6 2.3
	30代	266 100	21 7.9	89 33.5	192 72.2	12 4.5	18 6.8	21 7.9	15 5.6	5 1.9	9 3.4	8 3.0
	40代	273 100	5 1.8	86 31.5	225 82.4	5 1.8	8 2.9	21 7.7	15 5.5	1 0.4	3 1.1	3 1.1
	50代	277 100	13 4.7	80 28.9	222 80.1	7 2.5	9 3.2	15 5.4	4 1.4	1 0.4	3 1.1	4 1.4
	60代	289 100	21 7.3	91 31.5	230 79.6	1 0.3	18 6.2	29 10.0	6 2.1	0 0.0	3 1.0	3 1.0
	70代以上	281 100	14 5.0	94 33.5	209 74.4	4 1.4	26 9.3	24 8.5	4 1.4	1 0.4	4 1.4	9 3.2

【2. 豚肉】

<Q6[2.豚肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	コンビニエンスストア	生協	食肉専門店	食肉ディスカウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、インターネット等)	その他
全体		1768 100	61 3.5	521 29.5	1391 78.7	47 2.7	129 7.3	82 4.6	59 3.3	17 1.0	25 1.4	32 1.8
地域	首都圏	883 100	28 3.2	272 30.8	686 77.7	29 3.3	67 7.6	40 4.5	35 4.0	13 1.5	15 1.7	20 2.3
	京阪神圏	885 100	33 3.7	249 28.1	705 79.7	18 2.0	62 7.0	42 4.7	24 2.7	4 0.5	10 1.1	12 1.4
年代	20代	291 100	20 6.9	69 23.7	202 69.4	11 3.8	24 8.2	10 3.4	16 5.5	7 2.4	4 1.4	8 2.7
	30代	293 100	15 5.1	83 28.3	221 75.4	13 4.4	22 7.5	15 5.1	17 5.8	7 2.4	8 2.7	7 2.4
	40代	294 100	4 1.4	91 31.0	247 84.0	4 1.4	13 4.4	14 4.8	11 3.7	3 1.0	2 0.7	3 1.0
	50代	295 100	7 2.4	89 30.2	244 82.7	11 3.7	15 5.1	8 2.7	4 1.4	0 0.0	4 1.4	3 1.0
	60代	299 100	8 2.7	93 31.1	247 82.6	3 1.0	17 5.7	19 6.4	6 2.0	0 0.0	3 1.0	3 1.0
	70代以上	296 100	7 2.4	96 32.4	230 77.7	5 1.7	38 12.8	16 5.4	5 1.7	0 0.0	4 1.4	8 2.7

【3. 鶏肉】

<Q6[3.鶏肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	コンビニエンスストア	生協	食肉専門店	食肉ディスカウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、インターネット等)	その他
全体		1762 100	57 3.2	509 28.9	1364 77.4	48 2.7	118 6.7	80 4.5	66 3.7	13 0.7	22 1.2	32 1.8
地域	首都圏	880 100	27 3.1	266 30.2	671 76.3	32 3.6	58 6.6	41 4.7	35 4.0	11 1.3	13 1.5	21 2.4
	京阪神圏	882 100	30 3.4	243 27.6	693 78.6	16 1.8	60 6.8	39 4.4	31 3.5	2 0.2	9 1.0	11 1.2
年代	20代	292 100	19 6.5	63 21.6	202 69.2	14 4.8	23 7.9	13 4.5	18 6.2	6 2.1	5 1.7	8 2.7
	30代	297 100	16 5.4	86 29.0	216 72.7	13 4.4	23 7.7	16 5.4	15 5.1	5 1.7	6 2.0	6 2.0
	40代	294 100	4 1.4	87 29.6	246 83.7	6 2.0	10 3.4	16 5.4	15 5.1	2 0.7	2 0.7	3 1.0
	50代	295 100	5 1.7	91 30.8	241 81.7	8 2.7	11 3.7	7 2.4	8 2.7	0 0.0	3 1.0	4 1.4
	60代	293 100	7 2.4	89 30.4	238 81.2	2 0.7	19 6.5	16 5.5	5 1.7	0 0.0	3 1.0	3 1.0
	70代以上	291 100	6 2.1	93 32.0	221 75.9	5 1.7	32 11.0	12 4.1	5 1.7	0 0.0	3 1.0	8 2.7

Q8 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、重視する点は何ですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド)等が しっかり表示 されていること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1647 100	995 60.4	688 41.8	83 5.0	452 27.4	76 4.6	138 8.4	634 38.5	426 25.9	58 3.5
地域	首都圏	810 100	486 60.0	300 37.0	45 5.6	235 29.0	46 5.7	71 8.8	322 39.8	215 26.5	27 3.3
	京阪神圏	837 100	509 60.8	388 46.4	38 4.5	217 25.9	30 3.6	67 8.0	312 37.3	211 25.2	31 3.7
年代	20代	261 100	138 52.9	86 33.0	24 9.2	64 24.5	19 7.3	18 6.9	61 23.4	43 16.5	16 6.1
	30代	266 100	158 59.4	100 37.6	19 7.1	60 22.6	17 6.4	27 10.2	93 35.0	50 18.8	14 5.3
	40代	273 100	178 65.2	101 37.0	11 4.0	63 23.1	9 3.3	23 8.4	101 37.0	66 24.2	9 3.3
	50代	277 100	170 61.4	119 43.0	9 3.2	62 22.4	8 2.9	19 6.9	105 37.9	71 25.6	9 3.2
	60代	289 100	181 62.6	124 42.9	11 3.8	88 30.4	7 2.4	20 6.9	126 43.6	90 31.1	5 1.7
	70代以上	281 100	170 60.5	158 56.2	9 3.2	115 40.9	16 5.7	31 11.0	148 52.7	106 37.7	5 1.8

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド)等が しっかり表示 されていること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1647 100	684 41.5	426 25.9	27 1.6	174 10.6	14 0.9	17 1.0	187 11.4	67 4.1	51 3.1
地域	首都圏	810 100	339 41.9	183 22.6	13 1.6	90 11.1	9 1.1	9 1.1	102 12.6	42 5.2	23 2.8
	京阪神圏	837 100	345 41.2	243 29.0	14 1.7	84 10.0	5 0.6	8 1.0	85 10.2	25 3.0	28 3.3
年代	20代	261 100	102 39.1	53 20.3	10 3.8	36 13.8	5 1.9	3 1.1	24 9.2	12 4.6	16 6.1
	30代	266 100	114 42.9	66 24.8	5 1.9	29 10.9	4 1.5	1 0.4	29 10.9	5 1.9	13 4.9
	40代	273 100	130 47.6	61 22.3	3 1.1	22 8.1	0 0.0	4 1.5	29 10.6	16 5.9	8 2.9
	50代	277 100	124 44.8	72 26.0	2 0.7	22 7.9	1 0.4	6 2.2	31 11.2	11 4.0	8 2.9
	60代	289 100	117 40.5	83 28.7	5 1.7	24 8.3	1 0.3	3 1.0	42 14.5	11 3.8	3 1.0
	70代以上	281 100	97 34.5	91 32.4	2 0.7	41 14.6	3 1.1	0 0.0	32 11.4	12 4.3	3 1.1

【3. 豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド)等が しっかり表示 されていること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1768 100	1261 71.3	771 43.6	67 3.8	450 25.5	80 4.5	158 8.9	640 36.2	463 26.2	54 3.1
地域	首都圏	883 100	630 71.3	367 41.6	43 4.9	236 26.7	43 4.9	80 9.1	330 37.4	246 27.9	29 3.3
	京阪神圏	885 100	631 71.3	404 45.6	24 2.7	214 24.2	37 4.2	78 8.8	310 35.0	217 24.5	25 2.8
年代	20代	291 100	180 61.9	94 32.3	25 8.6	60 20.6	19 6.5	27 9.3	58 19.9	41 14.1	15 5.2
	30代	293 100	195 66.6	117 39.9	12 4.1	68 23.2	19 6.5	26 8.9	95 32.4	57 19.5	16 5.5
	40代	294 100	215 73.1	121 41.2	8 2.7	69 23.5	14 4.8	23 7.8	102 34.7	77 26.2	7 2.4
	50代	295 100	204 69.2	135 45.8	8 2.7	54 18.3	9 3.1	25 8.5	111 37.6	78 26.4	8 2.7
	60代	299 100	233 77.9	127 42.5	7 2.3	87 29.1	8 2.7	23 7.7	123 41.1	93 31.1	4 1.3
	70代以上	296 100	234 79.1	177 59.8	7 2.4	112 37.8	11 3.7	34 11.5	151 51.0	117 39.5	4 1.4

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド)等が しっかり表示 されていること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1768 100	823 46.5	442 25.0	19 1.1	152 8.6	23 1.3	17 1.0	184 10.4	57 3.2	51 2.9
地域	首都圏	883 100	407 46.1	201 22.8	11 1.2	77 8.7	9 1.0	10 1.1	106 12.0	35 4.0	27 3.1
	京阪神圏	885 100	416 47.0	241 27.2	8 0.9	75 8.5	14 1.6	7 0.8	78 8.8	22 2.5	24 2.7
年代	20代	291 100	133 45.7	61 21.0	12 4.1	22 7.6	6 2.1	10 3.4	27 9.3	5 1.7	15 5.2
	30代	293 100	134 45.7	76 25.9	3 1.0	25 8.5	6 2.0	3 1.0	28 9.6	4 1.4	14 4.8
	40代	294 100	139 47.3	70 23.8	2 0.7	22 7.5	5 1.7	2 0.7	34 11.6	13 4.4	7 2.4
	50代	295 100	146 49.5	80 27.1	1 0.3	17 5.8	2 0.7	0 0.0	27 9.2	14 4.7	8 2.7
	60代	299 100	140 46.8	76 25.4	0 0.0	26 8.7	2 0.7	2 0.7	42 14.0	7 2.3	4 1.3
	70代以上	296 100	131 44.3	79 26.7	1 0.3	40 13.5	2 0.7	0 0.0	26 8.8	14 4.7	3 1.0

【5. 鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブ ランド)等がしっ かり表示されて いること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1762 100	1240 70.4	792 44.9	65 3.7	412 23.4	79 4.5	173 9.8	641 36.4	452 25.7	55 3.1
地域	首都圏	880 100	621 70.6	375 42.6	42 4.8	225 25.6	45 5.1	85 9.7	330 37.5	238 27.0	29 3.3
	京阪神圏	882 100	619 70.2	417 47.3	23 2.6	187 21.2	34 3.9	88 10.0	311 35.3	214 24.3	26 2.9
年代	20代	292 100	178 61.0	91 31.2	24 8.2	54 18.5	17 5.8	27 9.2	56 19.2	46 15.8	16 5.5
	30代	297 100	188 63.3	122 41.1	14 4.7	58 19.5	25 8.4	30 10.1	101 34.0	55 18.5	17 5.7
	40代	294 100	219 74.5	125 42.5	10 3.4	62 21.1	12 4.1	26 8.8	98 33.3	77 26.2	5 1.7
	50代	295 100	197 66.8	143 48.5	8 2.7	53 18.0	5 1.7	29 9.8	103 34.9	75 25.4	9 3.1
	60代	293 100	224 76.5	139 47.4	4 1.4	83 28.3	6 2.0	24 8.2	133 45.4	88 30.0	5 1.7
	70代以上	291 100	234 80.4	172 59.1	5 1.7	102 35.1	14 4.8	37 12.7	150 51.5	111 38.1	3 1.0

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブ ランド)等がしっ かり表示されて いること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1762 100	814 46.2	460 26.1	16 0.9	147 8.3	22 1.2	22 1.2	184 10.4	49 2.8	48 2.7
地域	首都圏	880 100	409 46.5	209 23.8	8 0.9	76 8.6	10 1.1	11 1.3	103 11.7	30 3.4	24 2.7
	京阪神圏	882 100	405 45.9	251 28.5	8 0.9	71 8.0	12 1.4	11 1.2	81 9.2	19 2.2	24 2.7
年代	20代	292 100	141 48.3	59 20.2	6 2.1	25 8.6	8 2.7	8 2.7	23 7.9	6 2.1	16 5.5
	30代	297 100	124 41.8	81 27.3	5 1.7	23 7.7	7 2.4	6 2.0	33 11.1	4 1.3	14 4.7
	40代	294 100	150 51.0	73 24.8	3 1.0	19 6.5	1 0.3	1 0.3	32 10.9	11 3.7	4 1.4
	50代	295 100	134 45.4	86 29.2	2 0.7	20 6.8	2 0.7	2 0.7	29 9.8	12 4.1	8 2.7
	60代	293 100	139 47.4	79 27.0	0 0.0	22 7.5	2 0.7	3 1.0	38 13.0	6 2.0	4 1.4
	70代以上	291 100	126 43.3	82 28.2	0 0.0	38 13.1	2 0.7	2 0.7	29 10.0	10 3.4	2 0.7

Q9 ここ1ヵ月の食肉の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。購入回数が「増えた食肉」「減った食肉」について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 増えた食肉】

	度数 横%	全 体	牛肉				豚肉		鶏肉		いずれもない
			国産和牛肉	和牛肉以外 の国産牛肉	和牛肉かどう かわからない 国産牛肉	輸入牛肉	国産豚肉	輸入豚肉	国産鶏肉	輸入鶏肉	
全 体		1800	196	147	119	148	310	161	299	120	1094
		100	10.9	8.2	6.6	8.2	17.2	8.9	16.6	6.7	60.8
地域	首都圏	900	100	67	50	71	161	87	150	65	549
		100	11.1	7.4	5.6	7.9	17.9	9.7	16.7	7.2	61.0
京阪神圏	900	96	80	69	77	149	74	149	55	545	
	100	10.7	8.9	7.7	8.6	16.6	8.2	16.6	6.1	60.6	
年代	20代	300	54	37	43	39	51	30	40	29	140
		100	18.0	12.3	14.3	13.0	17.0	10.0	13.3	9.7	46.7
	30代	300	41	30	25	24	53	30	59	19	174
		100	13.7	10.0	8.3	8.0	17.7	10.0	19.7	6.3	58.0
	40代	300	25	21	15	21	40	27	47	17	191
		100	8.3	7.0	5.0	7.0	13.3	9.0	15.7	5.7	63.7
	50代	300	21	18	12	17	53	25	46	15	201
		100	7.0	6.0	4.0	5.7	17.7	8.3	15.3	5.0	67.0
60代	300	27	20	13	31	46	28	53	20	195	
	100	9.0	6.7	4.3	10.3	15.3	9.3	17.7	6.7	65.0	
70代以上	300	28	21	11	16	67	21	54	20	193	
	100	9.3	7.0	3.7	5.3	22.3	7.0	18.0	6.7	64.3	

【2. 減った食肉】

	度数 横%	全 体	牛肉				豚肉		鶏肉		いずれもない
			国産和牛肉	和牛肉以外 の国産牛肉	和牛肉かどう かわからない 国産牛肉	輸入牛肉	国産豚肉	輸入豚肉	国産鶏肉	輸入鶏肉	
全 体		1800	287	216	214	212	164	192	128	177	1173
		100	15.9	12.0	11.9	11.8	9.1	10.7	7.1	9.8	65.2
地域	首都圏	900	133	115	114	118	80	102	68	87	591
		100	14.8	12.8	12.7	13.1	8.9	11.3	7.6	9.7	65.7
京阪神圏	900	154	101	100	94	84	90	60	90	582	
	100	17.1	11.2	11.1	10.4	9.3	10.0	6.7	10.0	64.7	
年代	20代	300	24	27	27	25	25	27	24	19	183
		100	8.0	9.0	9.0	8.3	8.3	9.0	8.0	6.3	61.0
	30代	300	38	40	38	37	29	36	18	35	189
		100	12.7	13.3	12.7	12.3	9.7	12.0	6.0	11.7	63.0
	40代	300	50	37	29	31	30	27	22	26	203
		100	16.7	12.3	9.7	10.3	10.0	9.0	7.3	8.7	67.7
	50代	300	50	31	38	37	27	28	21	26	210
		100	16.7	10.3	12.7	12.3	9.0	9.3	7.0	8.7	70.0
60代	300	61	45	49	43	34	39	25	37	194	
	100	20.3	15.0	16.3	14.3	11.3	13.0	8.3	12.3	64.7	
70代以上	300	64	36	33	39	19	35	18	34	194	
	100	21.3	12.0	11.0	13.0	6.3	11.7	6.0	11.3	64.7	

Q10 ここ1ヵ月の食品の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。購入回数が「増えた食品」「減った食品」について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 増えた食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品 (ハム、ソーセージ、 ハートン等)
全 体			1800 100	186 10.3	410 22.8	286 15.9	193 10.7	189 10.5	213 11.8	168 9.3	150 8.3
地域	首都圏		900 100	89 9.9	208 23.1	154 17.1	96 10.7	104 11.6	106 11.8	83 9.2	76 8.4
	京阪神圏		900 100	97 10.8	202 22.4	132 14.7	97 10.8	85 9.4	107 11.9	85 9.4	74 8.2
年代	20代		300 100	60 20.0	72 24.0	54 18.0	35 11.7	41 13.7	38 12.7	28 9.3	30 10.0
	30代		300 100	45 15.0	65 21.7	43 14.3	37 12.3	31 10.3	38 12.7	34 11.3	29 9.7
	40代		300 100	25 8.3	63 21.0	31 10.3	17 5.7	19 6.3	28 9.3	22 7.3	21 7.0
	50代		300 100	22 7.3	60 20.0	39 13.0	18 6.0	25 8.3	33 11.0	22 7.3	19 6.3
	60代		300 100	22 7.3	76 25.3	61 20.3	33 11.0	37 12.3	37 12.3	28 9.3	22 7.3
	70代以上		300 100	12 4.0	74 24.7	58 19.3	53 17.7	36 12.0	39 13.0	34 11.3	29 9.7

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	144 8.0	238 13.2	226 12.6	138 7.7	77 4.3	149 8.3	871 48.4
地域	首都圏		900 100	76 8.4	126 14.0	123 13.7	77 8.6	34 3.8	73 8.1	434 48.2
	京阪神圏		900 100	68 7.6	112 12.4	103 11.4	61 6.8	43 4.8	76 8.4	437 48.6
年代	20代		300 100	19 6.3	30 10.0	39 13.0	23 7.7	20 6.7	25 8.3	108 36.0
	30代		300 100	31 10.3	39 13.0	40 13.3	20 6.7	20 6.7	27 9.0	142 47.3
	40代		300 100	14 4.7	34 11.3	32 10.7	18 6.0	10 3.3	22 7.3	154 51.3
	50代		300 100	22 7.3	33 11.0	34 11.3	24 8.0	12 4.0	22 7.3	166 55.3
	60代		300 100	24 8.0	49 16.3	37 12.3	27 9.0	9 3.0	28 9.3	149 49.7
	70代以上		300 100	34 11.3	53 17.7	44 14.7	26 8.7	6 2.0	25 8.3	152 50.7

【2. 減った食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品 (ハム、ソーセージ、 ベーコン等)
全 体			1800 100	474 26.3	185 10.3	165 9.2	244 13.6	201 11.2	211 11.7	165 9.2	253 14.1
地域	首都圏		900 100	240 26.7	94 10.4	80 8.9	114 12.7	96 10.7	114 12.7	82 9.1	118 13.1
	京阪神圏		900 100	234 26.0	91 10.1	85 9.4	130 14.4	105 11.7	97 10.8	83 9.2	135 15.0
年代	20代		300 100	64 21.3	37 12.3	22 7.3	34 11.3	26 8.7	34 11.3	30 10.0	33 11.0
	30代		300 100	52 17.3	30 10.0	25 8.3	35 11.7	33 11.0	32 10.7	18 6.0	35 11.7
	40代		300 100	83 27.7	25 8.3	32 10.7	38 12.7	34 11.3	32 10.7	27 9.0	33 11.0
	50代		300 100	86 28.7	38 12.7	26 8.7	42 14.0	41 13.7	40 13.3	29 9.7	50 16.7
	60代		300 100	86 28.7	28 9.3	27 9.0	46 15.3	33 11.0	36 12.0	36 12.0	52 17.3
	70代以上		300 100	103 34.3	27 9.0	33 11.0	49 16.3	34 11.3	37 12.3	25 8.3	50 16.7

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	134 7.4	139 7.7	236 13.1	217 12.1	282 15.7	272 15.1	784 43.6
地域	首都圏		900 100	56 6.2	63 7.0	96 10.7	105 11.7	137 15.2	137 15.2	402 44.7
	京阪神圏		900 100	78 8.7	76 8.4	140 15.6	112 12.4	145 16.1	135 15.0	382 42.4
年代	20代		300 100	22 7.3	18 6.0	33 11.0	25 8.3	38 12.7	27 9.0	118 39.3
	30代		300 100	24 8.0	25 8.3	38 12.7	36 12.0	47 15.7	38 12.7	138 46.0
	40代		300 100	20 6.7	22 7.3	33 11.0	30 10.0	42 14.0	43 14.3	140 46.7
	50代		300 100	19 6.3	31 10.3	47 15.7	41 13.7	46 15.3	53 17.7	132 44.0
	60代		300 100	25 8.3	25 8.3	46 15.3	43 14.3	55 18.3	50 16.7	134 44.7
	70代以上		300 100	24 8.0	18 6.0	39 13.0	42 14.0	54 18.0	61 20.3	122 40.7

Q11 下記の牛肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1647 100	19 1.2	39 2.4	101 6.1	208 12.6	185 11.2	204 12.4	524 31.8	277 16.8
地域	首都圏	810 100	10 1.2	17 2.1	42 5.2	94 11.6	72 8.9	136 16.8	275 34.0	164 20.2
	京阪神圏	837 100	9 1.1	22 2.6	59 7.0	114 13.6	113 13.5	158 18.9	249 29.7	113 13.5
年代	20代	261 100	10 3.8	19 7.3	28 10.7	36 13.8	23 8.8	46 17.6	51 19.5	48 18.4
	30代	266 100	6 2.3	11 4.1	23 8.6	34 12.8	25 9.4	39 14.7	83 31.2	45 16.9
	40代	273 100	1 0.4	3 1.1	16 5.9	25 9.2	25 9.2	50 18.3	92 33.7	61 22.3
	50代	277 100	1 0.4	1 0.4	7 2.5	28 10.1	36 13.0	51 18.4	115 41.5	38 13.7
	60代	289 100	1 0.3	4 1.4	8 2.8	39 13.5	30 10.4	56 19.4	104 36.0	47 16.3
	70代以上	281 100	0 0.0	1 0.4	19 6.8	46 16.4	46 16.4	52 18.5	79 28.1	38 13.5

【2. 和牛肉以外の国産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1647 100	17 1.0	21 1.3	82 5.0	185 11.2	214 13.0	281 17.1	517 31.4	330 20.0
地域	首都圏	810 100	7 0.9	9 1.1	36 4.4	81 10.0	89 11.0	139 17.2	270 33.3	179 22.1
	京阪神圏	837 100	10 1.2	12 1.4	46 5.5	104 12.4	125 14.9	142 17.0	247 29.5	151 18.0
年代	20代	261 100	9 3.4	13 5.0	25 9.6	35 13.4	41 15.7	35 13.4	53 20.3	50 19.2
	30代	266 100	6 2.3	5 1.9	18 6.8	30 11.3	33 12.4	44 16.5	81 30.5	49 18.4
	40代	273 100	1 0.4	1 0.4	14 5.1	20 7.3	35 12.8	44 16.1	95 34.8	63 23.1
	50代	277 100	1 0.4	1 0.4	7 2.5	26 9.4	32 11.6	53 19.1	108 39.0	49 17.7
	60代	289 100	0 0.0	1 0.3	5 1.7	35 12.1	28 9.7	54 18.7	108 37.4	58 20.1
	70代以上	281 100	0 0.0	0 0.0	13 4.6	39 13.9	45 16.0	51 18.1	72 25.6	61 21.7

【3. 和牛肉かどうかわからない国産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1647 100	11 0.7	23 1.4	70 4.3	137 8.3	161 9.8	210 12.8	453 27.5	582 35.3
地域	首都圏	810 100	6 0.7	13 1.6	35 4.3	51 6.3	68 8.4	105 13.0	238 29.4	294 36.3
	京阪神圏	837 100	5 0.6	10 1.2	35 4.2	86 10.3	93 11.1	105 12.5	215 25.7	288 34.4
年代	20代	261 100	6 2.3	14 5.4	19 7.3	25 9.6	38 14.6	40 15.3	50 19.2	69 26.4
	30代	266 100	3 1.1	5 1.9	23 8.6	30 11.3	23 8.6	27 10.2	72 27.1	83 31.2
	40代	273 100	1 0.4	2 0.7	14 5.1	20 7.3	24 8.8	35 12.8	88 32.2	89 32.6
	50代	277 100	1 0.4	1 0.4	4 1.4	18 6.5	28 10.1	38 13.7	97 35.0	90 32.5
	60代	289 100	0 0.0	1 0.3	5 1.7	23 8.0	24 8.3	42 14.5	80 27.7	114 39.4
	70代以上	281 100	0 0.0	0 0.0	5 1.8	21 7.5	24 8.5	28 10.0	66 23.5	137 48.8

【4. アメリカ産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1647 100	13 0.8	22 1.3	51 3.1	138 8.4	158 9.6	256 15.5	477 29.0	532 32.3
地域	首都圏	810 100	6 0.7	12 1.5	18 2.2	74 9.1	81 10.0	143 17.7	246 30.4	230 28.4
	京阪神圏	837 100	7 0.8	10 1.2	33 3.9	64 7.6	77 9.2	113 13.5	231 27.6	302 36.1
年代	20代	261 100	5 1.9	14 5.4	21 8.0	37 14.2	31 11.9	39 14.9	51 19.5	63 24.1
	30代	266 100	5 1.9	5 1.9	11 4.1	32 12.0	29 10.9	47 17.7	57 21.4	80 30.1
	40代	273 100	1 0.4	1 0.4	12 4.4	19 7.0	26 9.5	47 17.2	94 34.4	73 26.7
	50代	277 100	2 0.7	0 0.0	4 1.4	14 5.1	33 11.9	36 13.0	108 39.0	80 28.9
	60代	289 100	0 0.0	1 0.3	2 0.7	20 6.9	21 7.3	49 17.0	94 32.5	102 35.3
	70代以上	281 100	0 0.0	1 0.4	1 0.4	16 5.7	18 6.4	38 13.5	73 26.0	134 47.7

【5. オーストラリア産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1647 100	13 0.8	22 1.3	56 3.4	129 7.8	178 10.8	273 16.6	497 30.2	479 29.1
地域	首都圏	810 100	5 0.6	14 1.7	25 3.1	67 8.3	84 10.4	142 17.5	263 32.5	210 25.9
	京阪神圏	837 100	8 1.0	8 1.0	31 3.7	62 7.4	94 11.2	131 15.7	234 28.0	269 32.1
年代	20代	261 100	6 2.3	13 5.0	22 8.4	34 13.0	39 14.9	39 14.9	49 18.8	59 22.6
	30代	266 100	5 1.9	6 2.3	16 6.0	30 11.3	31 11.7	43 16.2	66 24.8	69 25.9
	40代	273 100	1 0.4	0 0.0	9 3.3	18 6.6	28 10.3	45 16.5	96 35.2	76 27.8
	50代	277 100	1 0.4	2 0.7	3 1.1	15 5.4	32 11.6	42 15.2	107 38.6	75 27.1
	60代	289 100	0 0.0	1 0.3	3 1.0	17 5.9	28 9.7	59 20.4	98 33.9	83 28.7
	70代以上	281 100	0 0.0	0 0.0	3 1.1	15 5.3	20 7.1	45 16.0	81 28.8	117 41.6

Q12 以下に牛肉のイメージを表す言葉があります。各イメージについて、あなたがあてはまると思う牛肉を全てお選びください。

【1. 柔らかい】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	1064 59.1	370 20.6	151 8.4	104 5.8	513 28.5
地域	首都圏		900 100	539 59.9	208 23.1	80 8.9	56 6.2	262 29.1
	京阪神圏		900 100	525 58.3	162 18.0	71 7.9	48 5.3	251 27.9
年代	20代		300 100	104 34.7	67 22.3	39 13.0	18 6.0	115 38.3
	30代		300 100	140 46.7	58 19.3	34 11.3	20 6.7	99 33.0
	40代		300 100	176 58.7	61 20.3	29 9.7	19 6.3	86 28.7
	50代		300 100	203 67.7	63 21.0	15 5.0	11 3.7	80 26.7
	60代		300 100	220 73.3	58 19.3	22 7.3	21 7.0	66 22.0
	70代以上		300 100	221 73.7	63 21.0	12 4.0	15 5.0	67 22.3

【2. 霜降り】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	1120 62.2	266 14.8	103 5.7	73 4.1	469 26.1
地域	首都圏		900 100	570 63.3	138 15.3	53 5.9	34 3.8	239 26.6
	京阪神圏		900 100	550 61.1	128 14.2	50 5.6	39 4.3	230 25.6
年代	20代		300 100	120 40.0	54 18.0	30 10.0	23 7.7	109 36.3
	30代		300 100	155 51.7	47 15.7	22 7.3	19 6.3	95 31.7
	40代		300 100	185 61.7	53 17.7	26 8.7	12 4.0	73 24.3
	50代		300 100	196 65.3	37 12.3	12 4.0	8 2.7	77 25.7
	60代		300 100	229 76.3	32 10.7	8 2.7	8 2.7	62 20.7
	70代以上		300 100	235 78.3	43 14.3	5 1.7	3 1.0	53 17.7

【3. 赤身が多い】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	325 18.1	244 13.6	511 28.4	490 27.2	702 39.0
地域	首都圏		900 100	149 16.6	119 13.2	270 30.0	251 27.9	369 41.0
	京阪神圏		900 100	176 19.6	125 13.9	241 26.8	239 26.6	333 37.0
年代	20代		300 100	54 18.0	50 16.7	69 23.0	46 15.3	130 43.3
	30代		300 100	55 18.3	40 13.3	80 26.7	64 21.3	126 42.0
	40代		300 100	54 18.0	38 12.7	86 28.7	88 29.3	119 39.7
	50代		300 100	43 14.3	24 8.0	91 30.3	108 36.0	119 39.7
	60代		300 100	59 19.7	40 13.3	84 28.0	85 28.3	115 38.3
	70代以上		300 100	60 20.0	52 17.3	101 33.7	99 33.0	93 31.0

【4. 脂肪・コレステロールが多い】

度数 横%		全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体		1800 100	426 23.7	270 15.0	337 18.7	223 12.4	945 52.5
地域	首都圏	900 100	222 24.7	143 15.9	169 18.8	108 12.0	481 53.4
	京阪神圏	900 100	204 22.7	127 14.1	168 18.7	115 12.8	464 51.6
年代	20代	300 100	53 17.7	55 18.3	56 18.7	36 12.0	145 48.3
	30代	300 100	59 19.7	35 11.7	50 16.7	39 13.0	168 56.0
	40代	300 100	64 21.3	41 13.7	57 19.0	41 13.7	166 55.3
	50代	300 100	74 24.7	41 13.7	54 18.0	31 10.3	168 56.0
	60代	300 100	84 28.0	51 17.0	58 19.3	33 11.0	158 52.7
	70代以上	300 100	92 30.7	47 15.7	62 20.7	43 14.3	140 46.7

【5. 安全・安心】

度数 横%		全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体		1800 100	1104 61.3	572 31.8	166 9.2	168 9.3	489 27.2
地域	首都圏	900 100	561 62.3	308 34.2	90 10.0	101 11.2	246 27.3
	京阪神圏	900 100	543 60.3	264 29.3	76 8.4	67 7.4	243 27.0
年代	20代	300 100	115 38.3	82 27.3	33 11.0	28 9.3	104 34.7
	30代	300 100	167 55.7	79 26.3	30 10.0	30 10.0	93 31.0
	40代	300 100	185 61.7	106 35.3	27 9.0	15 5.0	78 26.0
	50代	300 100	191 63.7	97 32.3	19 6.3	24 8.0	87 29.0
	60代	300 100	221 73.7	100 33.3	30 10.0	40 13.3	70 23.3
	70代以上	300 100	225 75.0	108 36.0	27 9.0	31 10.3	57 19.0

【6. 高品質】

度数 横%		全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体		1800 100	1127 62.6	320 17.8	137 7.6	98 5.4	468 26.0
地域	首都圏	900 100	575 63.9	187 20.8	78 8.7	55 6.1	232 25.8
	京阪神圏	900 100	552 61.3	133 14.8	59 6.6	43 4.8	236 26.2
年代	20代	300 100	126 42.0	61 20.3	39 13.0	27 9.0	96 32.0
	30代	300 100	157 52.3	60 20.0	35 11.7	24 8.0	93 31.0
	40代	300 100	181 60.3	63 21.0	25 8.3	12 4.0	83 27.7
	50代	300 100	202 67.3	49 16.3	16 5.3	12 4.0	77 25.7
	60代	300 100	227 75.7	45 15.0	12 4.0	12 4.0	61 20.3
	70代以上	300 100	234 78.0	42 14.0	10 3.3	11 3.7	58 19.3

【7. 飼育環境がよい】

度数 横%		全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体		1800 100	806 44.8	287 15.9	129 7.2	147 8.2	759 42.2
地域	首都圏	900 100	420 46.7	160 17.8	64 7.1	75 8.3	378 42.0
	京阪神圏	900 100	386 42.9	127 14.1	65 7.2	72 8.0	381 42.3
年代	20代	300 100	95 31.7	61 20.3	38 12.7	25 8.3	128 42.7
	30代	300 100	103 34.3	40 13.3	21 7.0	24 8.0	146 48.7
	40代	300 100	144 48.0	50 16.7	23 7.7	32 10.7	116 38.7
	50代	300 100	149 49.7	42 14.0	14 4.7	17 5.7	132 44.0
	60代	300 100	163 54.3	43 14.3	10 3.3	21 7.0	123 41.0
	70代以上	300 100	152 50.7	51 17.0	23 7.7	28 9.3	114 38.0

【8. 高級】

度数 横%		全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体		1800 100	1214 67.4	238 13.2	108 6.0	77 4.3	393 21.8
地域	首都圏	900 100	618 68.7	133 14.8	54 6.0	41 4.6	193 21.4
	京阪神圏	900 100	596 66.2	105 11.7	54 6.0	36 4.0	200 22.2
年代	20代	300 100	133 44.3	56 18.7	33 11.0	28 9.3	90 30.0
	30代	300 100	167 55.7	47 15.7	34 11.3	21 7.0	81 27.0
	40代	300 100	210 70.0	55 18.3	26 8.7	13 4.3	58 19.3
	50代	300 100	222 74.0	35 11.7	8 2.7	8 2.7	63 21.0
	60代	300 100	242 80.7	24 8.0	4 1.3	4 1.3	49 16.3
	70代以上	300 100	240 80.0	21 7.0	3 1.0	3 1.0	52 17.3

【9. 価格が手頃】

度数 横%		全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体		1800 100	114 6.3	276 15.3	845 46.9	880 48.9	535 29.7
地域	首都圏	900 100	57 6.3	129 14.3	434 48.2	432 48.0	279 31.0
	京阪神圏	900 100	57 6.3	147 16.3	411 45.7	448 49.8	256 28.4
年代	20代	300 100	32 10.7	49 16.3	105 35.0	84 28.0	110 36.7
	30代	300 100	21 7.0	47 15.7	129 43.0	120 40.0	100 33.3
	40代	300 100	21 7.0	39 13.0	152 50.7	158 52.7	85 28.3
	50代	300 100	15 5.0	44 14.7	151 50.3	163 54.3	90 30.0
	60代	300 100	9 3.0	49 16.3	149 49.7	175 58.3	78 26.0
	70代以上	300 100	16 5.3	48 16.0	159 53.0	180 60.0	72 24.0

【10. 特売】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	151 8.4	272 15.1	711 39.5	678 37.7	679 37.7
地域	首都圏		900 100	69 7.7	125 13.9	365 40.6	344 38.2	345 38.3
	京阪神圏		900 100	82 9.1	147 16.3	346 38.4	334 37.1	334 37.1
年代	20代		300 100	32 10.7	38 12.7	89 29.7	70 23.3	126 42.0
	30代		300 100	28 9.3	45 15.0	110 36.7	91 30.3	122 40.7
	40代		300 100	24 8.0	41 13.7	124 41.3	117 39.0	116 38.7
	50代		300 100	21 7.0	40 13.3	122 40.7	122 40.7	120 40.0
	60代		300 100	19 6.3	56 18.7	126 42.0	141 47.0	100 33.3
	70代以上		300 100	27 9.0	52 17.3	140 46.7	137 45.7	95 31.7

【11. おいしい】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	1181 65.6	635 35.3	362 20.1	357 19.8	384 21.3
地域	首都圏		900 100	604 67.1	326 36.2	192 21.3	198 22.0	197 21.9
	京阪神圏		900 100	577 64.1	309 34.3	170 18.9	159 17.7	187 20.8
年代	20代		300 100	132 44.0	98 32.7	50 16.7	49 16.3	93 31.0
	30代		300 100	178 59.3	104 34.7	76 25.3	62 20.7	76 25.3
	40代		300 100	187 62.3	128 42.7	80 26.7	70 23.3	66 22.0
	50代		300 100	213 71.0	104 34.7	55 18.3	58 19.3	63 21.0
	60代		300 100	237 79.0	110 36.7	62 20.7	76 25.3	41 13.7
	70代以上		300 100	234 78.0	91 30.3	39 13.0	42 14.0	45 15.0

【12. 赤身がおいしい】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	629 34.9	324 18.0	348 19.3	358 19.9	671 37.3
地域	首都圏		900 100	291 32.3	173 19.2	198 22.0	213 23.7	346 38.4
	京阪神圏		900 100	338 37.6	151 16.8	150 16.7	145 16.1	325 36.1
年代	20代		300 100	81 27.0	50 16.7	60 20.0	47 15.7	118 39.3
	30代		300 100	76 25.3	58 19.3	69 23.0	60 20.0	125 41.7
	40代		300 100	117 39.0	60 20.0	70 23.3	71 23.7	109 36.3
	50代		300 100	107 35.7	46 15.3	50 16.7	61 20.3	119 39.7
	60代		300 100	127 42.3	48 16.0	50 16.7	69 23.0	96 32.0
	70代以上		300 100	121 40.3	62 20.7	49 16.3	50 16.7	104 34.7

【13. 和食に合う】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	868 48.2	439 24.4	161 8.9	116 6.4	688 38.2
地域	首都圏		900 100	433 48.1	231 25.7	86 9.6	71 7.9	350 38.9
	京阪神圏		900 100	435 48.3	208 23.1	75 8.3	45 5.0	338 37.6
年代	20代		300 100	96 32.0	74 24.7	34 11.3	16 5.3	122 40.7
	30代		300 100	127 42.3	60 20.0	31 10.3	17 5.7	122 40.7
	40代		300 100	141 47.0	82 27.3	38 12.7	31 10.3	116 38.7
	50代		300 100	146 48.7	80 26.7	24 8.0	18 6.0	122 40.7
	60代		300 100	176 58.7	70 23.3	18 6.0	20 6.7	106 35.3
	70代以上		300 100	182 60.7	73 24.3	16 5.3	14 4.7	100 33.3

【14. 洋食に合う】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	445 24.7	372 20.7	599 33.3	534 29.7	723 40.2
地域	首都圏		900 100	229 25.4	193 21.4	311 34.6	278 30.9	363 40.3
	京阪神圏		900 100	216 24.0	179 19.9	288 32.0	256 28.4	360 40.0
年代	20代		300 100	48 16.0	47 15.7	84 28.0	63 21.0	127 42.3
	30代		300 100	56 18.7	53 17.7	81 27.0	66 22.0	136 45.3
	40代		300 100	69 23.0	61 20.3	117 39.0	91 30.3	122 40.7
	50代		300 100	74 24.7	64 21.3	109 36.3	102 34.0	121 40.3
	60代		300 100	92 30.7	70 23.3	108 36.0	107 35.7	119 39.7
	70代以上		300 100	106 35.3	77 25.7	100 33.3	105 35.0	98 32.7

【15. 贅沢感がある】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	1154 64.1	295 16.4	120 6.7	84 4.7	436 24.2
地域	首都圏		900 100	596 66.2	168 18.7	62 6.9	43 4.8	211 23.4
	京阪神圏		900 100	558 62.0	127 14.1	58 6.4	41 4.6	225 25.0
年代	20代		300 100	130 43.3	67 22.3	35 11.7	24 8.0	89 29.7
	30代		300 100	164 54.7	52 17.3	33 11.0	15 5.0	90 30.0
	40代		300 100	194 64.7	71 23.7	21 7.0	16 5.3	66 22.0
	50代		300 100	200 66.7	39 13.0	15 5.0	13 4.3	80 26.7
	60代		300 100	233 77.7	31 10.3	7 2.3	9 3.0	57 19.0
	70代以上		300 100	233 77.7	35 11.7	9 3.0	7 2.3	54 18.0

【16. シニア向き】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	483 26.8	229 12.7	133 7.4	119 6.6	1023 56.8
地域	首都圏		900 100	222 24.7	128 14.2	60 6.7	62 6.9	544 60.4
	京阪神圏		900 100	261 29.0	101 11.2	73 8.1	57 6.3	479 53.2
年代	20代		300 100	56 18.7	38 12.7	34 11.3	27 9.0	168 56.0
	30代		300 100	54 18.0	40 13.3	26 8.7	16 5.3	184 61.3
	40代		300 100	69 23.0	39 13.0	21 7.0	17 5.7	184 61.3
	50代		300 100	92 30.7	36 12.0	14 4.7	13 4.3	178 59.3
	60代		300 100	93 31.0	31 10.3	21 7.0	29 9.7	165 55.0
	70代以上		300 100	119 39.7	45 15.0	17 5.7	17 5.7	144 48.0

【17. 若者向き】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	181 10.1	195 10.8	531 29.5	416 23.1	914 50.8
地域	首都圏		900 100	93 10.3	89 9.9	244 27.1	206 22.9	481 53.4
	京阪神圏		900 100	88 9.8	106 11.8	287 31.9	210 23.3	433 48.1
年代	20代		300 100	43 14.3	46 15.3	67 22.3	41 13.7	149 49.7
	30代		300 100	34 11.3	41 13.7	67 22.3	56 18.7	155 51.7
	40代		300 100	32 10.7	25 8.3	81 27.0	66 22.0	163 54.3
	50代		300 100	29 9.7	25 8.3	84 28.0	76 25.3	170 56.7
	60代		300 100	21 7.0	25 8.3	108 36.0	91 30.3	145 48.3
	70代以上		300 100	22 7.3	33 11.0	124 41.3	86 28.7	132 44.0

【18. 健康に悪い】

		度数 横%	全 体	国産和牛肉	和牛肉以外の 国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
全 体			1800 100	166 9.2	137 7.6	243 13.5	154 8.6	1267 70.4
地域	首都圏		900 100	89 9.9	77 8.6	113 12.6	71 7.9	646 71.8
	京阪神圏		900 100	77 8.6	60 6.7	130 14.4	83 9.2	621 69.0
年代	20代		300 100	25 8.3	51 17.0	49 16.3	30 10.0	172 57.3
	30代		300 100	26 8.7	25 8.3	47 15.7	33 11.0	199 66.3
	40代		300 100	32 10.7	27 9.0	50 16.7	35 11.7	197 65.7
	50代		300 100	24 8.0	13 4.3	40 13.3	26 8.7	227 75.7
	60代		300 100	32 10.7	10 3.3	30 10.0	15 5.0	232 77.3
	70代以上		300 100	27 9.0	11 3.7	27 9.0	15 5.0	240 80.0

Q13 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、国産和牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%	全 体	4倍を超える	4倍高まで	3倍高まで	2倍高まで	8割高まで	5割高まで	2割高まで	同等の価格	国産和牛肉	
		価格でも国産 和牛肉を選ぶ	なら国産和牛 肉を選ぶ	へのこだわり はない							
全 体	1800 100	46 2.6	27 1.5	88 4.9	200 11.1	47 2.6	117 6.5	360 20.0	426 23.7	489 27.2	
地域	首都圏	900 100	21 2.3	20 2.2	35 3.9	98 10.9	22 2.4	46 5.1	172 19.1	204 22.7	282 31.3
	京阪神圏	900 100	25 2.8	7 0.8	53 5.9	102 11.3	25 2.8	71 7.9	188 20.9	222 24.7	207 23.0
年代	20代	300 100	6 2.0	9 3.0	27 9.0	29 9.7	16 5.3	20 6.7	40 13.3	57 19.0	96 32.0
	30代	300 100	8 2.7	12 4.0	16 5.3	29 9.7	6 2.0	15 5.0	55 18.3	56 18.7	103 34.3
	40代	300 100	8 2.7	2 0.7	9 3.0	31 10.3	5 1.7	8 2.7	59 19.7	79 26.3	99 33.0
	50代	300 100	8 2.7	1 0.3	4 1.3	29 9.7	8 2.7	21 7.0	73 24.3	83 27.7	73 24.3
	60代	300 100	7 2.3	2 0.7	9 3.0	48 16.0	4 1.3	26 8.7	63 21.0	75 25.0	66 22.0
	70代以上	300 100	9 3.0	1 0.3	23 7.7	34 11.3	8 2.7	27 9.0	70 23.3	76 25.3	52 17.3

Q14 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、和牛肉以外の国産牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%	全 体	2倍を超える	2倍高までなら	8割高までなら	6割高までなら	4割高までなら	2割高までなら	1割高までなら	同等の価格なら	国産への	
		価格でも和牛 肉以外の国 産牛肉を選ぶ	和牛肉以外 の国産牛肉を 選ぶ	こだわりの ない							
全 体	1800 100	68 3.8	97 5.4	48 2.7	76 4.2	119 6.6	280 15.6	189 10.5	430 23.9	493 27.4	
地域	首都圏	900 100	37 4.1	44 4.9	25 2.8	27 3.0	54 6.0	129 14.3	91 10.1	211 23.4	282 31.3
	京阪神圏	900 100	31 3.4	53 5.9	23 2.6	49 5.4	65 7.2	151 16.8	98 10.9	219 24.3	211 23.4
年代	20代	300 100	10 3.3	25 8.3	17 5.7	15 5.0	26 8.7	33 11.0	22 7.3	55 18.3	97 32.3
	30代	300 100	12 4.0	13 4.3	11 3.7	16 5.3	13 4.3	48 16.0	17 5.7	70 23.3	100 33.3
	40代	300 100	9 3.0	10 3.3	6 2.0	14 4.7	11 3.7	35 11.7	37 12.3	82 27.3	96 32.0
	50代	300 100	10 3.3	10 3.3	2 0.7	10 3.3	22 7.3	51 17.0	38 12.7	82 27.3	75 25.0
	60代	300 100	12 4.0	23 7.7	7 2.3	11 3.7	18 6.0	54 18.0	33 11.0	77 25.7	65 21.7
	70代以上	300 100	15 5.0	16 5.3	5 1.7	10 3.3	29 9.7	59 19.7	42 14.0	64 21.3	60 20.0

Q15 あなたがスーパー・生協・食肉専門店などで、普段買っている「(和牛肉を含む)国産牛肉の価格帯(100gあたりの税込価格)」をお知らせ下さい。

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	99円以下	100～149円	150～199円	200～249円	250～299円	300～349円	350～399円	400～449円	450～499円
全 体		1647 100	18 1.1	62 3.8	92 5.6	137 8.3	145 8.8	132 8.0	95 5.8	82 5.0	70 4.3
地域	首都圏	810 100	10 1.2	31 3.8	40 4.9	70 8.6	72 8.9	55 6.8	41 5.1	38 4.7	28 3.5
	京阪神圏	837 100	8 1.0	31 3.7	52 6.2	67 8.0	73 8.7	77 9.2	54 6.5	44 5.3	42 5.0
年代	20代	261 100	3 1.1	14 5.4	22 8.4	27 10.3	15 5.7	22 8.4	13 5.0	10 3.8	8 3.1
	30代	266 100	5 1.9	11 4.1	19 7.1	26 9.8	30 11.3	23 8.6	9 3.4	6 2.3	7 2.6
	40代	273 100	5 1.8	10 3.7	19 7.0	27 9.9	30 11.0	27 9.9	12 4.4	11 4.0	9 3.3
	50代	277 100	4 1.4	15 5.4	16 5.8	22 7.9	20 7.2	18 6.5	17 6.1	16 5.8	9 3.2
	60代	289 100	1 0.3	8 2.8	10 3.5	24 8.3	33 11.4	21 7.3	24 8.3	21 7.3	21 7.3
	70代以上	281 100	0 0.0	4 1.4	6 2.1	11 3.9	17 6.0	21 7.5	21 7.1	20 6.4	18 5.7

度数横%		全 体	500～549円	550～599円	600～649円	650～699円	700～749円	750～799円	800～849円	850～899円	900～949円
全 体		1647 100	58 3.5	36 2.2	34 2.1	24 1.5	33 2.0	18 1.1	32 1.9	17 1.0	9 0.5
地域	首都圏	810 100	25 3.1	13 1.6	15 1.9	12 1.5	17 2.1	6 0.7	14 1.7	8 1.0	6 0.7
	京阪神圏	837 100	33 3.9	23 2.7	19 2.3	12 1.4	16 1.9	12 1.4	18 2.2	9 1.1	3 0.4
年代	20代	261 100	5 1.9	5 1.9	3 1.1	4 1.5	5 1.9	6 2.3	4 1.5	4 1.5	1 0.4
	30代	266 100	6 2.3	3 1.1	5 1.9	5 1.9	3 1.1	2 0.8	1 0.4	1 0.4	0 0.0
	40代	273 100	8 2.9	2 0.7	3 1.1	1 0.4	5 1.8	2 0.7	6 2.2	2 0.7	3 1.1
	50代	277 100	13 4.7	5 1.8	4 1.4	7 2.5	4 1.4	2 0.7	5 1.8	2 0.7	0 0.0
	60代	289 100	10 3.5	11 3.8	7 2.4	2 0.7	8 2.8	3 1.0	2 0.7	2 0.7	2 0.7
	70代以上	281 100	16 5.7	10 3.6	12 4.3	5 1.8	8 2.8	3 1.1	14 5.0	6 2.1	3 1.1

度数横%		全 体	950～999円	1000～1099円	1100～1199円	1200～1299円	1300～1399円	1400～1499円	1500円以上	購入価格を覚えていない (和牛肉を含む)国産牛肉は 購入していない
全 体		1647 100	12 0.7	16 1.0	10 0.6	7 0.4	3 0.2	2 0.1	13 0.8	490 29.8
地域	首都圏	810 100	8 1.0	5 0.6	4 0.5	3 0.4	2 0.2	2 0.2	9 1.1	276 34.1
	京阪神圏	837 100	4 0.5	11 1.3	6 0.7	4 0.5	1 0.1	0 0.0	4 0.5	214 25.6
年代	20代	261 100	1 0.4	1 0.4	2 0.8	1 0.4	0 0.0	1 0.4	3 1.1	81 31.0
	30代	266 100	1 0.4	6 2.3	2 0.8	0 0.0	1 0.4	1 0.4	5 1.9	88 33.1
	40代	273 100	1 0.4	0 0.0	2 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	87 31.9
	50代	277 100	1 0.4	0 0.0	1 0.4	2 0.7	1 0.4	0 0.0	3 1.1	90 32.5
	60代	289 100	4 1.4	5 1.7	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	68 23.5
	70代以上	281 100	4 1.4	4 1.4	2 0.7	4 1.4	1 0.4	0 0.0	0 0.0	76 27.0

Q16 牛肉について伺います。下記の原産地の牛肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	494 27.4	404 22.4	636 35.3	57 3.2	209 11.6
地域	首都圏		900 100	233 25.9	186 20.7	332 36.9	38 4.2	111 12.3
	京阪神圏		900 100	261 29.0	218 24.2	304 33.8	19 2.1	98 10.9
年代	20代		300 100	70 23.3	72 24.0	89 29.7	10 3.3	59 19.7
	30代		300 100	73 24.3	76 25.3	102 34.0	10 3.3	39 13.0
	40代		300 100	68 22.7	70 23.3	120 40.0	13 4.3	29 9.7
	50代		300 100	77 25.7	61 20.3	122 40.7	9 3.0	31 10.3
	60代		300 100	100 33.3	56 18.7	111 37.0	6 2.0	27 9.0
	70代以上		300 100	106 35.3	69 23.0	92 30.7	9 3.0	24 8.0

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	181 10.1	539 29.9	714 39.7	109 6.1	257 14.3
地域	首都圏		900 100	82 9.1	250 27.8	374 41.6	58 6.4	136 15.1
	京阪神圏		900 100	99 11.0	289 32.1	340 37.8	51 5.7	121 13.4
年代	20代		300 100	37 12.3	88 29.3	94 31.3	18 6.0	63 21.0
	30代		300 100	30 10.0	90 30.0	106 35.3	26 8.7	48 16.0
	40代		300 100	30 10.0	83 27.7	123 41.0	25 8.3	39 13.0
	50代		300 100	27 9.0	83 27.7	140 46.7	11 3.7	39 13.0
	60代		300 100	23 7.7	94 31.3	133 44.3	11 3.7	39 13.0
	70代以上		300 100	34 11.3	101 33.7	118 39.3	18 6.0	29 9.7

【3. アメリカ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	33 1.8	201 11.2	882 49.0	362 20.1	322 17.9
地域	首都圏		900 100	23 2.6	117 13.0	443 49.2	160 17.8	157 17.4
	京阪神圏		900 100	10 1.1	84 9.3	439 48.8	202 22.4	165 18.3
年代	20代		300 100	12 4.0	47 15.7	118 39.3	48 16.0	75 25.0
	30代		300 100	12 4.0	39 13.0	126 42.0	62 20.7	61 20.3
	40代		300 100	5 1.7	34 11.3	158 52.7	57 19.0	46 15.3
	50代		300 100	2 0.7	23 7.7	171 57.0	50 16.7	54 18.0
	60代		300 100	0 0.0	32 10.7	155 51.7	69 23.0	44 14.7
	70代以上		300 100	2 0.7	26 8.7	154 51.3	76 25.3	42 14.0

【4. オーストラリア産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	31	224	915	301	329
		100	1.7	12.4	50.8	16.7	18.3
地域	首都圏	900	20	125	471	124	160
		100	2.2	13.9	52.3	13.8	17.8
	京阪神圏	900	11	99	444	177	169
		100	1.2	11.0	49.3	19.7	18.8
年代	20代	300	11	54	110	47	78
		100	3.7	18.0	36.7	15.7	26.0
	30代	300	11	38	140	45	66
		100	3.7	12.7	46.7	15.0	22.0
	40代	300	5	34	167	47	47
		100	1.7	11.3	55.7	15.7	15.7
	50代	300	1	31	170	48	50
		100	0.3	10.3	56.7	16.0	16.7
	60代	300	1	36	169	52	42
		100	0.3	12.0	56.3	17.3	14.0
	70代以上	300	2	31	159	62	46
		100	0.7	10.3	53.0	20.7	15.3

【5. カナダ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	28	176	818	347	431
		100	1.6	9.8	45.4	19.3	23.9
地域	首都圏	900	18	99	423	151	209
		100	2.0	11.0	47.0	16.8	23.2
	京阪神圏	900	10	77	395	196	222
		100	1.1	8.6	43.9	21.8	24.7
年代	20代	300	9	45	114	45	87
		100	3.0	15.0	38.0	15.0	29.0
	30代	300	12	35	122	54	77
		100	4.0	11.7	40.7	18.0	25.7
	40代	300	4	28	154	54	60
		100	1.3	9.3	51.3	18.0	20.0
	50代	300	2	17	151	55	75
		100	0.7	5.7	50.3	18.3	25.0
	60代	300	1	27	146	62	64
		100	0.3	9.0	48.7	20.7	21.3
	70代以上	300	0	24	131	77	68
		100	0.0	8.0	43.7	25.7	22.7

【6. ニュージーランド産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	22	193	826	345	414
		100	1.2	10.7	45.9	19.2	23.0
地域	首都圏	900	9	118	419	154	200
		100	1.0	13.1	46.6	17.1	22.2
	京阪神圏	900	13	75	407	191	214
		100	1.4	8.3	45.2	21.2	23.8
年代	20代	300	9	52	110	46	83
		100	3.0	17.3	36.7	15.3	27.7
	30代	300	7	39	116	61	77
		100	2.3	13.0	38.7	20.3	25.7
	40代	300	3	32	160	52	53
		100	1.0	10.7	53.3	17.3	17.7
	50代	300	2	18	153	53	74
		100	0.7	6.0	51.0	17.7	24.7
	60代	300	0	27	149	64	60
		100	0.0	9.0	49.7	21.3	20.0
	70代以上	300	1	25	138	69	67
		100	0.3	8.3	46.0	23.0	22.3

【7. メキシコ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	22	123	555	580	520
		100	1.2	6.8	30.8	32.2	28.9
地域	首都圏	900	12	70	284	270	264
		100	1.3	7.8	31.6	30.0	29.3
	京阪神圏	900	10	53	271	310	256
		100	1.1	5.9	30.1	34.4	28.4
年代	20代	300	10	46	92	62	90
		100	3.3	15.3	30.7	20.7	30.0
	30代	300	8	21	96	89	86
		100	2.7	7.0	32.0	29.7	28.7
	40代	300	3	18	104	106	69
		100	1.0	6.0	34.7	35.3	23.0
	50代	300	1	13	96	94	96
		100	0.3	4.3	32.0	31.3	32.0
	60代	300	0	13	94	109	84
		100	0.0	4.3	31.3	36.3	28.0
	70代以上	300	0	12	73	120	95
		100	0.0	4.0	24.3	40.0	31.7

【8. ウルグアイ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	21	121	518	598	542
		100	1.2	6.7	28.8	33.2	30.1
地域	首都圏	900	10	72	263	276	279
		100	1.1	8.0	29.2	30.7	31.0
	京阪神圏	900	11	49	255	322	263
		100	1.2	5.4	28.3	35.8	29.2
年代	20代	300	10	43	85	68	94
		100	3.3	14.3	28.3	22.7	31.3
	30代	300	5	26	88	95	86
		100	1.7	8.7	29.3	31.7	28.7
	40代	300	4	17	94	108	77
		100	1.3	5.7	31.3	36.0	25.7
	50代	300	2	10	93	97	98
		100	0.7	3.3	31.0	32.3	32.7
	60代	300	0	13	91	109	87
		100	0.0	4.3	30.3	36.3	29.0
	70代以上	300	0	12	67	121	100
		100	0.0	4.0	22.3	40.3	33.3

【9. アルゼンチン産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	22	124	531	579	544
		100	1.2	6.9	29.5	32.2	30.2
地域	首都圏	900	11	69	270	271	279
		100	1.2	7.7	30.0	30.1	31.0
	京阪神圏	900	11	55	261	308	265
		100	1.2	6.1	29.0	34.2	29.4
年代	20代	300	9	36	103	58	94
		100	3.0	12.0	34.3	19.3	31.3
	30代	300	8	27	88	87	90
		100	2.7	9.0	29.3	29.0	30.0
	40代	300	2	21	93	108	76
		100	0.7	7.0	31.0	36.0	25.3
	50代	300	2	12	89	99	98
		100	0.7	4.0	29.7	33.0	32.7
	60代	300	1	14	91	106	88
		100	0.3	4.7	30.3	35.3	29.3
	70代以上	300	0	14	67	121	98
		100	0.0	4.7	22.3	40.3	32.7

Q17 豚肉について伺います。下記の原産地の豚肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	517 28.7	496 27.6	593 32.9	35 1.9	159 8.8
地域	首都圏		900 100	249 27.7	242 26.9	302 33.6	21 2.3	86 9.6
	京阪神圏		900 100	268 29.8	254 28.2	291 32.3	14 1.6	73 8.1
年代	20代		300 100	73 24.3	81 27.0	94 31.3	11 3.7	41 13.7
	30代		300 100	83 27.7	87 29.0	92 30.7	7 2.3	31 10.3
	40代		300 100	70 23.3	77 25.7	120 40.0	4 1.3	29 9.7
	50代		300 100	75 25.0	82 27.3	116 38.7	4 1.3	23 7.7
	60代		300 100	100 33.3	83 27.7	94 31.3	6 2.0	17 5.7
	70代以上		300 100	116 38.7	86 28.7	77 25.7	3 1.0	18 6.0

【2. アメリカ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	40 2.2	267 14.8	848 47.1	354 19.7	291 16.2
地域	首都圏		900 100	25 2.8	147 16.3	432 48.0	161 17.9	135 15.0
	京阪神圏		900 100	15 1.7	120 13.3	416 46.2	193 21.4	156 17.3
年代	20代		300 100	18 6.0	56 18.7	122 40.7	41 13.7	63 21.0
	30代		300 100	12 4.0	56 18.7	115 38.3	58 19.3	59 19.7
	40代		300 100	3 1.0	44 14.7	162 54.0	47 15.7	44 14.7
	50代		300 100	4 1.3	32 10.7	166 55.3	52 17.3	46 15.3
	60代		300 100	1 0.3	39 13.0	149 49.7	75 25.0	36 12.0
	70代以上		300 100	2 0.7	40 13.3	134 44.7	81 27.0	43 14.3

【3. カナダ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	28 1.6	233 12.9	862 47.9	346 19.2	331 18.4
地域	首都圏		900 100	16 1.8	136 15.1	440 48.9	150 16.7	158 17.6
	京阪神圏		900 100	12 1.3	97 10.8	422 46.9	196 21.8	173 19.2
年代	20代		300 100	13 4.3	52 17.3	125 41.7	45 15.0	65 21.7
	30代		300 100	9 3.0	36 12.0	139 46.3	53 17.7	63 21.0
	40代		300 100	3 1.0	45 15.0	154 51.3	40 13.3	58 19.3
	50代		300 100	2 0.7	27 9.0	169 56.3	57 19.0	45 15.0
	60代		300 100	0 0.0	35 11.7	149 49.7	65 21.7	51 17.0
	70代以上		300 100	1 0.3	38 12.7	126 42.0	86 28.7	49 16.3

【4. スペイン産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	26 1.4	207 11.5	733 40.7	428 23.8	406 22.6
地域	首都圏	900 100	16 1.8	118 13.1	378 42.0	191 21.2	197 21.9
	京阪神圏	900 100	10 1.1	89 9.9	355 39.4	237 26.3	209 23.2
年代	20代	300 100	12 4.0	48 16.0	108 36.0	57 19.0	75 25.0
	30代	300 100	5 1.7	43 14.3	120 40.0	66 22.0	66 22.0
	40代	300 100	3 1.0	36 12.0	134 44.7	65 21.7	62 20.7
	50代	300 100	4 1.3	23 7.7	143 47.7	69 23.0	61 20.3
	60代	300 100	0 0.0	29 9.7	126 42.0	78 26.0	67 22.3
	70代以上	300 100	2 0.7	28 9.3	102 34.0	93 31.0	75 25.0

【5. メキシコ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	28 1.6	153 8.5	626 34.8	550 30.6	443 24.6
地域	首都圏	900 100	16 1.8	86 9.6	321 35.7	260 28.9	217 24.1
	京阪神圏	900 100	12 1.3	67 7.4	305 33.9	290 32.2	226 25.1
年代	20代	300 100	13 4.3	48 16.0	105 35.0	60 20.0	74 24.7
	30代	300 100	10 3.3	31 10.3	101 33.7	86 28.7	72 24.0
	40代	300 100	2 0.7	27 9.0	117 39.0	88 29.3	66 22.0
	50代	300 100	2 0.7	14 4.7	117 39.0	93 31.0	74 24.7
	60代	300 100	1 0.3	16 5.3	101 33.7	108 36.0	74 24.7
	70代以上	300 100	0 0.0	17 5.7	85 28.3	115 38.3	83 27.7

【6. チリ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	20 1.1	139 7.7	602 33.4	574 31.9	465 25.8
地域	首都圏	900 100	12 1.3	81 9.0	315 35.0	264 29.3	228 25.3
	京阪神圏	900 100	8 0.9	58 6.4	287 31.9	310 34.4	237 26.3
年代	20代	300 100	10 3.3	44 14.7	105 35.0	63 21.0	78 26.0
	30代	300 100	7 2.3	26 8.7	103 34.3	85 28.3	79 26.3
	40代	300 100	1 0.3	23 7.7	115 38.3	92 30.7	69 23.0
	50代	300 100	2 0.7	16 5.3	102 34.0	101 33.7	79 26.3
	60代	300 100	0 0.0	14 4.7	99 33.0	112 37.3	75 25.0
	70代以上	300 100	0 0.0	16 5.3	78 26.0	121 40.3	85 28.3

【7. デンマーク産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	19 1.1	177 9.8	639 35.5	496 27.6	469 26.1
地域	首都圏	900 100	11 1.2	102 11.3	326 36.2	228 25.3	233 25.9
	京阪神圏	900 100	8 0.9	75 8.3	313 34.8	268 29.8	236 26.2
年代	20代	300 100	10 3.3	54 18.0	99 33.0	61 20.3	76 25.3
	30代	300 100	6 2.0	32 10.7	105 35.0	79 26.3	78 26.0
	40代	300 100	2 0.7	28 9.3	117 39.0	77 25.7	76 25.3
	50代	300 100	1 0.3	20 6.7	111 37.0	87 29.0	81 27.0
	60代	300 100	0 0.0	20 6.7	116 38.7	89 29.7	75 25.0
	70代以上	300 100	0 0.0	23 7.7	91 30.3	103 34.3	83 27.7

Q18 鶏肉について伺います。下記の原産地の鶏肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産鶏肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	539 29.9	497 27.6	554 30.8	51 2.8	159 8.8
地域	首都圏		900 100	259 28.8	249 27.7	282 31.3	24 2.7	86 9.6
	京阪神圏		900 100	280 31.1	248 27.6	272 30.2	27 3.0	73 8.1
年代	20代		300 100	69 23.0	90 30.0	84 28.0	14 4.7	43 14.3
	30代		300 100	81 27.0	91 30.3	92 30.7	8 2.7	28 9.3
	40代		300 100	78 26.0	77 25.7	109 36.3	9 3.0	27 9.0
	50代		300 100	84 28.0	78 26.0	111 37.0	4 1.3	23 7.7
	60代		300 100	107 35.7	81 27.0	83 27.7	7 2.3	22 7.3
	70代以上		300 100	120 40.0	80 26.7	75 25.0	9 3.0	16 5.3

【2. アメリカ産鶏肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	35 1.9	228 12.7	736 40.9	479 26.6	322 17.9
地域	首都圏		900 100	20 2.2	130 14.4	380 42.2	213 23.7	157 17.4
	京阪神圏		900 100	15 1.7	98 10.9	356 39.6	266 29.6	165 18.3
年代	20代		300 100	14 4.7	60 20.0	118 39.3	48 16.0	60 20.0
	30代		300 100	11 3.7	43 14.3	111 37.0	81 27.0	54 18.0
	40代		300 100	4 1.3	39 13.0	142 47.3	71 23.7	44 14.7
	50代		300 100	4 1.3	25 8.3	132 44.0	84 28.0	55 18.3
	60代		300 100	1 0.3	25 8.3	127 42.3	98 32.7	49 16.3
	70代以上		300 100	1 0.3	36 12.0	106 35.3	97 32.3	60 20.0

【3. ブラジル産鶏肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	25 1.4	172 9.6	689 38.3	582 32.3	332 18.4
地域	首都圏		900 100	15 1.7	100 11.1	351 39.0	265 29.4	169 18.8
	京阪神圏		900 100	10 1.1	72 8.0	338 37.6	317 35.2	163 18.1
年代	20代		300 100	14 4.7	50 16.7	107 35.7	61 20.3	68 22.7
	30代		300 100	7 2.3	25 8.3	121 40.3	92 30.7	55 18.3
	40代		300 100	0 0.0	30 10.0	129 43.0	94 31.3	47 15.7
	50代		300 100	3 1.0	19 6.3	123 41.0	104 34.7	51 17.0
	60代		300 100	0 0.0	19 6.3	116 38.7	111 37.0	54 18.0
	70代以上		300 100	1 0.3	29 9.7	93 31.0	120 40.0	57 19.0

【4. タイ産鶏肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800	21	154	623	617	385
			100	1.2	8.6	34.6	34.3	21.4
地域	首都圏		900	10	88	334	280	188
			100	1.1	9.8	37.1	31.1	20.9
	京阪神圏		900	11	66	289	337	197
			100	1.2	7.3	32.1	37.4	21.9
年代	20代		300	11	43	108	66	72
			100	3.7	14.3	36.0	22.0	24.0
	30代		300	7	30	105	96	62
			100	2.3	10.0	35.0	32.0	20.7
	40代		300	0	26	116	101	57
			100	0.0	8.7	38.7	33.7	19.0
	50代		300	2	20	103	115	60
		100	0.7	6.7	34.3	38.3	20.0	
60代		300	0	14	106	115	65	
		100	0.0	4.7	35.3	38.3	21.7	
70代以上		300	1	21	85	124	69	
		100	0.3	7.0	28.3	41.3	23.0	

Q19 あなたは下記の各食品の安全性について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 米】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	132 7.3	222 12.3	546 30.3	435 24.2	465 25.8
地域	首都圏		900 100	69 7.7	114 12.7	269 29.9	222 24.7	226 25.1
	京阪神圏		900 100	63 7.0	108 12.0	277 30.8	213 23.7	239 26.6
年代	20代		300 100	31 10.3	53 17.7	92 30.7	53 17.7	71 23.7
	30代		300 100	33 11.0	55 18.3	94 31.3	62 20.7	56 18.7
	40代		300 100	26 8.7	27 9.0	106 35.3	65 21.7	76 25.3
	50代		300 100	17 5.7	36 12.0	91 30.3	71 23.7	85 28.3
	60代		300 100	10 3.3	26 8.7	98 32.7	85 28.3	81 27.0
	70代以上		300 100	15 5.0	25 8.3	65 21.7	99 33.0	96 32.0

【2. パン】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	105 5.8	250 13.9	633 35.2	411 22.8	401 22.3
地域	首都圏		900 100	52 5.8	125 13.9	316 35.1	203 22.6	204 22.7
	京阪神圏		900 100	53 5.9	125 13.9	317 35.2	208 23.1	197 21.9
年代	20代		300 100	25 8.3	45 15.0	107 35.7	58 19.3	65 21.7
	30代		300 100	27 9.0	51 17.0	113 37.7	57 19.0	52 17.3
	40代		300 100	13 4.3	44 14.7	114 38.0	64 21.3	65 21.7
	50代		300 100	23 7.7	38 12.7	119 39.7	53 17.7	67 22.3
	60代		300 100	8 2.7	41 13.7	106 35.3	79 26.3	66 22.0
	70代以上		300 100	9 3.0	31 10.3	74 24.7	100 33.3	86 28.7

【3. 野菜】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	95 5.3	250 13.9	649 36.1	455 25.3	351 19.5
地域	首都圏		900 100	46 5.1	128 14.2	312 34.7	234 26.0	180 20.0
	京阪神圏		900 100	49 5.4	122 13.6	337 37.4	221 24.6	171 19.0
年代	20代		300 100	25 8.3	47 15.7	105 35.0	66 22.0	57 19.0
	30代		300 100	28 9.3	50 16.7	109 36.3	67 22.3	46 15.3
	40代		300 100	13 4.3	43 14.3	128 42.7	63 21.0	53 17.7
	50代		300 100	16 5.3	45 15.0	115 38.3	64 21.3	60 20.0
	60代		300 100	9 3.0	34 11.3	110 36.7	89 29.7	58 19.3
	70代以上		300 100	4 1.3	31 10.3	82 27.3	106 35.3	77 25.7

【4. 果物】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	81 4.5	242 13.4	658 36.6	457 25.4	362 20.1
地域	首都圏		900 100	42 4.7	120 13.3	318 35.3	235 26.1	185 20.6
	京阪神圏		900 100	39 4.3	122 13.6	340 37.8	222 24.7	177 19.7
年代	20代		300 100	18 6.0	49 16.3	114 38.0	62 20.7	57 19.0
	30代		300 100	24 8.0	46 15.3	111 37.0	64 21.3	55 18.3
	40代		300 100	12 4.0	39 13.0	130 43.3	65 21.7	54 18.0
	50代		300 100	14 4.7	38 12.7	125 41.7	66 22.0	57 19.0
	60代		300 100	9 3.0	43 14.3	103 34.3	87 29.0	58 19.3
	70代以上		300 100	4 1.3	27 9.0	75 25.0	113 37.7	81 27.0

【5. 魚介】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	104 5.8	319 17.7	644 35.8	418 23.2	315 17.5
地域	首都圏		900 100	54 6.0	158 17.6	321 35.7	204 22.7	163 18.1
	京阪神圏		900 100	50 5.6	161 17.9	323 35.9	214 23.8	152 16.9
年代	20代		300 100	26 8.7	52 17.3	110 36.7	55 18.3	57 19.0
	30代		300 100	29 9.7	61 20.3	106 35.3	62 20.7	42 14.0
	40代		300 100	18 6.0	59 19.7	119 39.7	57 19.0	47 15.7
	50代		300 100	16 5.3	57 19.0	120 40.0	56 18.7	51 17.0
	60代		300 100	11 3.7	52 17.3	107 35.7	81 27.0	49 16.3
	70代以上		300 100	4 1.3	38 12.7	82 27.3	107 35.7	69 23.0

【6. 牛肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	96 5.3	317 17.6	677 37.6	420 23.3	290 16.1
地域	首都圏		900 100	47 5.2	153 17.0	346 38.4	205 22.8	149 16.6
	京阪神圏		900 100	49 5.4	164 18.2	331 36.8	215 23.9	141 15.7
年代	20代		300 100	23 7.7	50 16.7	119 39.7	58 19.3	50 16.7
	30代		300 100	27 9.0	70 23.3	102 34.0	63 21.0	38 12.7
	40代		300 100	12 4.0	63 21.0	120 40.0	62 20.7	43 14.3
	50代		300 100	16 5.3	49 16.3	121 40.3	62 20.7	52 17.3
	60代		300 100	10 3.3	50 16.7	117 39.0	77 25.7	46 15.3
	70代以上		300 100	8 2.7	35 11.7	98 32.7	98 32.7	61 20.3

【7. 豚肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	90 5.0	304 16.9	689 38.3	426 23.7	291 16.2
地域	首都圏		900 100	45 5.0	151 16.8	338 37.6	216 24.0	150 16.7
	京阪神圏		900 100	45 5.0	153 17.0	351 39.0	210 23.3	141 15.7
年代	20代		300 100	21 7.0	56 18.7	114 38.0	61 20.3	48 16.0
	30代		300 100	28 9.3	60 20.0	108 36.0	61 20.3	43 14.3
	40代		300 100	14 4.7	50 16.7	125 41.7	68 22.7	43 14.3
	50代		300 100	15 5.0	52 17.3	122 40.7	57 19.0	54 18.0
	60代		300 100	8 2.7	50 16.7	117 39.0	81 27.0	44 14.7
	70代以上		300 100	4 1.3	36 12.0	103 34.3	98 32.7	59 19.7

【8. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	93 5.2	312 17.3	688 38.2	420 23.3	287 15.9
地域	首都圏		900 100	45 5.0	159 17.7	336 37.3	214 23.8	146 16.2
	京阪神圏		900 100	48 5.3	153 17.0	352 39.1	206 22.9	141 15.7
年代	20代		300 100	25 8.3	52 17.3	116 38.7	60 20.0	47 15.7
	30代		300 100	26 8.7	64 21.3	108 36.0	62 20.7	40 13.3
	40代		300 100	14 4.7	55 18.3	127 42.3	60 20.0	44 14.7
	50代		300 100	16 5.3	49 16.3	125 41.7	54 18.0	56 18.7
	60代		300 100	8 2.7	50 16.7	112 37.3	85 28.3	45 15.0
	70代以上		300 100	4 1.3	42 14.0	100 33.3	99 33.0	55 18.3

【9. 卵】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	97 5.4	230 12.8	649 36.1	460 25.6	364 20.2
地域	首都圏		900 100	55 6.1	112 12.4	323 35.9	228 25.3	182 20.2
	京阪神圏		900 100	42 4.7	118 13.1	326 36.2	232 25.8	182 20.2
年代	20代		300 100	21 7.0	44 14.7	118 39.3	61 20.3	56 18.7
	30代		300 100	29 9.7	35 11.7	122 40.7	62 20.7	52 17.3
	40代		300 100	16 5.3	42 14.0	118 39.3	70 23.3	54 18.0
	50代		300 100	19 6.3	42 14.0	114 38.0	61 20.3	64 21.3
	60代		300 100	6 2.0	37 12.3	108 36.0	91 30.3	58 19.3
	70代以上		300 100	6 2.0	30 10.0	69 23.0	115 38.3	80 26.7

【10. 牛乳】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800	81	203	652	482	382
			100	4.5	11.3	36.2	26.8	21.2
地域	首都圏		900	46	102	312	253	187
			100	5.1	11.3	34.7	28.1	20.8
	京阪神圏		900	35	101	340	229	195
			100	3.9	11.2	37.8	25.4	21.7
年代	20代		300	17	31	127	69	56
			100	5.7	10.3	42.3	23.0	18.7
	30代		300	24	45	118	57	56
			100	8.0	15.0	39.3	19.0	18.7
	40代		300	12	39	113	80	56
			100	4.0	13.0	37.7	26.7	18.7
	50代		300	14	36	115	63	72
		100	4.7	12.0	38.3	21.0	24.0	
	60代		300	7	25	105	108	55
			100	2.3	8.3	35.0	36.0	18.3
	70代以上		300	7	27	74	105	87
			100	2.3	9.0	24.7	35.0	29.0

【11. 食肉加工品（ハム、ソーセージ、ベーコン等）】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800	190	373	615	354	268
			100	10.6	20.7	34.2	19.7	14.9
地域	首都圏		900	91	182	306	184	137
			100	10.1	20.2	34.0	20.4	15.2
	京阪神圏		900	99	191	309	170	131
			100	11.0	21.2	34.3	18.9	14.6
年代	20代		300	32	56	103	58	51
			100	10.7	18.7	34.3	19.3	17.0
	30代		300	34	67	114	44	41
			100	11.3	22.3	38.0	14.7	13.7
	40代		300	35	67	114	49	35
			100	11.7	22.3	38.0	16.3	11.7
	50代		300	38	57	106	54	45
		100	12.7	19.0	35.3	18.0	15.0	
	60代		300	35	64	95	66	40
			100	11.7	21.3	31.7	22.0	13.3
	70代以上		300	16	62	83	83	56
			100	5.3	20.7	27.7	27.7	18.7

【12. 乳製品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800	81	224	704	446	345
			100	4.5	12.4	39.1	24.8	19.2
地域	首都圏		900	41	109	349	233	168
			100	4.6	12.1	38.8	25.9	18.7
	京阪神圏		900	40	115	355	213	177
			100	4.4	12.8	39.4	23.7	19.7
年代	20代		300	24	38	120	60	58
			100	8.0	12.7	40.0	20.0	19.3
	30代		300	21	55	119	57	48
			100	7.0	18.3	39.7	19.0	16.0
	40代		300	10	39	125	74	52
			100	3.3	13.0	41.7	24.7	17.3
	50代		300	16	31	126	66	61
		100	5.3	10.3	42.0	22.0	20.3	
	60代		300	5	37	112	93	53
			100	1.7	12.3	37.3	31.0	17.7
	70代以上		300	5	24	102	96	73
			100	1.7	8.0	34.0	32.0	24.3

【13. 植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、牛丼、焼き肉用カルビ等）】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	106 5.9	314 17.4	738 41.0	350 19.4	292 16.2
地域	首都圏	900 100	49 5.4	155 17.2	370 41.1	177 19.7	149 16.6
	京阪神圏	900 100	57 6.3	159 17.7	368 40.9	173 19.2	143 15.9
年代	20代	300 100	21 7.0	56 18.7	117 39.0	48 16.0	58 19.3
	30代	300 100	19 6.3	62 20.7	122 40.7	49 16.3	48 16.0
	40代	300 100	14 4.7	47 15.7	136 45.3	56 18.7	47 15.7
	50代	300 100	25 8.3	38 12.7	132 44.0	57 19.0	48 16.0
	60代	300 100	18 6.0	54 18.0	123 41.0	68 22.7	37 12.3
	70代以上	300 100	9 3.0	57 19.0	108 36.0	72 24.0	54 18.0

【14. 冷凍食品】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	115 6.4	290 16.1	687 38.2	399 22.2	309 17.2
地域	首都圏	900 100	52 5.8	144 16.0	347 38.6	197 21.9	160 17.8
	京阪神圏	900 100	63 7.0	146 16.2	340 37.8	202 22.4	149 16.6
年代	20代	300 100	22 7.3	46 15.3	104 34.7	77 25.7	51 17.0
	30代	300 100	24 8.0	60 20.0	113 37.7	55 18.3	48 16.0
	40代	300 100	21 7.0	49 16.3	127 42.3	52 17.3	51 17.0
	50代	300 100	19 6.3	53 17.7	118 39.3	57 19.0	53 17.7
	60代	300 100	19 6.3	48 16.0	115 38.3	74 24.7	44 14.7
	70代以上	300 100	10 3.3	34 11.3	110 36.7	84 28.0	62 20.7

【15. インスタント麺（カップ麺・袋麺等）】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	178 9.9	353 19.6	669 37.2	325 18.1	275 15.3
地域	首都圏	900 100	88 9.8	173 19.2	341 37.9	160 17.8	138 15.3
	京阪神圏	900 100	90 10.0	180 20.0	328 36.4	165 18.3	137 15.2
年代	20代	300 100	27 9.0	46 15.3	118 39.3	57 19.0	52 17.3
	30代	300 100	38 12.7	55 18.3	120 40.0	44 14.7	43 14.3
	40代	300 100	33 11.0	59 19.7	114 38.0	48 16.0	46 15.3
	50代	300 100	34 11.3	58 19.3	119 39.7	48 16.0	41 13.7
	60代	300 100	29 9.7	76 25.3	98 32.7	57 19.0	40 13.3
	70代以上	300 100	17 5.7	59 19.7	100 33.3	71 23.7	53 17.7

【16. 弁当・惣菜類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	149 8.3	331 18.4	719 39.9	343 19.1	258 14.3
地域	首都圏		900 100	74 8.2	165 18.3	352 39.1	178 19.8	131 14.6
	京阪神圏		900 100	75 8.3	166 18.4	367 40.8	165 18.3	127 14.1
年代	20代		300 100	24 8.0	50 16.7	117 39.0	62 20.7	47 15.7
	30代		300 100	31 10.3	65 21.7	113 37.7	49 16.3	42 14.0
	40代		300 100	28 9.3	51 17.0	118 39.3	60 20.0	43 14.3
	50代		300 100	28 9.3	54 18.0	133 44.3	44 14.7	41 13.7
	60代		300 100	24 8.0	66 22.0	115 38.3	57 19.0	38 12.7
	70代以上		300 100	14 4.7	45 15.0	123 41.0	71 23.7	47 15.7

【17. ファストフード】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	193 10.7	379 21.1	674 37.4	308 17.1	246 13.7
地域	首都圏		900 100	90 10.0	190 21.1	333 37.0	161 17.9	126 14.0
	京阪神圏		900 100	103 11.4	189 21.0	341 37.9	147 16.3	120 13.3
年代	20代		300 100	30 10.0	54 18.0	113 37.7	55 18.3	48 16.0
	30代		300 100	36 12.0	70 23.3	113 37.7	42 14.0	39 13.0
	40代		300 100	32 10.7	54 18.0	121 40.3	52 17.3	41 13.7
	50代		300 100	39 13.0	64 21.3	117 39.0	40 13.3	40 13.3
	60代		300 100	36 12.0	78 26.0	100 33.3	49 16.3	37 12.3
	70代以上		300 100	20 6.7	59 19.7	110 36.7	70 23.3	41 13.7

【18. 菓子類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	130 7.2	295 16.4	724 40.2	362 20.1	289 16.1
地域	首都圏		900 100	64 7.1	147 16.3	353 39.2	193 21.4	143 15.9
	京阪神圏		900 100	66 7.3	148 16.4	371 41.2	169 18.8	146 16.2
年代	20代		300 100	23 7.7	49 16.3	113 37.7	69 23.0	46 15.3
	30代		300 100	29 9.7	54 18.0	130 43.3	46 15.3	41 13.7
	40代		300 100	21 7.0	46 15.3	132 44.0	55 18.3	46 15.3
	50代		300 100	30 10.0	46 15.3	130 43.3	46 15.3	48 16.0
	60代		300 100	17 5.7	62 20.7	106 35.3	69 23.0	46 15.3
	70代以上		300 100	10 3.3	38 12.7	113 37.7	77 25.7	62 20.7

Q20 次にあげる食肉等の安全性の問題について、あなたはどの程度関心がありますか。それぞれの事項について、最もあてはまるものを1つお選びください。

【1. 食肉中の残留抗生物質】

		度数 権%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	213 11.8	533 29.6	562 31.2	306 17.0	186 10.3
地域	首都圏		900 100	103 11.4	262 29.1	287 31.9	157 17.4	91 10.1
	京阪神圏		900 100	110 12.2	271 30.1	275 30.6	149 16.6	95 10.6
年代	20代		300 100	26 8.7	69 23.0	92 30.7	58 19.3	55 18.3
	30代		300 100	35 11.7	90 30.0	85 28.3	48 16.0	42 14.0
	40代		300 100	23 7.7	83 27.7	96 32.0	70 23.3	28 9.3
	50代		300 100	30 10.0	91 30.3	106 35.3	52 17.3	21 7.0
	60代		300 100	33 11.0	97 32.3	108 36.0	38 12.7	24 8.0
	70代以上		300 100	66 22.0	103 34.3	75 25.0	40 13.3	16 5.3

【2. 食肉中の残留動物薬】

		度数 権%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	217 12.1	526 29.2	588 32.7	279 15.5	190 10.6
地域	首都圏		900 100	103 11.4	255 28.3	301 33.4	150 16.7	91 10.1
	京阪神圏		900 100	114 12.7	271 30.1	287 31.9	129 14.3	99 11.0
年代	20代		300 100	24 8.0	70 23.3	101 33.7	49 16.3	56 18.7
	30代		300 100	33 11.0	88 29.3	94 31.3	43 14.3	42 14.0
	40代		300 100	25 8.3	79 26.3	102 34.0	63 21.0	31 10.3
	50代		300 100	33 11.0	88 29.3	109 36.3	47 15.7	23 7.7
	60代		300 100	37 12.3	95 31.7	104 34.7	41 13.7	23 7.7
	70代以上		300 100	65 21.7	106 35.3	78 26.0	36 12.0	15 5.0

【3. 遺伝子組換え飼料を用いた食肉】

		度数 権%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	243 13.5	506 28.1	599 33.3	280 15.6	172 9.6
地域	首都圏		900 100	116 12.9	243 27.0	301 33.4	149 16.6	91 10.1
	京阪神圏		900 100	127 14.1	263 29.2	298 33.1	131 14.6	81 9.0
年代	20代		300 100	28 9.3	60 20.0	108 36.0	53 17.7	51 17.0
	30代		300 100	36 12.0	79 26.3	111 37.0	39 13.0	35 11.7
	40代		300 100	31 10.3	81 27.0	104 34.7	55 18.3	29 9.7
	50代		300 100	35 11.7	88 29.3	104 34.7	54 18.0	19 6.3
	60代		300 100	44 14.7	98 32.7	96 32.0	37 12.3	25 8.3
	70代以上		300 100	69 23.0	100 33.3	76 25.3	42 14.0	13 4.3

【4. ゲノム編集飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	235 13.1	480 26.7	596 33.1	297 16.5	192 10.7
地域	首都圏		900 100	109 12.1	232 25.8	300 33.3	163 18.1	96 10.7
	京阪神圏		900 100	126 14.0	248 27.6	296 32.9	134 14.9	96 10.7
年代	20代		300 100	27 9.0	66 22.0	100 33.3	55 18.3	52 17.3
	30代		300 100	35 11.7	72 24.0	101 33.7	52 17.3	40 13.3
	40代		300 100	28 9.3	78 26.0	102 34.0	56 18.7	36 12.0
	50代		300 100	35 11.7	81 27.0	110 36.7	50 16.7	24 8.0
	60代		300 100	41 13.7	92 30.7	98 32.7	47 15.7	22 7.3
	70代以上		300 100	69 23.0	91 30.3	85 28.3	37 12.3	18 6.0

【5. 牛のBSE（牛海綿状脳症）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	327 18.2	495 27.5	572 31.8	236 13.1	170 9.4
地域	首都圏		900 100	159 17.7	251 27.9	287 31.9	120 13.3	83 9.2
	京阪神圏		900 100	168 18.7	244 27.1	285 31.7	116 12.9	87 9.7
年代	20代		300 100	29 9.7	59 19.7	110 36.7	52 17.3	50 16.7
	30代		300 100	40 13.3	83 27.7	96 32.0	39 13.0	42 14.0
	40代		300 100	41 13.7	76 25.3	114 38.0	41 13.7	28 9.3
	50代		300 100	49 16.3	87 29.0	103 34.3	43 14.3	18 6.0
	60代		300 100	65 21.7	97 32.3	86 28.7	34 11.3	18 6.0
	70代以上		300 100	103 34.3	93 31.0	63 21.0	27 9.0	14 4.7

【6. 成形肉・牛脂注入肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	278 15.4	504 28.0	593 32.9	247 13.7	178 9.9
地域	首都圏		900 100	140 15.6	260 28.9	279 31.0	133 14.8	88 9.8
	京阪神圏		900 100	138 15.3	244 27.1	314 34.9	114 12.7	90 10.0
年代	20代		300 100	30 10.0	58 19.3	107 35.7	54 18.0	51 17.0
	30代		300 100	38 12.7	74 24.7	108 36.0	40 13.3	40 13.3
	40代		300 100	42 14.0	64 21.3	114 38.0	50 16.7	30 10.0
	50代		300 100	38 12.7	99 33.0	100 33.3	45 15.0	18 6.0
	60代		300 100	51 17.0	103 34.3	94 31.3	31 10.3	21 7.0
	70代以上		300 100	79 26.3	106 35.3	70 23.3	27 9.0	18 6.0

【7. 食肉の放射能汚染】

		度数 標%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	280 15.6	498 27.7	594 33.0	256 14.2	172 9.6
地域	首都圏		900 100	143 15.9	240 26.7	304 33.8	133 14.8	80 8.9
	京阪神圏		900 100	137 15.2	258 28.7	290 32.2	123 13.7	92 10.2
年代	20代		300 100	23 7.7	73 24.3	101 33.7	51 17.0	52 17.3
	30代		300 100	32 10.7	85 28.3	101 33.7	39 13.0	43 14.3
	40代		300 100	34 11.3	71 23.7	115 38.3	54 18.0	26 8.7
	50代		300 100	41 13.7	84 28.0	112 37.3	44 14.7	19 6.3
	60代		300 100	59 19.7	90 30.0	99 33.0	34 11.3	18 6.0
	70代以上		300 100	91 30.3	95 31.7	66 22.0	34 11.3	14 4.7

【8. 牛・豚の口蹄疫】

		度数 標%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	302 16.8	492 27.3	595 33.1	234 13.0	177 9.8
地域	首都圏		900 100	155 17.2	236 26.2	294 32.7	130 14.4	85 9.4
	京阪神圏		900 100	147 16.3	256 28.4	301 33.4	104 11.6	92 10.2
年代	20代		300 100	30 10.0	60 20.0	107 35.7	53 17.7	50 16.7
	30代		300 100	36 12.0	82 27.3	104 34.7	38 12.7	40 13.3
	40代		300 100	42 14.0	66 22.0	112 37.3	46 15.3	34 11.3
	50代		300 100	37 12.3	90 30.0	114 38.0	39 13.0	20 6.7
	60代		300 100	55 18.3	99 33.0	97 32.3	33 11.0	16 5.3
	70代以上		300 100	102 34.0	95 31.7	61 20.3	25 8.3	17 5.7

【9. 豚熱】

		度数 標%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	283 15.7	481 26.7	611 33.9	243 13.5	182 10.1
地域	首都圏		900 100	142 15.8	239 26.6	297 33.0	133 14.8	89 9.9
	京阪神圏		900 100	141 15.7	242 26.9	314 34.9	110 12.2	93 10.3
年代	20代		300 100	31 10.3	72 24.0	95 31.7	51 17.0	51 17.0
	30代		300 100	34 11.3	78 26.0	112 37.3	39 13.0	37 12.3
	40代		300 100	35 11.7	57 19.0	122 40.7	53 17.7	33 11.0
	50代		300 100	38 12.7	85 28.3	118 39.3	39 13.0	20 6.7
	60代		300 100	49 16.3	92 30.7	102 34.0	38 12.7	19 6.3
	70代以上		300 100	96 32.0	97 32.3	62 20.7	23 7.7	22 7.3

【10. アフリカ豚熱】

		度数 権%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800	288	459	614	251	188	
		100	16.0	25.5	34.1	13.9	10.4	
地域	首都圏	900	157	207	316	130	90	
		100	17.4	23.0	35.1	14.4	10.0	
	京阪神圏	900	131	252	298	121	98	
		100	14.6	28.0	33.1	13.4	10.9	
年代	20代	300	28	63	105	56	48	
		100	9.3	21.0	35.0	18.7	16.0	
	30代	300	39	70	111	41	39	
		100	13.0	23.3	37.0	13.7	13.0	
	40代	300	32	68	114	51	35	
		100	10.7	22.7	38.0	17.0	11.7	
	50代	300	40	85	114	42	19	
	100	13.3	28.3	38.0	14.0	6.3		
	60代	300	51	80	105	40	24	
		100	17.0	26.7	35.0	13.3	8.0	
	70代以上	300	98	93	65	21	23	
		100	32.7	31.0	21.7	7.0	7.7	

【11. 鳥インフルエンザ】

		度数 権%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800	379	580	535	177	129	
		100	21.1	32.2	29.7	9.8	7.2	
地域	首都圏	900	192	285	269	89	65	
		100	21.3	31.7	29.9	9.9	7.2	
	京阪神圏	900	187	295	266	88	64	
		100	20.8	32.8	29.6	9.8	7.1	
年代	20代	300	33	82	111	39	35	
		100	11.0	27.3	37.0	13.0	11.7	
	30代	300	43	90	104	29	34	
		100	14.3	30.0	34.7	9.7	11.3	
	40代	300	52	93	99	37	19	
		100	17.3	31.0	33.0	12.3	6.3	
	50代	300	57	99	100	28	16	
	100	19.0	33.0	33.3	9.3	5.3		
	60代	300	73	115	74	28	10	
		100	24.3	38.3	24.7	9.3	3.3	
	70代以上	300	121	101	47	16	15	
		100	40.3	33.7	15.7	5.3	5.0	

【12. 食肉中の食中毒菌

(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など) の汚染】

		度数 権%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800	392	539	534	196	139	
		100	21.8	29.9	29.7	10.9	7.7	
地域	首都圏	900	200	273	253	103	71	
		100	22.2	30.3	28.1	11.4	7.9	
	京阪神圏	900	192	266	281	93	68	
		100	21.3	29.6	31.2	10.3	7.6	
年代	20代	300	32	76	111	48	33	
		100	10.7	25.3	37.0	16.0	11.0	
	30代	300	52	93	87	34	34	
		100	17.3	31.0	29.0	11.3	11.3	
	40代	300	55	80	99	43	23	
		100	18.3	26.7	33.0	14.3	7.7	
	50代	300	58	92	99	34	17	
	100	19.3	30.7	33.0	11.3	5.7		
	60代	300	75	108	80	23	14	
		100	25.0	36.0	26.7	7.7	4.7	
	70代以上	300	120	90	58	14	18	
		100	40.0	30.0	19.3	4.7	6.0	

【13. 食肉の生食】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体		1800		356	491	545	221	187
		100		19.8	27.3	30.3	12.3	10.4
地域	首都圏	900		170	243	266	125	96
		100		18.9	27.0	29.6	13.9	10.7
	京阪神圏	900		186	248	279	96	91
		100		20.7	27.6	31.0	10.7	10.1
年代	20代	300		41	80	101	40	38
		100		13.7	26.7	33.7	13.3	12.7
	30代	300		46	80	93	43	38
		100		15.3	26.7	31.0	14.3	12.7
	40代	300		54	69	105	46	26
		100		18.0	23.0	35.0	15.3	8.7
	50代	300		46	84	103	42	25
	100		15.3	28.0	34.3	14.0	8.3	
60代	300		67	90	85	30	28	
	100		22.3	30.0	28.3	10.0	9.3	
70代以上	300		102	88	58	20	32	
	100		34.0	29.3	19.3	6.7	10.7	

【14. 食肉の産地偽装】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体		1800		389	519	560	186	146
		100		21.6	28.8	31.1	10.3	8.1
地域	首都圏	900		189	259	278	101	73
		100		21.0	28.8	30.9	11.2	8.1
	京阪神圏	900		200	260	282	85	73
		100		22.2	28.9	31.3	9.4	8.1
年代	20代	300		31	74	102	48	45
		100		10.3	24.7	34.0	16.0	15.0
	30代	300		43	83	107	31	36
		100		14.3	27.7	35.7	10.3	12.0
	40代	300		55	83	107	33	22
		100		18.3	27.7	35.7	11.0	7.3
	50代	300		60	85	107	35	13
	100		20.0	28.3	35.7	11.7	4.3	
60代	300		83	95	83	25	14	
	100		27.7	31.7	27.7	8.3	4.7	
70代以上	300		117	99	54	14	16	
	100		39.0	33.0	18.0	4.7	5.3	

【15. 食肉の消費期限改ざん】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体		1800		404	542	550	162	142
		100		22.4	30.1	30.6	9.0	7.9
地域	首都圏	900		196	273	270	86	75
		100		21.8	30.3	30.0	9.6	8.3
	京阪神圏	900		208	269	280	76	67
		100		23.1	29.9	31.1	8.4	7.4
年代	20代	300		31	82	111	34	42
		100		10.3	27.3	37.0	11.3	14.0
	30代	300		52	83	106	26	33
		100		17.3	27.7	35.3	8.7	11.0
	40代	300		54	89	104	32	21
		100		18.0	29.7	34.7	10.7	7.0
	50代	300		57	91	103	34	15
	100		19.0	30.3	34.3	11.3	5.0	
60代	300		85	100	80	20	15	
	100		28.3	33.3	26.7	6.7	5.0	
70代以上	300		125	97	46	16	16	
	100		41.7	32.3	15.3	5.3	5.3	

【16. 牛肉・豚肉の発がん性】

		度数 標%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	365 20.3	505 28.1	578 32.1	192 10.7	160 8.9
地域	首都圏		900 100	182 20.2	249 27.7	285 31.7	102 11.3	82 9.1
	京阪神圏		900 100	183 20.3	256 28.4	293 32.6	90 10.0	78 8.7
年代	20代		300 100	30 10.0	83 27.7	103 34.3	40 13.3	44 14.7
	30代		300 100	45 15.0	78 26.0	109 36.3	32 10.7	36 12.0
	40代		300 100	48 16.0	73 24.3	114 38.0	38 12.7	27 9.0
	50代		300 100	57 19.0	84 28.0	111 37.0	30 10.0	18 6.0
	60代		300 100	70 23.3	98 32.7	84 28.0	32 10.7	16 5.3
	70代以上		300 100	115 38.3	89 29.7	57 19.0	20 6.7	19 6.3

【17. 豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性】

		度数 標%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	390 21.7	511 28.4	567 31.5	176 9.8	156 8.7
地域	首都圏		900 100	189 21.0	265 29.4	272 30.2	92 10.2	82 9.1
	京阪神圏		900 100	201 22.3	246 27.3	295 32.8	84 9.3	74 8.2
年代	20代		300 100	28 9.3	74 24.7	116 38.7	38 12.7	44 14.7
	30代		300 100	48 16.0	79 26.3	99 33.0	38 12.7	36 12.0
	40代		300 100	61 20.3	68 22.7	112 37.3	32 10.7	27 9.0
	50代		300 100	68 22.7	84 28.0	101 33.7	31 10.3	16 5.3
	60代		300 100	75 25.0	103 34.3	83 27.7	23 7.7	16 5.3
	70代以上		300 100	110 36.7	103 34.3	56 18.7	14 4.7	17 5.7

【18. 植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、牛丼、焼き肉用カルビ等）】

		度数 標%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	228 12.7	476 26.4	672 37.3	238 13.2	186 10.3
地域	首都圏		900 100	114 12.7	232 25.8	334 37.1	128 14.2	92 10.2
	京阪神圏		900 100	114 12.7	244 27.1	338 37.6	110 12.2	94 10.4
年代	20代		300 100	21 7.0	73 24.3	118 39.3	43 14.3	45 15.0
	30代		300 100	33 11.0	72 24.0	109 36.3	42 14.0	44 14.7
	40代		300 100	32 10.7	55 18.3	138 46.0	44 14.7	31 10.3
	50代		300 100	38 12.7	76 25.3	122 40.7	42 14.0	22 7.3
	60代		300 100	39 13.0	89 29.7	109 36.3	40 13.3	23 7.7
	70代以上		300 100	65 21.7	111 37.0	76 25.3	27 9.0	21 7.0

【19. 細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800	283	473	641	216	187
			100	15.7	26.3	35.6	12.0	10.4
地域	首都圏		900	133	236	322	113	96
			100	14.8	26.2	35.8	12.6	10.7
	京阪神圏		900	150	237	319	103	91
			100	16.7	26.3	35.4	11.4	10.1
年代	20代		300	21	84	109	43	43
			100	7.0	28.0	36.3	14.3	14.3
	30代		300	36	66	117	39	42
			100	12.0	22.0	39.0	13.0	14.0
	40代		300	37	68	123	38	34
			100	12.3	22.7	41.0	12.7	11.3
	50代		300	43	76	123	38	20
		100	14.3	25.3	41.0	12.7	6.7	
	60代		300	54	91	97	34	24
			100	18.0	30.3	32.3	11.3	8.0
	70代以上		300	92	88	72	24	24
			100	30.7	29.3	24.0	8.0	8.0

Q21 では、次にあげる食肉等の安全性の問題について、あなたは不安を感じますか。
不安を感じるものを3つまでお選びください。

	度数 横%	全 体	食肉中の 残留抗生物質	食肉中の 残留動物薬	遺伝子組換え飼料 を用いた食肉	ゲノム編集飼料を 用いた食肉	牛のBSE (牛海綿状脳症)	成形肉・ 牛脂注入肉	食肉の 放射能汚染
		全 体	1800 100	327 18.2	218 12.1	252 14.0	147 8.2	358 19.9	147 8.2
地域	首都圏	900 100	166 18.4	116 12.9	121 13.4	70 7.8	184 20.4	65 7.2	86 9.6
	京阪神圏	900 100	161 17.9	102 11.3	131 14.6	77 8.6	174 19.3	82 9.1	80 8.9
年代	20代	300 100	25 8.3	30 10.0	33 11.0	19 6.3	31 10.3	24 8.0	23 7.7
	30代	300 100	45 15.0	32 10.7	39 13.0	27 9.0	39 13.0	25 8.3	24 8.0
	40代	300 100	41 13.7	34 11.3	40 13.3	27 9.0	50 16.7	20 6.7	22 7.3
	50代	300 100	60 20.0	32 10.7	39 13.0	27 9.0	62 20.7	18 6.0	22 7.3
	60代	300 100	71 23.7	35 11.7	46 15.3	24 8.0	69 23.0	36 12.0	37 12.3
	70代以上	300 100	85 28.3	55 18.3	55 18.3	23 7.7	107 35.7	24 8.0	38 12.7

	度数 横%	全 体	牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	鳥インフルエンザ	食肉中の食中毒 菌の汚染(サルモネラ、 カンジダ、腸管 出血性大腸菌 などの汚染)	食肉の生食	食肉の産地偽装
		全 体	1800 100	155 8.6	66 3.7	71 3.9	442 24.6	327 18.2	154 8.6
地域	首都圏	900 100	77 8.6	30 3.3	41 4.6	241 26.8	163 18.1	70 7.8	61 6.8
	京阪神圏	900 100	78 8.7	36 4.0	30 3.3	201 22.3	164 18.2	84 9.3	77 8.6
年代	20代	300 100	18 6.0	14 4.7	10 3.3	57 19.0	44 14.7	22 7.3	12 4.0
	30代	300 100	11 3.7	11 3.7	9 3.0	58 19.3	46 15.3	26 8.7	25 8.3
	40代	300 100	13 4.3	8 2.7	14 4.7	81 27.0	59 19.7	24 8.0	28 9.3
	50代	300 100	23 7.7	9 3.0	10 3.3	73 24.3	57 19.0	20 6.7	27 9.0
	60代	300 100	32 10.7	12 4.0	17 5.7	95 31.7	63 21.0	32 10.7	22 7.3
	70代以上	300 100	58 19.3	12 4.0	11 3.7	78 26.0	58 19.3	30 10.0	24 8.0

	度数 横%	全 体	食肉の消費 期限改ざん	牛肉・豚肉の 発がん性	豚肉加工品 (ハム・ソーセージ) の発がん性	植物肉 (大豆ミート食品類 ／ルバーグ、バー ガー・パテ、牛丼、焼 き肉用加圧等)	細胞培養肉 (食用動物の細胞 を人工培養して 生産する食肉)	不安を感じる ものはない
		全 体	1800 100	213 11.8	154 8.6	214 11.9	37 2.1	88 4.9
地域	首都圏	900 100	109 12.1	83 9.2	108 12.0	22 2.4	47 5.2	203 22.6
	京阪神圏	900 100	104 11.6	71 7.9	106 11.8	15 1.7	41 4.6	198 22.0
年代	20代	300 100	23 7.7	20 6.7	20 6.7	7 2.3	5 1.7	105 35.0
	30代	300 100	45 15.0	28 9.3	33 11.0	6 2.0	13 4.3	83 27.7
	40代	300 100	40 13.3	27 9.0	40 13.3	2 0.7	12 4.0	76 25.3
	50代	300 100	40 13.3	32 10.7	51 17.0	9 3.0	21 7.0	64 21.3
	60代	300 100	39 13.0	29 9.7	47 15.7	5 1.7	15 5.0	39 13.0
	70代以上	300 100	26 8.7	18 6.0	23 7.7	8 2.7	22 7.3	34 11.3

Q22 「家畜伝染病」についてお伺いします。

悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

あなたは、このこと（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）をどの程度ご存じですか。最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体		1800 100	77 4.3	387 21.5	499 27.7	401 22.3	185 10.3	251 13.9
地域	首都圏	900 100	40 4.4	188 20.9	239 26.6	208 23.1	94 10.4	131 14.6
	京阪神圏	900 100	37 4.1	199 22.1	260 28.9	193 21.4	91 10.1	120 13.3
年代	20代	300 100	17 5.7	72 24.0	54 18.0	56 18.7	37 12.3	64 21.3
	30代	300 100	22 7.3	64 21.3	73 24.3	57 19.0	26 8.7	58 19.3
	40代	300 100	11 3.7	53 17.7	68 22.7	80 26.7	40 13.3	48 16.0
	50代	300 100	7 2.3	41 13.7	107 35.7	78 26.0	29 9.7	38 12.7
	60代	300 100	6 2.0	79 26.3	93 31.0	70 23.3	27 9.0	25 8.3
	70代以上	300 100	14 4.7	78 26.0	104 34.7	60 20.0	26 8.7	18 6.0

Q23 豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いと、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

		全 体	豚熱は、豚やいのししの病気で、人に感染することはない	豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない	仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱のワクチンを接種した豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱の予防ワクチンはあるが、有効な治療法は今のところない	日本では平成30年9月に26年ぶりに発生し、現在も発生が続いている	日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている	その他	知っているものはない
全 体		1800 100	255 14.2	281 15.6	179 9.9	153 8.5	153 8.5	141 7.8	191 10.6	3 0.2	1120 62.2
地域	首都圏	900 100	126 14.0	143 15.9	83 9.2	77 8.6	75 8.3	75 8.3	97 10.8	2 0.2	569 63.2
	京阪神圏	900 100	129 14.3	138 15.3	96 10.7	76 8.4	78 8.7	66 7.3	94 10.4	1 0.1	551 61.2
年代	20代	300 100	48 16.0	52 17.3	34 11.3	27 9.0	31 10.3	25 8.3	25 8.3	1 0.3	163 54.3
	30代	300 100	40 13.3	60 20.0	38 12.7	37 12.3	32 10.7	29 9.7	34 11.3	0 0.0	175 58.3
	40代	300 100	35 11.7	46 15.3	29 9.7	24 8.0	24 8.0	23 7.7	24 8.0	0 0.0	199 66.3
	50代	300 100	39 13.0	32 10.7	31 10.3	17 5.7	18 6.0	19 6.3	27 9.0	1 0.3	202 67.3
	60代	300 100	46 15.3	35 11.7	20 6.7	25 8.3	18 6.0	20 6.7	26 8.7	0 0.0	203 67.7
	70代以上	300 100	47 15.7	56 18.7	27 9.0	23 7.7	30 10.0	25 8.3	55 18.3	1 0.3	178 59.3

Q24 アフリカ豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「アフリカ豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いと、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

		全 体	アフリカ豚熱は、豚やいのししの病気で、人に感染することはない	アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない	仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない	アフリカ豚熱は、豚熱とは全く別の病気である	アフリカ豚熱に有効なワクチンや治療法は今のところない	日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている	その他	知っているものはない
全 体		1800 100	190 10.6	201 11.2	135 7.5	95 5.3	124 6.9	143 7.9	0 0.0	1283 71.3
地域	首都圏	900 100	94 10.4	100 11.1	62 6.9	52 5.8	60 6.7	61 6.8	0 0.0	653 72.6
	京阪神圏	900 100	96 10.7	101 11.2	73 8.1	43 4.8	64 7.1	82 9.1	0 0.0	630 70.0
年代	20代	300 100	48 16.0	58 19.3	35 11.7	21 7.0	26 8.7	18 6.0	0 0.0	175 58.3
	30代	300 100	38 12.7	49 16.3	30 10.0	23 7.7	24 8.0	22 7.3	0 0.0	197 65.7
	40代	300 100	26 8.7	27 9.0	23 7.7	17 5.7	18 6.0	19 6.3	0 0.0	224 74.7
	50代	300 100	26 8.7	18 6.0	18 6.0	11 3.7	17 5.7	20 6.7	0 0.0	234 78.0
	60代	300 100	25 8.3	21 7.0	15 5.0	11 3.7	16 5.3	20 6.7	0 0.0	236 78.7
	70代以上	300 100	27 9.0	28 9.3	14 4.7	12 4.0	23 7.7	44 14.7	0 0.0	217 72.3

Q25 鳥インフルエンザについて知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「高病原性鳥インフルエンザ」は、世界中で発生が確認され、家きん（鶏など）に対する伝染力が強いいため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家きんを直ちに殺処分することとされています。

		全 体	これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない	鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない	市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている	日本では、昨年か今年にかけて約50件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった	日本では、鳥インフルエンザワクチンの予防的接種が認められていないが、導入に関する検討が行われている	日本では鳥インフルエンザの侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの家きん（鶏、あひるなど）及びその製品の持込みが規制されている	その他	知っているものはない
全 体		1800 100	352 19.6	318 17.7	315 17.5	326 18.1	125 6.9	265 14.7	1 0.1	845 46.9
地域	首都圏	900 100	168 18.7	152 16.9	163 18.1	178 19.8	64 7.1	129 14.3	1 0.1	428 47.6
	京阪神圏	900 100	184 20.4	166 18.4	152 16.9	148 16.4	61 6.8	136 15.1	0 0.0	417 46.3
年代	20代	300 100	43 14.3	61 20.3	53 17.7	34 11.3	22 7.3	30 10.0	0 0.0	143 47.7
	30代	300 100	53 17.7	62 20.7	56 18.7	57 19.0	26 8.7	40 13.3	0 0.0	147 49.0
	40代	300 100	58 19.3	51 17.0	39 13.0	38 12.7	19 6.3	33 11.0	0 0.0	162 54.0
	50代	300 100	56 18.7	48 16.0	49 16.3	50 16.7	15 5.0	29 9.7	0 0.0	149 49.7
	60代	300 100	72 24.0	45 15.0	52 17.3	60 20.0	19 6.3	52 17.3	0 0.0	133 44.3
	70代以上	300 100	70 23.3	51 17.0	66 22.0	87 29.0	24 8.0	81 27.0	1 0.3	111 37.0

Q26 現在、あなたが食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
		1800 100	1303 72.4	486 27.0	69 3.8	268 14.9	35 1.9	457 25.4
地域	首都圏	900 100	654 72.7	264 29.3	34 3.8	122 13.6	17 1.9	241 26.8
	京阪神圏	900 100	649 72.1	222 24.7	35 3.9	146 16.2	18 2.0	216 24.0
年代	20代	300 100	164 54.7	55 18.3	15 5.0	13 4.3	5 1.7	44 14.7
	30代	300 100	182 60.7	54 18.0	9 3.0	11 3.7	7 2.3	73 24.3
	40代	300 100	217 72.3	75 25.0	8 2.7	24 8.0	7 2.3	84 28.0
	50代	300 100	229 76.3	82 27.3	12 4.0	35 11.7	4 1.3	87 29.0
	60代	300 100	247 82.3	106 35.3	14 4.7	66 22.0	4 1.3	86 28.7
	70代以上	300 100	264 88.0	114 38.0	11 3.7	119 39.7	8 2.7	83 27.7

	度数 横%	全 体	インターネット上 のコミュニティ サイト(掲示板等)	SNS (X、 Instagram、 Ti k Tok等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究 機関(大学等)	生産者・ 食品会社
		1800 100	51 2.8	152 8.4	21 1.2	73 4.1	40 2.2	39 2.2
地域	首都圏	900 100	29 3.2	79 8.8	11 1.2	40 4.4	21 2.3	19 2.1
	京阪神圏	900 100	22 2.4	73 8.1	10 1.1	33 3.7	19 2.1	20 2.2
年代	20代	300 100	5 1.7	51 17.0	7 2.3	9 3.0	4 1.3	5 1.7
	30代	300 100	12 4.0	42 14.0	7 2.3	10 3.3	9 3.0	8 2.7
	40代	300 100	12 4.0	21 7.0	2 0.7	9 3.0	6 2.0	11 3.7
	50代	300 100	12 4.0	16 5.3	1 0.3	11 3.7	5 1.7	4 1.3
	60代	300 100	8 2.7	10 3.3	3 1.0	8 2.7	7 2.3	3 1.0
	70代以上	300 100	2 0.7	12 4.0	1 0.3	26 8.7	9 3.0	8 2.7

	度数 横%	全 体	スーパー・小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	N P O・ 消費者団体	家族・知人	その他
		1800 100	104 5.8	30 1.7	17 0.9	22 1.2	149 8.3	10 0.6
地域	首都圏	900 100	49 5.4	20 2.2	6 0.7	10 1.1	71 7.9	4 0.4
	京阪神圏	900 100	55 6.1	10 1.1	11 1.2	12 1.3	78 8.7	6 0.7
年代	20代	300 100	18 6.0	4 1.3	7 2.3	7 2.3	33 11.0	1 0.3
	30代	300 100	27 9.0	3 1.0	3 1.0	4 1.3	32 10.7	2 0.7
	40代	300 100	12 4.0	4 1.3	3 1.0	2 0.7	25 8.3	3 1.0
	50代	300 100	14 4.7	4 1.3	2 0.7	3 1.0	21 7.0	0 0.0
	60代	300 100	23 7.7	3 1.0	0 0.0	3 1.0	23 7.7	1 0.3
	70代以上	300 100	10 3.3	12 4.0	2 0.7	3 1.0	15 5.0	3 1.0

(2) 食肉の栄養や機能について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	1099 61.1	425 23.6	50 2.8	206 11.4	35 1.9	408 22.7
地域	首都圏	900 100	555 61.7	224 24.9	25 2.8	93 10.3	15 1.7	219 24.3
	京阪神圏	900 100	544 60.4	201 22.3	25 2.8	113 12.6	20 2.2	189 21.0
年代	20代	300 100	144 48.0	44 14.7	10 3.3	12 4.0	4 1.3	39 13.0
	30代	300 100	157 52.3	43 14.3	5 1.7	14 4.7	7 2.3	66 22.0
	40代	300 100	191 63.7	65 21.7	5 1.7	18 6.0	2 0.7	75 25.0
	50代	300 100	194 64.7	69 23.0	9 3.0	21 7.0	7 2.3	80 26.7
	60代	300 100	207 69.0	95 31.7	11 3.7	49 16.3	4 1.3	71 23.7
	70代以上	300 100	206 68.7	109 36.3	10 3.3	92 30.7	11 3.7	77 25.7

	度数 横%	全 体	インターネット上 のコミュニティ サイト(掲示板等)	SNS (X、 Instagram、 Ti k Tok等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究 機関(大学等)	生産者・ 食品会社
全 体		1800 100	54 3.0	141 7.8	19 1.1	67 3.7	52 2.9	50 2.8
地域	首都圏	900 100	30 3.3	71 7.9	9 1.0	35 3.9	29 3.2	28 3.1
	京阪神圏	900 100	24 2.7	70 7.8	10 1.1	32 3.6	23 2.6	22 2.4
年代	20代	300 100	9 3.0	47 15.7	4 1.3	10 3.3	6 2.0	4 1.3
	30代	300 100	10 3.3	47 15.7	5 1.7	8 2.7	8 2.7	10 3.3
	40代	300 100	10 3.3	18 6.0	5 1.7	11 3.7	10 3.3	10 3.3
	50代	300 100	12 4.0	13 4.3	0 0.0	9 3.0	7 2.3	5 1.7
	60代	300 100	11 3.7	9 3.0	2 0.7	10 3.3	9 3.0	6 2.0
	70代以上	300 100	2 0.7	7 2.3	3 1.0	19 6.3	12 4.0	15 5.0

	度数 横%	全 体	スーパー・小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	104 5.8	33 1.8	21 1.2	23 1.3	149 8.3	16 0.9
地域	首都圏	900 100	57 6.3	17 1.9	10 1.1	9 1.0	70 7.8	7 0.8
	京阪神圏	900 100	47 5.2	16 1.8	11 1.2	14 1.6	79 8.8	9 1.0
年代	20代	300 100	16 5.3	2 0.7	8 2.7	7 2.3	30 10.0	2 0.7
	30代	300 100	25 8.3	4 1.3	5 1.7	3 1.0	34 11.3	2 0.7
	40代	300 100	13 4.3	4 1.3	2 0.7	2 0.7	21 7.0	4 1.3
	50代	300 100	16 5.3	5 1.7	3 1.0	3 1.0	23 7.7	0 0.0
	60代	300 100	25 8.3	7 2.3	3 1.0	3 1.0	24 8.0	3 1.0
	70代以上	300 100	9 3.0	11 3.7	0 0.0	5 1.7	17 5.7	5 1.7

Q27 では、あなたが信頼できる情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト	インターネット上 のコミュニティ サイト(掲示板等)	
全 体		1800 100	1127 62.6	415 23.1	76 4.2	274 15.2	40 2.2	325 18.1	64 3.6	
地域		首都圏	900 100	570 63.3	226 25.1	42 4.7	135 15.0	22 2.4	170 18.9	35 3.9
		京阪神圏	900 100	557 61.9	189 21.0	34 3.8	139 15.4	18 2.0	155 17.2	29 3.2
年代	20代	300 100	136 45.3	51 17.0	16 5.3	16 5.3	2 0.7	30 10.0	15 5.0	
		30代	300 100	146 48.7	51 17.0	13 4.3	15 5.0	8 2.7	51 17.0	13 4.3
	40代	300 100	182 60.7	65 21.7	11 3.7	22 7.3	11 3.7	60 20.0	12 4.0	
		50代	300 100	199 66.3	62 20.7	11 3.7	35 11.7	7 2.3	67 22.3	11 3.7
	60代	300 100	230 76.7	83 27.7	14 4.7	63 21.0	4 1.3	70 23.3	9 3.0	
		70代以上	300 100	234 78.0	103 34.3	11 3.7	123 41.0	8 2.7	47 15.7	4 1.3

	度数 横%	全 体	SNS (X, Instagram, Ti k Tok等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究 機関(大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー ・小売店	生協などの 協同組合	
全 体		1800 100	109 6.1	18 1.0	168 9.3	167 9.3	65 3.6	79 4.4	41 2.3	
地域		首都圏	900 100	55 6.1	6 0.7	83 9.2	84 9.3	21 2.3	39 4.3	20 2.2
		京阪神圏	900 100	54 6.0	12 1.3	85 9.4	83 9.2	44 4.9	40 4.4	21 2.3
年代	20代	300 100	35 11.7	5 1.7	19 6.3	26 8.7	14 4.7	15 5.0	5 1.7	
		30代	300 100	25 8.3	3 1.0	21 7.0	30 10.0	16 5.3	21 7.0	4 1.3
	40代	300 100	18 6.0	4 1.3	21 7.0	28 9.3	11 3.7	8 2.7	4 1.3	
		50代	300 100	14 4.7	2 0.7	25 8.3	22 7.3	6 2.0	10 3.3	8 2.7
	60代	300 100	10 3.3	3 1.0	28 9.3	22 7.3	7 2.3	15 5.0	8 2.7	
		70代以上	300 100	7 2.3	1 0.3	54 18.0	39 13.0	11 3.7	10 3.3	12 4.0

	度数 横%	全 体	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に 信頼できる 情報源はない	
全 体		1800 100	24 1.3	31 1.7	80 4.4	3 0.2	207 11.5	
地域		首都圏	900 100	7 0.8	13 1.4	28 3.1	0 0.0	107 11.9
		京阪神圏	900 100	17 1.9	18 2.0	52 5.8	3 0.3	100 11.1
年代	20代	300 100	7 2.3	2 0.7	10 3.3	1 0.3	51 17.0	
		30代	300 100	5 1.7	3 1.0	17 5.7	1 0.3	52 17.3
	40代	300 100	5 1.7	2 0.7	12 4.0	0 0.0	44 14.7	
		50代	300 100	4 1.3	6 2.0	14 4.7	0 0.0	28 9.3
	60代	300 100	2 0.7	7 2.3	20 6.7	0 0.0	18 6.0	
		70代以上	300 100	1 0.3	11 3.7	7 2.3	1 0.3	14 4.7

(2) 食肉の栄養や機能について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト	インターネット上 のコミュニティ サイト(掲示板等)
全 体		1800 100	1026 57.0	358 19.9	56 3.1	233 12.9	33 1.8	300 16.7	52 2.9
地域	首都圏	900 100	515 57.2	192 21.3	30 3.3	118 13.1	17 1.9	160 17.8	28 3.1
	京阪神圏	900 100	511 56.8	166 18.4	26 2.9	115 12.8	16 1.8	140 15.6	24 2.7
年代	20代	300 100	126 42.0	43 14.3	9 3.0	11 3.7	6 2.0	21 7.0	9 3.0
	30代	300 100	139 46.3	38 12.7	9 3.0	12 4.0	4 1.3	52 17.3	11 3.7
	40代	300 100	173 57.7	54 18.0	9 3.0	19 6.3	7 2.3	51 17.0	10 3.3
	50代	300 100	187 62.3	55 18.3	8 2.7	29 9.7	6 2.0	64 21.3	9 3.0
	60代	300 100	205 68.3	74 24.7	12 4.0	53 17.7	4 1.3	63 21.0	10 3.3
	70代以上	300 100	196 65.3	94 31.3	9 3.0	109 36.3	6 2.0	49 16.3	3 1.0

	度数 横%	全 体	SNS (X、 Instagram、 Ti k Tok等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究 機関(大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー ・小売店	生協などの 協同組合
全 体		1800 100	106 5.9	11 0.6	156 8.7	166 9.2	69 3.8	78 4.3	36 2.0
地域	首都圏	900 100	59 6.6	4 0.4	84 9.3	84 9.3	27 3.0	39 4.3	14 1.6
	京阪神圏	900 100	47 5.2	7 0.8	72 8.0	82 9.1	42 4.7	39 4.3	22 2.4
年代	20代	300 100	38 12.7	2 0.7	19 6.3	27 9.0	11 3.7	12 4.0	3 1.0
	30代	300 100	24 8.0	1 0.3	25 8.3	27 9.0	20 6.7	21 7.0	4 1.3
	40代	300 100	16 5.3	3 1.0	18 6.0	32 10.7	11 3.7	8 2.7	6 2.0
	50代	300 100	14 4.7	1 0.3	22 7.3	21 7.0	7 2.3	11 3.7	5 1.7
	60代	300 100	10 3.3	2 0.7	26 8.7	20 6.7	7 2.3	14 4.7	7 2.3
	70代以上	300 100	4 1.3	2 0.7	46 15.3	39 13.0	13 4.3	12 4.0	11 3.7

	度数 横%	全 体	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に 信頼できる 情報源はない
全 体		1800 100	27 1.5	33 1.8	82 4.6	6 0.3	209 11.6
地域	首都圏	900 100	10 1.1	16 1.8	31 3.4	1 0.1	110 12.2
	京阪神圏	900 100	17 1.9	17 1.9	51 5.7	5 0.6	99 11.0
年代	20代	300 100	6 2.0	2 0.7	11 3.7	1 0.3	52 17.3
	30代	300 100	4 1.3	3 1.0	18 6.0	1 0.3	52 17.3
	40代	300 100	7 2.3	2 0.7	10 3.3	0 0.0	44 14.7
	50代	300 100	5 1.7	5 1.7	14 4.7	1 0.3	27 9.0
	60代	300 100	3 1.0	7 2.3	22 7.3	0 0.0	20 6.7
	70代以上	300 100	2 0.7	14 4.7	7 2.3	3 1.0	14 4.7

Q28 あなたは、次の各機関や事業者などが食肉の安全性を確保するために行っている取組についてどの程度信頼できますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 農林水産省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	215 11.9	548 30.4	585 32.5	152 8.4	128 7.1	172 9.6
地域	首都圏	900 100	99 11.0	284 31.6	300 33.3	73 8.1	64 7.1	80 8.9
	京阪神圏	900 100	116 12.9	264 29.3	285 31.7	79 8.8	64 7.1	92 10.2
年代	20代	300 100	49 16.3	94 31.3	90 30.0	26 8.7	16 5.3	25 8.3
	30代	300 100	50 16.7	72 24.0	92 30.7	28 9.3	23 7.7	35 11.7
	40代	300 100	28 9.3	85 28.3	94 31.3	26 8.7	26 8.7	41 13.7
	50代	300 100	27 9.0	83 27.7	105 35.0	34 11.3	24 8.0	27 9.0
	60代	300 100	24 8.0	100 33.3	113 37.7	23 7.7	18 6.0	22 7.3
	70代以上	300 100	37 12.3	114 38.0	91 30.3	15 5.0	21 7.0	22 7.3

【2. 厚生労働省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	185 10.3	514 28.6	636 35.3	146 8.1	142 7.9	177 9.8
地域	首都圏	900 100	87 9.7	258 28.7	325 36.1	78 8.7	66 7.3	86 9.6
	京阪神圏	900 100	98 10.9	256 28.4	311 34.6	68 7.6	76 8.4	91 10.1
年代	20代	300 100	41 13.7	87 29.0	99 33.0	29 9.7	18 6.0	26 8.7
	30代	300 100	36 12.0	67 22.3	107 35.7	29 9.7	25 8.3	36 12.0
	40代	300 100	25 8.3	80 26.7	104 34.7	25 8.3	27 9.0	39 13.0
	50代	300 100	27 9.0	75 25.0	115 38.3	26 8.7	28 9.3	29 9.7
	60代	300 100	20 6.7	101 33.7	115 38.3	22 7.3	20 6.7	22 7.3
	70代以上	300 100	36 12.0	104 34.7	96 32.0	15 5.0	24 8.0	25 8.3

【3. 地方自治体】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	151 8.4	540 30.0	686 38.1	130 7.2	106 5.9	187 10.4
地域	首都圏	900 100	73 8.1	265 29.4	355 39.4	65 7.2	54 6.0	88 9.8
	京阪神圏	900 100	78 8.7	275 30.6	331 36.8	65 7.2	52 5.8	99 11.0
年代	20代	300 100	33 11.0	103 34.3	93 31.0	26 8.7	18 6.0	27 9.0
	30代	300 100	34 11.3	63 21.0	119 39.7	24 8.0	21 7.0	39 13.0
	40代	300 100	21 7.0	83 27.7	105 35.0	26 8.7	23 7.7	42 14.0
	50代	300 100	19 6.3	79 26.3	125 41.7	29 9.7	20 6.7	28 9.3
	60代	300 100	16 5.3	99 33.0	136 45.3	15 5.0	10 3.3	24 8.0
	70代以上	300 100	28 9.3	113 37.7	108 36.0	10 3.3	14 4.7	27 9.0

【4. 畜産農家】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	135 7.5	548 30.4	725 40.3	130 7.2	88 4.9	174 9.7
地域	首都圏	900 100	76 8.4	283 31.4	348 38.7	65 7.2	44 4.9	84 9.3
	京阪神圏	900 100	59 6.6	265 29.4	377 41.9	65 7.2	44 4.9	90 10.0
年代	20代	300 100	34 11.3	99 33.0	105 35.0	24 8.0	12 4.0	26 8.7
	30代	300 100	33 11.0	81 27.0	100 33.3	32 10.7	19 6.3	35 11.7
	40代	300 100	23 7.7	88 29.3	117 39.0	19 6.3	12 4.0	41 13.7
	50代	300 100	13 4.3	86 28.7	128 42.7	22 7.3	21 7.0	30 10.0
	60代	300 100	17 5.7	97 32.3	136 45.3	18 6.0	10 3.3	22 7.3
	70代以上	300 100	15 5.0	97 32.3	139 46.3	15 5.0	14 4.7	20 6.7

【5. 食肉卸売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	77 4.3	366 20.3	809 44.9	236 13.1	123 6.8	189 10.5
地域	首都圏	900 100	41 4.6	201 22.3	393 43.7	113 12.6	60 6.7	92 10.2
	京阪神圏	900 100	36 4.0	165 18.3	416 46.2	123 13.7	63 7.0	97 10.8
年代	20代	300 100	28 9.3	80 26.7	117 39.0	30 10.0	16 5.3	29 9.7
	30代	300 100	23 7.7	63 21.0	118 39.3	36 12.0	20 6.7	40 13.3
	40代	300 100	6 2.0	57 19.0	137 45.7	37 12.3	18 6.0	45 15.0
	50代	300 100	8 2.7	62 20.7	135 45.0	35 11.7	31 10.3	29 9.7
	60代	300 100	5 1.7	53 17.7	160 53.3	44 14.7	16 5.3	22 7.3
	70代以上	300 100	7 2.3	51 17.0	142 47.3	54 18.0	22 7.3	24 8.0

【6. 食肉小売業者】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 100	80 4.4	358 19.9	838 46.6	220 12.2	111 6.2	193 10.7
地域	首都圏		900 100	40 4.4	195 21.7	406 45.1	111 12.3	56 6.2	92 10.2
	京阪神圏		900 100	40 4.4	163 18.1	432 48.0	109 12.1	55 6.1	101 11.2
年代	20代		300 100	27 9.0	77 25.7	120 40.0	37 12.3	10 3.3	29 9.7
	30代		300 100	25 8.3	56 18.7	128 42.7	30 10.0	19 6.3	42 14.0
	40代		300 100	7 2.3	60 20.0	137 45.7	32 10.7	19 6.3	45 15.0
	50代		300 100	8 2.7	57 19.0	141 47.0	38 12.7	27 9.0	29 9.7
	60代		300 100	6 2.0	55 18.3	163 54.3	36 12.0	17 5.7	23 7.7
	70代以上		300 100	7 2.3	53 17.7	149 49.7	47 15.7	19 6.3	25 8.3

【7. 食肉を扱う外食店】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 100	54 3.0	319 17.7	872 48.4	245 13.6	114 6.3	196 10.9
地域	首都圏		900 100	31 3.4	169 18.8	438 48.7	109 12.1	56 6.2	97 10.8
	京阪神圏		900 100	23 2.6	150 16.7	434 48.2	136 15.1	58 6.4	99 11.0
年代	20代		300 100	16 5.3	74 24.7	135 45.0	31 10.3	14 4.7	30 10.0
	30代		300 100	16 5.3	52 17.3	136 45.3	39 13.0	18 6.0	39 13.0
	40代		300 100	6 2.0	49 16.3	140 46.7	42 14.0	20 6.7	43 14.3
	50代		300 100	4 1.3	47 15.7	149 49.7	42 14.0	29 9.7	29 9.7
	60代		300 100	6 2.0	48 16.0	166 55.3	39 13.0	15 5.0	26 8.7
	70代以上		300 100	6 2.0	49 16.3	146 48.7	52 17.3	18 6.0	29 9.7

【画像について】

- ※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。
- ※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。
- ※3：画像1（B.M.S. No. 1）は脂肪交雑の認められないもの、画像2（B.M.S. No. 2）は画像3（B.M.S. No. 3）に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。
- ※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準（B.M.S.）によって評価し、等級を決定します。
- ※5：一つの画像について、「赤身肉」「霜降り肉」の両方をお選びいただくことはできません。
- ※6：あなたが、「赤身肉、霜降り肉のいずれかわからない」と思う画像はお選びにならなくても結構です。

画像1 (B.M.S.No.1)		(写真提示なし ※2, 3参照)
画像2 (B.M.S.No.2)		(写真提示なし ※2, 3参照)
画像3 (B.M.S.No.3)		
画像4 (B.M.S.No.4)		
画像5 (B.M.S.No.5)		
画像6 (B.M.S.No.6)		
画像7 (B.M.S.No.7)		
画像8 (B.M.S.No.8)		
画像9 (B.M.S.No.9)		
画像10 (B.M.S.No.10)		

Q29 以下の国産牛肉の画像を見て、ご回答ください。

(1) あなたが「赤身肉」と考える国産牛肉について、あてはまるものを全てお選びください。

		全体									
		画像1 (B.M.S No.1) 【1等級： 脂肪交雑 ほとんどない】	画像2 (B.M.S No.1) 【2等級： 脂肪交雑 やや少ない】	画像3 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像4 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像5 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像6 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像7 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像8 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像9 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像10 (B.M.S No.10) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】
		(写真提示なし)	(写真提示なし)								
度数	横%										
全体	1800	1800	1243	840	525	313	208	124	55	35	0
	100	100.0	69.1	46.7	29.2	17.4	11.6	6.9	3.1	1.9	0.0
地域	首都圏	900	900	619	412	248	144	90	59	23	0
	100	100.0	68.8	45.8	27.6	16.0	10.0	6.6	2.6	1.6	0.0
	京阪神圏	900	900	624	428	277	169	118	65	32	0
	100	100.0	69.3	47.6	30.8	18.8	13.1	7.2	3.6	2.3	0.0
年代	20代	300	300	190	143	94	60	46	27	9	0
	100	100.0	63.3	47.7	31.3	20.0	15.3	9.0	3.0	1.7	0.0
	30代	300	300	195	139	92	58	39	27	18	0
	100	100.0	65.0	46.3	30.7	19.3	13.0	9.0	6.0	4.0	0.0
	40代	300	300	219	147	97	67	45	24	10	0
	100	100.0	73.0	49.0	32.3	22.3	15.0	8.0	3.3	2.0	0.0
	50代	300	300	210	142	88	47	28	17	7	0
	100	100.0	70.0	47.3	29.3	15.7	9.3	5.7	2.3	2.0	0.0
60代	300	300	210	131	76	47	31	17	7	0	
100	100.0	70.0	43.7	25.3	15.7	10.3	5.7	2.3	1.3	0.0	
70代以上	300	300	219	138	78	34	19	12	4	0	
100	100.0	73.0	46.0	26.0	11.3	6.3	4.0	1.3	0.7	0.0	

(2) あなたが「霜降り肉」と考える国産牛肉について、あてはまるものを全てお選びください。

※一つの画像について、「赤身肉」「霜降り肉」の両方をお選びいただくことはできません。

※あなたが、「赤身肉、霜降り肉のいずれかわからない」と思う画像はお選びにならないくても結構です。

		全体									
		画像1 (B.M.S No.1) 【1等級： 脂肪交雑 ほとんどない】	画像2 (B.M.S No.1) 【2等級： 脂肪交雑 やや少ない】	画像3 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像4 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像5 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像6 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像7 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像8 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像9 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像10 (B.M.S No.10) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】
度数	横%										
全体	1800	0	215	434	654	865	1049	1201	1365	1467	1800
	100	0.0	11.9	24.1	36.3	48.1	58.3	66.7	75.8	81.5	100.0
地域	首都圏	900	0	96	216	332	449	543	608	685	736
	100	0.0	10.7	24.0	36.9	49.9	60.3	67.6	76.1	81.8	100.0
	京阪神圏	900	0	119	218	322	416	506	593	680	731
	100	0.0	13.2	24.2	35.8	46.2	56.2	65.9	75.6	81.2	100.0
年代	20代	300	0	61	90	131	158	177	202	231	244
	100	0.0	20.3	30.0	43.7	52.7	59.0	67.3	77.0	81.3	100.0
	30代	300	0	47	84	121	146	178	200	223	234
	100	0.0	15.7	28.0	40.3	48.7	59.3	66.7	74.3	78.0	100.0
	40代	300	0	29	63	98	130	163	193	219	239
	100	0.0	9.7	21.0	32.7	43.3	54.3	64.3	73.0	79.7	100.0
	50代	300	0	31	69	106	146	174	193	225	244
	100	0.0	10.3	23.0	35.3	48.7	58.0	64.3	75.0	81.3	100.0
60代	300	0	28	65	96	131	169	198	231	251	
100	0.0	9.3	21.7	32.0	43.7	56.3	66.0	77.0	83.7	100.0	
70代以上	300	0	19	63	102	154	188	215	236	255	
100	0.0	6.3	21.0	34.0	51.3	62.7	71.7	78.7	85.0	100.0	

(3) では、あなたがスーパー・生協・食肉専門店などで、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」に近い画像を1つだけお選びください。

		画像1 (B.M.S No.1) 【1等級： 脂肪交雑 ほとんどない】	画像2 (B.M.S No.1) 【2等級： 脂肪交雑 やや少ない】	画像3 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像4 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像5 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像6 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像7 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像8 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像9 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像10 (B.M.S No.10) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	・国産牛肉は購入していない	
全体	度数												
	横%												
全体	1800 100	198 11.0	151 8.4	294 16.3	175 9.7	145 8.1	106 5.9	72 4.0	73 4.1	57 3.2	103 5.7	426 23.7	
地域	首都圏	900 100	95 10.6	74 8.2	145 16.1	88 9.8	64 7.1	47 5.2	33 3.7	39 4.3	30 3.3	62 6.9	223 24.8
	京阪神圏	900 100	103 11.4	77 8.6	149 16.6	87 9.7	81 9.0	59 6.6	39 4.3	34 3.8	27 3.0	41 4.6	203 22.6
年代	20代	300 100	49 16.3	30 10.0	45 15.0	26 8.7	14 4.7	14 4.7	14 4.7	12 4.0	9 3.0	21 7.0	66 22.0
	30代	300 100	45 15.0	21 7.0	51 17.0	24 8.0	17 5.7	13 4.3	7 2.3	8 2.7	11 3.7	20 6.7	83 27.7
	40代	300 100	24 8.0	28 9.3	48 16.0	26 8.7	26 8.7	18 6.0	9 3.0	13 4.3	9 3.0	19 6.3	80 26.7
	50代	300 100	32 10.7	23 7.7	50 16.7	29 9.7	23 7.7	17 5.7	11 3.7	16 5.3	6 2.0	15 5.0	78 26.0
	60代	300 100	30 10.0	27 9.0	45 15.0	37 12.3	28 9.3	21 7.0	13 4.3	12 4.0	8 2.7	12 4.0	67 22.3
	70代以上	300 100	18 6.0	22 7.3	55 18.3	33 11.0	37 12.3	23 7.7	18 6.0	12 4.0	14 4.7	16 5.3	52 17.3

(4) あなたが「好きな国産牛肉」「好んで食べたい国産牛肉」に近い画像を1つだけお選びください。

		画像1 (B.M.S No.1) 【1等級： 脂肪交雑 ほとんどない】	画像2 (B.M.S No.1) 【2等級： 脂肪交雑 やや少ない】	画像3 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像4 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像5 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像6 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像7 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像8 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像9 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像10 (B.M.S No.10) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	
全体	度数											
	横%											
全体	1800 100	249 13.8	125 6.9	280 15.6	202 11.2	141 7.8	185 10.3	122 6.8	142 7.9	96 5.3	258 14.3	
地域	首都圏	900 100	113 12.6	64 7.1	140 15.6	106 11.8	66 7.3	92 10.2	59 6.6	69 7.7	52 5.8	139 15.4
	京阪神圏	900 100	136 15.1	61 6.8	140 15.6	96 10.7	75 8.3	93 10.3	63 7.0	73 8.1	44 4.9	119 13.2
年代	20代	300 100	53 17.7	29 9.7	47 15.7	31 10.3	23 7.7	25 8.3	14 4.7	21 7.0	15 5.0	42 14.0
	30代	300 100	51 17.0	27 9.0	46 15.3	34 11.3	16 5.3	23 7.7	15 5.0	20 6.7	18 6.0	50 16.7
	40代	300 100	32 10.7	24 8.0	51 17.0	29 9.7	23 7.7	35 11.7	18 6.0	26 8.7	15 5.0	47 15.7
	50代	300 100	43 14.3	17 5.7	43 14.3	38 12.7	25 8.3	31 10.3	16 5.3	25 8.3	20 6.7	42 14.0
	60代	300 100	46 15.3	15 5.0	42 14.0	39 13.0	22 7.3	36 12.0	28 9.3	24 8.0	11 3.7	37 12.3
	70代以上	300 100	24 8.0	13 4.3	51 17.0	31 10.3	32 10.7	35 11.7	31 10.3	26 8.7	17 5.7	40 13.3

Q30 国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格であれば、どちらを購入しますか。

		度数 横%	全 体	赤身肉	霜降り肉
全 体			1800 100	771 42.8	1029 57.2
地域	首都圏		900 100	366 40.7	534 59.3
	京阪神圏		900 100	405 45.0	495 55.0
年代	20代		300 100	145 48.3	155 51.7
	30代		300 100	138 46.0	162 54.0
	40代		300 100	130 43.3	170 56.7
	50代		300 100	130 43.3	170 56.7
	60代		300 100	128 42.7	172 57.3
	70代以上		300 100	100 33.3	200 66.7

Q31 国産牛肉の「霜降り肉」を買うとした場合、「赤身肉」との価格差がどの程度であれば、購入しますか。

		度数 横%	全 体	「赤身肉」より、 安価でも、「霜降り肉」を 購入しない (値段に関係なく、 「赤身肉」を 購入する)	「赤身肉」より、 2割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 3割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 5割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 2倍高くても、 「霜降り肉」を 購入する	値段に 関係なく、 「霜降り肉」を 購入する
全 体			1800 100	545 30.3	733 40.7	186 10.3	100 5.6	54 3.0	182 10.1
地域	首都圏		900 100	273 30.3	360 40.0	81 9.0	53 5.9	38 4.2	95 10.6
	京阪神圏		900 100	272 30.2	373 41.4	105 11.7	47 5.2	16 1.8	87 9.7
年代	20代		300 100	100 33.3	99 33.0	38 12.7	20 6.7	9 3.0	34 11.3
	30代		300 100	101 33.7	114 38.0	22 7.3	10 3.3	9 3.0	44 14.7
	40代		300 100	96 32.0	118 39.3	32 10.7	16 5.3	9 3.0	29 9.7
	50代		300 100	91 30.3	138 46.0	17 5.7	19 6.3	11 3.7	24 8.0
	60代		300 100	91 30.3	131 43.7	29 9.7	17 5.7	9 3.0	23 7.7
	70代以上		300 100	66 22.0	133 44.3	48 16.0	18 6.0	7 2.3	28 9.3

Q32 あなたが普段、国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」か「霜降り肉」かを選択する頻度について、あてはまるものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	毎回、「赤身肉」 を購入する	普段は「赤身肉」 を購入するが、 たまに「霜降り肉」 も購入する	「赤身肉」と「霜降り肉」 を半々の頻度で 購入する	普段は「霜降り肉」 を購入するが、 たまに「赤身肉」 も購入する	毎回、「霜降り肉」 を購入する	国産牛肉は購入 していない・わからない
全 体		1800 100	368 20.4	551 30.6	279 15.5	189 10.5	91 5.1	322 17.9
地域	首都圏	900 100	180 20.0	263 29.2	132 14.7	98 10.9	49 5.4	178 19.8
	京阪神圏	900 100	188 20.9	288 32.0	147 16.3	91 10.1	42 4.7	144 16.0
年代	20代	300 100	48 16.0	67 22.3	63 21.0	38 12.7	13 4.3	71 23.7
	30代	300 100	56 18.7	97 32.3	40 13.3	25 8.3	9 3.0	73 24.3
	40代	300 100	72 24.0	92 30.7	51 17.0	20 6.7	6 2.0	59 19.7
	50代	300 100	80 26.7	81 27.0	43 14.3	34 11.3	19 6.3	43 14.3
	60代	300 100	71 23.7	104 34.7	35 11.7	28 9.3	20 6.7	42 14.0
	70代以上	300 100	41 13.7	110 36.7	47 15.7	44 14.7	24 8.0	34 11.3

Q33 あなたが主に購入する「赤身肉」と「霜降り肉」にどのような特徴を期待するか、あてはまるものを全て選択してください。なお、この牛肉は国産であるとします。

(1) 「赤身肉」(国産牛肉)

		度数 横%	全 体	満足感	ジューシー	甘い香り	焼いた 肉の香り	やわらかさ	歯ごたえ	とろける 食感	弾力	高級感	ヘルシーさ	安価	充実感	この肉は 購入 しない
全 体			1800 100	677 37.6	257 14.3	118 6.6	260 14.4	244 13.6	489 27.2	80 4.4	343 19.1	72 4.0	507 28.2	636 35.3	156 8.7	247 13.7
地域	首都圏		900 100	338 37.6	128 14.2	60 6.7	134 14.9	119 13.2	261 29.0	38 4.2	179 19.9	39 4.3	254 28.2	312 34.7	80 8.9	148 16.4
	京阪神圏		900 100	339 37.7	129 14.3	58 6.4	126 14.0	125 13.9	228 25.3	42 4.7	164 18.2	33 3.7	253 28.1	324 36.0	76 8.4	99 11.0
年代	20代		300 100	115 38.3	62 20.7	31 10.3	30 10.0	30 10.0	59 19.7	23 7.7	36 12.0	14 4.7	46 15.3	47 15.7	18 6.0	55 18.3
	30代		300 100	120 40.0	53 17.7	20 6.7	51 17.0	28 9.3	79 26.3	12 4.0	52 17.3	13 4.3	74 24.7	82 27.3	28 9.3	52 17.3
	40代		300 100	130 43.3	42 14.0	17 5.7	45 15.0	40 13.3	81 27.0	15 5.0	58 19.3	15 5.0	75 25.0	109 36.3	25 8.3	40 13.3
	50代		300 100	104 34.7	36 12.0	21 7.0	36 12.0	41 13.7	83 27.7	9 3.0	59 19.7	10 3.3	85 28.3	117 39.0	27 9.0	38 12.7
	60代		300 100	123 41.0	34 11.3	15 5.0	48 16.0	47 15.7	88 29.3	11 3.7	63 21.0	8 2.7	118 39.3	131 43.7	26 8.7	26 8.7
	70代以上		300 100	85 28.3	30 10.0	14 4.7	50 16.7	58 19.3	99 33.0	10 3.3	75 25.0	12 4.0	109 36.3	150 50.0	32 10.7	36 12.0

(2) 「霜降り肉」(国産牛肉)

		度数 横%	全 体	満足感	ジューシー	甘い香り	焼いた 肉の香り	やわらかさ	歯ごたえ	とろける 食感	弾力	高級感	ヘルシーさ	安価	充実感	この肉は 購入 しない
全 体			1800 100	560 31.1	601 33.4	272 15.1	293 16.3	670 37.2	111 6.2	579 32.2	90 5.0	506 28.1	51 2.8	100 5.6	201 11.2	328 18.2
地域	首都圏		900 100	281 31.2	310 34.4	146 16.2	132 14.7	332 36.9	61 6.8	285 31.7	42 4.7	255 28.3	25 2.8	49 5.4	112 12.4	179 19.9
	京阪神圏		900 100	279 31.0	291 32.3	126 14.0	161 17.9	338 37.6	50 5.6	294 32.7	48 5.3	251 27.9	26 2.9	51 5.7	89 9.9	149 16.6
年代	20代		300 100	87 29.0	82 27.3	38 12.7	26 8.7	69 23.0	25 8.3	46 15.3	16 5.3	49 16.3	13 4.3	16 5.3	19 6.3	63 21.0
	30代		300 100	90 30.0	91 30.3	42 14.0	41 13.7	95 31.7	15 5.0	86 28.7	13 4.3	76 25.3	6 2.0	15 5.0	25 8.3	58 19.3
	40代		300 100	92 30.7	97 32.3	44 14.7	46 15.3	108 36.0	14 4.7	96 32.0	20 6.7	87 29.0	9 3.0	19 6.3	34 11.3	56 18.7
	50代		300 100	78 26.0	89 29.7	36 12.0	42 14.0	110 36.7	18 6.0	102 34.0	5 1.7	77 25.7	7 2.3	15 5.0	34 11.3	63 21.0
	60代		300 100	104 34.7	100 33.3	50 16.7	60 20.0	134 44.7	19 6.3	114 38.0	13 4.3	102 34.0	5 1.7	17 5.7	36 12.0	46 15.3
	70代以上		300 100	109 36.3	142 47.3	62 20.7	78 26.0	154 51.3	20 6.7	135 45.0	23 7.7	115 38.3	11 3.7	18 6.0	53 17.7	42 14.0

Q34 あなたが主に購入する「赤身肉」と「霜降り肉」をどのように調理して食べたいか、あてはまるものを全て選択してください。なお、この牛肉は国産であるとします。

(1) 「赤身肉」(国産牛肉)

		度数 横%	全 体	焼き肉	ステーキ	すき焼き	しゃぶしゃぶ	ロースト ビーフ	ビーフ カツ	ビーフ シチュー	ビーフ カレー	ハヤシライ ス・ハツシュ ドビーフ	牛丼	この肉は 購入 しない
全 体			1800 100	932 51.8	609 33.8	401 22.3	289 16.1	460 25.6	362 20.1	509 28.3	568 31.6	450 25.0	469 26.1	262 14.6
地域	首都圏		900 100	439 48.8	332 36.9	185 20.6	148 16.4	234 26.0	170 18.9	256 28.4	262 29.1	218 24.2	247 27.4	147 16.3
	京阪神圏		900 100	493 54.8	277 30.8	216 24.0	141 15.7	226 25.1	192 21.3	253 28.1	306 34.0	232 25.8	222 24.7	115 12.8
年代	20代		300 100	140 46.7	82 27.3	57 19.0	44 14.7	48 16.0	37 12.3	48 16.0	43 14.3	40 13.3	45 15.0	58 19.3
	30代		300 100	160 53.3	106 35.3	67 22.3	44 14.7	70 23.3	50 16.7	66 22.0	68 22.7	65 21.7	76 25.3	56 18.7
	40代		300 100	162 54.0	106 35.3	59 19.7	49 16.3	75 25.0	52 17.3	91 30.3	93 31.0	74 24.7	87 29.0	39 13.0
	50代		300 100	153 51.0	114 38.0	68 22.7	53 17.7	82 27.3	61 20.3	92 30.7	106 35.3	92 30.7	81 27.0	38 12.7
	60代		300 100	167 55.7	117 39.0	70 23.3	52 17.3	90 30.0	65 21.7	103 34.3	119 39.7	87 29.0	88 29.3	27 9.0
	70代以上		300 100	150 50.0	84 28.0	80 26.7	47 15.7	95 31.7	97 32.3	109 36.3	139 46.3	92 30.7	92 30.7	44 14.7

(2) 「霜降り肉」(国産牛肉)

		度数 横%	全 体	焼き肉	ステーキ	すき焼き	しゃぶしゃぶ	ロースト ビーフ	ビーフ カツ	ビーフ シチュー	ビーフ カレー	ハヤシライ ス・ハツシュ ドビーフ	牛丼	この肉は 購入 しない
全 体			1800 100	698 38.8	802 44.6	752 41.8	543 30.2	127 7.1	113 6.3	103 5.7	112 6.2	99 5.5	200 11.1	338 18.8
地域	首都圏		900 100	355 39.4	404 44.9	374 41.6	263 29.2	66 7.3	60 6.7	57 6.3	56 6.2	55 6.1	98 10.9	175 19.4
	京阪神圏		900 100	343 38.1	398 44.2	378 42.0	280 31.1	61 6.8	53 5.9	46 5.1	56 6.2	44 4.9	102 11.3	163 18.1
年代	20代		300 100	108 36.0	92 30.7	68 22.7	48 16.0	20 6.7	25 8.3	17 5.7	15 5.0	13 4.3	16 5.3	63 21.0
	30代		300 100	125 41.7	123 41.0	110 36.7	75 25.0	24 8.0	21 7.0	22 7.3	24 8.0	19 6.3	29 9.7	67 22.3
	40代		300 100	127 42.3	143 47.7	121 40.3	87 29.0	23 7.7	19 6.3	13 4.3	18 6.0	17 5.7	32 10.7	58 19.3
	50代		300 100	121 40.3	135 45.0	135 45.0	106 35.3	18 6.0	15 5.0	19 6.3	18 6.0	19 6.3	37 12.3	57 19.0
	60代		300 100	109 36.3	147 49.0	156 52.0	111 37.0	23 7.7	17 5.7	16 5.3	20 6.7	16 5.3	38 12.7	46 15.3
	70代以上		300 100	108 36.0	162 54.0	162 54.0	116 38.7	19 6.3	16 5.3	16 5.3	17 5.7	17 5.0	15 16.0	48 15.7

Q35 5年前と比べた場合の、現在のあなたの「赤身肉」（国産牛肉）と「霜降り肉」（国産牛肉）の嗜好の傾向について、あてはまるものを1つ選んでください。

度数 横%		全 体	「赤身肉」を より嗜好する ようになった	もともと 「赤身肉」が好き (好みは変わらない)	もともと「霜降り肉」も 「赤身肉」も 同じ程度好き (好みは変わらない)	もともと 「霜降り肉」が好き (好みは変わらない)	「霜降り肉」を より嗜好する ようになった
全 体		1800 100	263 14.6	387 21.5	703 39.1	347 19.3	100 5.6
地域	首都圏	900 100	125 13.9	184 20.4	353 39.2	186 20.7	52 5.8
	京阪神圏	900 100	138 15.3	203 22.6	350 38.9	161 17.9	48 5.3
年代	20代	300 100	43 14.3	68 22.7	120 40.0	39 13.0	30 10.0
	30代	300 100	51 17.0	60 20.0	112 37.3	53 17.7	24 8.0
	40代	300 100	46 15.3	64 21.3	117 39.0	59 19.7	14 4.7
	50代	300 100	42 14.0	66 22.0	115 38.3	63 21.0	14 4.7
	60代	300 100	41 13.7	76 25.3	114 38.0	60 20.0	9 3.0
	70代以上	300 100	40 13.3	53 17.7	125 41.7	73 24.3	9 3.0

Q36 5年前と比較し、「赤身肉」（国産牛肉）と「霜降り肉」（国産牛肉）を購入する割合の変化について、あてはまるものを1つ選んでください。

度数 横%		全 体	「赤身肉」より、 「霜降り肉」を購入 する割合が増えた	「赤身肉」と「霜降り肉」 の購入の割合は 変わらない	「霜降り肉」より、 「赤身肉」の購入 割合が増えた	わからない
全 体		1800 100	155 8.6	870 48.3	368 20.4	407 22.6
地域	首都圏	900 100	77 8.6	437 48.6	167 18.6	219 24.3
	京阪神圏	900 100	78 8.7	433 48.1	201 22.3	188 20.9
年代	20代	300 100	42 14.0	141 47.0	41 13.7	76 25.3
	30代	300 100	37 12.3	135 45.0	54 18.0	74 24.7
	40代	300 100	17 5.7	151 50.3	55 18.3	77 25.7
	50代	300 100	19 6.3	144 48.0	64 21.3	73 24.3
	60代	300 100	14 4.7	147 49.0	77 25.7	62 20.7
	70代以上	300 100	26 8.7	152 50.7	77 25.7	45 15.0

Q37 あなたは、国産牛肉の格付（A5、A4、A3等）について、ご存じですか。

度数 横%		全 体	詳しく知っている	ある程度知っている、	A5やA4等という 言葉は聞いたことが ある・知っている	知らない
全 体		1800 100	83 4.6	414 23.0	891 49.5	412 22.9
地域	首都圏	900 100	38 4.2	205 22.8	443 49.2	214 23.8
	京阪神圏	900 100	45 5.0	209 23.2	448 49.8	198 22.0
年代	20代	300 100	23 7.7	70 23.3	135 45.0	72 24.0
	30代	300 100	25 8.3	60 20.0	148 49.3	67 22.3
	40代	300 100	11 3.7	61 20.3	152 50.7	76 25.3
	50代	300 100	6 2.0	58 19.3	175 58.3	61 20.3
	60代	300 100	9 3.0	82 27.3	152 50.7	57 19.0
	70代以上	300 100	9 3.0	83 27.7	129 43.0	79 26.3

Q38 (1) 「A5の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

		度数 横%	全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが 多い)	赤身が多い	脂肪・コレ ステロール が多い	高級	価格が手頃	贅沢感 がある	シニア向き	若者向き	健康に悪い	わからない
全 体			1800 100	949 52.7	656 36.4	652 36.2	63 3.5	203 11.3	621 34.5	41 2.3	403 22.4	106 5.9	54 3.0	77 4.3	510 28.3
地域	首都圏		900 100	479 53.2	350 38.9	337 37.4	35 3.9	92 10.2	328 36.4	17 1.9	206 22.9	62 6.9	28 3.1	43 4.8	254 28.2
	京阪神圏		900 100	470 52.2	306 34.0	315 35.0	28 3.1	111 12.3	293 32.6	24 2.7	197 21.9	44 4.9	26 2.9	34 3.8	256 28.4
年代	20代		300 100	145 48.3	67 22.3	62 20.7	22 7.3	21 7.0	52 17.3	12 4.0	33 11.0	12 4.0	10 3.3	6 2.0	86 28.7
	30代		300 100	164 54.7	97 32.3	97 32.3	11 3.7	28 9.3	87 29.0	8 2.7	50 16.7	16 5.3	7 2.3	4 1.3	84 28.0
	40代		300 100	164 54.7	119 39.7	108 36.0	10 3.3	31 10.3	111 37.0	7 2.3	68 22.7	18 6.0	11 3.7	11 3.7	77 25.7
	50代		300 100	149 49.7	107 35.7	109 36.3	8 2.7	28 9.3	108 36.0	5 1.7	65 21.7	17 5.7	8 2.7	15 5.0	88 29.3
	60代		300 100	173 57.7	127 42.3	136 45.3	7 2.3	50 16.7	132 44.0	4 1.3	80 26.7	14 4.7	5 1.7	18 6.0	80 26.7
	70代以上		300 100	154 51.3	139 46.3	140 46.7	5 1.7	45 15.0	131 43.7	5 1.7	107 35.7	29 9.7	13 4.3	23 7.7	95 31.7

Q38 (2) 次に、「A3の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

		度数 横%	全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが 多い)	赤身が多い	脂肪・コレ ステロール が多い	高級	価格が手頃	贅沢感 がある	シニア向き	若者向き	健康に悪い	わからない
全 体			1800 100	583 32.4	316 17.6	183 10.2	234 13.0	115 6.4	150 8.3	175 9.7	117 6.5	107 5.9	86 4.8	27 1.5	699 38.8
地域	首都圏		900 100	292 32.4	153 17.0	93 10.3	121 13.4	59 6.6	84 9.3	82 9.1	65 7.2	59 6.6	50 5.6	15 1.7	355 39.4
	京阪神圏		900 100	291 32.3	163 18.1	90 10.0	113 12.6	56 6.2	66 7.3	93 10.3	52 5.8	48 5.3	36 4.0	12 1.3	344 38.2
年代	20代		300 100	106 35.3	51 17.0	33 11.0	26 8.7	18 6.0	23 7.7	16 5.3	24 8.0	7 2.3	7 2.3	3 1.0	106 35.3
	30代		300 100	115 38.3	64 21.3	39 13.0	30 10.0	20 6.7	28 9.3	7 2.3	21 7.0	8 2.7	6 2.0	4 1.3	117 39.0
	40代		300 100	110 36.7	66 22.0	35 11.7	27 9.0	14 4.7	36 12.0	24 8.0	25 8.3	12 4.0	11 3.7	8 2.7	111 37.0
	50代		300 100	87 29.0	50 16.7	27 9.0	35 11.7	19 6.3	20 6.7	32 10.7	24 8.0	20 6.7	16 5.3	4 1.3	129 43.0
	60代		300 100	98 32.7	52 17.3	31 10.3	49 16.3	19 6.3	25 8.3	36 12.0	13 4.3	17 5.7	22 7.3	2 0.7	109 36.3
	70代以上		300 100	67 22.3	33 11.0	18 6.0	67 22.3	25 8.3	18 6.0	60 20.0	10 3.3	43 14.3	24 8.0	6 2.0	127 42.3

Q38 (3) 次に、「B5の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

		度数 横%	全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが 多い)	赤身が多い	脂肪・コレ ステロール が多い	高級	価格が手頃	贅沢感 がある	シニア向き	若者向き	健康に悪い	わからない
全 体			1800 100	368 20.4	114 6.3	105 5.8	312 17.3	101 5.6	85 4.7	406 22.6	50 2.8	62 3.4	109 6.1	39 2.2	785 43.6
地域	首都圏		900 100	180 20.0	56 6.2	49 5.4	162 18.0	56 6.2	39 4.3	203 22.6	28 3.1	35 3.9	59 6.6	21 2.3	400 44.4
	京阪神圏		900 100	188 20.9	58 6.4	56 6.2	150 16.7	45 5.0	46 5.1	203 22.6	22 2.4	27 3.0	50 5.6	18 2.0	385 42.8
年代	20代		300 100	81 27.0	22 7.3	26 8.7	34 11.3	18 6.0	21 7.0	36 12.0	11 3.7	8 2.7	10 3.3	5 1.7	117 39.0
	30代		300 100	77 25.7	23 7.7	21 7.0	47 15.7	16 5.3	14 4.7	50 16.7	9 3.0	7 2.3	15 5.0	5 1.7	129 43.0
	40代		300 100	72 24.0	29 9.7	21 7.0	51 17.0	13 4.3	18 6.0	59 19.7	8 2.7	11 3.7	12 4.0	7 2.3	131 43.7
	50代		300 100	51 17.0	18 6.0	16 5.3	46 15.3	18 6.0	11 3.7	66 22.0	10 3.3	9 3.0	18 6.0	7 2.3	149 49.7
	60代		300 100	56 18.7	15 5.0	13 4.3	66 22.0	13 4.3	14 4.7	94 31.3	6 2.0	14 4.7	19 6.3	6 2.0	122 40.7
	70代以上		300 100	31 10.3	7 2.3	8 2.7	68 22.7	23 7.7	7 2.3	101 33.7	6 2.0	13 4.3	35 11.7	9 3.0	137 45.7

Q39 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国産牛肉の「格付」は、「歩留等級」を表すアルファベットと「肉質等級」を表す数字の組み合わせで表示され、牛肉の品質を客観的に評価するものです。

歩留りは、牛1頭から肉がどれだけ取れるかを示します。A、B、Cの3段階で評価し、C→B→Aの順に等級が高く、等級が高いほど多くの牛肉が取れることになります。

肉質は、「脂肪交雑」「肉の色沢」「肉の締まり及びきめ」「脂肪の色沢と質」の4項目それぞれを1～5の等級で評価し、(1→2→3→4→5と等級が高くなるほど、脂肪交雑が多い、肉色が良いものとなります)4項目のうち最も低かった数値が肉質等級になります。

あなたは、「国産牛肉の格付」について、どの程度関心がありますか。

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	全く 関心がない
全 体			1800 100	128 7.1	526 29.2	543 30.2	379 21.1	224 12.4
地域	首都圏		900 100	62 6.9	261 29.0	270 30.0	190 21.1	117 13.0
	京阪神圏		900 100	66 7.3	265 29.4	273 30.3	189 21.0	107 11.9
年代	20代		300 100	34 11.3	107 35.7	78 26.0	36 12.0	45 15.0
	30代		300 100	33 11.0	94 31.3	78 26.0	48 16.0	47 15.7
	40代		300 100	19 6.3	83 27.7	89 29.7	68 22.7	41 13.7
	50代		300 100	15 5.0	74 24.7	120 40.0	62 20.7	29 9.7
	60代		300 100	13 4.3	88 29.3	85 28.3	81 27.0	33 11.0
	70代以上		300 100	14 4.7	80 26.7	93 31.0	84 28.0	29 9.7

Q40 国産牛肉には、国産和牛肉のほか、交雑種や乳用種(ホルスタイン種など)の牛肉がありますが、あなたは違いをご存じですか。

		度数 横%	全 体	詳しく知っている	ある程度 知っている	言葉は聞いたことがあ る・知っている	知らない
全 体			1800 100	73 4.1	334 18.6	742 41.2	651 36.2
地域	首都圏		900 100	35 3.9	159 17.7	358 39.8	348 38.7
	京阪神圏		900 100	38 4.2	175 19.4	384 42.7	303 33.7
年代	20代		300 100	26 8.7	67 22.3	94 31.3	113 37.7
	30代		300 100	23 7.7	59 19.7	117 39.0	101 33.7
	40代		300 100	9 3.0	50 16.7	126 42.0	115 38.3
	50代		300 100	4 1.3	41 13.7	154 51.3	101 33.7
	60代		300 100	5 1.7	63 21.0	130 43.3	102 34.0
	70代以上		300 100	6 2.0	54 18.0	121 40.3	119 39.7

Q41 国産和牛肉以外の国産牛肉には、交雑種と乳用種(ホルスタイン種など)があります。

乳用種は主にホルスタイン種など牛乳・乳製品の原料である生乳を生産する品種の牛です。交雑種は乳用種と和牛を掛け合わせた牛で、和牛よりも早く大きくなる一方、乳用種より肉質が良いという特徴があります。これらの牛肉は、一般に和牛肉よりは脂肪交雑が少ないといわれています。

国産和牛肉、交雑種の国産牛肉、乳用種(ホルスタイン種など)の国産牛肉について、それぞれあてはまるイメージを全てお選びください。

【1. 国産和牛肉】

度数横%		全 体	柔らかい	霜降り	赤身が多い	脂肪・コレステロールが多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
全 体		1800 100	372 20.7	433 24.1	83 4.6	155 8.6	337 18.7	417 23.2	235 13.1	492 27.3	52 2.9	50 2.8
地域	首都圏	900 100	183 20.3	217 24.1	44 4.9	74 8.2	172 19.1	207 23.0	130 14.4	250 27.8	20 2.2	20 2.2
	京阪神圏	900 100	189 21.0	216 24.0	39 4.3	81 9.0	165 18.3	210 23.3	105 11.7	242 26.9	32 3.6	30 3.3
年代	20代	300 100	36 12.0	34 11.3	24 8.0	17 5.7	30 10.0	43 14.3	32 10.7	38 12.7	15 5.0	12 4.0
	30代	300 100	52 17.3	62 20.7	9 3.0	15 5.0	52 17.3	53 17.7	30 10.0	61 20.3	10 3.3	10 3.3
	40代	300 100	54 18.0	54 18.0	9 3.0	25 8.3	47 15.7	60 20.0	35 11.7	83 27.7	10 3.3	8 2.7
	50代	300 100	63 21.0	76 25.3	11 3.7	27 9.0	65 21.7	69 23.0	43 14.3	80 26.7	6 2.0	4 1.3
	60代	300 100	77 25.7	88 29.3	14 4.7	36 12.0	69 23.0	92 30.7	44 14.7	113 37.7	4 1.3	9 3.0
	70代以上	300 100	90 30.0	119 39.7	16 5.3	35 11.7	74 24.7	100 33.3	51 17.0	117 39.0	7 2.3	7 2.3

度数横%		全 体	おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	健康に悪い	わからないあてはまるイメージはない
全 体		1800 100	469 26.1	165 9.2	239 13.3	123 6.8	434 24.1	106 5.9	65 3.6	70 3.9	559 31.1
地域	首都圏	900 100	245 27.2	73 8.1	117 13.0	62 6.9	228 25.3	56 6.2	33 3.7	36 4.0	261 29.0
	京阪神圏	900 100	224 24.9	92 10.2	122 13.6	61 6.8	206 22.9	50 5.6	32 3.6	34 3.8	298 33.1
年代	20代	300 100	40 13.3	23 7.7	24 8.0	11 3.7	47 15.7	14 4.7	19 6.3	14 4.7	102 34.0
	30代	300 100	78 26.0	20 6.7	38 12.7	20 6.7	51 17.0	12 4.0	8 2.7	8 2.7	105 35.0
	40代	300 100	77 25.7	38 12.7	32 10.7	22 7.3	58 19.3	15 5.0	13 4.3	10 3.3	100 33.3
	50代	300 100	81 27.0	25 8.3	46 15.3	24 8.0	75 25.0	15 5.0	11 3.7	13 4.3	90 30.0
	60代	300 100	87 29.0	31 10.3	38 12.7	21 7.0	96 32.0	19 6.3	8 2.7	12 4.0	81 27.0
	70代以上	300 100	106 35.3	28 9.3	61 20.3	25 8.3	107 35.7	31 10.3	6 2.0	13 4.3	81 27.0

【2. 交雑種の国産牛肉】

度数 横%		全 体	柔らかい	霜降り	赤身が多い	脂肪・ コレステロール が多い	安全・安心	高品質	飼育環境 がよい	高級	価格が手頃	特売
全 体		1800	95	49	203	75	145	67	77	46	333	244
		100	5.3	2.7	11.3	4.2	8.1	3.7	4.3	2.6	18.5	13.6
地域	首都圏	900	50	20	100	41	75	33	45	26	164	119
		100	5.6	2.2	11.1	4.6	8.3	3.7	5.0	2.9	18.2	13.2
	京阪神圏	900	45	29	103	34	70	34	32	20	169	125
		100	5.0	3.2	11.4	3.8	7.8	3.8	3.6	2.2	18.8	13.9
年代	20代	300	15	6	18	15	9	14	15	9	37	19
		100	5.0	2.0	6.0	5.0	3.0	4.7	5.0	3.0	12.3	6.3
	30代	300	19	10	25	12	27	15	13	9	33	25
		100	6.3	3.3	8.3	4.0	9.0	5.0	4.3	3.0	11.0	8.3
	40代	300	14	13	22	15	22	13	10	10	45	39
		100	4.7	4.3	7.3	5.0	7.3	4.3	3.3	3.3	15.0	13.0
	50代	300	19	6	29	9	28	9	11	11	59	34
		100	6.3	2.0	9.7	3.0	9.3	3.0	3.7	3.7	19.7	11.3
60代	300	16	5	45	10	21	7	7	5	76	62	
	100	5.3	1.7	15.0	3.3	7.0	2.3	2.3	1.7	25.3	20.7	
70代以上	300	12	9	64	14	38	9	21	2	83	65	
	100	4.0	3.0	21.3	4.7	12.7	3.0	7.0	0.7	27.7	21.7	

度数 横%		全 体	おいしい	赤身が おいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感が ある	シニア向き	若者向き	健康に悪い	わからない・ あてはまる イメージはない
全 体		1800	192	195	117	144	50	71	116	47	806
		100	10.7	10.8	6.5	8.0	2.8	3.9	6.4	2.6	44.8
地域	首都圏	900	104	104	51	72	28	38	60	20	406
		100	11.6	11.6	5.7	8.0	3.1	4.2	6.7	2.2	45.1
	京阪神圏	900	88	91	66	72	22	33	56	27	400
		100	9.8	10.1	7.3	8.0	2.4	3.7	6.2	3.0	44.4
年代	20代	300	17	26	18	14	14	14	19	12	127
		100	5.7	8.7	6.0	4.7	4.7	4.7	6.3	4.0	42.3
	30代	300	36	23	14	20	9	4	14	8	144
		100	12.0	7.7	4.7	6.7	3.0	1.3	4.7	2.7	48.0
	40代	300	38	31	14	29	7	8	15	9	144
		100	12.7	10.3	4.7	9.7	2.3	2.7	5.0	3.0	48.0
	50代	300	35	34	26	23	6	13	15	5	143
		100	11.7	11.3	8.7	7.7	2.0	4.3	5.0	1.7	47.7
60代	300	22	32	13	22	4	13	23	7	128	
	100	7.3	10.7	4.3	7.3	1.3	4.3	7.7	2.3	42.7	
70代以上	300	44	49	32	36	10	19	30	6	120	
	100	14.7	16.3	10.7	12.0	3.3	6.3	10.0	2.0	40.0	

【3. 乳用種(ホルスタイン種など)の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	柔らかい	霜降り	赤身が多い	脂肪・ コレステロー ルが多い	安全・安心	高品質	飼育環境 がよい	高級	価格が手頃	特売
全 体			1800 100	72 4.0	29 1.6	174 9.7	95 5.3	122 6.8	47 2.6	81 4.5	37 2.1	341 18.9	231 12.8
地域	首都圏		900 100	41 4.6	11 1.2	87 9.7	45 5.0	70 7.8	21 2.3	42 4.7	18 2.0	171 19.0	123 13.7
	京阪神圏		900 100	31 3.4	18 2.0	87 9.7	50 5.6	52 5.8	26 2.9	39 4.3	19 2.1	170 18.9	108 12.0
年代	20代		300 100	14 4.7	11 3.7	24 8.0	18 6.0	11 3.7	14 4.7	14 4.7	10 3.3	35 11.7	19 6.3
	30代		300 100	18 6.0	5 1.7	18 6.0	14 4.7	18 6.0	13 4.3	14 4.7	4 1.3	40 13.3	25 8.3
	40代		300 100	9 3.0	3 1.0	26 8.7	17 5.7	20 6.7	8 2.7	12 4.0	6 2.0	57 19.0	37 12.3
	50代		300 100	11 3.7	3 1.0	27 9.0	19 6.3	22 7.3	2 0.7	15 5.0	7 2.3	52 17.3	29 9.7
	60代		300 100	6 2.0	2 0.7	38 12.7	10 3.3	17 5.7	4 1.3	6 2.0	4 1.3	73 24.3	57 19.0
	70代以上		300 100	14 4.7	5 1.7	41 13.7	17 5.7	34 11.3	6 2.0	20 6.7	6 2.0	84 28.0	64 21.3

		度数 横%	全 体	おいしい	赤身が おいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感が ある	シニア向き	若者向き	健康に悪い	わからない・ あてはまる イメージはない
全 体			1800 100	135 7.5	93 5.2	76 4.2	126 7.0	42 2.3	44 2.4	89 4.9	51 2.8	901 50.1
地域	首都圏		900 100	72 8.0	57 6.3	33 3.7	63 7.0	19 2.1	30 3.3	43 4.8	22 2.4	441 49.0
	京阪神圏		900 100	63 7.0	36 4.0	43 4.8	63 7.0	23 2.6	14 1.6	46 5.1	29 3.2	460 51.1
年代	20代		300 100	19 6.3	14 4.7	15 5.0	13 4.3	8 2.7	14 4.7	12 4.0	12 4.0	135 45.0
	30代		300 100	31 10.3	21 7.0	9 3.0	24 8.0	9 3.0	3 1.0	7 2.3	9 3.0	158 52.7
	40代		300 100	22 7.3	17 5.7	11 3.7	22 7.3	5 1.7	4 1.3	12 4.0	6 2.0	160 53.3
	50代		300 100	26 8.7	14 4.7	11 3.7	21 7.0	6 2.0	7 2.3	14 4.7	3 1.0	159 53.0
	60代		300 100	17 5.7	11 3.7	8 2.7	20 6.7	4 1.3	6 2.0	18 6.0	11 3.7	149 49.7
	70代以上		300 100	20 6.7	16 5.3	22 7.3	26 8.7	10 3.3	10 3.3	26 8.7	10 3.3	140 46.7

Q42 あなたは、スーパー等で牛肉を購入する際に「交雑種」や「乳用種(ホルスタイン種など)」の表示を見たことがありますか。

度数 横%		全 体	「交雑種」、「乳用種 (ホルスタイン種など)」 とも見たことがある	「交雑種」は見たこと があるが、「乳用種(ホ ルスタイン種など)」は 見たことがない	「乳用種(ホルスタイン 種など)」は見たことが あるが、「交雑種」は 見たことがない	「交雑種」、「乳用種 (ホルスタイン種など)」 とも見たことはない	わからない
全 体		1800 100	134 7.4	282 15.7	104 5.8	515 28.6	765 42.5
地域	首都圏	900 100	64 7.1	109 12.1	50 5.6	277 30.8	400 44.4
	京阪神圏	900 100	70 7.8	173 19.2	54 6.0	238 26.4	365 40.6
年代	20代	300 100	27 9.0	46 15.3	39 13.0	57 19.0	131 43.7
	30代	300 100	25 8.3	62 20.7	19 6.3	65 21.7	129 43.0
	40代	300 100	18 6.0	43 14.3	16 5.3	87 29.0	136 45.3
	50代	300 100	21 7.0	39 13.0	12 4.0	91 30.3	137 45.7
	60代	300 100	21 7.0	43 14.3	7 2.3	108 36.0	121 40.3
	70代以上	300 100	22 7.3	49 16.3	11 3.7	107 35.7	111 37.0

Q43 あなたは、「アニマルウェルフェア」についてご存知ですか。

度数 横%		全 体	詳しく知っている	ある程度知っている	「アニマルウェルフェア」 という言葉は聞いたこ とがある・知っている	知らない
全 体		1800 100	52 2.9	143 7.9	257 14.3	1348 74.9
地域	首都圏	900 100	25 2.8	65 7.2	138 15.3	672 74.7
	京阪神圏	900 100	27 3.0	78 8.7	119 13.2	676 75.1
年代	20代	300 100	20 6.7	42 14.0	61 20.3	177 59.0
	30代	300 100	17 5.7	39 13.0	55 18.3	189 63.0
	40代	300 100	7 2.3	15 5.0	32 10.7	246 82.0
	50代	300 100	3 1.0	16 5.3	36 12.0	245 81.7
	60代	300 100	2 0.7	16 5.3	31 10.3	251 83.7
	70代以上	300 100	3 1.0	15 5.0	42 14.0	240 80.0

Q44 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国は、アニマルウェルフェア(家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なくし、行動要求が満たされた快適で健康的な環境を提供するという考え方)に配慮した飼養管理等に関する技術的な指針を家畜の種類ごとに示し、その普及を図っています。

アニマルウェルフェアを踏まえた家畜の飼養管理は、ストレスや疾病を減らし、結果として安全な畜産物の生産につながります。また、畜産物の輸出拡大を図るため、日本のアニマルウェルフェアの水準を国際水準とすることが必要とされています。

国が技術的な指針を示し、その普及を図っていることについて、あなたはどの程度関心がありますか。

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	149 8.3	431 23.9	531 29.5	349 19.4	340 18.9
地域	首都圏		900 100	72 8.0	221 24.6	267 29.7	158 17.6	182 20.2
	京阪神圏		900 100	77 8.6	210 23.3	264 29.3	191 21.2	158 17.6
年代	20代		300 100	38 12.7	78 26.0	80 26.7	37 12.3	67 22.3
	30代		300 100	43 14.3	73 24.3	73 24.3	42 14.0	69 23.0
	40代		300 100	18 6.0	66 22.0	88 29.3	60 20.0	68 22.7
	50代		300 100	14 4.7	66 22.0	108 36.0	60 20.0	52 17.3
	60代		300 100	14 4.7	68 22.7	95 31.7	72 24.0	51 17.0
	70代以上		300 100	22 7.3	80 26.7	87 29.0	78 26.0	33 11.0

Q45 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国は、アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理等に関する技術的な指針を家畜の種類ごとに示し、その普及を図っています。

いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアに配慮した肉用牛の飼養管理に関する審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマル ウェルフェア認証マーク」を貼られて売られるとします。

あなたは、一般のお店やレストランで、「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉を購入したいと思いますか。

度数 横%		全 体	割高でも購入したい	ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい	安ければ購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	93 5.2	468 26.0	569 31.6	161 8.9	509 28.3
地域	首都圏	900 100	48 5.3	236 26.2	268 29.8	87 9.7	261 29.0
	京阪神圏	900 100	45 5.0	232 25.8	301 33.4	74 8.2	248 27.6
年代	20代	300 100	22 7.3	86 28.7	74 24.7	30 10.0	88 29.3
	30代	300 100	27 9.0	91 30.3	68 22.7	31 10.3	83 27.7
	40代	300 100	7 2.3	76 25.3	99 33.0	25 8.3	93 31.0
	50代	300 100	10 3.3	65 21.7	107 35.7	26 8.7	92 30.7
	60代	300 100	11 3.7	69 23.0	114 38.0	23 7.7	83 27.7
	70代以上	300 100	16 5.3	81 27.0	107 35.7	26 8.7	70 23.3

Q46 いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアに配慮した肉用牛の飼養管理に関する審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマル ウェルフェア認証マーク」を貼られて売られるとします。

この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、アニマルウェルフェアに配慮して生産されるため、価格が高めであるとしてします。

あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込でどの程度の価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思いますか。

以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使えるお金が減ることを念頭にお答えください。

<Q45「割高でも購入したい」「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」&Q15「99円以下」～「1500円以上」回答者>

度数 横%		全 体	1円でも割高 なら購入しない	5円程度まで なら高くても 購入する	10円程度まで なら高くても 購入する	20円程度まで なら高くても 購入する	30円程度まで なら高くても 購入する	40円程度まで なら高くても 購入する	50円程度まで なら高くても 購入する
全 体		442 100	32 7.2	30 6.8	49 11.1	33 7.5	63 14.3	22 5.0	67 15.2
地域	首都圏	219 100	12 5.5	14 6.4	27 12.3	17 7.8	33 15.1	14 6.4	28 12.8
	京阪神圏	223 100	20 9.0	16 7.2	22 9.9	16 7.2	30 13.5	8 3.6	39 17.5
年代	20代	96 100	7 7.3	10 10.4	10 10.4	7 7.3	15 15.6	6 6.3	9 9.4
	30代	93 100	10 10.8	7 7.5	9 9.7	6 6.5	14 15.1	5 5.4	11 11.8
	40代	61 100	3 4.9	5 8.2	9 14.8	7 11.5	9 14.8	3 4.9	7 11.5
	50代	52 100	3 5.8	2 3.8	8 15.4	3 5.8	8 15.4	4 7.7	10 19.2
	60代	65 100	8 12.3	3 4.6	7 10.8	7 10.8	6 9.2	3 4.6	13 20.0
	70代以上	75 100	1 1.3	3 4.0	6 8.0	3 4.0	11 14.7	1 1.3	17 22.7

度数 横%		全 体	70円程度まで なら高くても 購入する	100円程度まで なら高くても 購入する	150円程度まで なら高くても 購入する	200円程度まで なら高くても 購入する	300円程度まで なら高くても 購入する	400円程度まで なら高くても 購入する	500円程度まで なら高くても 購入する
全 体		442 100	20 4.5	63 14.3	14 3.2	21 4.8	12 2.7	3 0.7	13 2.9
地域	首都圏	219 100	13 5.9	35 16.0	7 3.2	8 3.7	3 1.4	1 0.5	7 3.2
	京阪神圏	223 100	7 3.1	28 12.6	7 3.1	13 5.8	9 4.0	2 0.9	6 2.7
年代	20代	96 100	7 7.3	11 11.5	5 5.2	3 3.1	3 3.1	0 0.0	3 3.1
	30代	93 100	5 5.4	8 8.6	2 2.2	4 4.3	5 5.4	2 2.2	5 5.4
	40代	61 100	4 6.6	7 11.5	5 8.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.3
	50代	52 100	1 1.9	7 13.5	0 0.0	3 5.8	0 0.0	1 1.9	2 3.8
	60代	65 100	0 0.0	11 16.9	0 0.0	4 6.2	2 3.1	0 0.0	1 1.5
	70代以上	75 100	3 4.0	19 25.3	2 2.7	7 9.3	2 2.7	0 0.0	0 0.0

Q47 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

地球温暖化防止や生物多様性の保全の取組が、国際的な課題となっています。

農林水産省では「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。

ガイドラインに基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベルで表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整えていきます。

環境負荷低減の取組として、「見える化」が進められていますが、あなたは、このような「温室効果ガス削減」のマークを見たことがありますか。



		度数 横%	全 体	確かに見たことがある	見たことがあるような 気がする	「マーク」があることは知っ ているが、見たことはない	「マーク」があることは 知らない
全 体			1800 100	103 5.7	381 21.2	245 13.6	1071 59.5
地域	首都圏		900 100	48 5.3	188 20.9	117 13.0	547 60.8
	京阪神圏		900 100	55 6.1	193 21.4	128 14.2	524 58.2
年代	20代		300 100	25 8.3	88 29.3	39 13.0	148 49.3
	30代		300 100	29 9.7	76 25.3	42 14.0	153 51.0
	40代		300 100	16 5.3	62 20.7	34 11.3	188 62.7
	50代		300 100	10 3.3	54 18.0	43 14.3	193 64.3
	60代		300 100	13 4.3	50 16.7	38 12.7	199 66.3
	70代以上		300 100	10 3.3	51 17.0	49 16.3	190 63.3

Q48 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

農林水産省では「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。

ガイドラインに基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベルで表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整えていきます。

国が環境負荷低減の取組を等級ラベル（「温室効果ガス削減」マーク）で表示することで「見える化」し、その普及を図っていることについて、あなたはどの程度関心がありますか。



		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	109 6.1	431 23.9	550 30.6	365 20.3	345 19.2
地域	首都圏		900 100	50 5.6	223 24.8	281 31.2	173 19.2	173 19.2
	京阪神圏		900 100	59 6.6	208 23.1	269 29.9	192 21.3	172 19.1
年代	20代		300 100	26 8.7	94 31.3	68 22.7	40 13.3	72 24.0
	30代		300 100	27 9.0	75 25.0	83 27.7	46 15.3	69 23.0
	40代		300 100	14 4.7	57 19.0	93 31.0	75 25.0	61 20.3
	50代		300 100	9 3.0	63 21.0	123 41.0	49 16.3	56 18.7
	60代		300 100	10 3.3	63 21.0	105 35.0	72 24.0	50 16.7
	70代以上		300 100	23 7.7	79 26.3	78 26.0	83 27.7	37 12.3

Q49 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

農林水産省では「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。

ガイドラインに基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベルで表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整えていきます。

いま仮に、「温室効果ガス排出量の削減貢献率を算定し、等級の確定を受けた国産牛肉」が、「温室効果ガス削減」のマークを貼られて売られるとします。

あなたは、一般のお店やレストランで、「温室効果ガス削減」のマークがついている国産牛肉を購入したいと思いますか。



		全 体	割高でも購入したい	ロゴマークがついていない 通常の国産牛肉と、 同程度の価格なら 購入したい	安ければ購入したい	購入したくない	わからない
全 体	度数 横%	1800 100	81 4.5	492 27.3	625 34.7	129 7.2	473 26.3
地域	首都圏	900 100	41 4.6	249 27.7	301 33.4	71 7.9	238 26.4
	京阪神圏	900 100	40 4.4	243 27.0	324 36.0	58 6.4	235 26.1
年代	20代	300 100	23 7.7	94 31.3	90 30.0	22 7.3	71 23.7
	30代	300 100	19 6.3	90 30.0	91 30.3	28 9.3	72 24.0
	40代	300 100	13 4.3	70 23.3	117 39.0	20 6.7	80 26.7
	50代	300 100	8 2.7	69 23.0	111 37.0	22 7.3	90 30.0
	60代	300 100	6 2.0	79 26.3	111 37.0	20 6.7	84 28.0
	70代以上	300 100	12 4.0	90 30.0	105 35.0	17 5.7	76 25.3

Q50 いま仮に、「温室効果ガス排出量の削減貢献率を算定し、等級の確定を受けた国産牛肉」が、「温室効果ガス削減」のマークを貼られて売られるとします。

この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、温室効果ガス排出量の削減に配慮して生産されるため、価格が高めであるとしてします。

あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込でどの程度の価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思いますか。

以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使えるお金が減ることを念頭にお答えください。



<Q49「割高でも購入したい」「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」&Q15「99円以下」～「1500円以上」回答者>

度数横%		全 体	1円でも割高 なら購入しない	5円程度まで なら高くても 購入する	10円程度まで なら高くても 購入する	20円程度まで なら高くても 購入する	30円程度まで なら高くても 購入する	40円程度まで なら高くても 購入する	50円程度まで なら高くても 購入する
全 体		436 100	36 8.3	24 5.5	41 9.4	54 12.4	47 10.8	19 4.4	77 17.7
地域	首都圏	206 100	12 5.8	14 6.8	20 9.7	22 10.7	24 11.7	11 5.3	35 17.0
	京阪神圏	230 100	24 10.4	10 4.3	21 9.1	32 13.9	23 10.0	8 3.5	42 18.3
年代	20代	99 100	5 5.1	8 8.1	6 6.1	13 13.1	11 11.1	7 7.1	10 10.1
	30代	79 100	8 10.1	4 5.1	5 6.3	8 10.1	8 10.1	7 8.9	11 13.9
	40代	56 100	7 12.5	4 7.1	7 12.5	10 17.9	3 5.4	1 1.8	11 19.6
	50代	52 100	2 3.8	2 3.8	7 13.5	7 13.5	8 15.4	2 3.8	11 21.2
	60代	71 100	12 16.9	5 7.0	7 9.9	10 14.1	6 8.5	1 1.4	10 14.1
	70代以上	79 100	2 2.5	1 1.3	9 11.4	6 7.6	11 13.9	1 1.3	24 30.4

度数横%		全 体	70円程度まで なら高くても 購入する	100円程度まで なら高くても 購入する	150円程度まで なら高くても 購入する	200円程度まで なら高くても 購入する	300円程度まで なら高くても 購入する	400円程度まで なら高くても 購入する	500円程度まで なら高くても 購入する
全 体		436 100	16 3.7	59 13.5	12 2.8	27 6.2	10 2.3	2 0.5	12 2.8
地域	首都圏	206 100	11 5.3	35 17.0	3 1.5	8 3.9	4 1.9	0 0.0	7 3.4
	京阪神圏	230 100	5 2.2	24 10.4	9 3.9	19 8.3	6 2.6	2 0.9	5 2.2
年代	20代	99 100	5 5.1	12 12.1	6 6.1	8 8.1	5 5.1	0 0.0	3 3.0
	30代	79 100	5 6.3	8 10.1	1 1.3	6 7.6	2 2.5	1 1.3	5 6.3
	40代	56 100	2 3.6	5 8.9	2 3.6	1 1.8	0 0.0	0 0.0	3 5.4
	50代	52 100	2 3.8	8 15.4	2 3.8	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0
	60代	71 100	1 1.4	12 16.9	1 1.4	5 7.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4
	70代以上	79 100	1 1.3	14 17.7	0 0.0	7 8.9	3 3.8	0 0.0	0 0.0